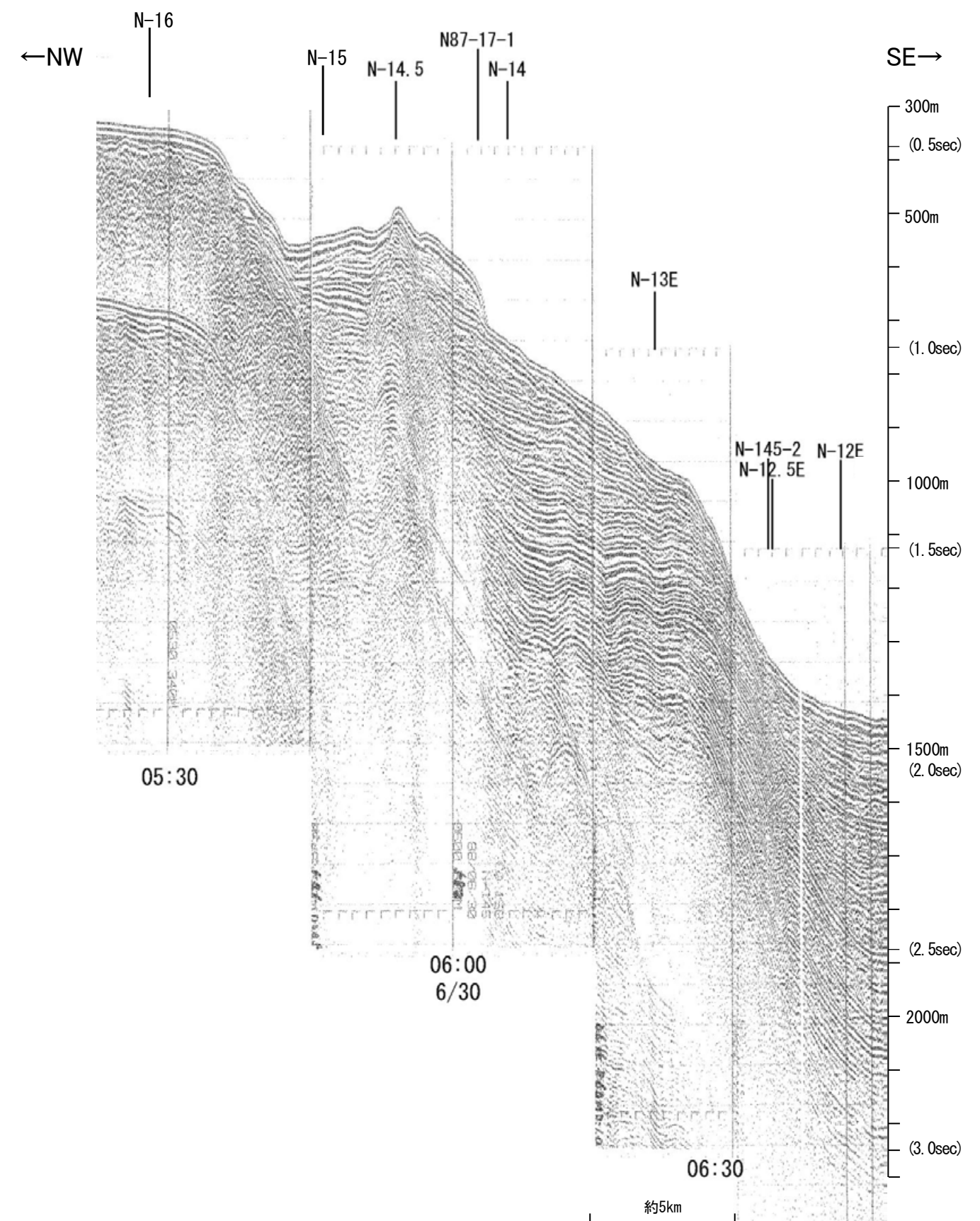
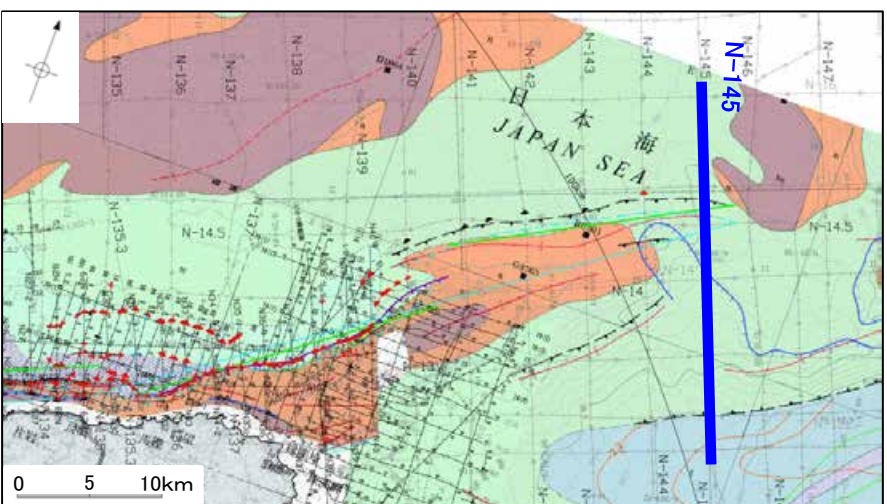
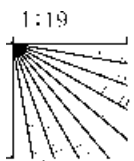


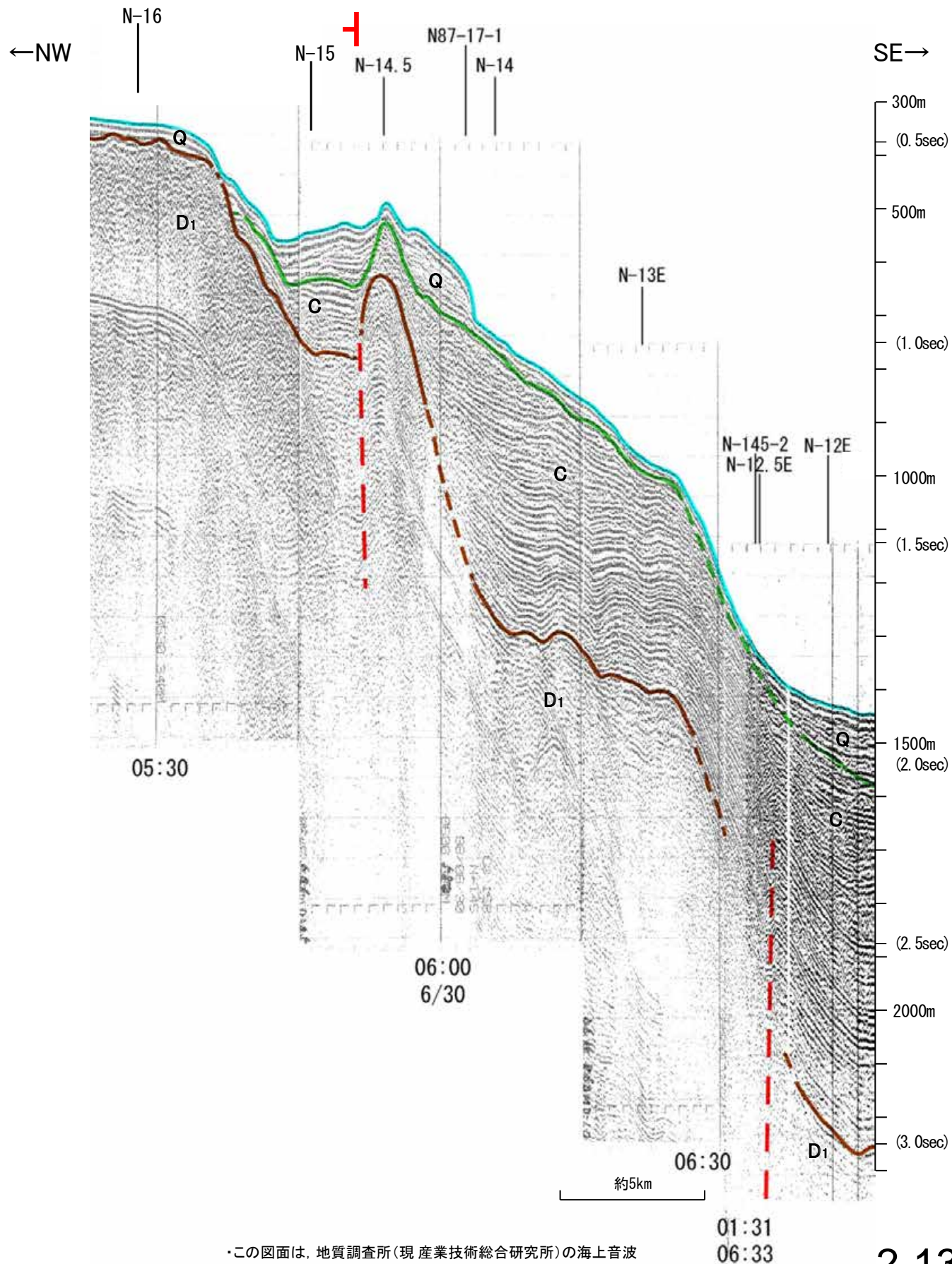
# 地質調査所エアガン N-145

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	中期		B層
	前期		B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世		D層
	古第三紀		D層
先第三紀			D層

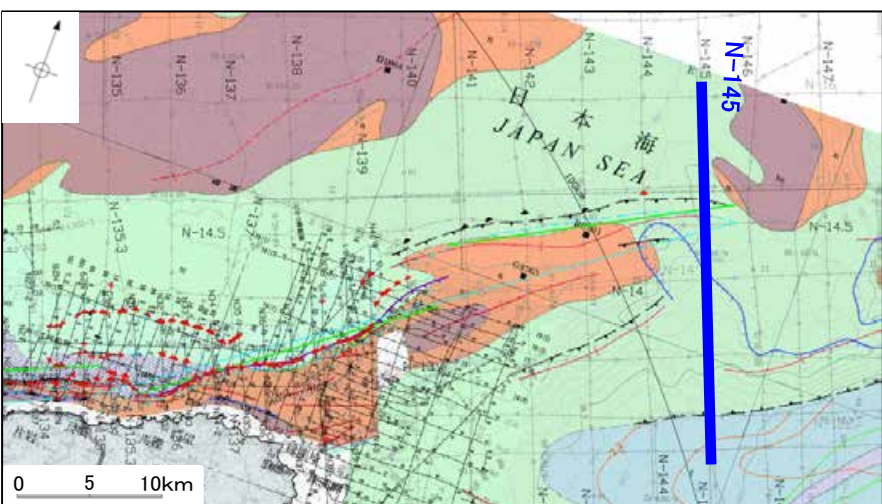
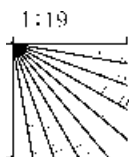


# 地質調査所エアガン N-145

能登半島北部沿岸域断層帯



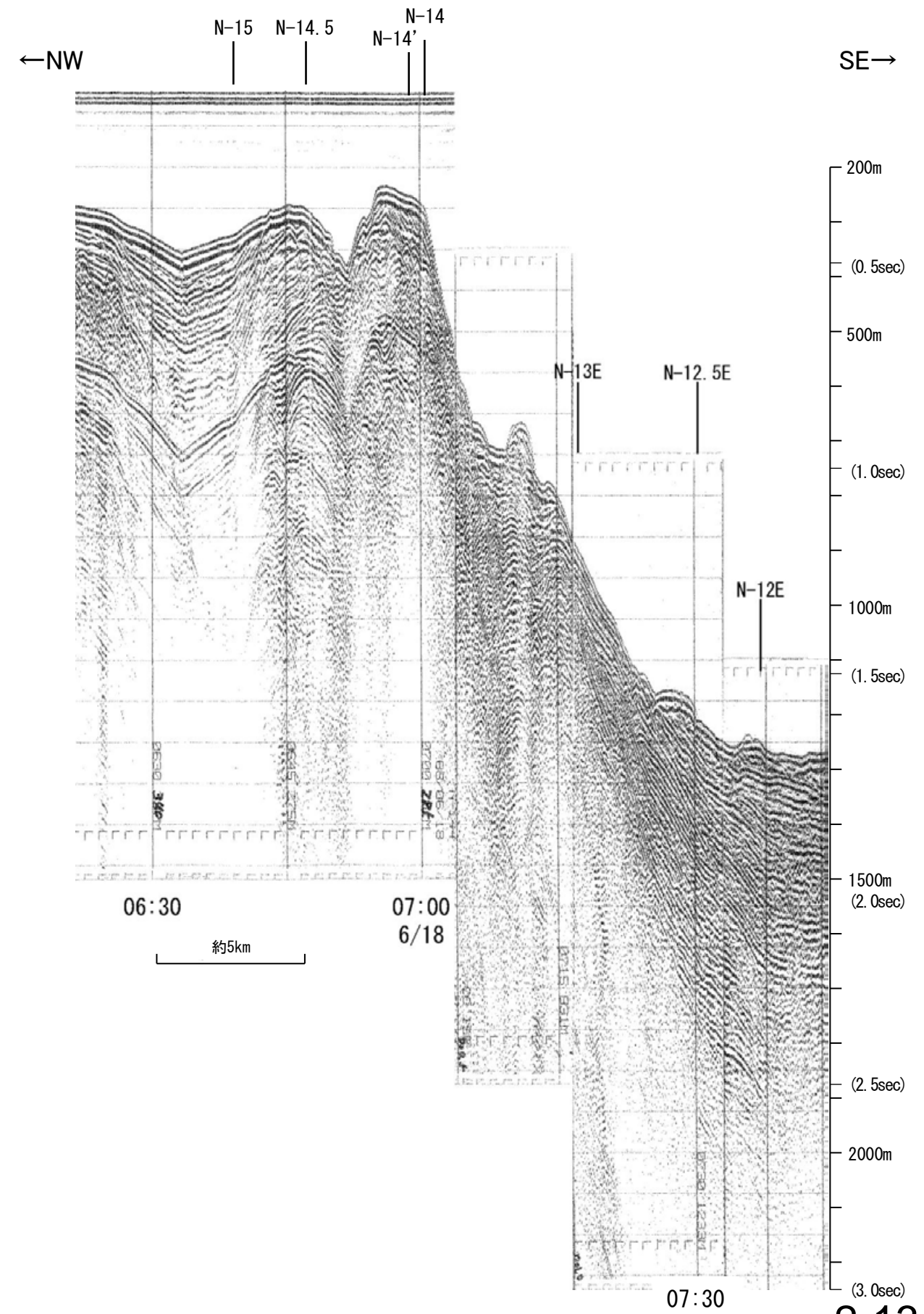
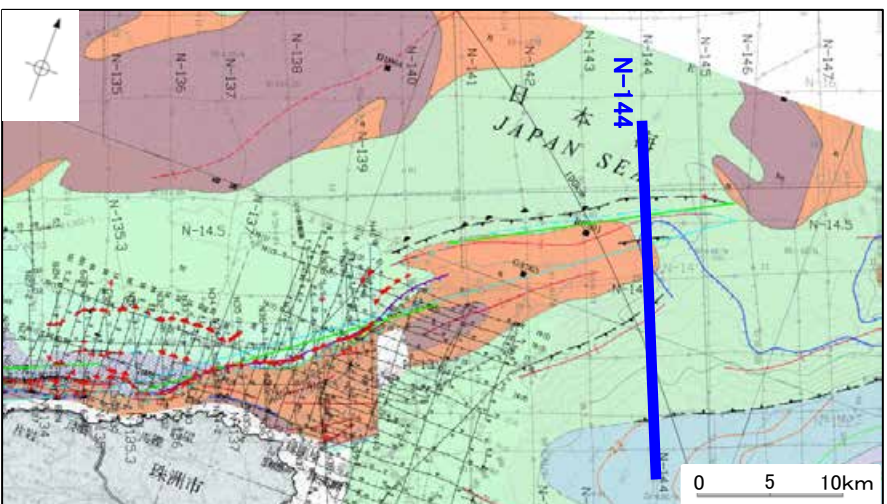
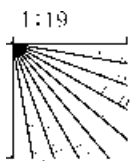
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B <sub>1</sub> 層
	更新世	中期	B <sub>2</sub> 層
		前期	B <sub>3</sub> 層
第三紀	鮮新世	C層	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D層	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D層	D <sub>2</sub> 層
先第三紀			D層



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

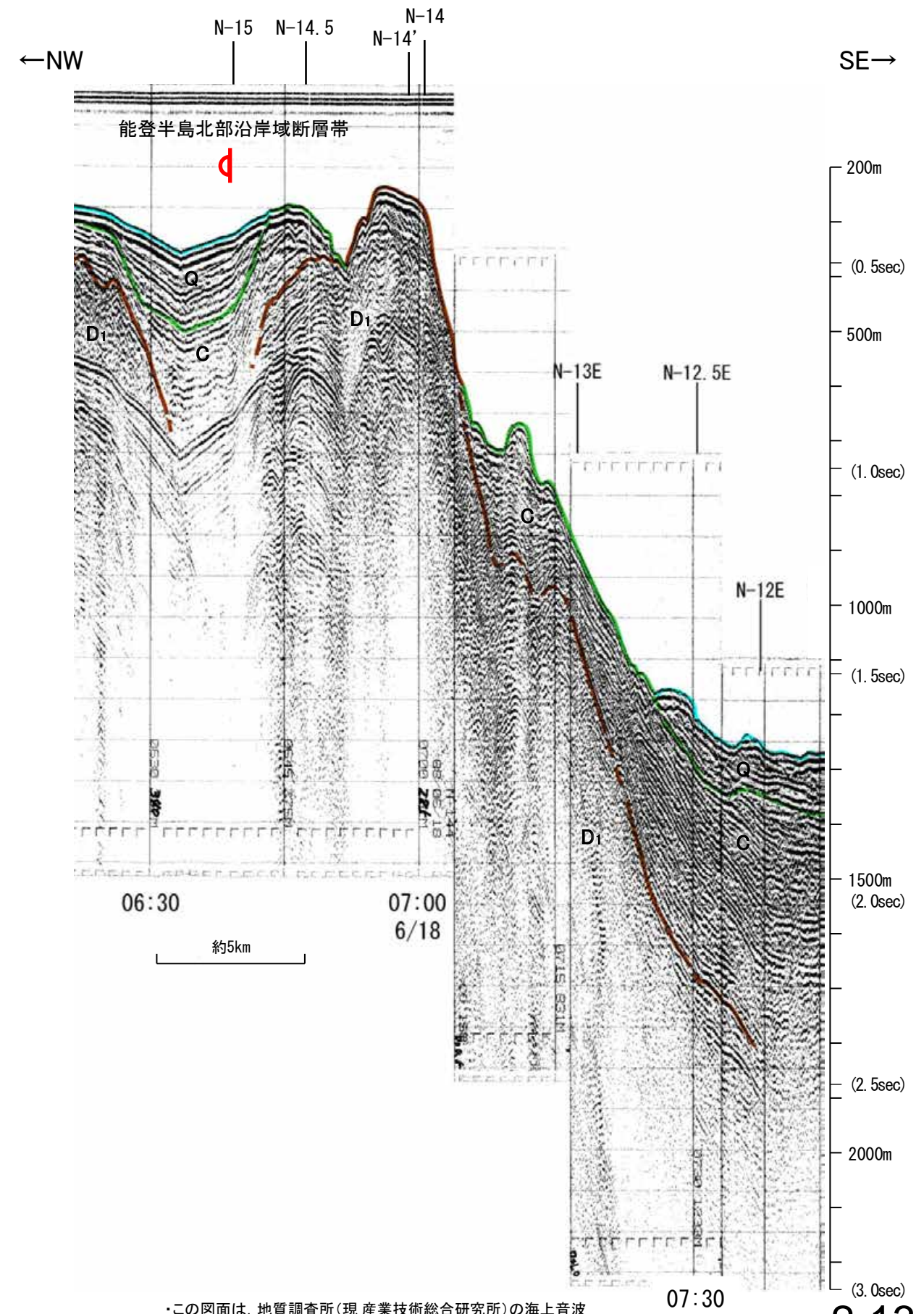
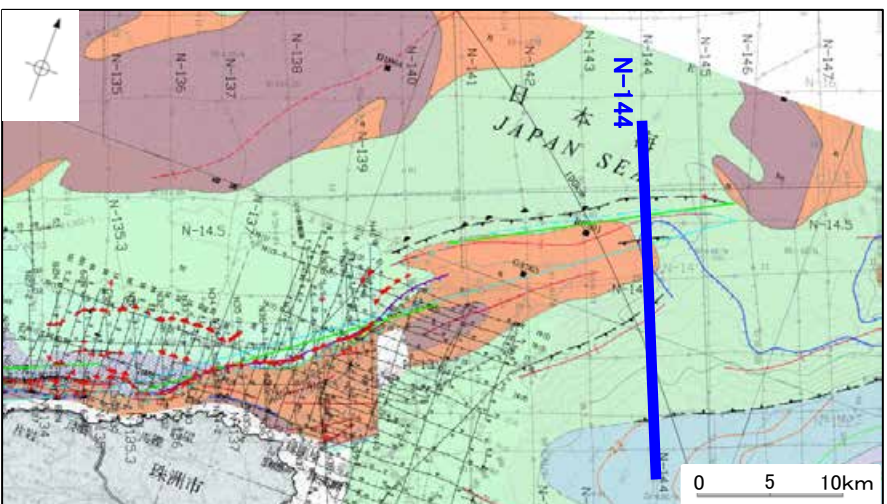
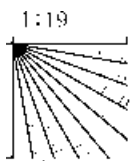
# 地質調査所エアガン N-144

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B <sub>1</sub> 層
	中期		B <sub>2</sub> 層
	前期		B <sub>3</sub> 層
第三紀	鮮新世	C層	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D層	D <sub>1</sub> 層
	古第三紀	D層	D <sub>2</sub> 層
先第三紀			D層



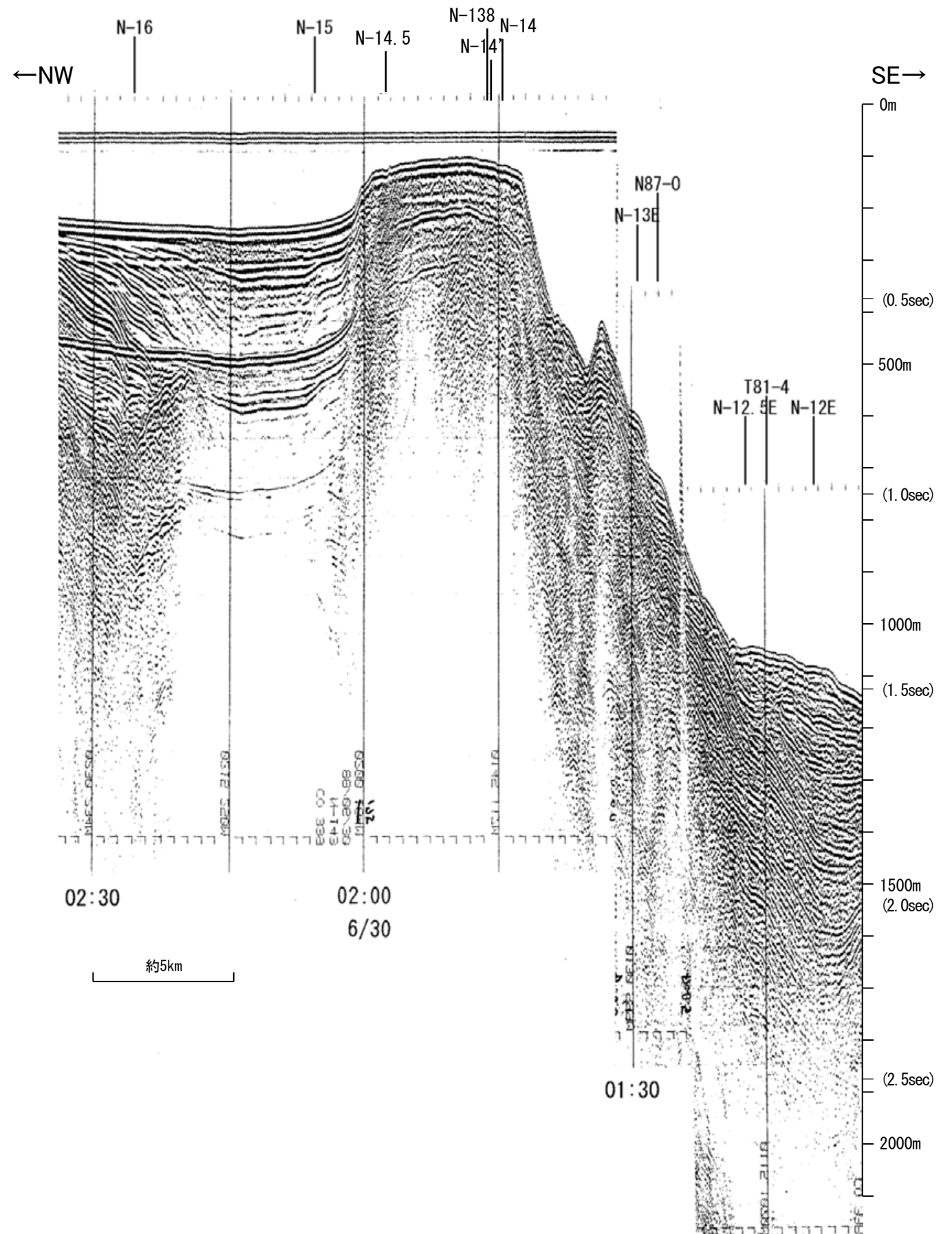
# 地質調査所エアガン N-144

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B層	
		B <sub>1</sub> 層	
	中期	B <sub>2</sub> 層	
		B <sub>3</sub> 層	
前期	C層		
第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層	
	中新世	D <sub>1</sub> 層	
		D <sub>2</sub> 層	
古第三紀		D <sub>3</sub> 層	
先第三紀			D <sub>4</sub> 層

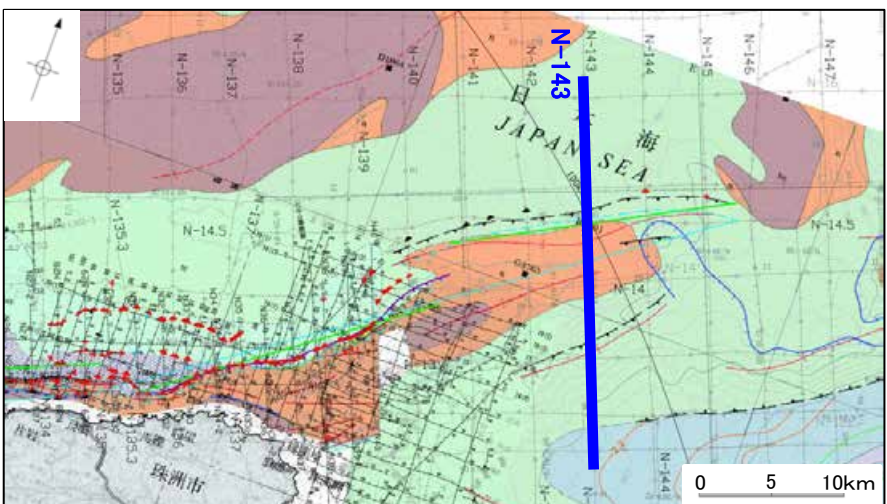
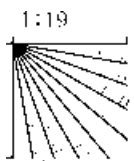


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

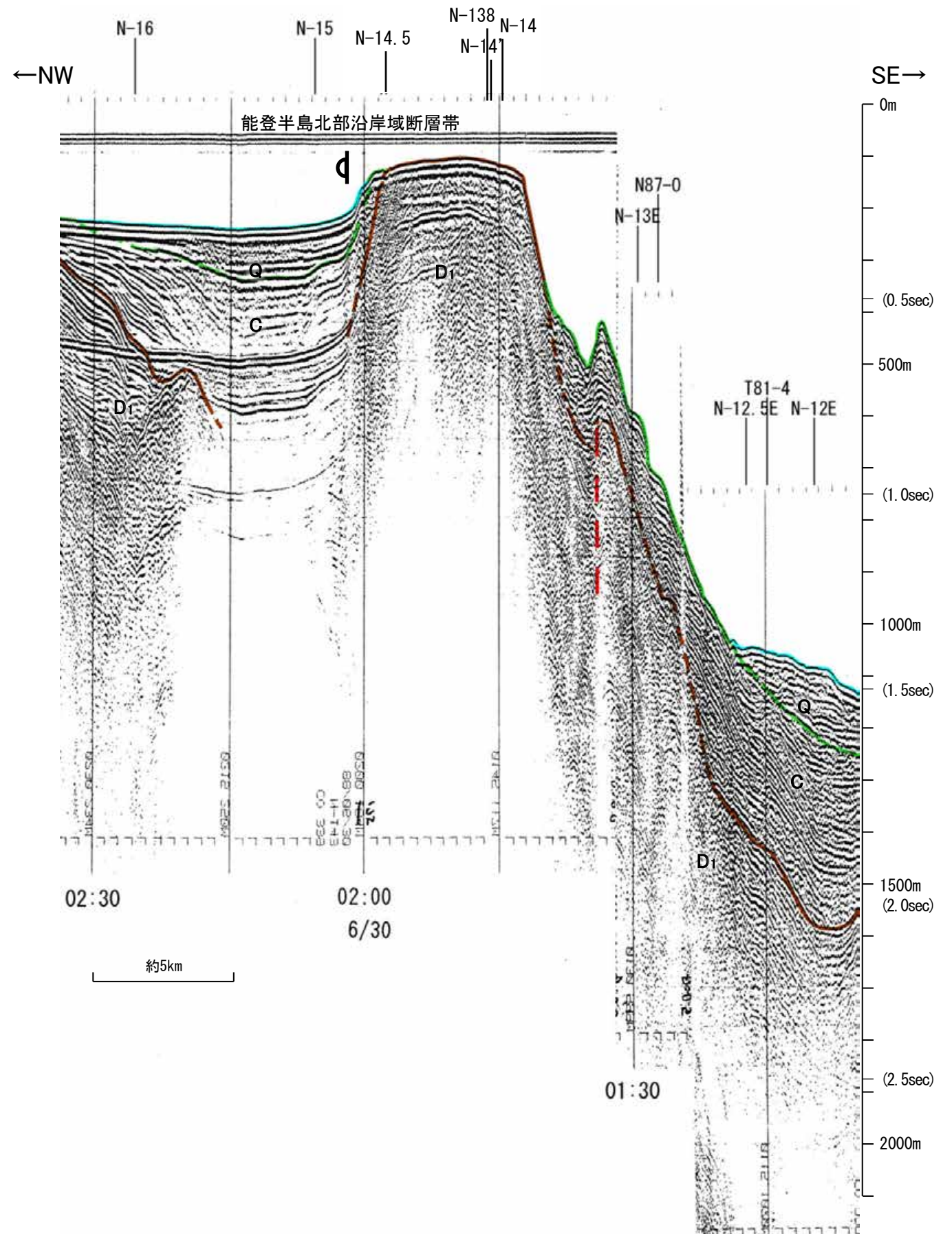
# 地質調査所エアガン N-143



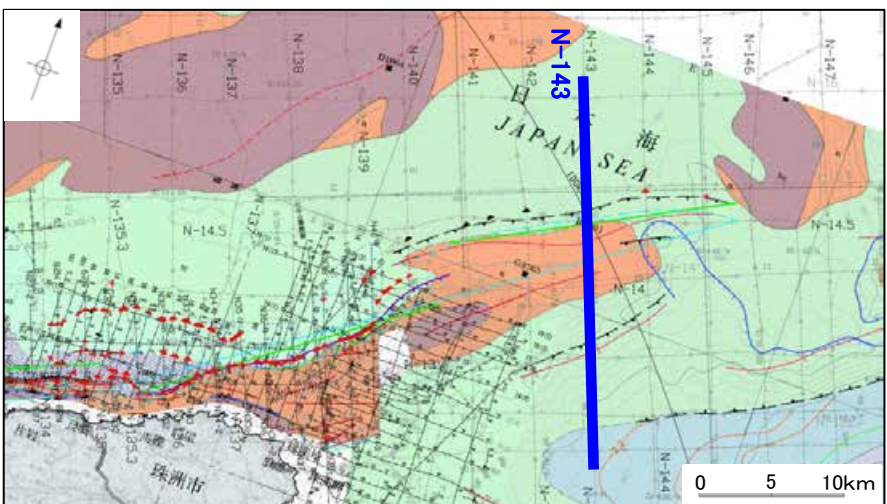
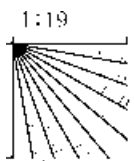
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	B層	B層
	中期		B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世		D層
古第三紀			D層
先第三紀			D層



# 地質調査所エアガン N-143



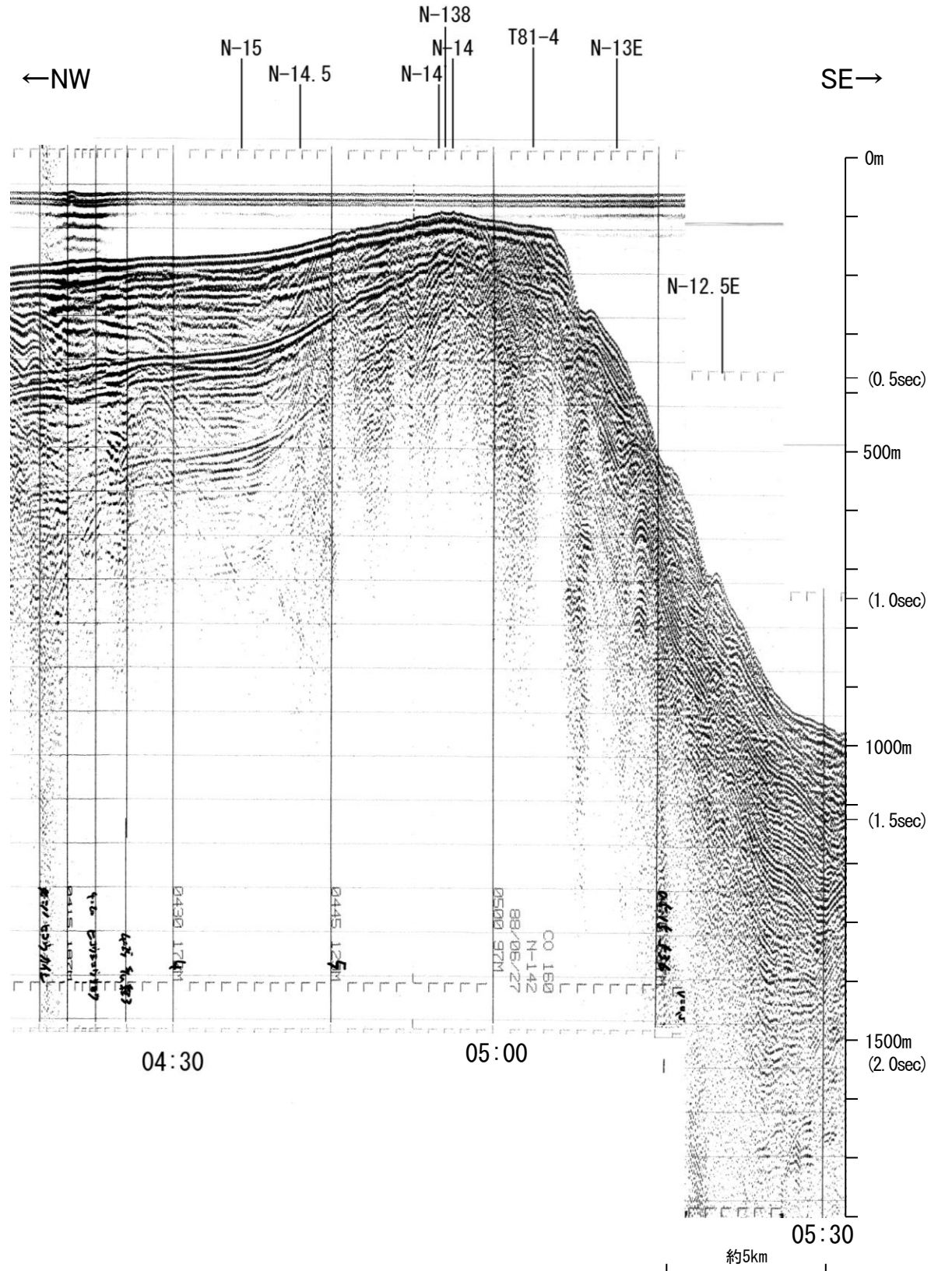
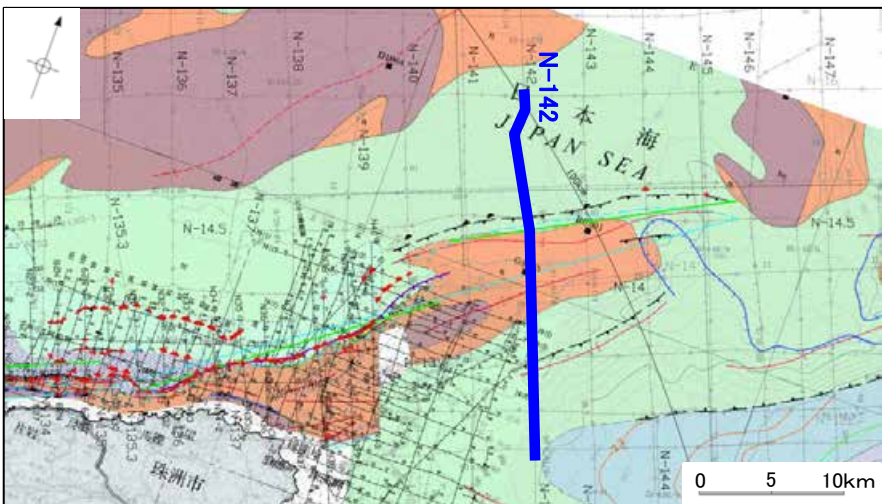
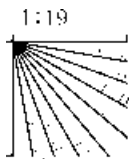
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	B層	B層
	中期		B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

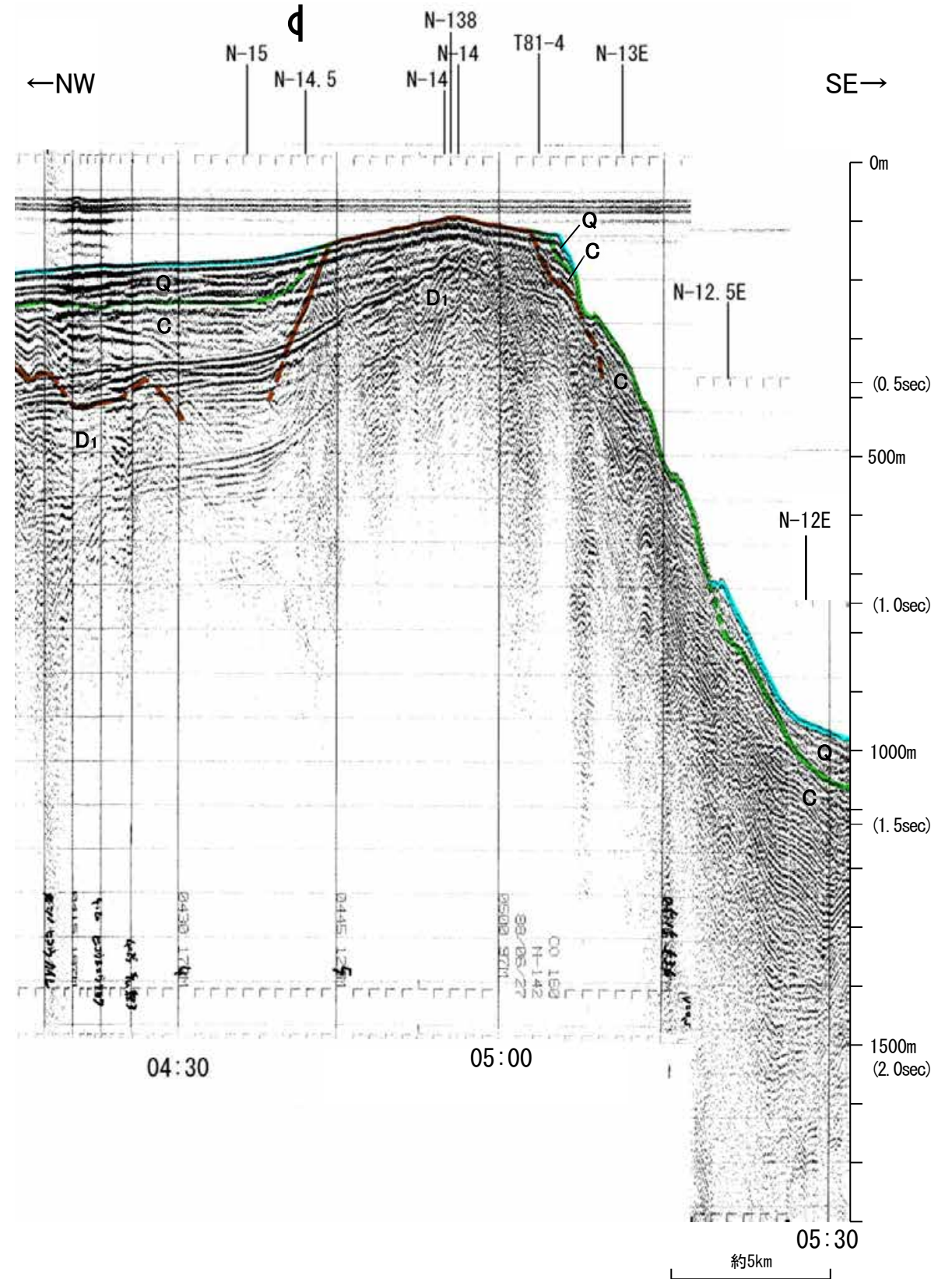
# 地質調査所エアガン N-142

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B <sub>1</sub> 層
	中期		B <sub>2</sub> 層
	前期		B <sub>3</sub> 層
第三紀	鮮新世	C層	C <sub>1</sub> 層
	中新世		C <sub>2</sub> 層
古第三紀	D層	D層	D <sub>1</sub> 層
			D <sub>2</sub> 層

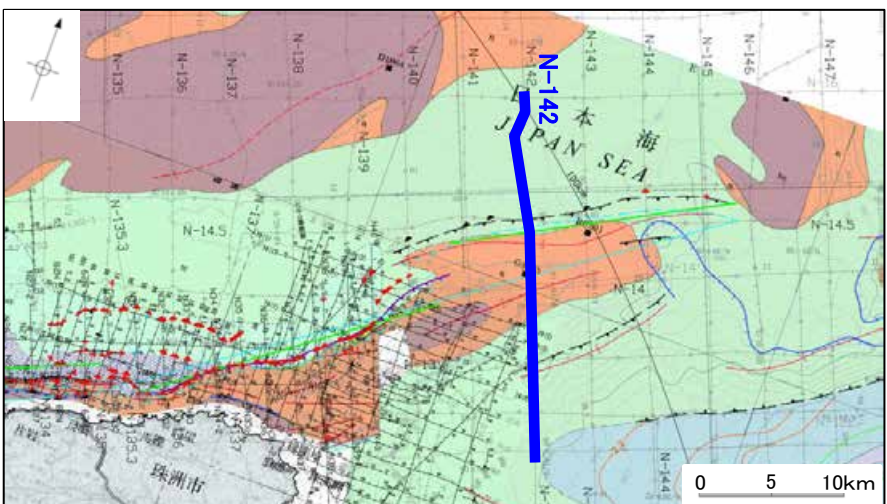
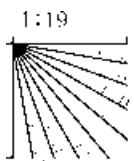


# 地質調査所エアガン N-142

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	B層	B層
	中期		B層
	前期	C層	C層
第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

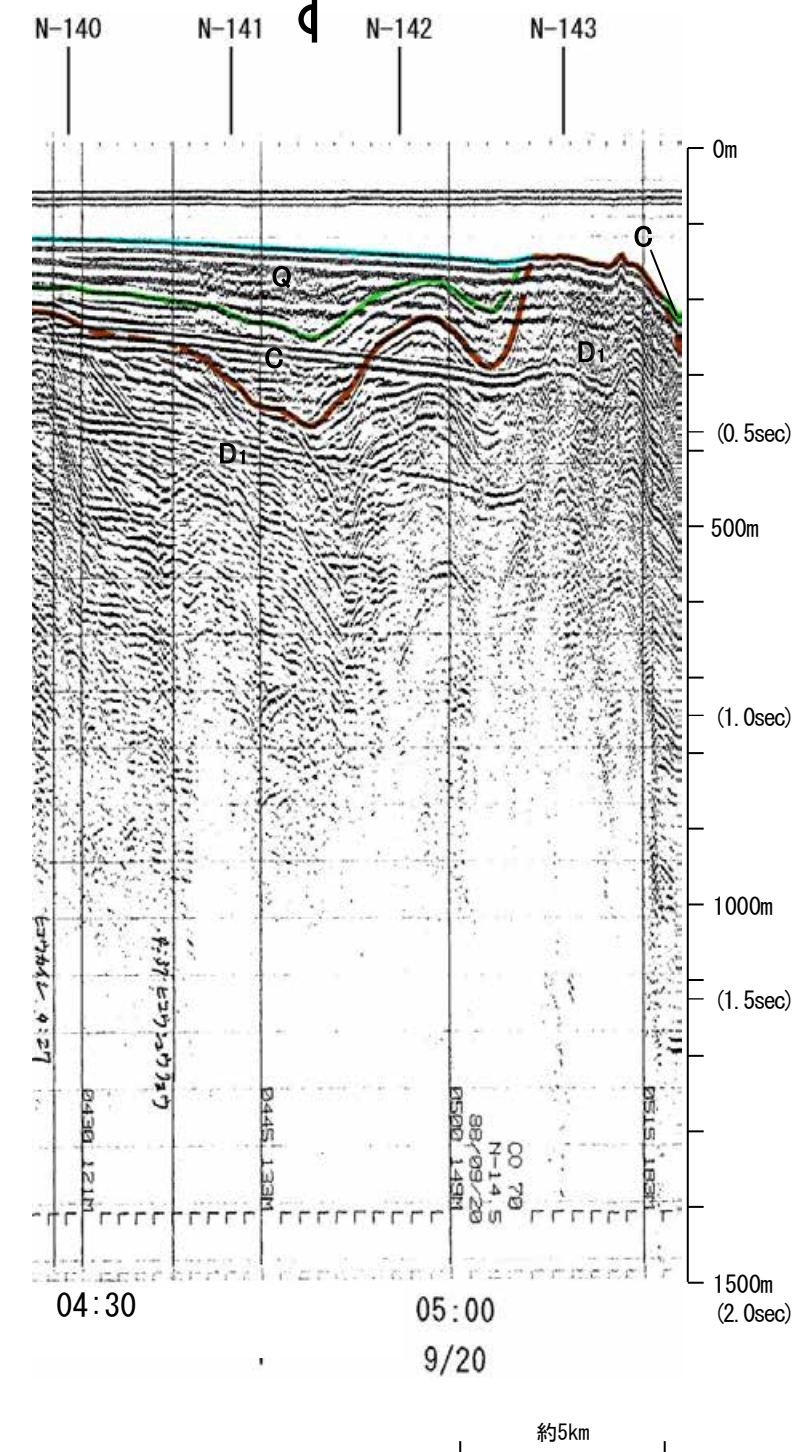
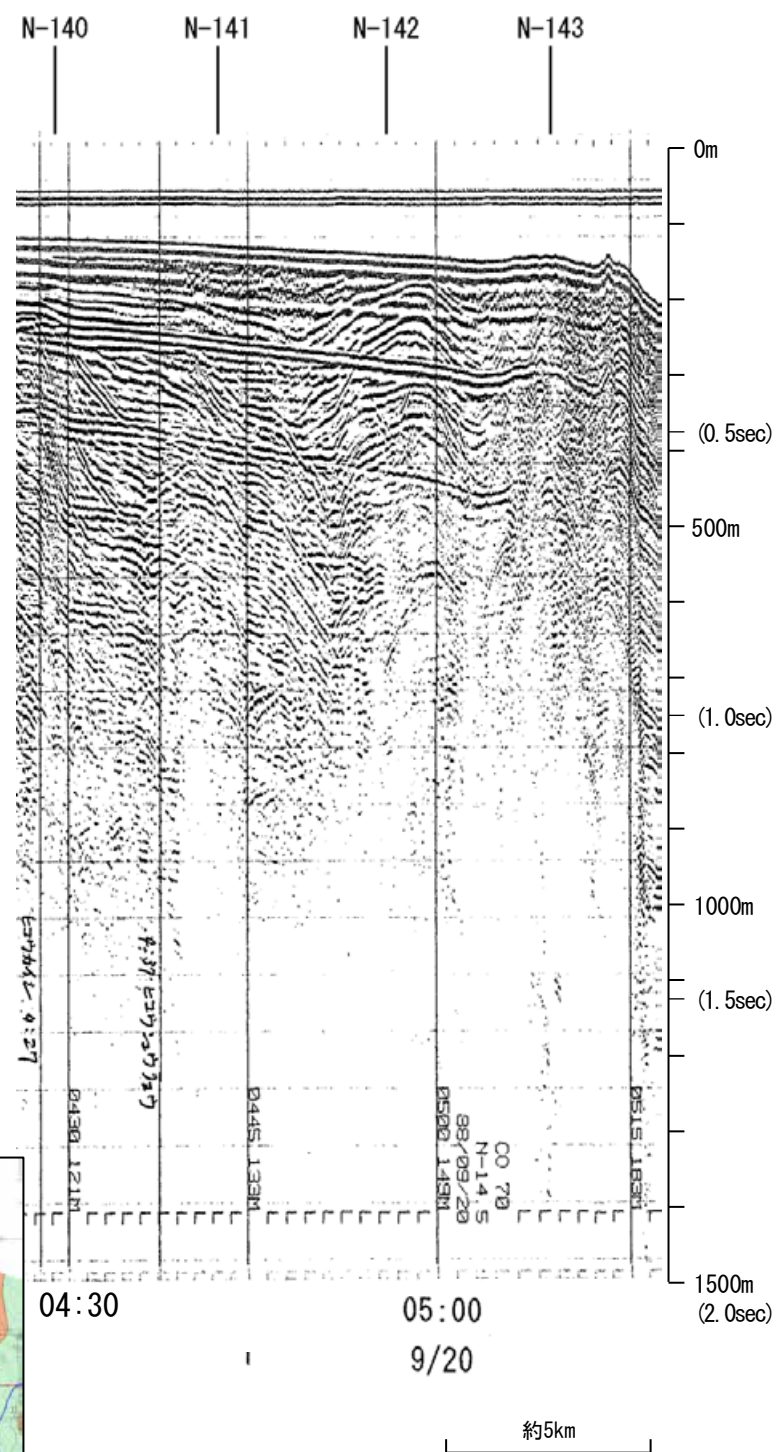


# 地質調査所エアガン N-14.5

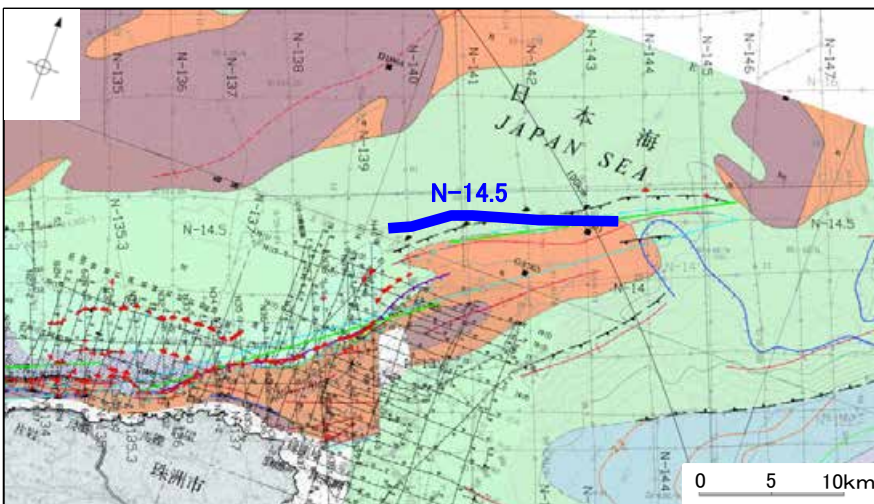
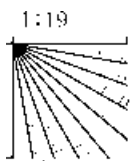
←SW NE→

←SW NE→

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
	前期	B層
鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



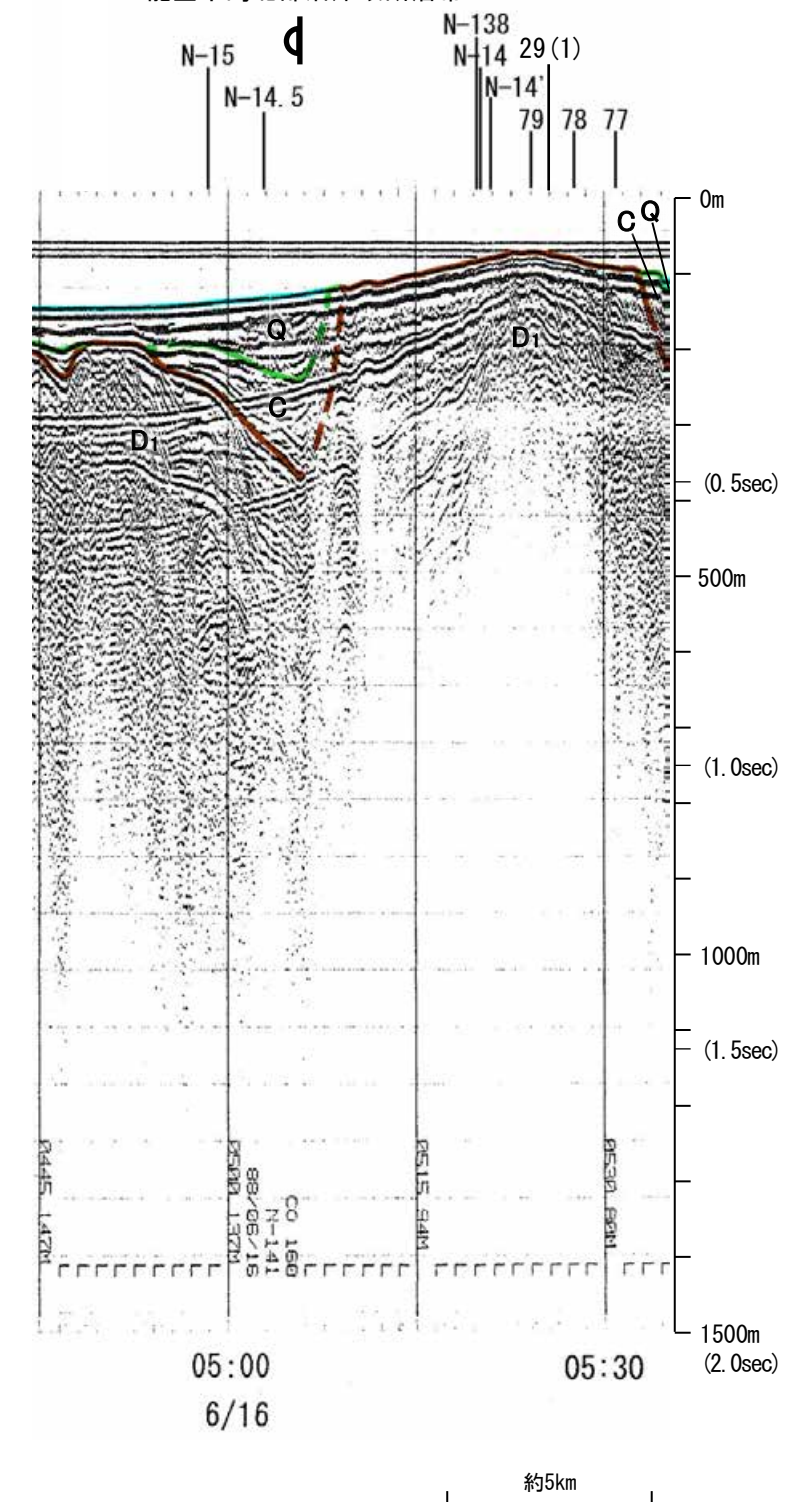
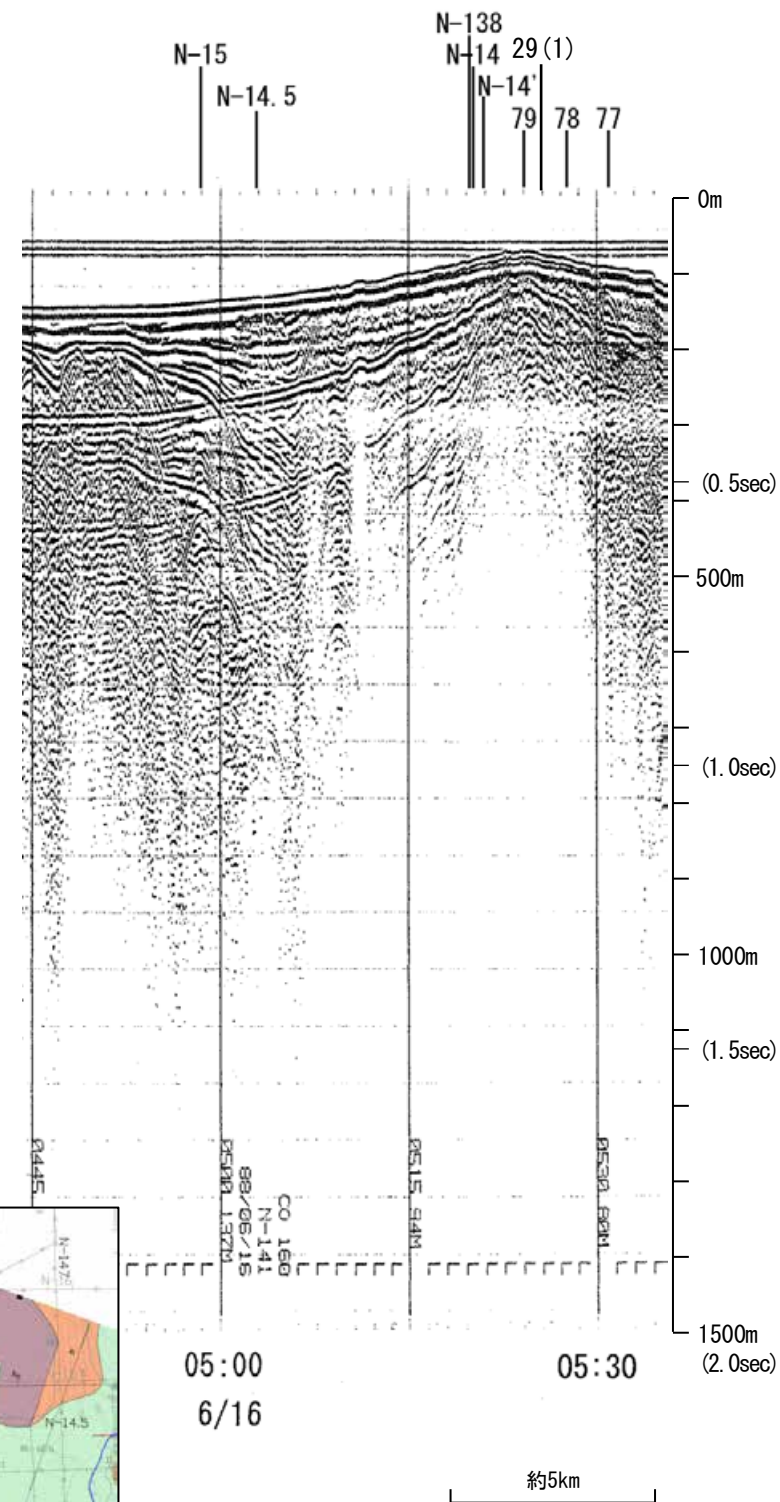
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-141

←NW SE→

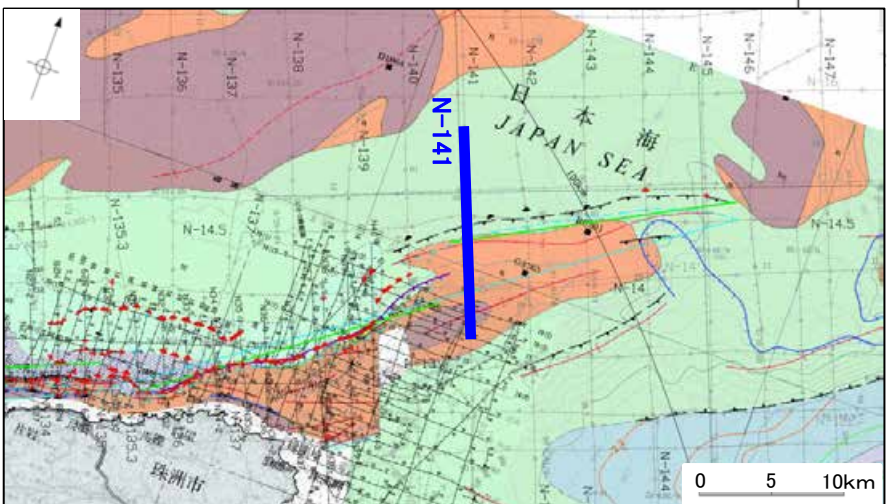
←NW SE→

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	B層	B層
前期	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	

1:19



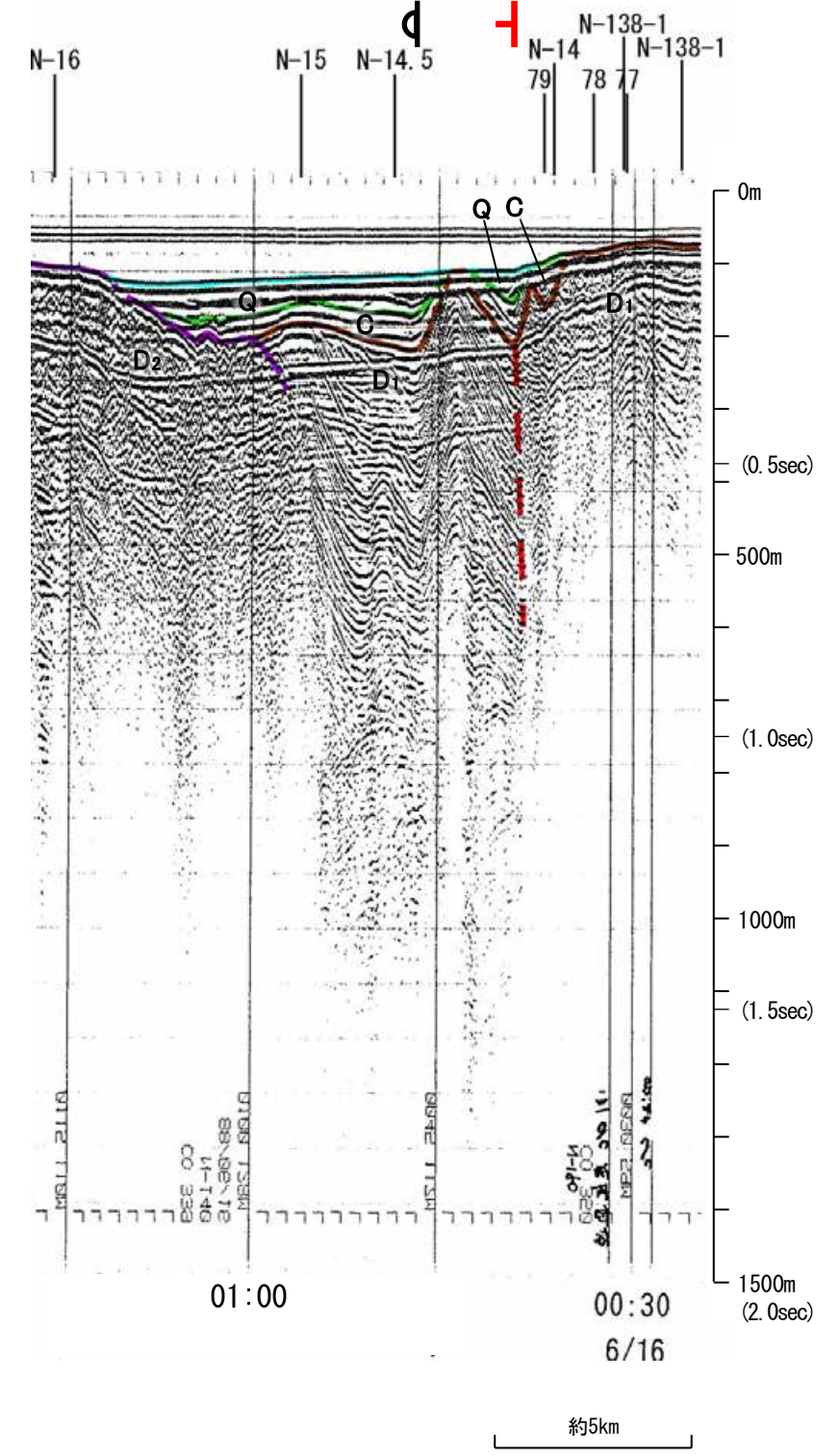
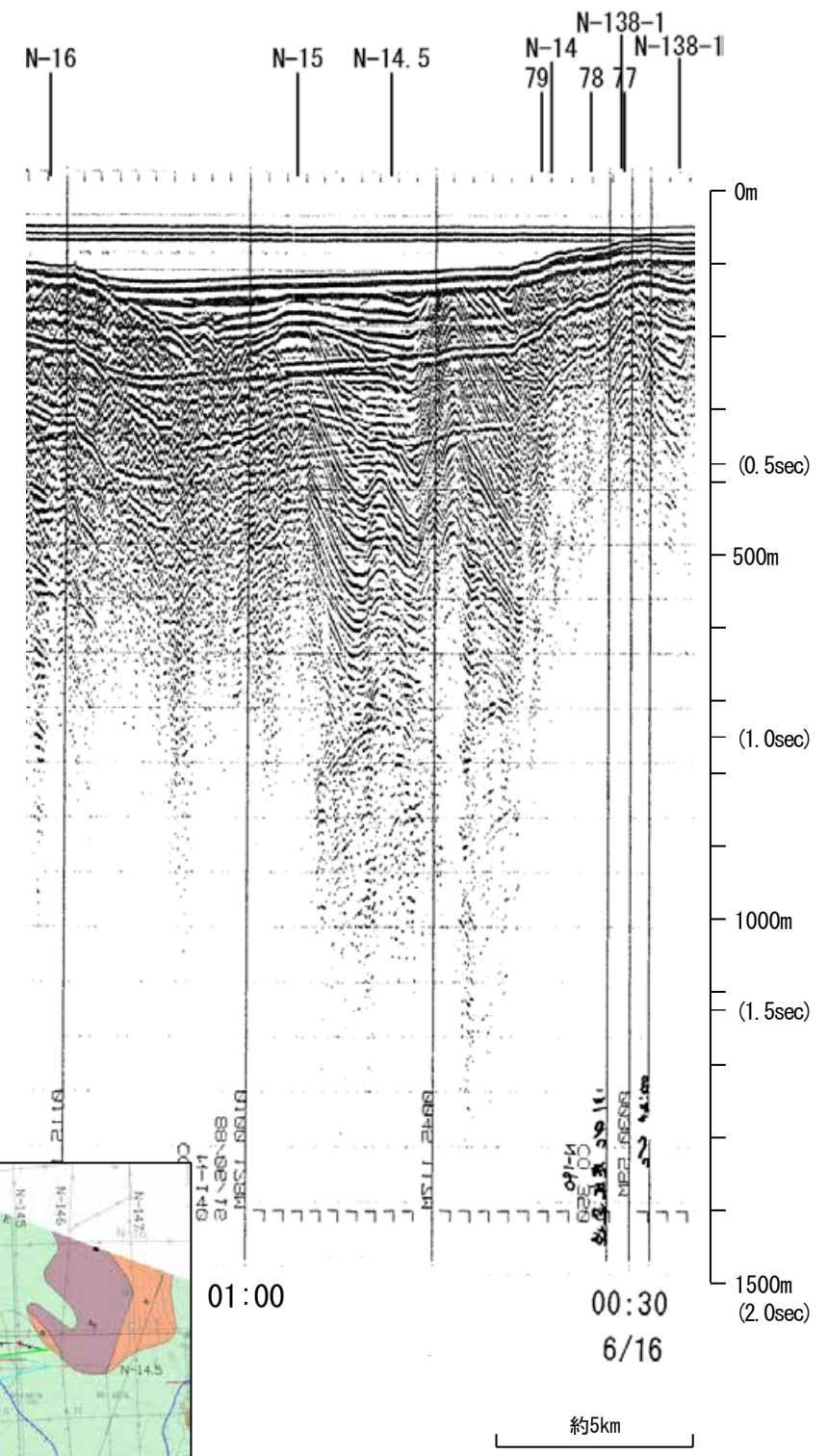
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-140

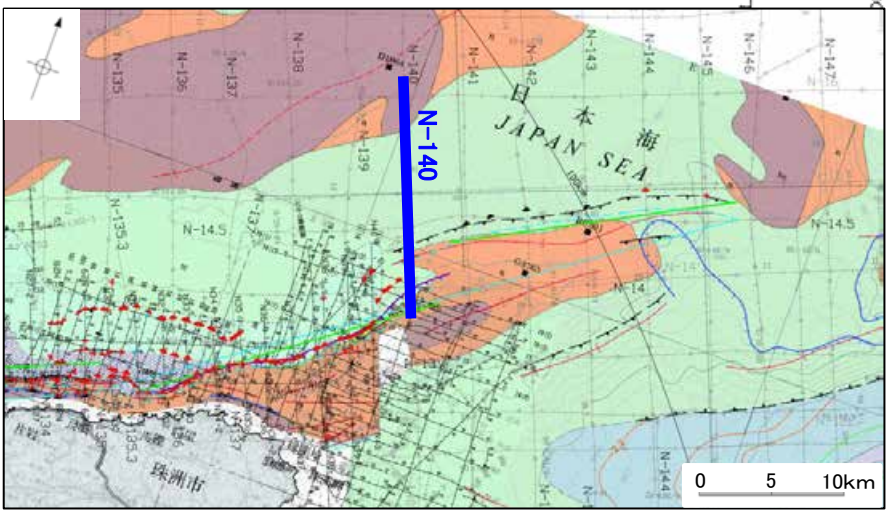
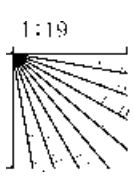
←NW SE→

←NW SE→

能登半島北部沿岸域断層帯

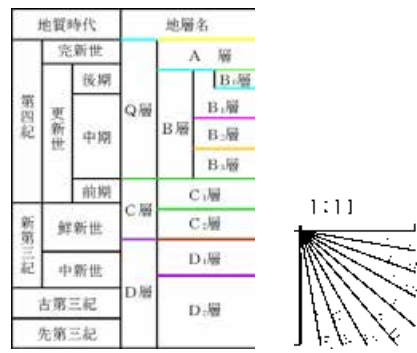
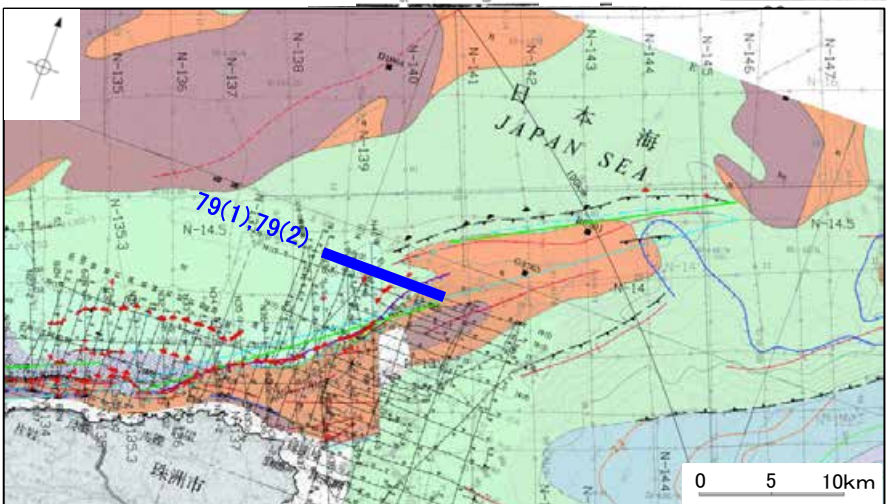
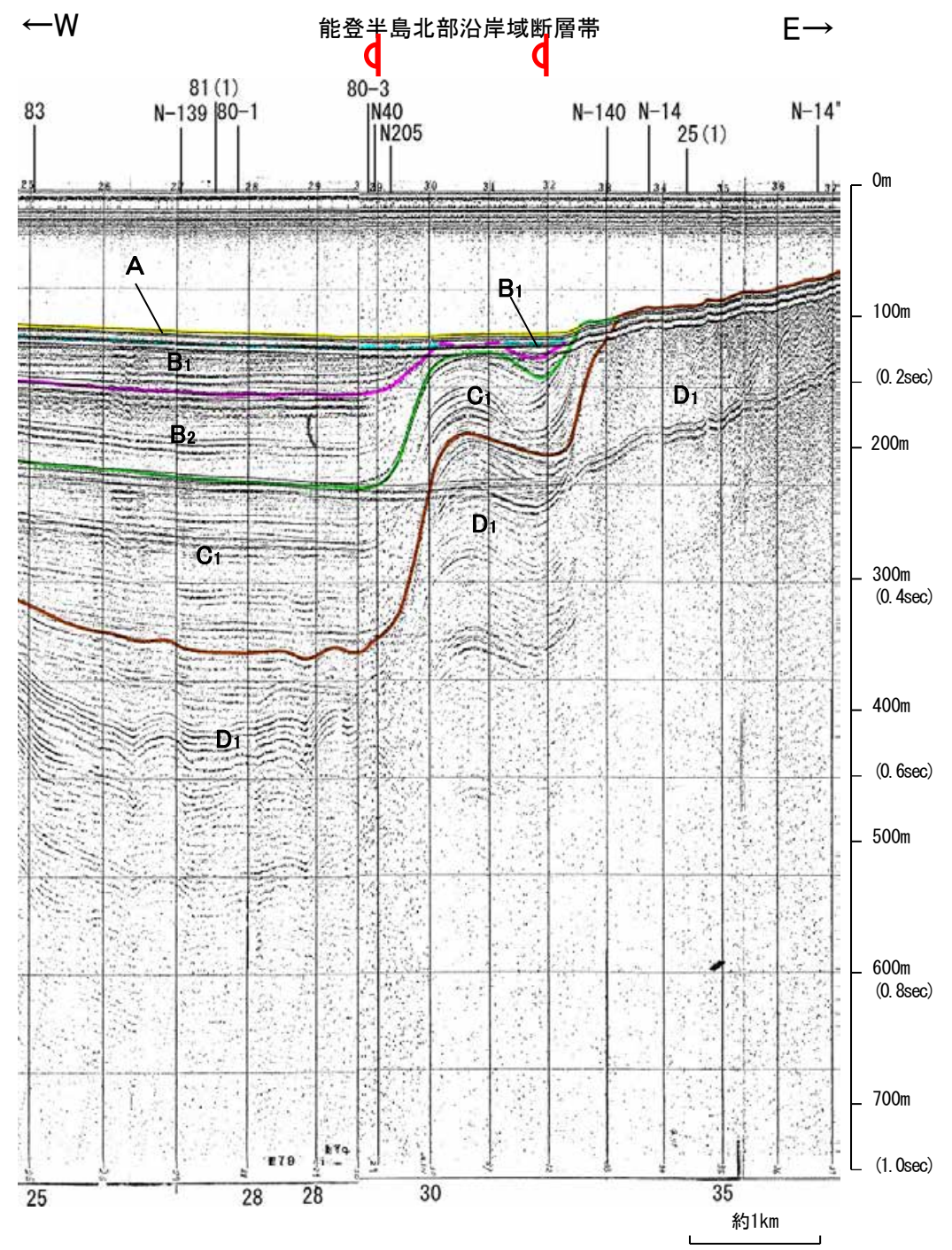
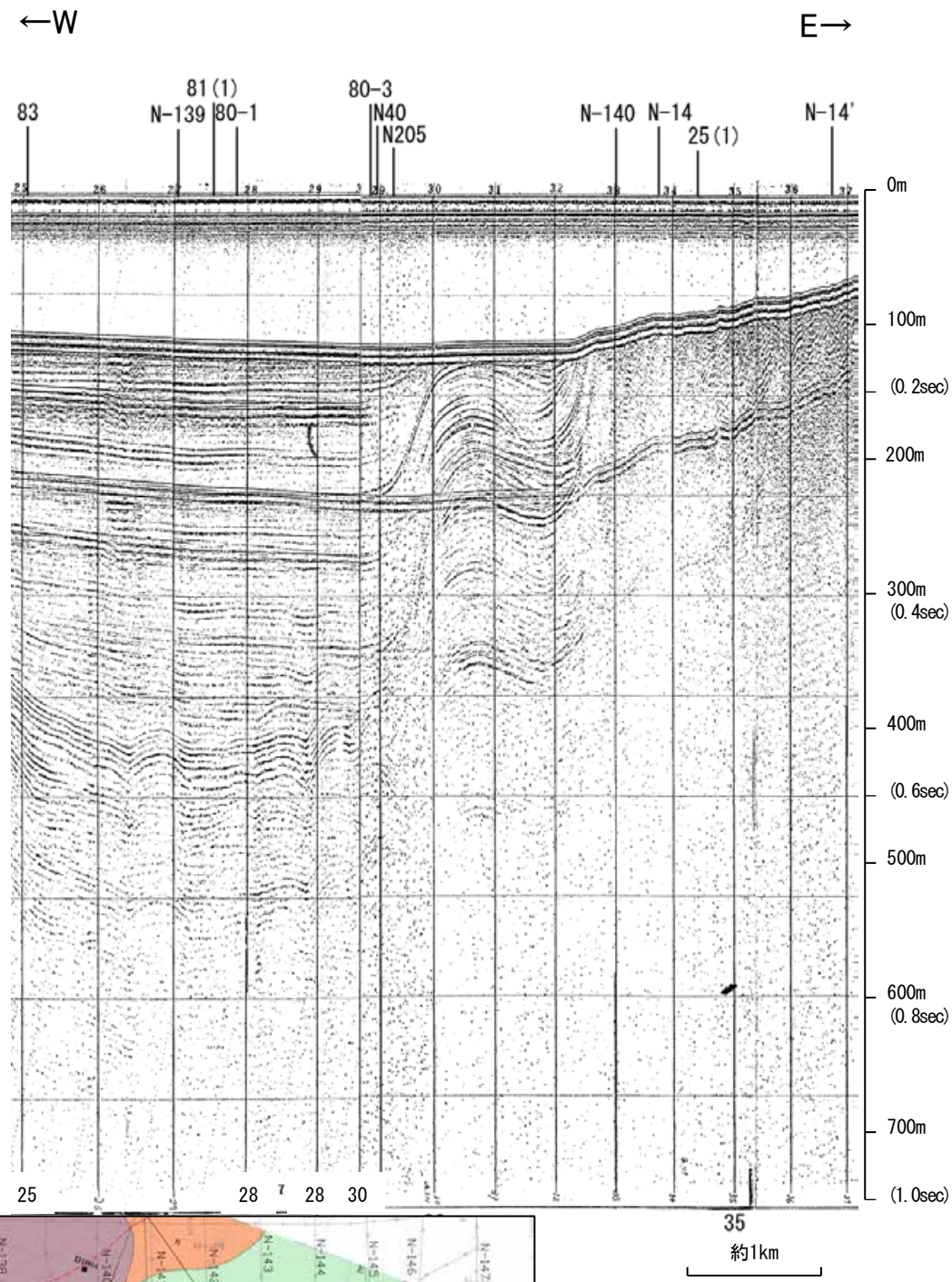


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
	更新世 中期	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層



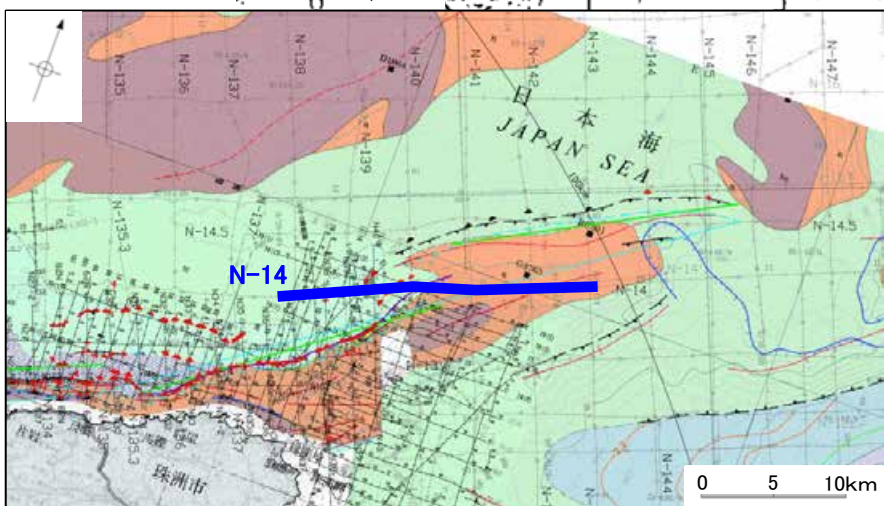
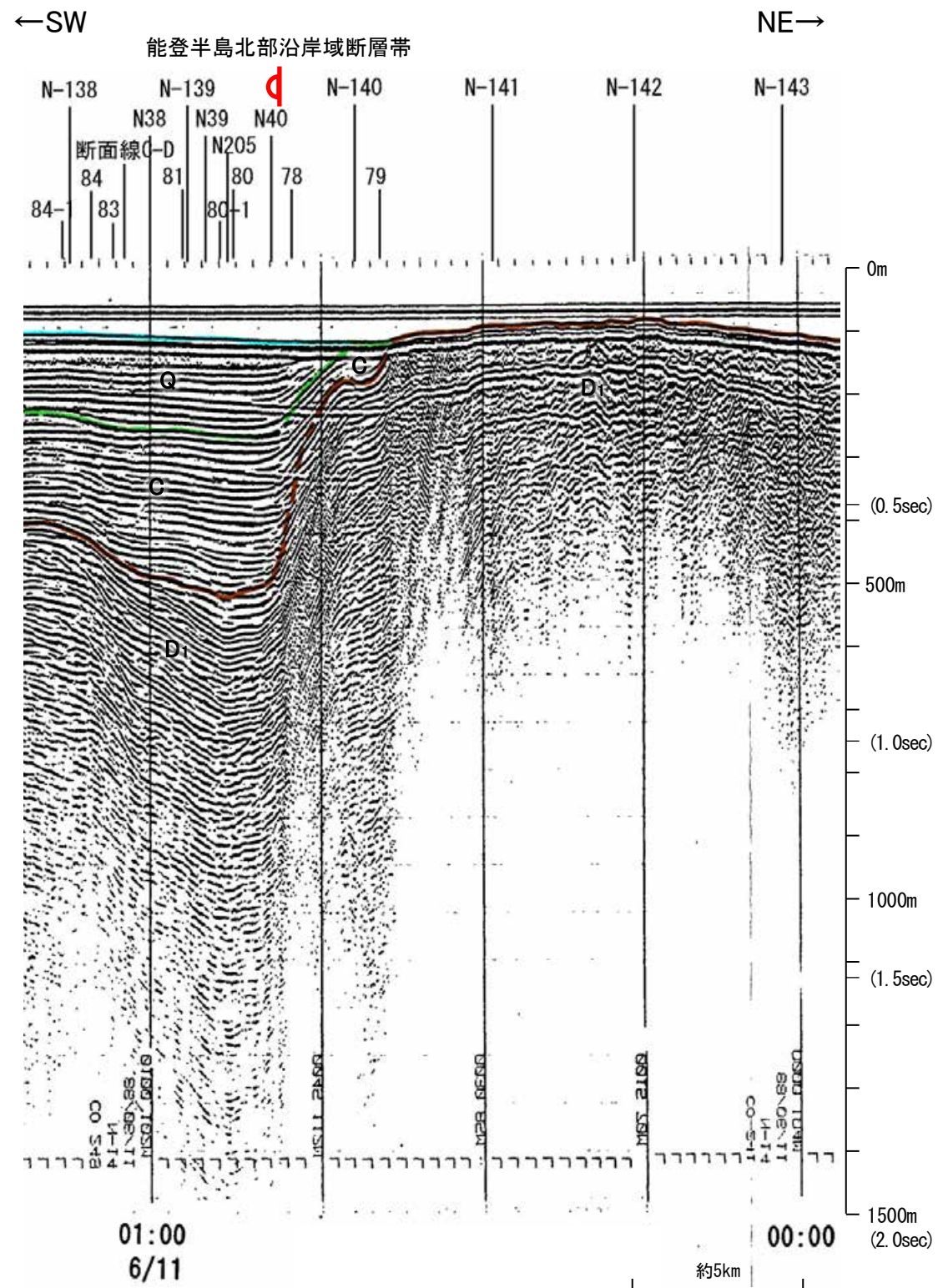
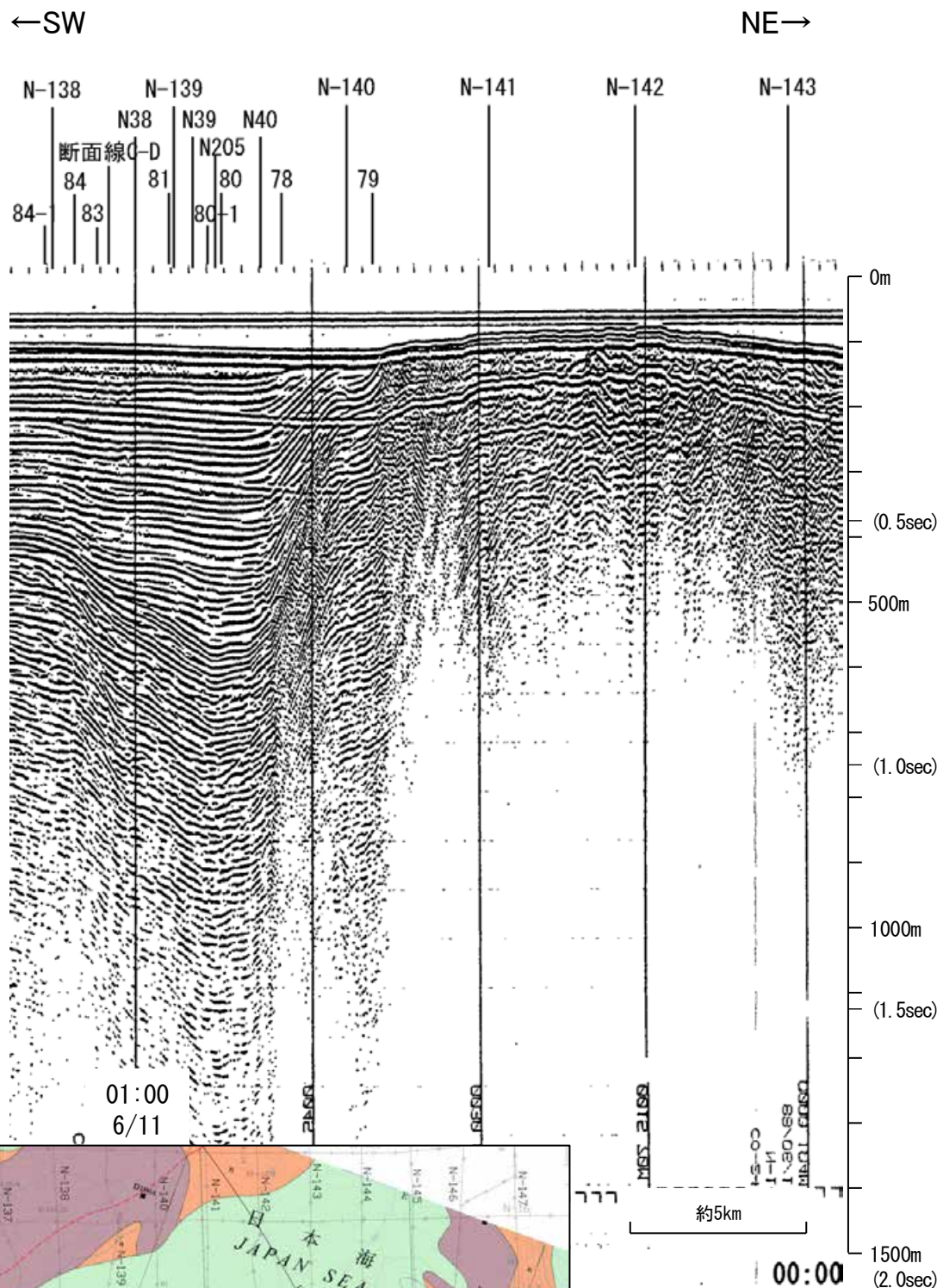
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 79(1),79(2)

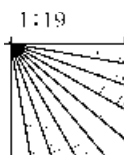


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-14



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
前期	B層	
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	C層
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

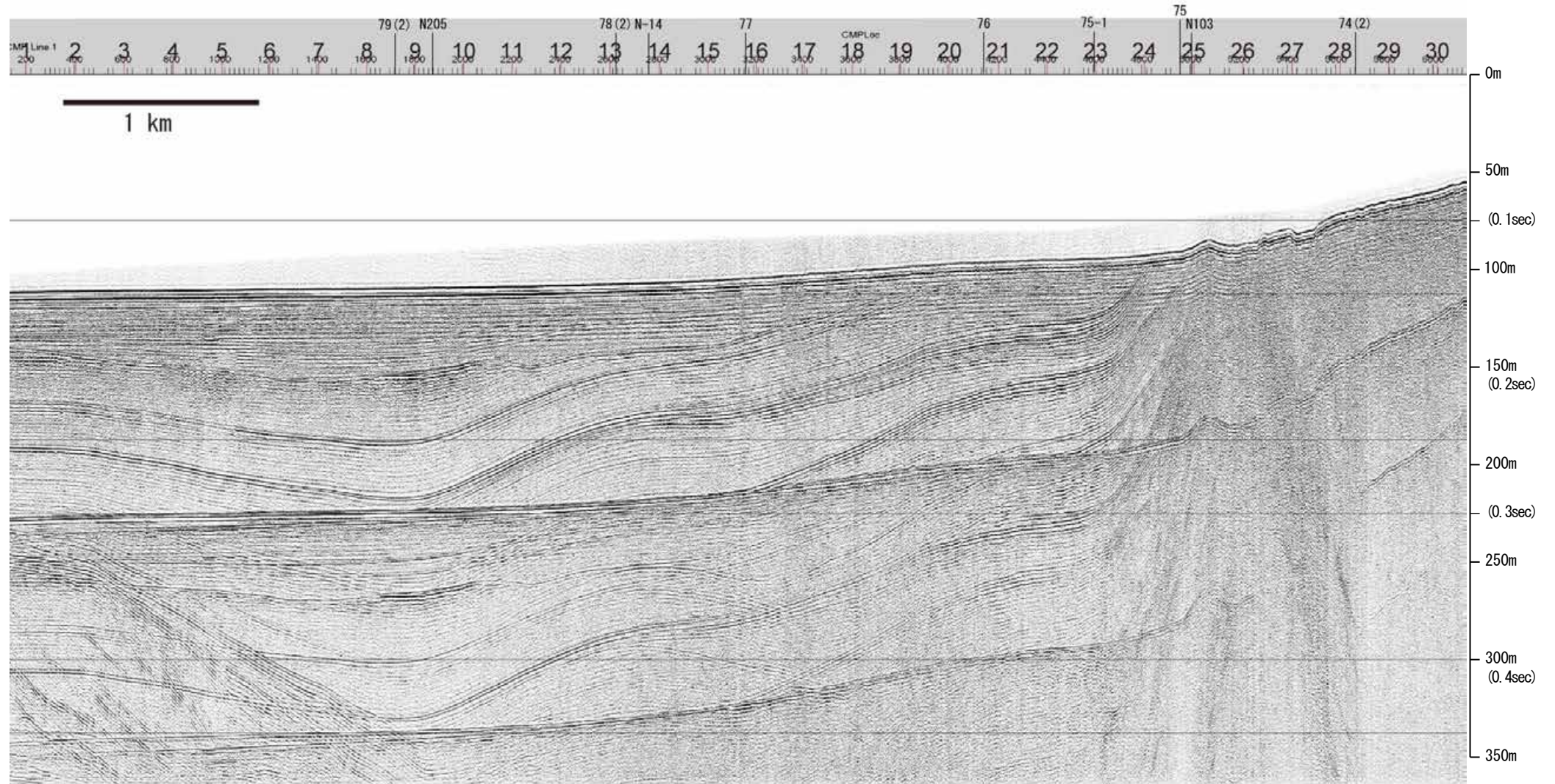


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

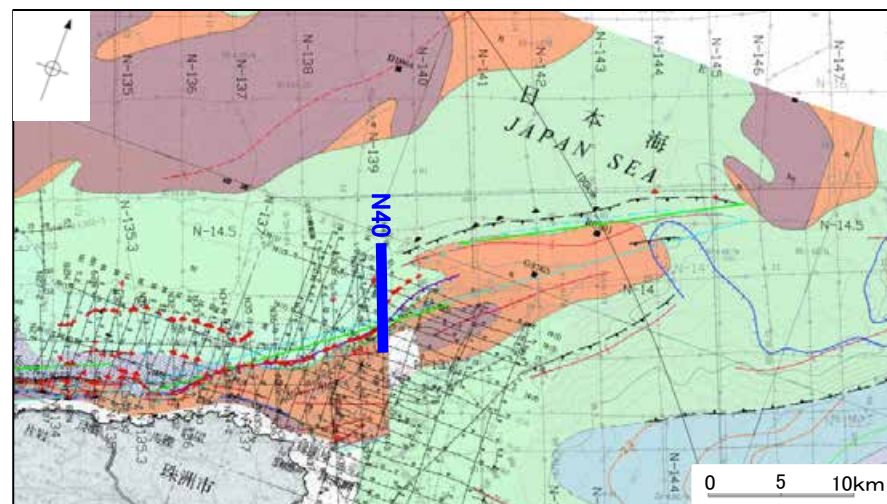
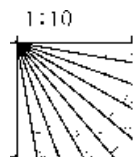
# 産総研ブーマー N40

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	

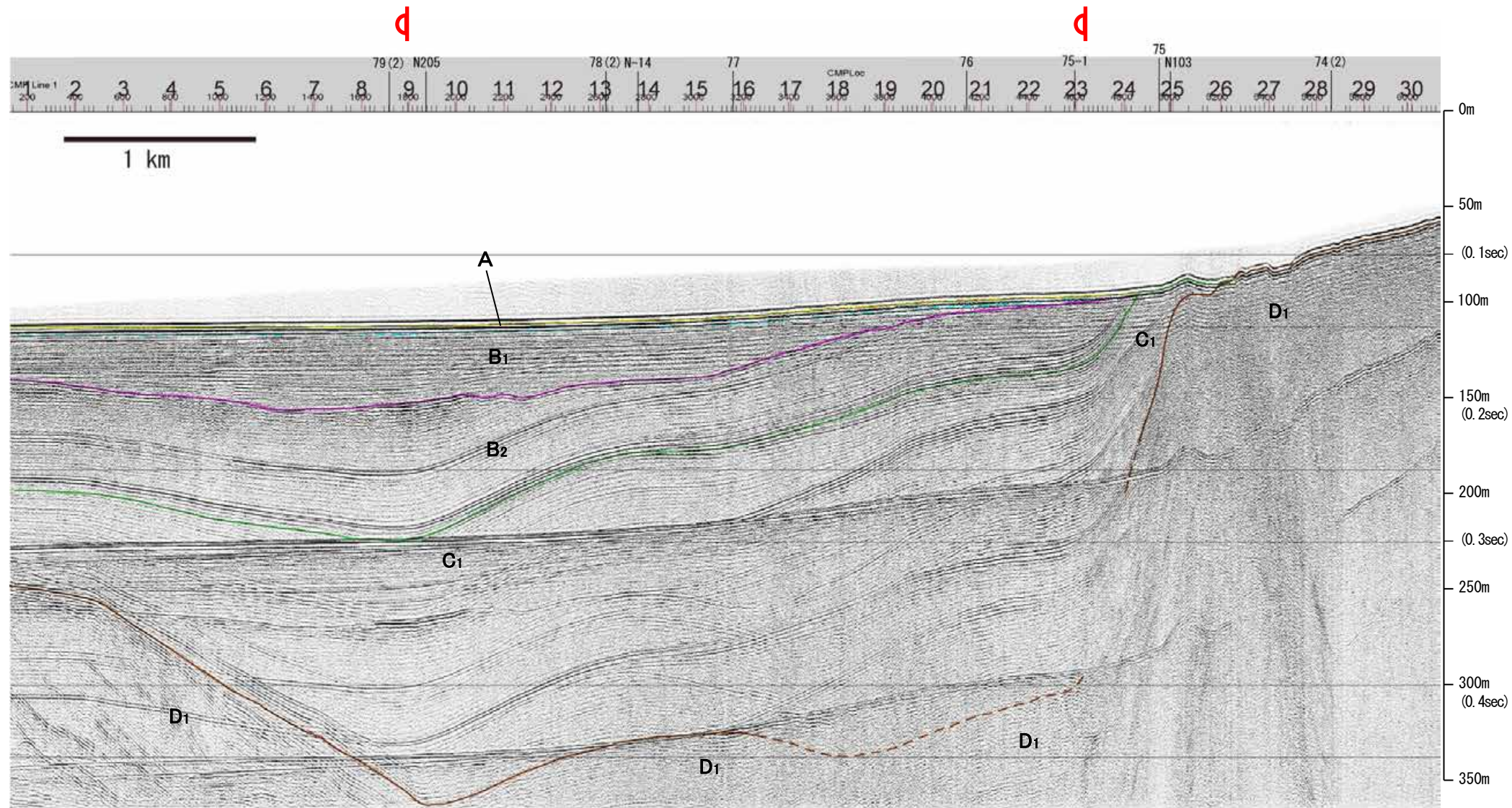


# 産総研ブーマー N40

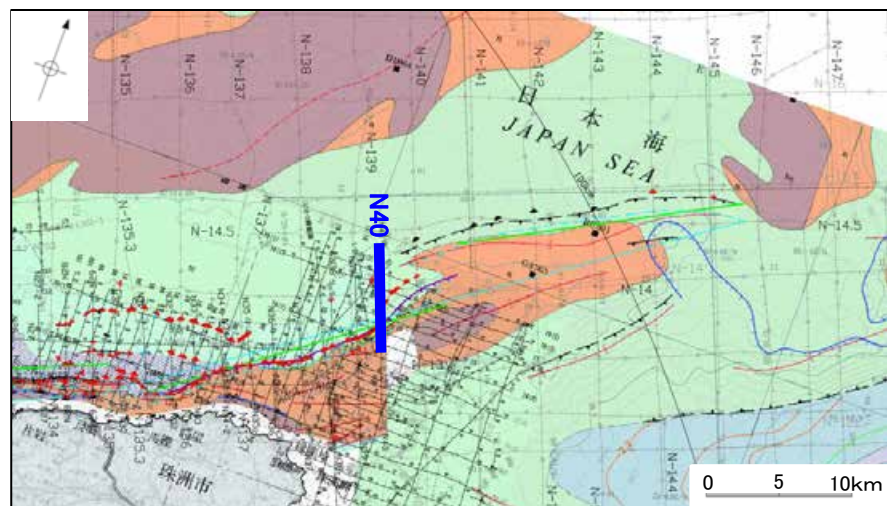
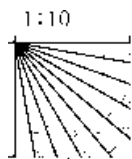
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
		B <sub>2</sub> 層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

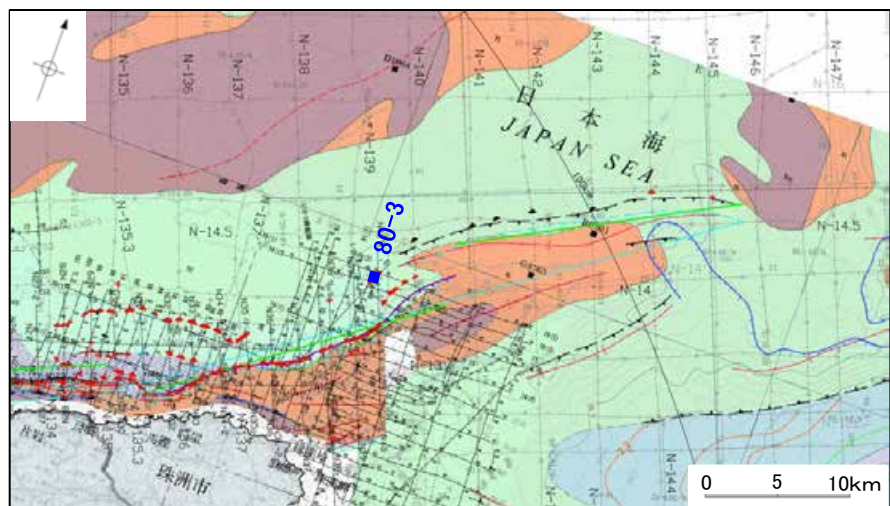
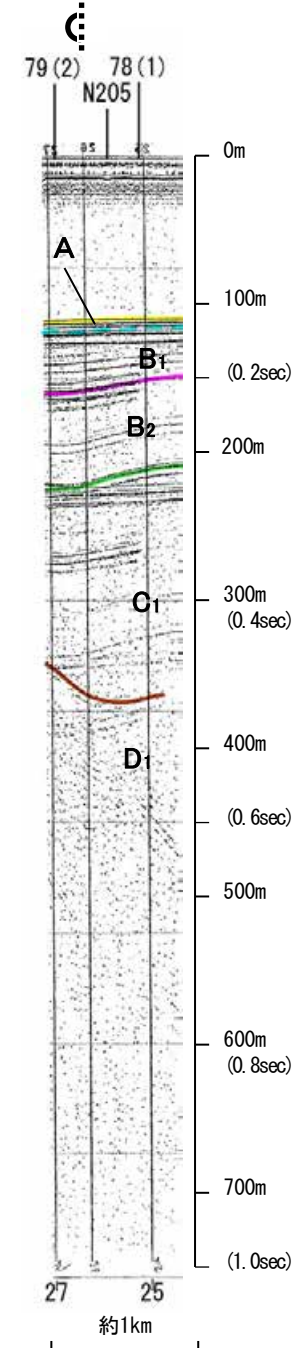
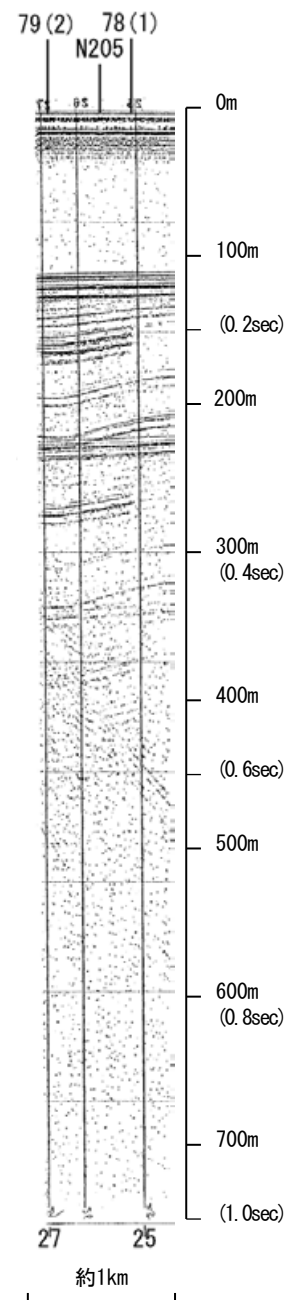


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

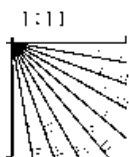
# 海上保安庁スパーカー 80-3

←N S→

←N S→  
能登半島北部沿岸域断層帯



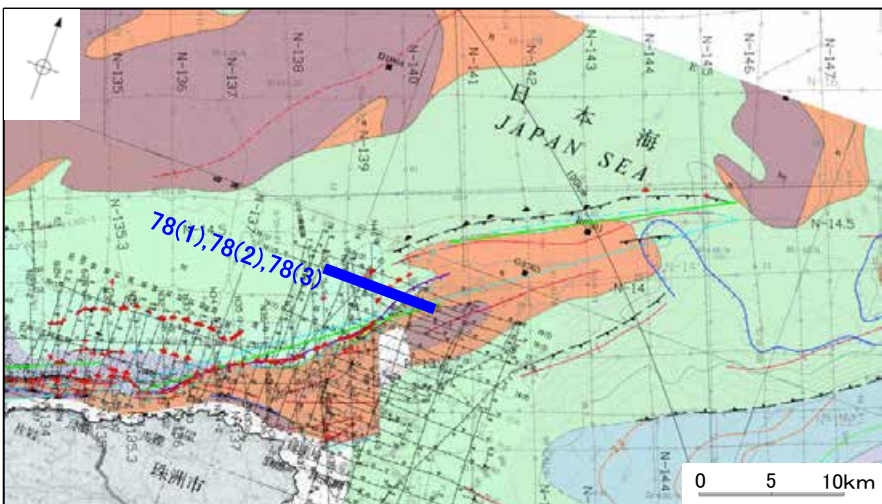
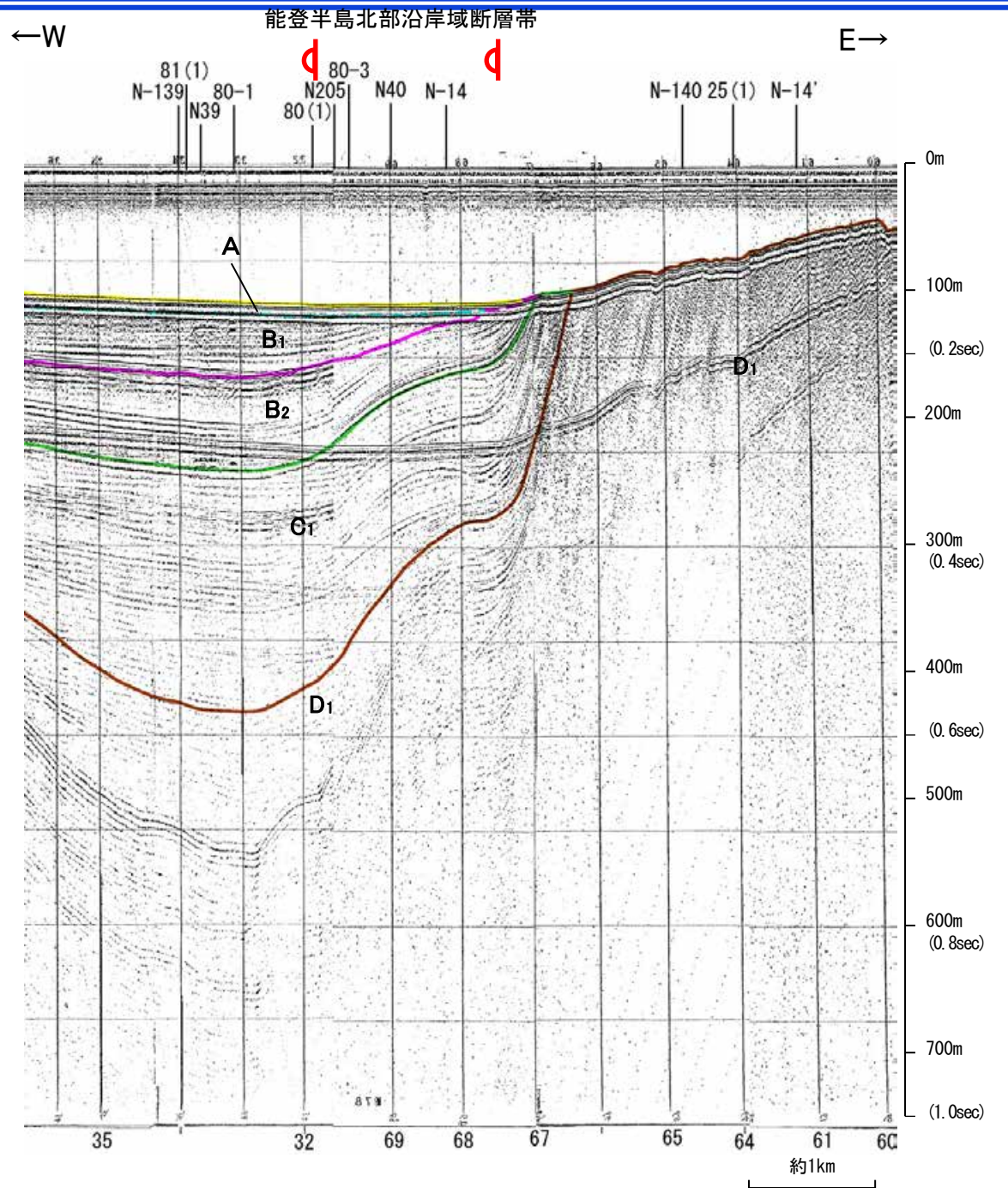
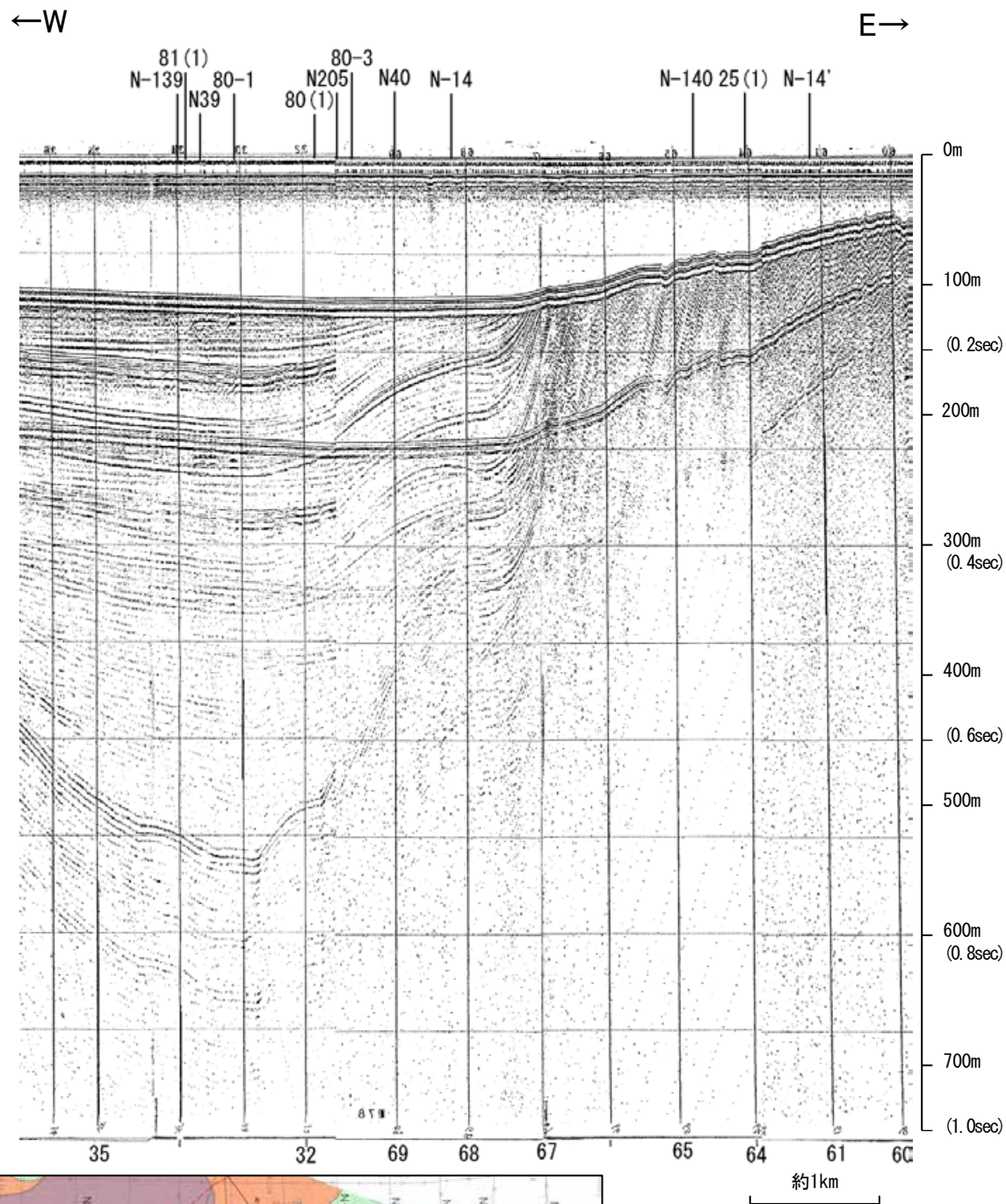
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
	更新世	B層	B <sub>1</sub> 層
			B <sub>2</sub> 層
	前期	C層	
第三紀	鮮新世	D層	C <sub>1</sub> 層
中新世	C <sub>2</sub> 層		
古第三紀			D <sub>1</sub> 層
先第三紀			D <sub>2</sub> 層



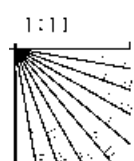
・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 海上保安庁スパーカー 78(1),78(2),78(3)



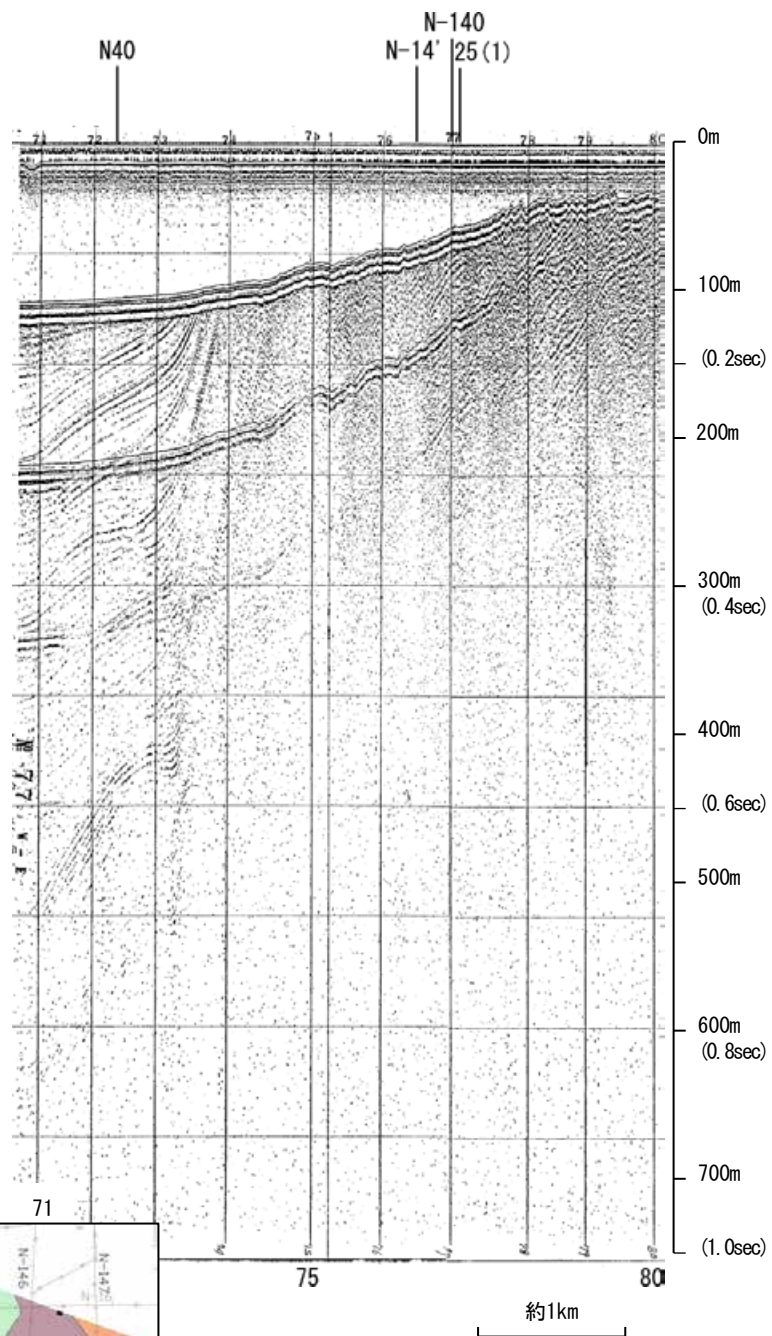
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
B層		
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



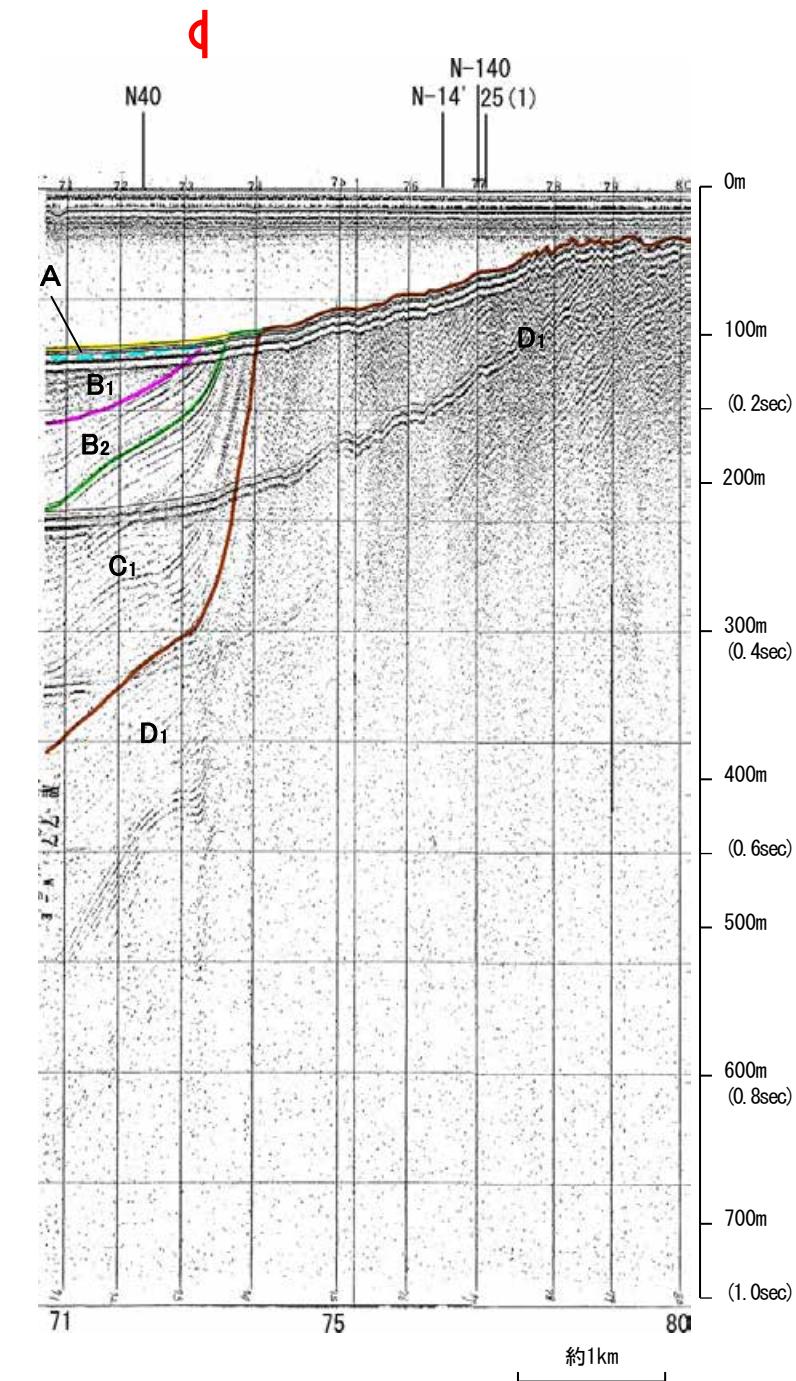
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 77

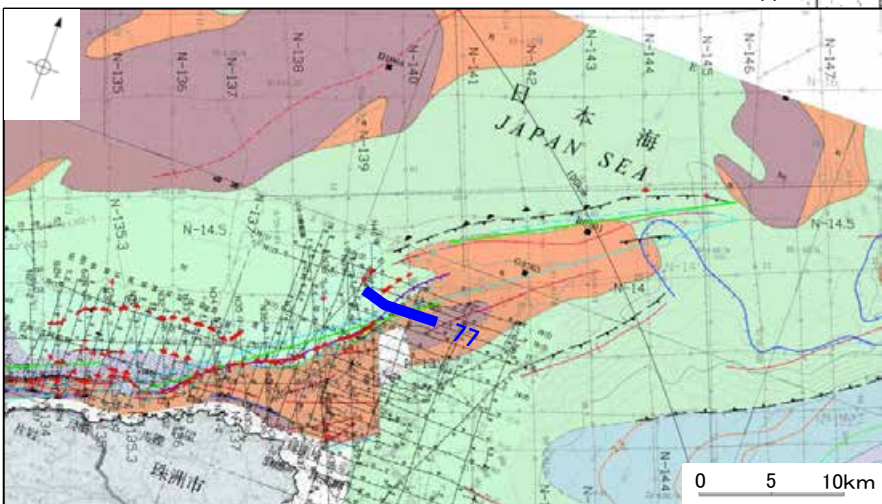
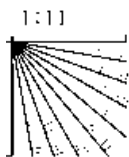
←W E→



←W E→  
能登半島北部沿岸域断層帯

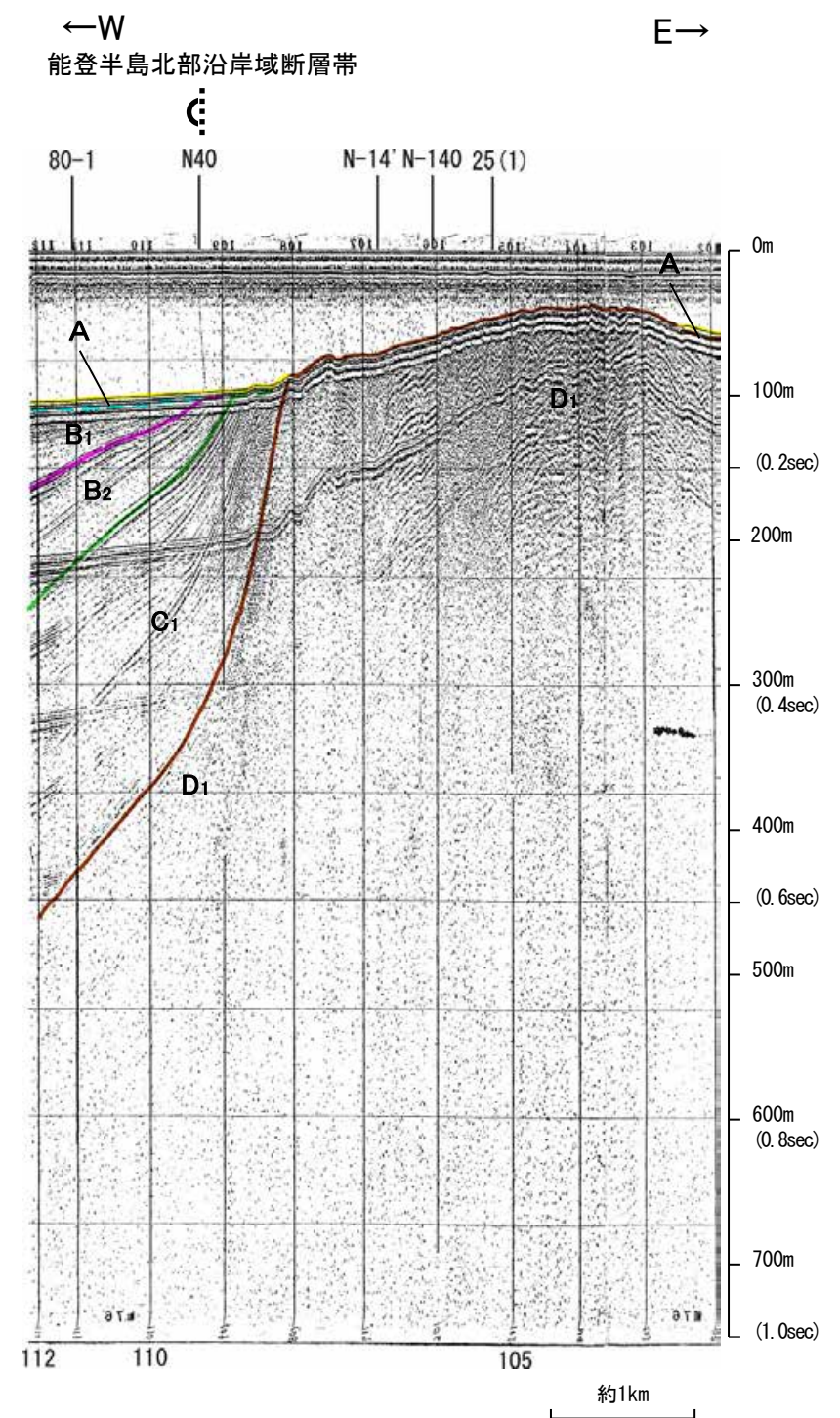
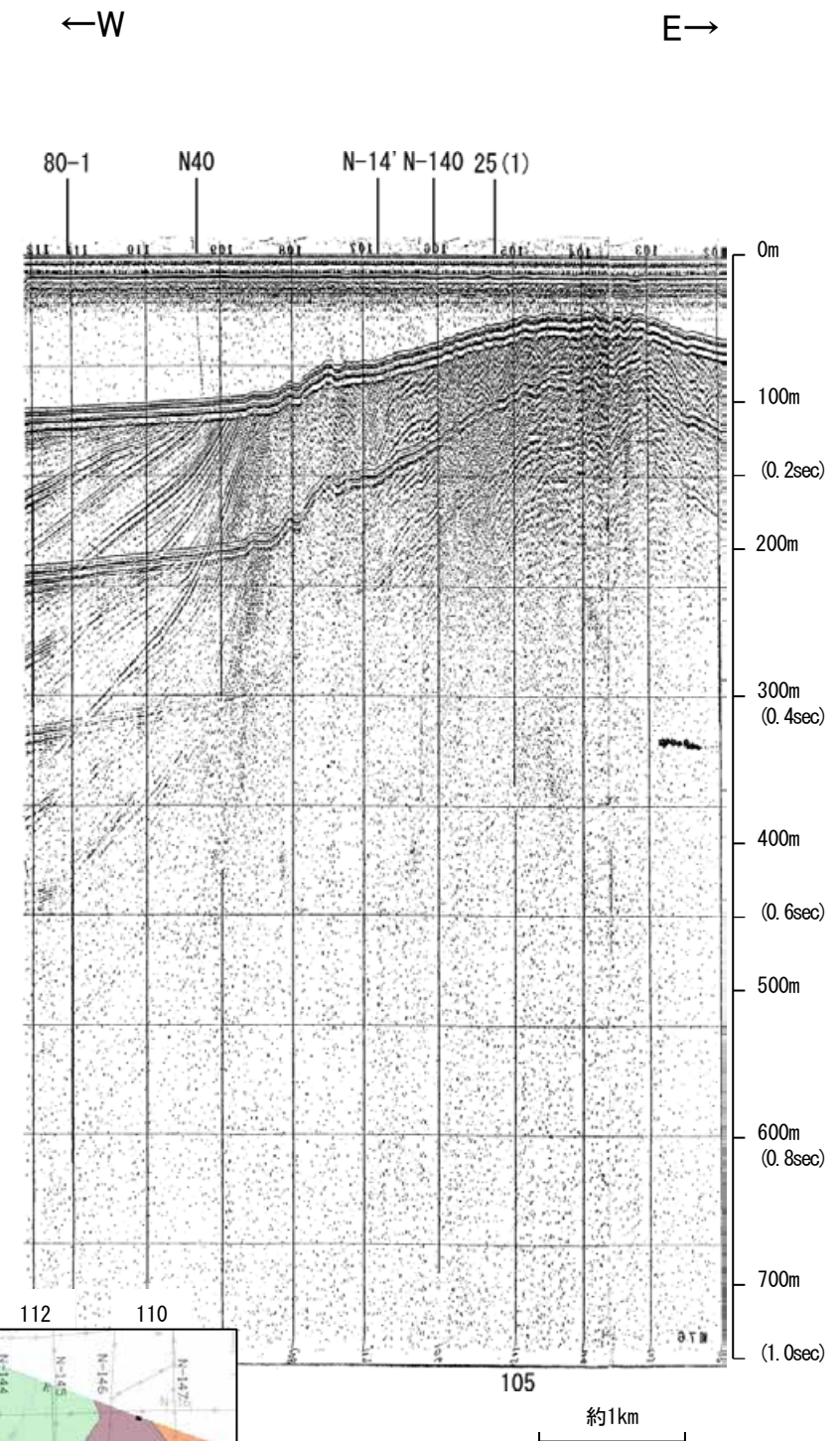


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
前期	B <sub>3</sub> 層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	C <sub>1</sub> 層
古第三紀		D層
	先第三紀	D <sub>1</sub> 層

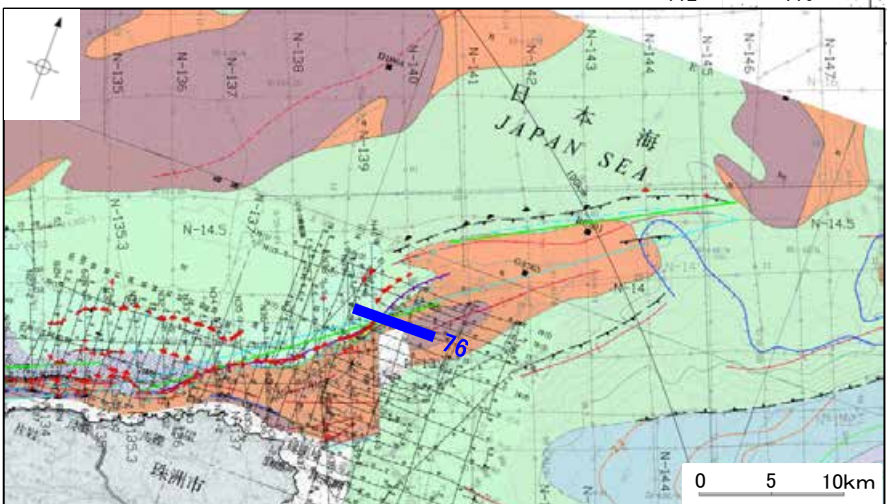
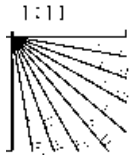


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 76

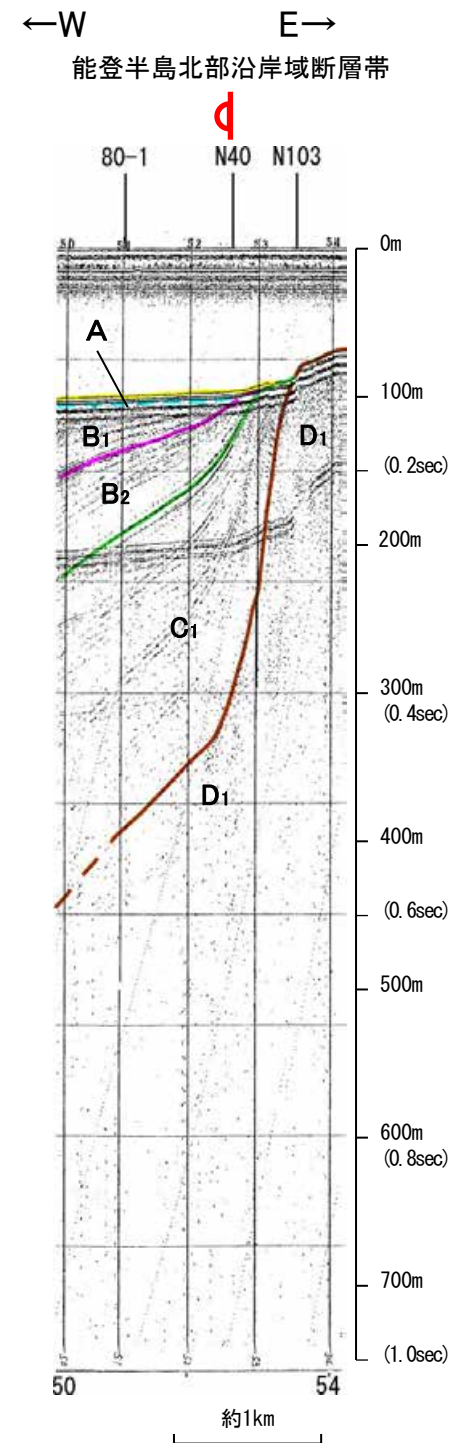
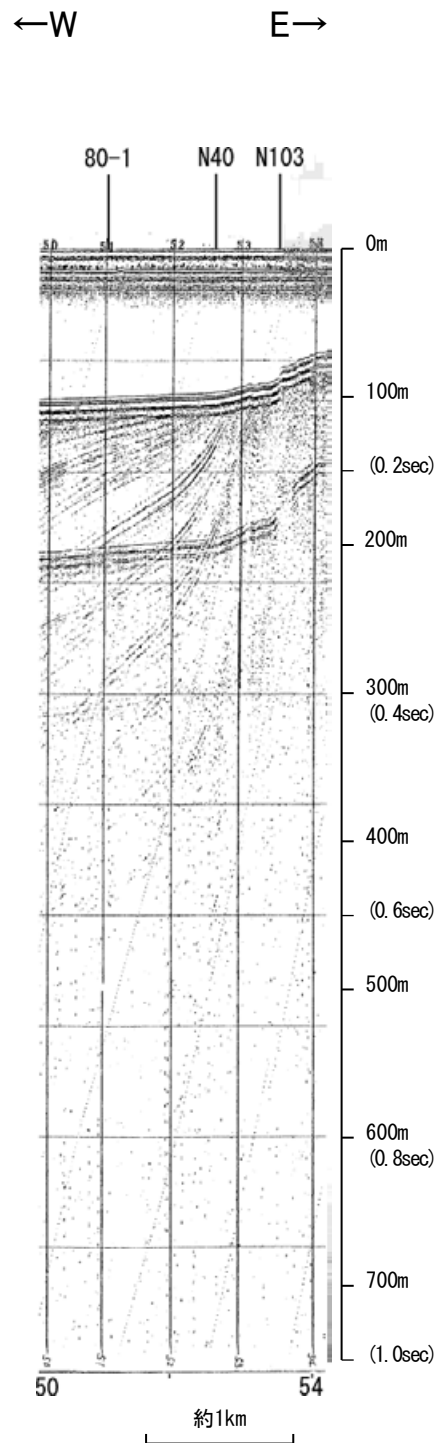


地質時代		地層名		
第四紀	完新世	A層	A層	
	更新世	B層	B層	
		後期	B <sub>1</sub> 層	B <sub>1</sub> 層
		中期	B <sub>2</sub> 層	B <sub>2</sub> 層
	前期	B <sub>3</sub> 層	B <sub>3</sub> 層	
第三紀	鮮新世	C層	C層	
	中新世	C <sub>1</sub> 層	C <sub>1</sub> 層	
		C <sub>2</sub> 層	C <sub>2</sub> 層	
古第三紀	D層	D層		
先第三紀	D <sub>1</sub> 層	D <sub>1</sub> 層		

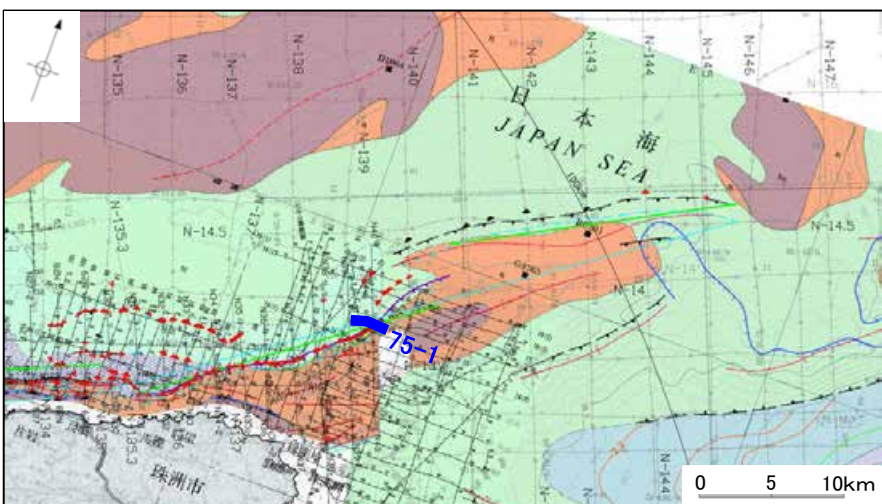
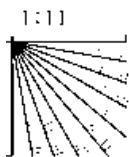


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 75-1

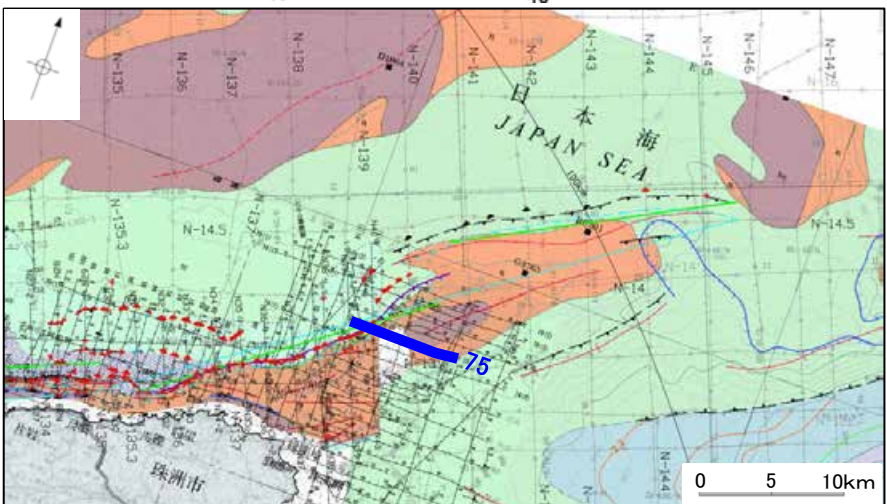
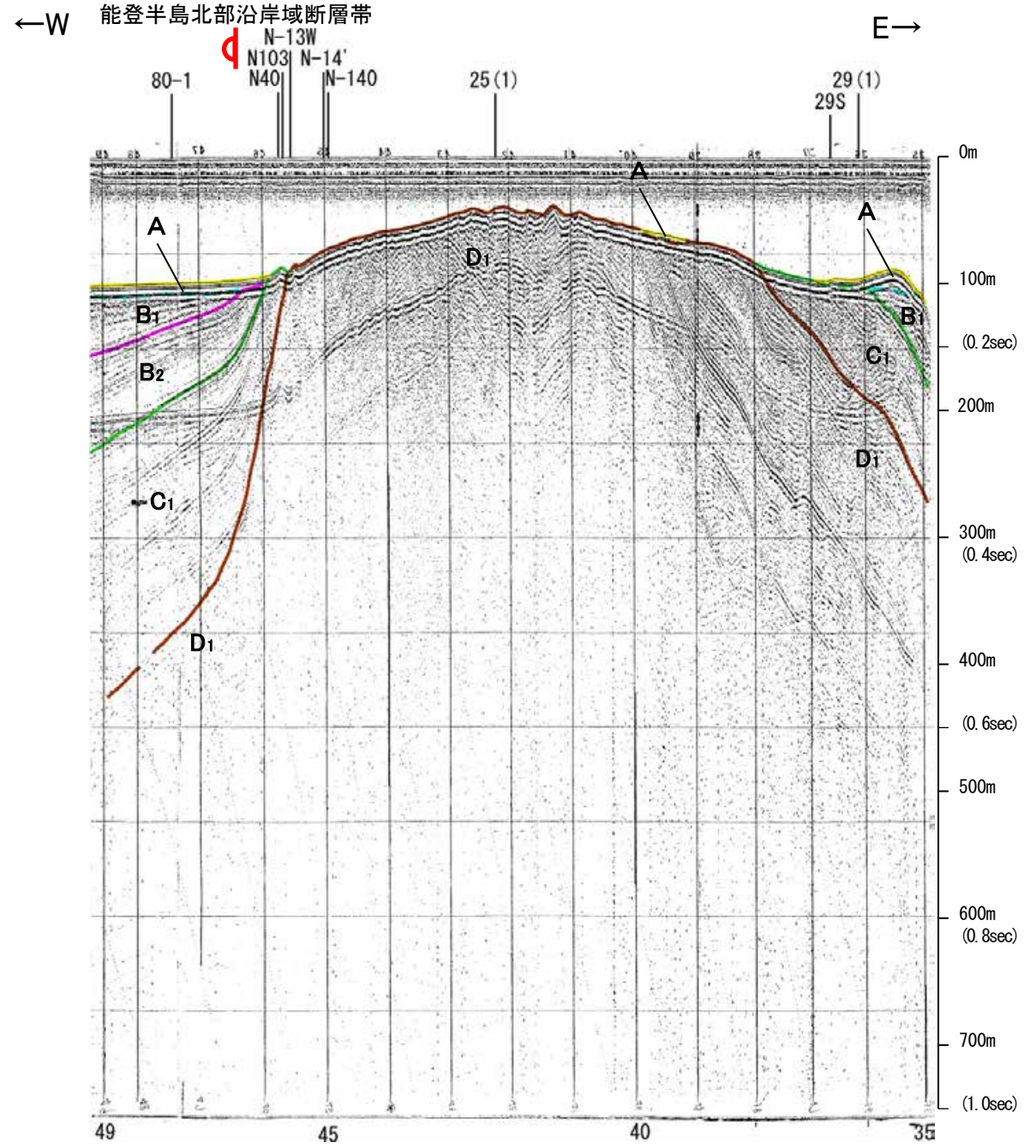
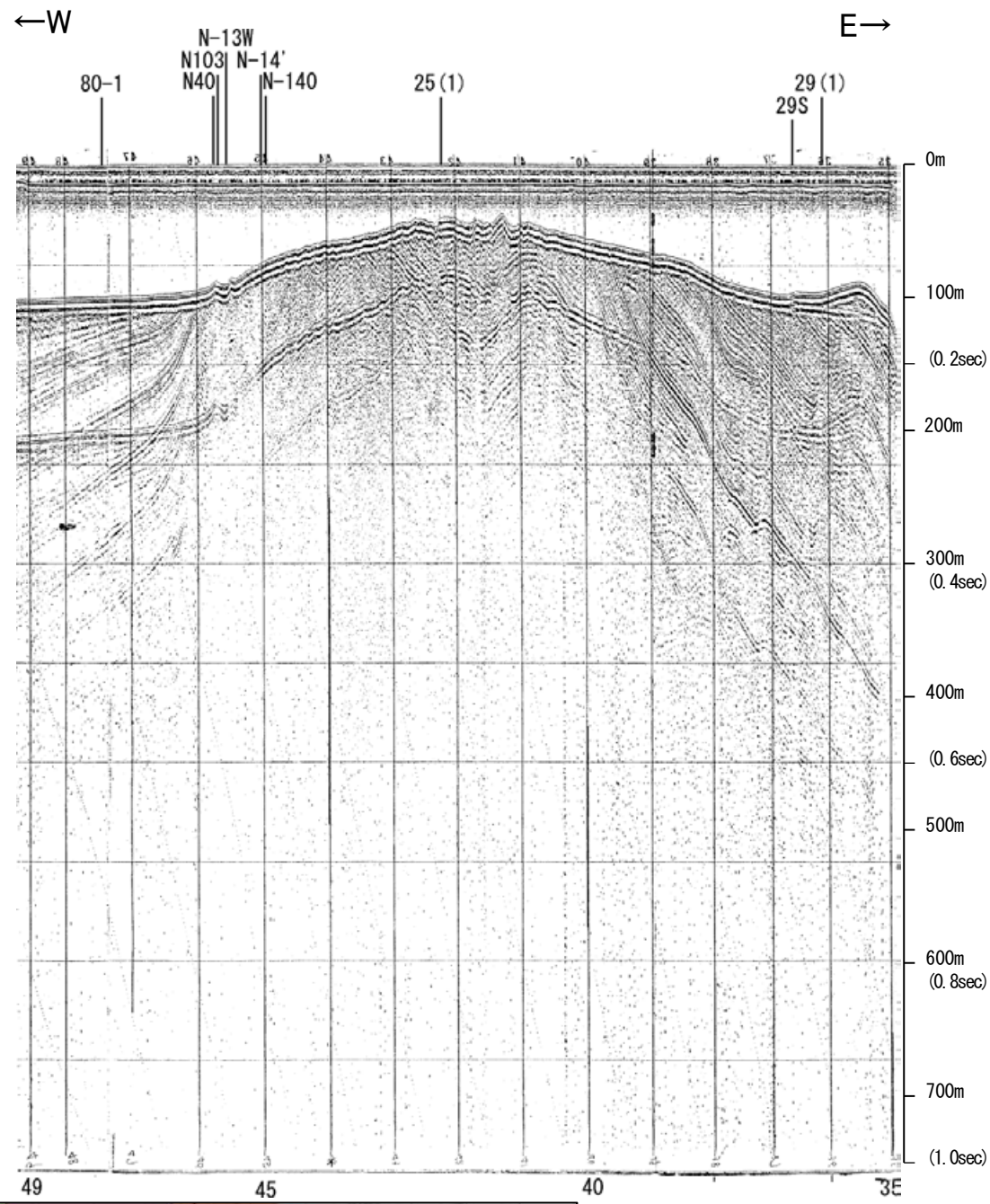


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	更新世	B <sub>2</sub> 層
中期		B <sub>3</sub> 層
前期	C層	
	鮮新世	C <sub>1</sub> 層
新第三紀	中新世	D層
	古第三紀	D <sub>1</sub> 層
先第三紀	D <sub>2</sub> 層	

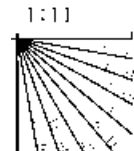


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 75

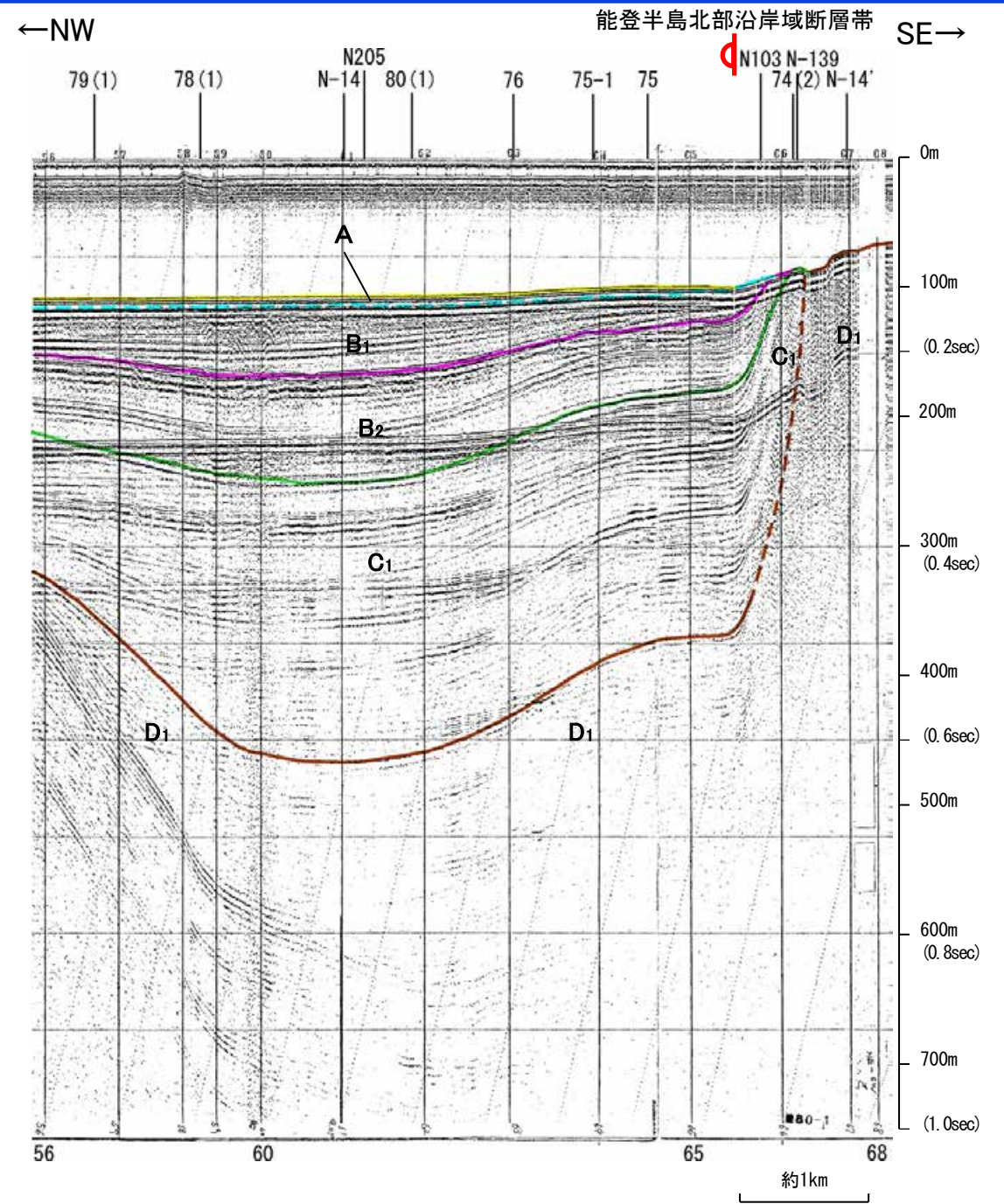
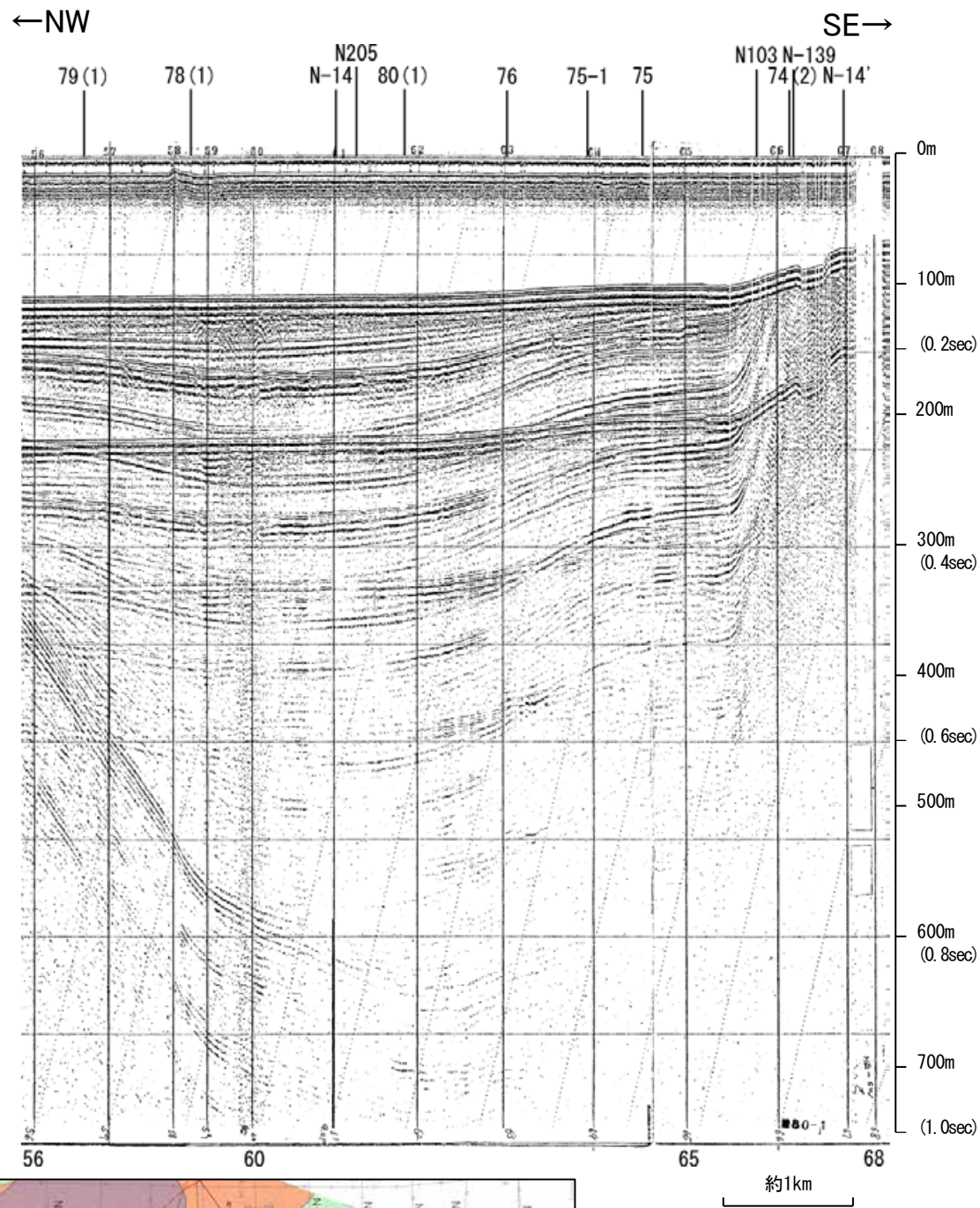


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B <sub>1</sub> 層 B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

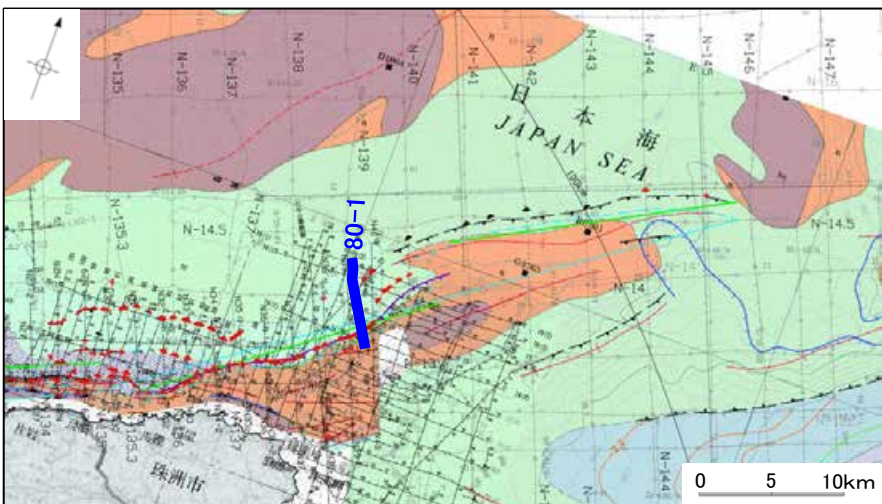


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

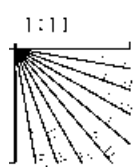
# 海上保安庁スパーカー 80-1



能登半島北部沿岸域断層帯

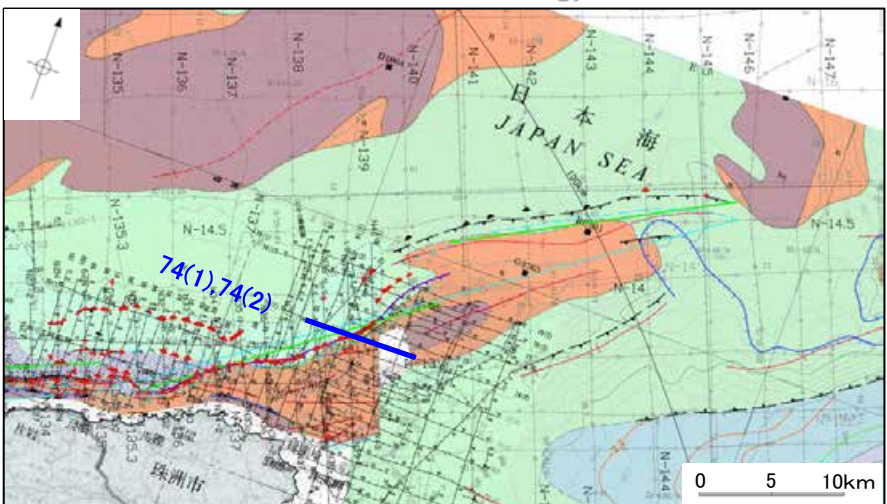
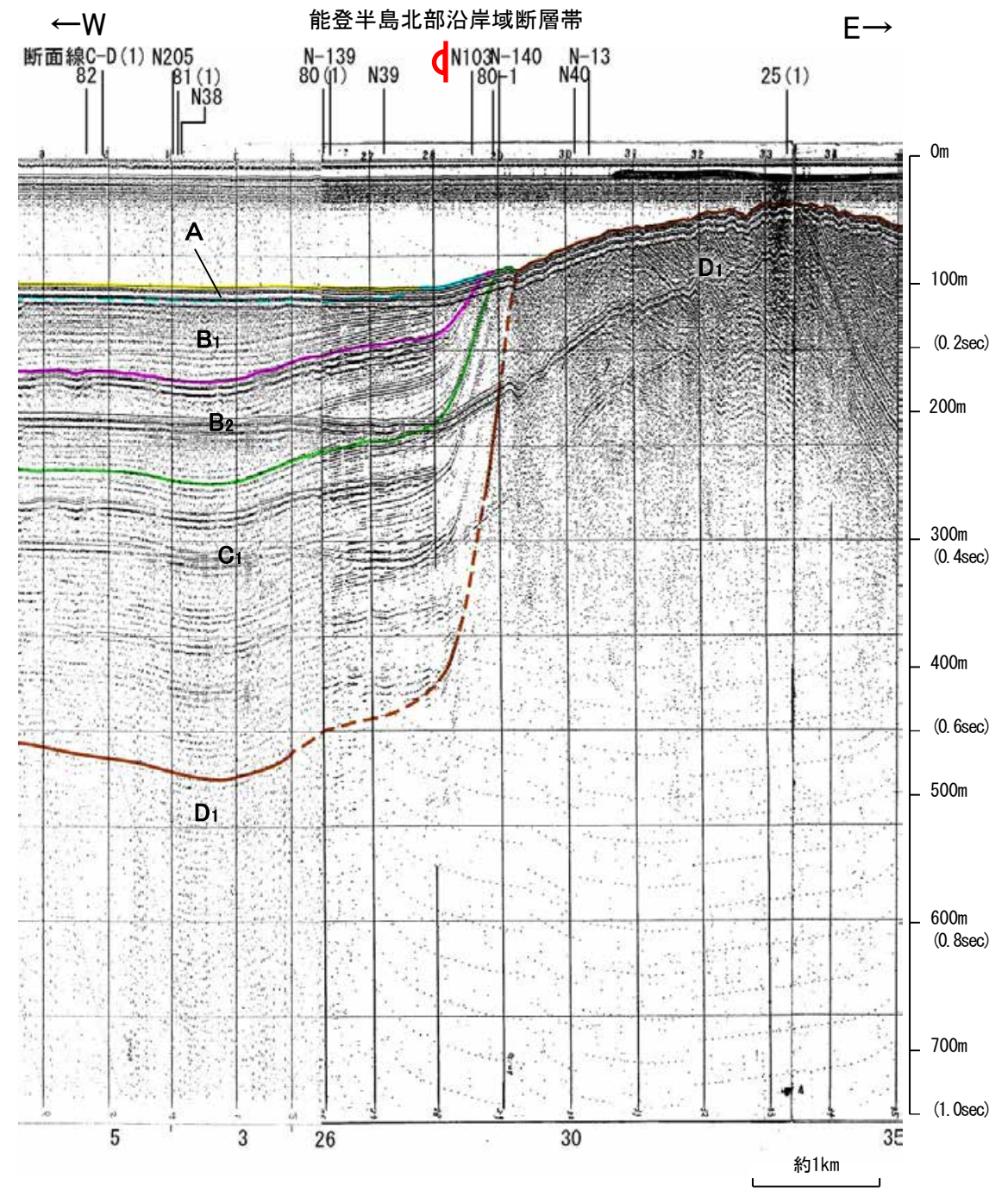
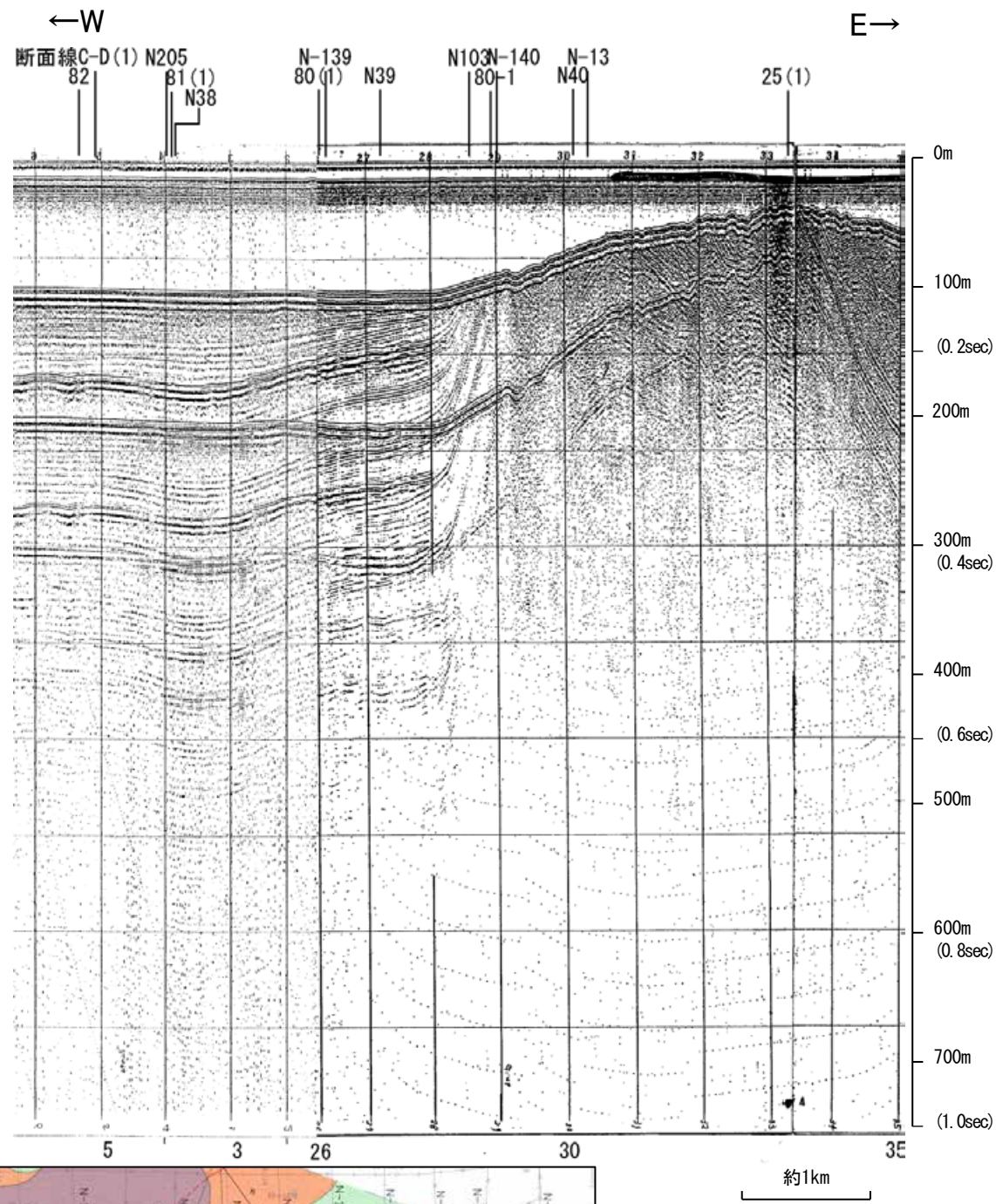


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
B層		
前期	C層	
	C層	
新第三紀	D層	
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 74(1),74(2)



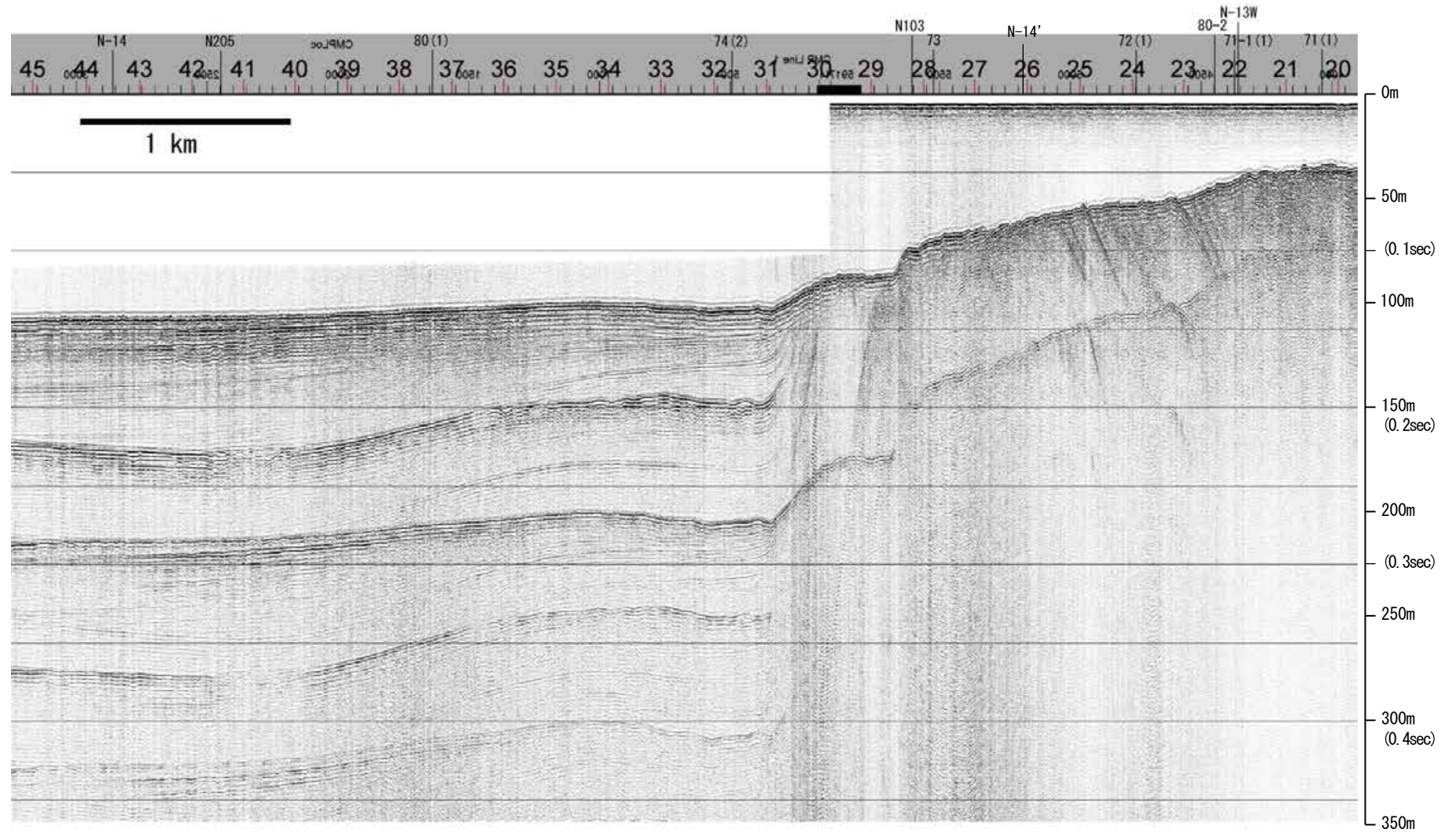
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
前期	B層	
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	D層

この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

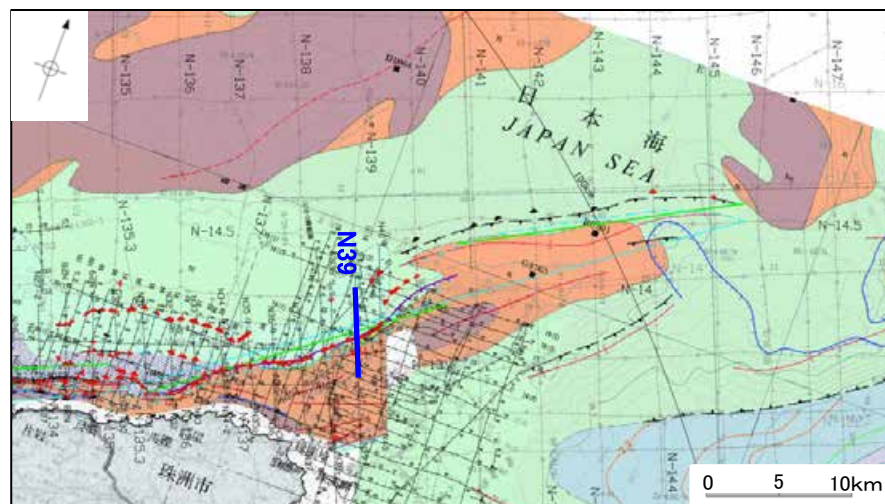
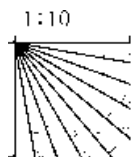
# 産総研ブーマー N39

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	



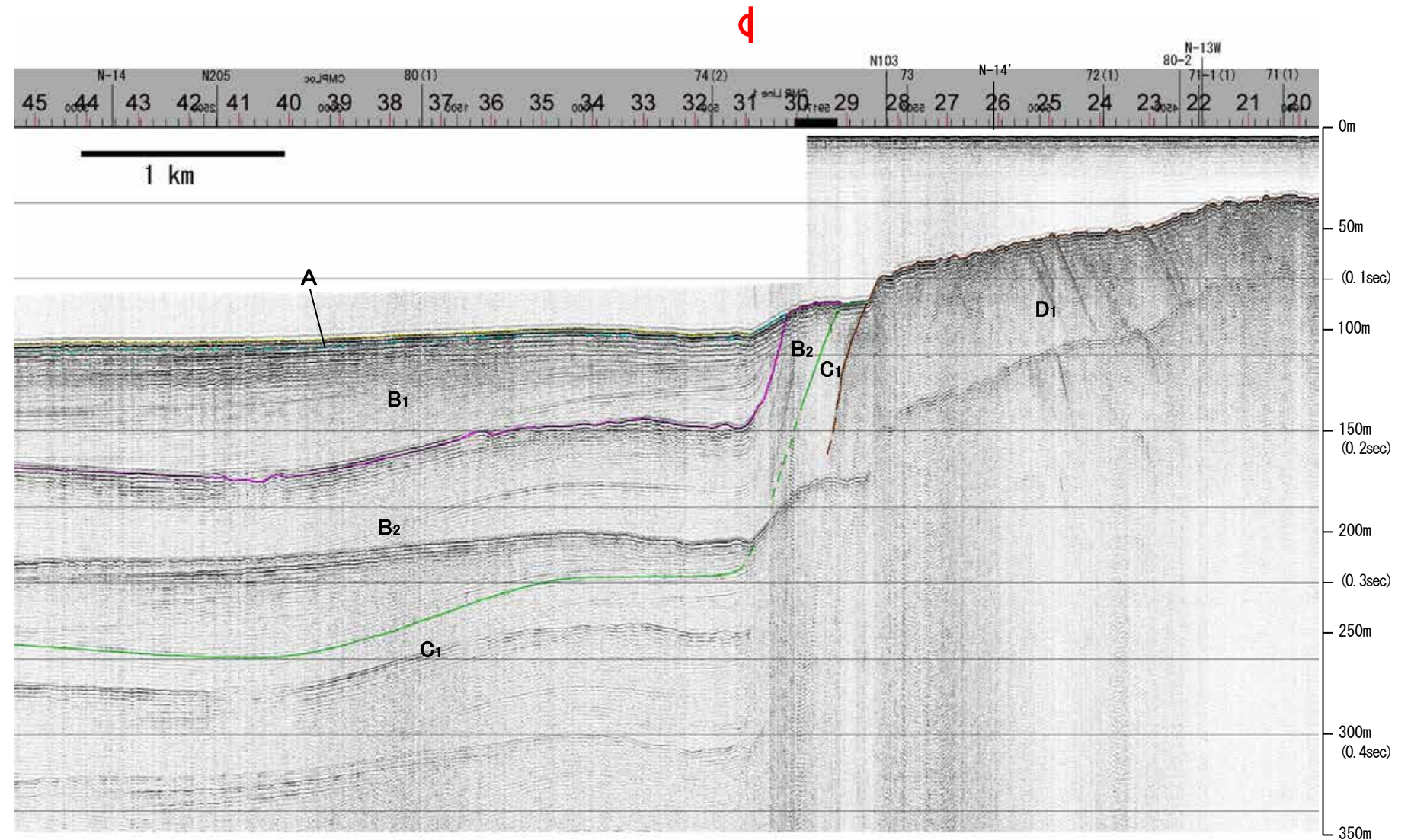


# 産総研ブーマー N39

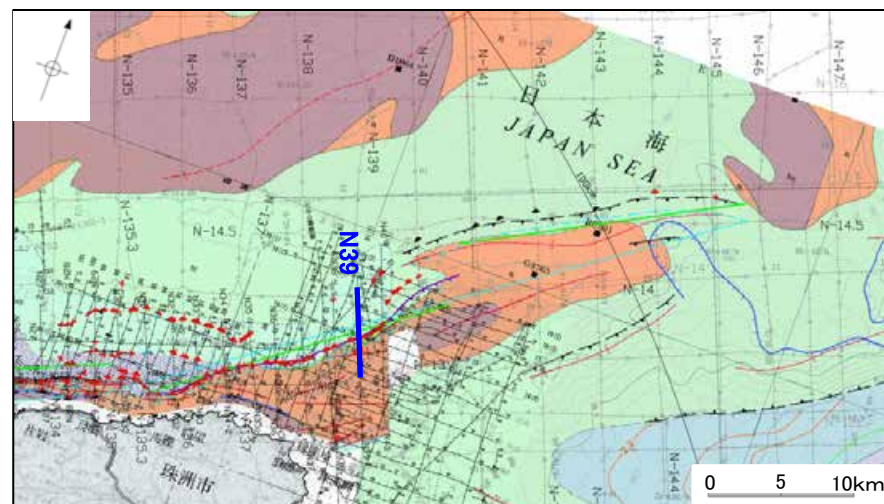
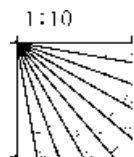
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

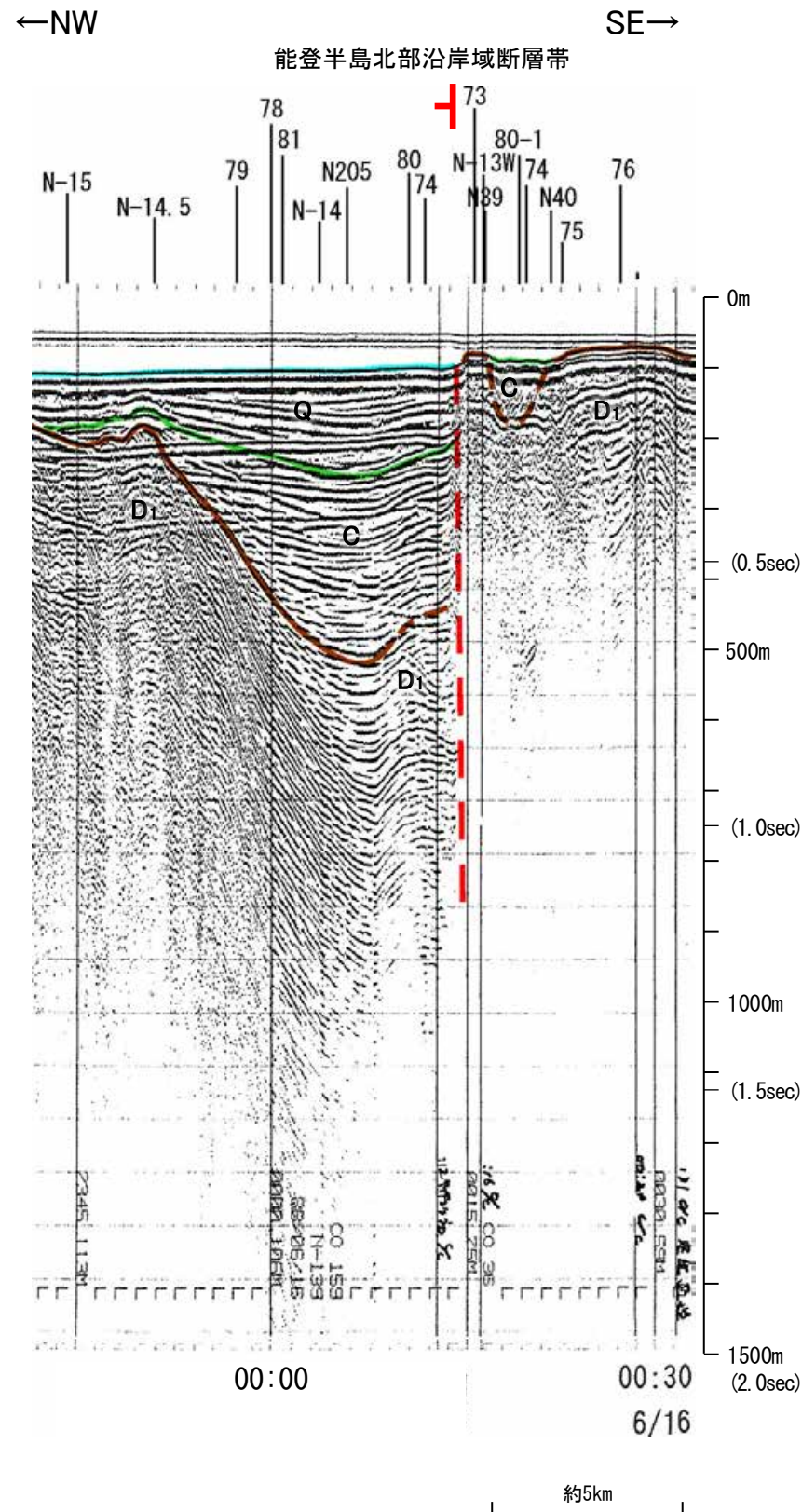
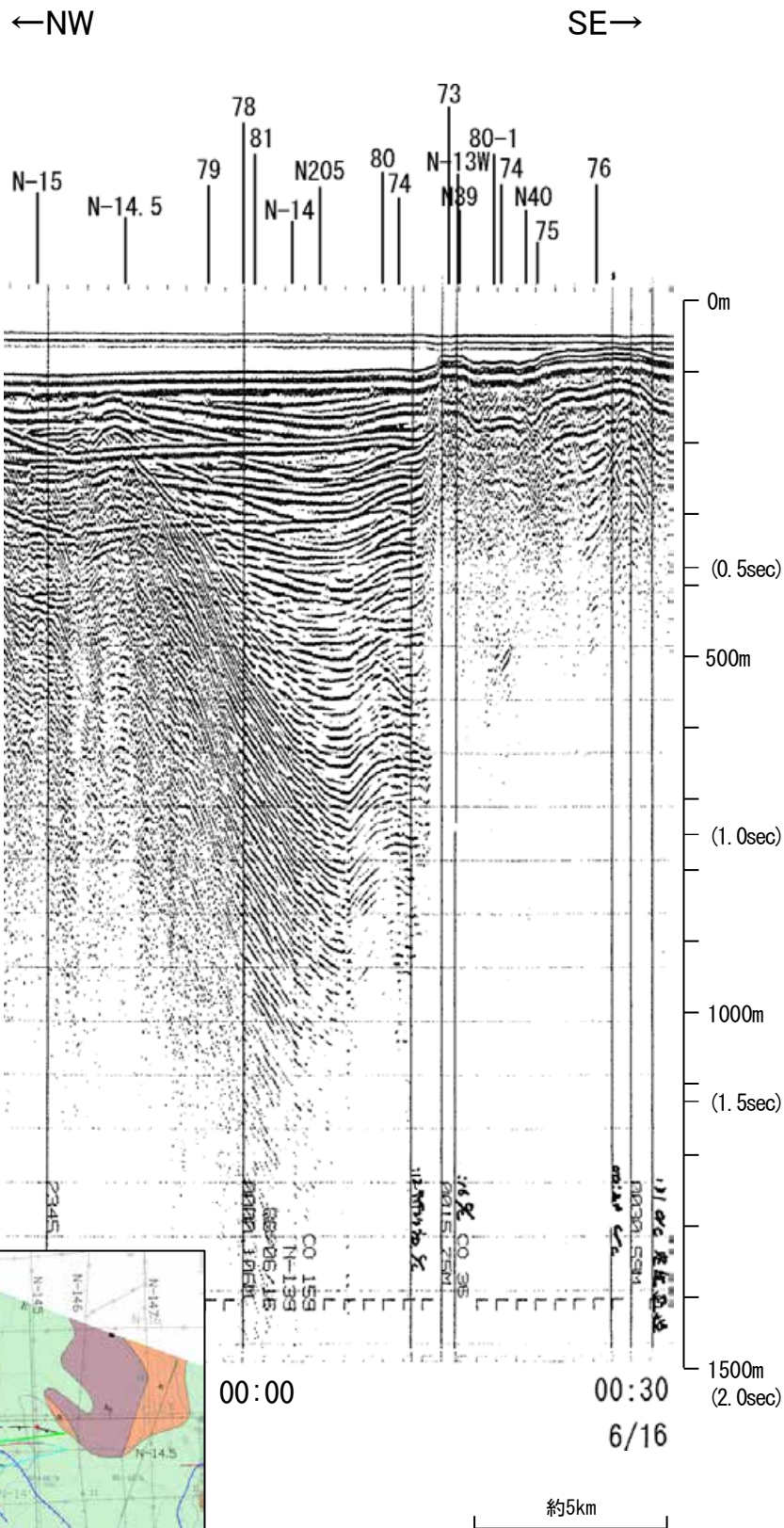


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	

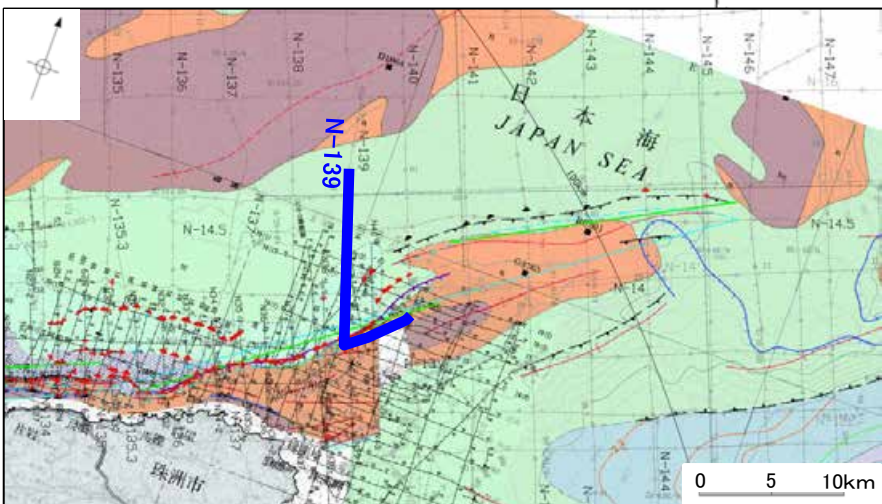
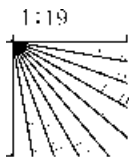


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-139



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
	更新世 中期	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

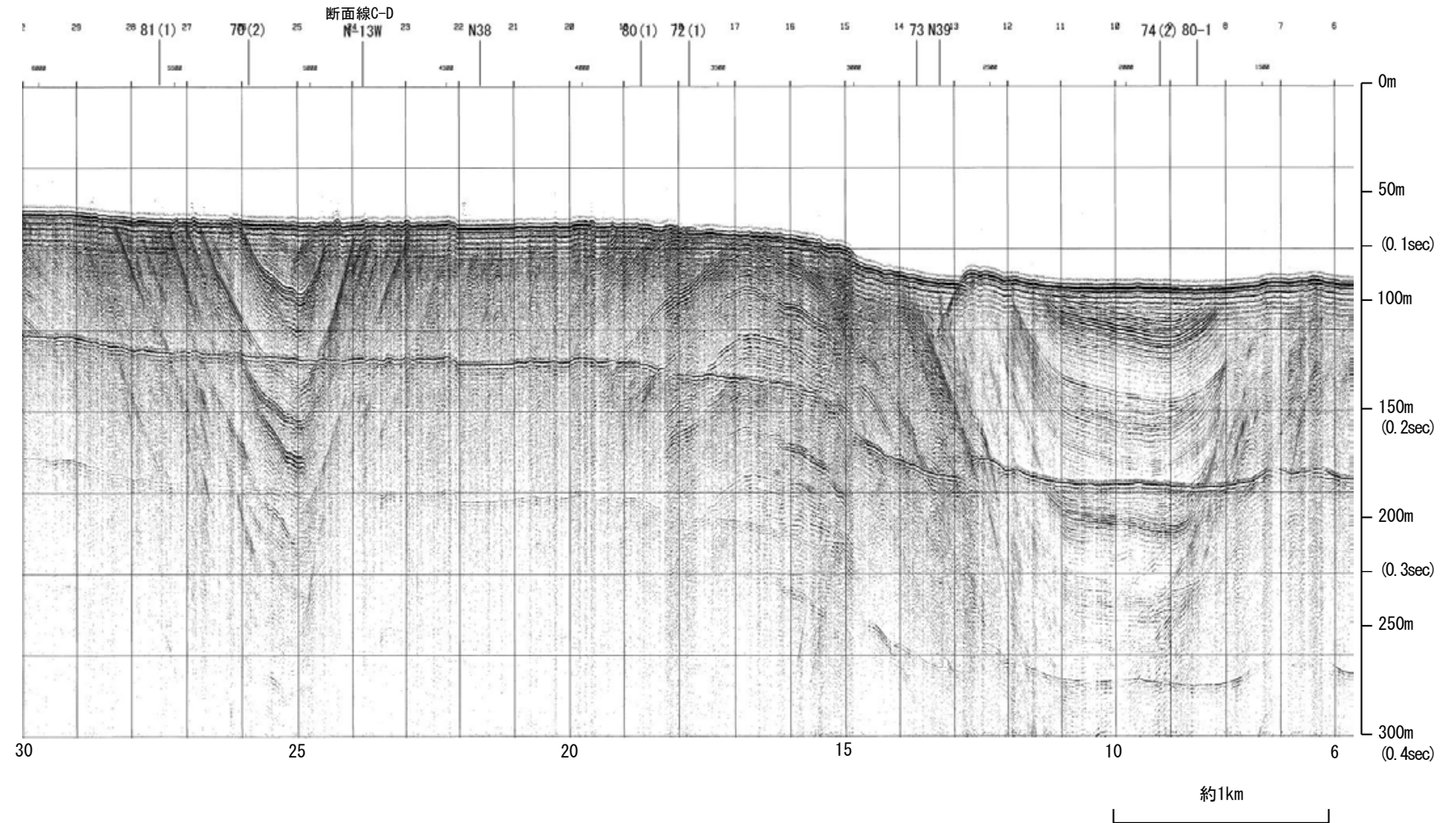


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

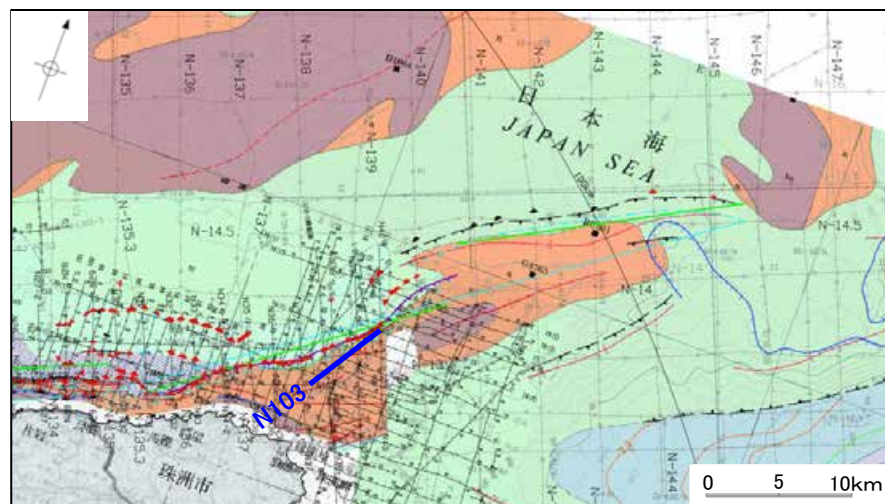
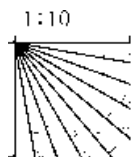
# 産総研ブーマー N103

←SW

NE→



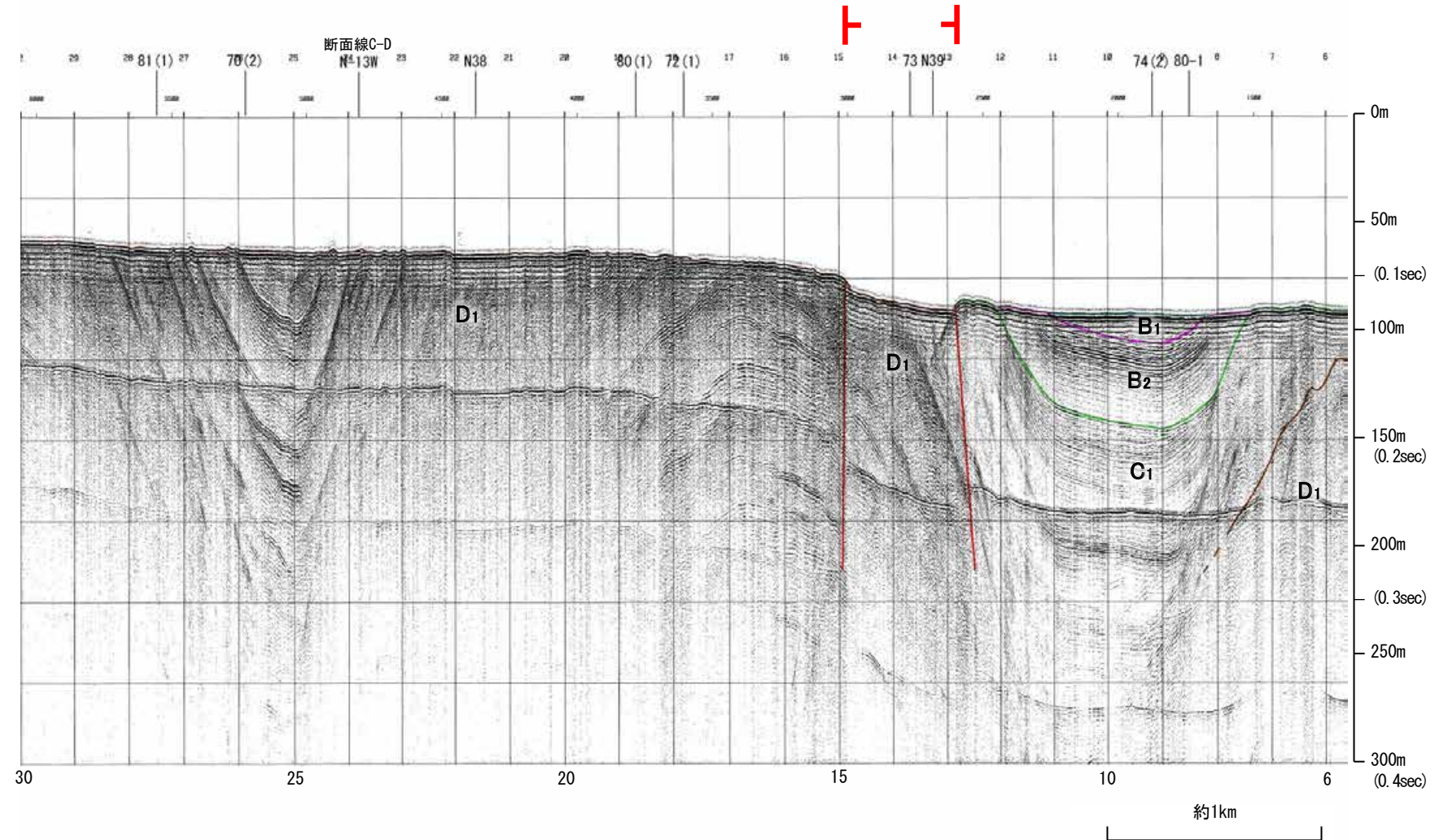
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
前期	B層	B層	
	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	C層	C層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



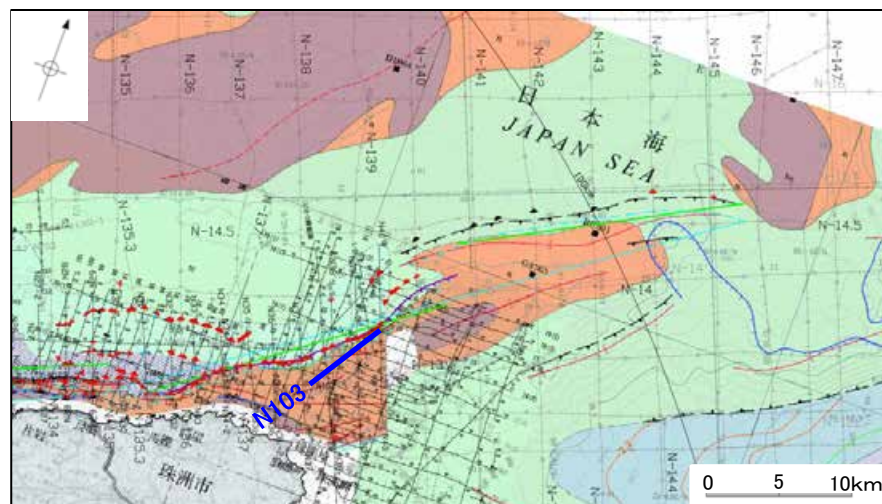
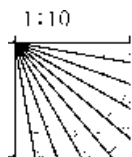
←SW

NE→

能登半島北部沿岸域断層帯

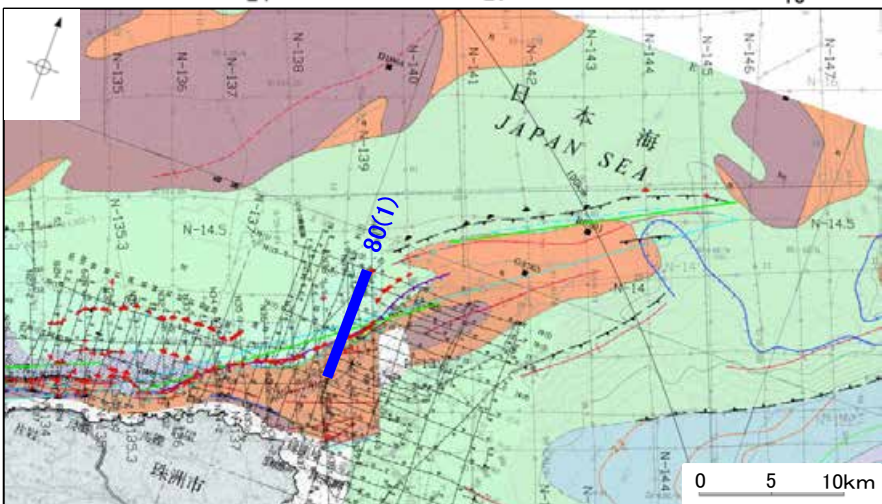
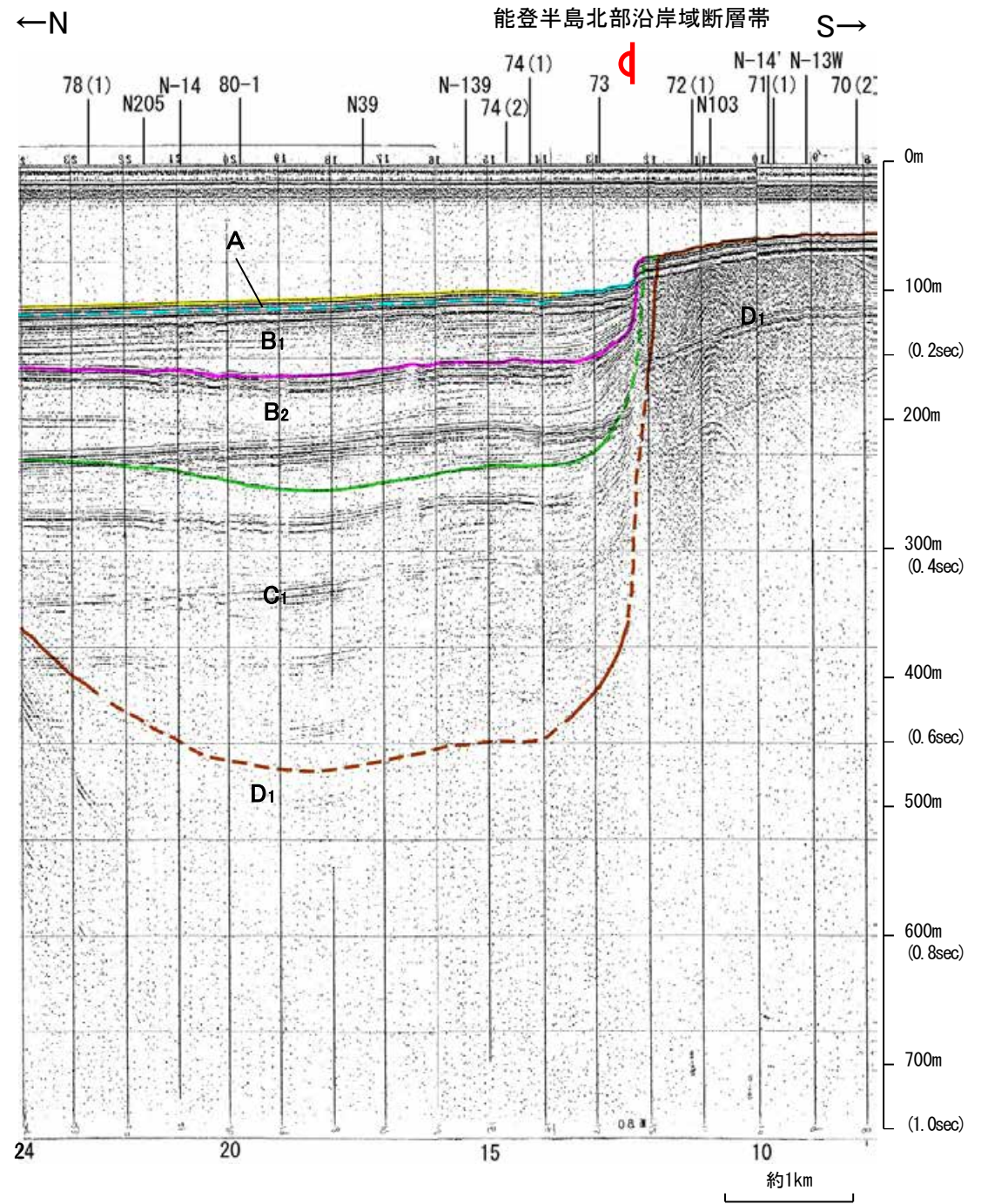
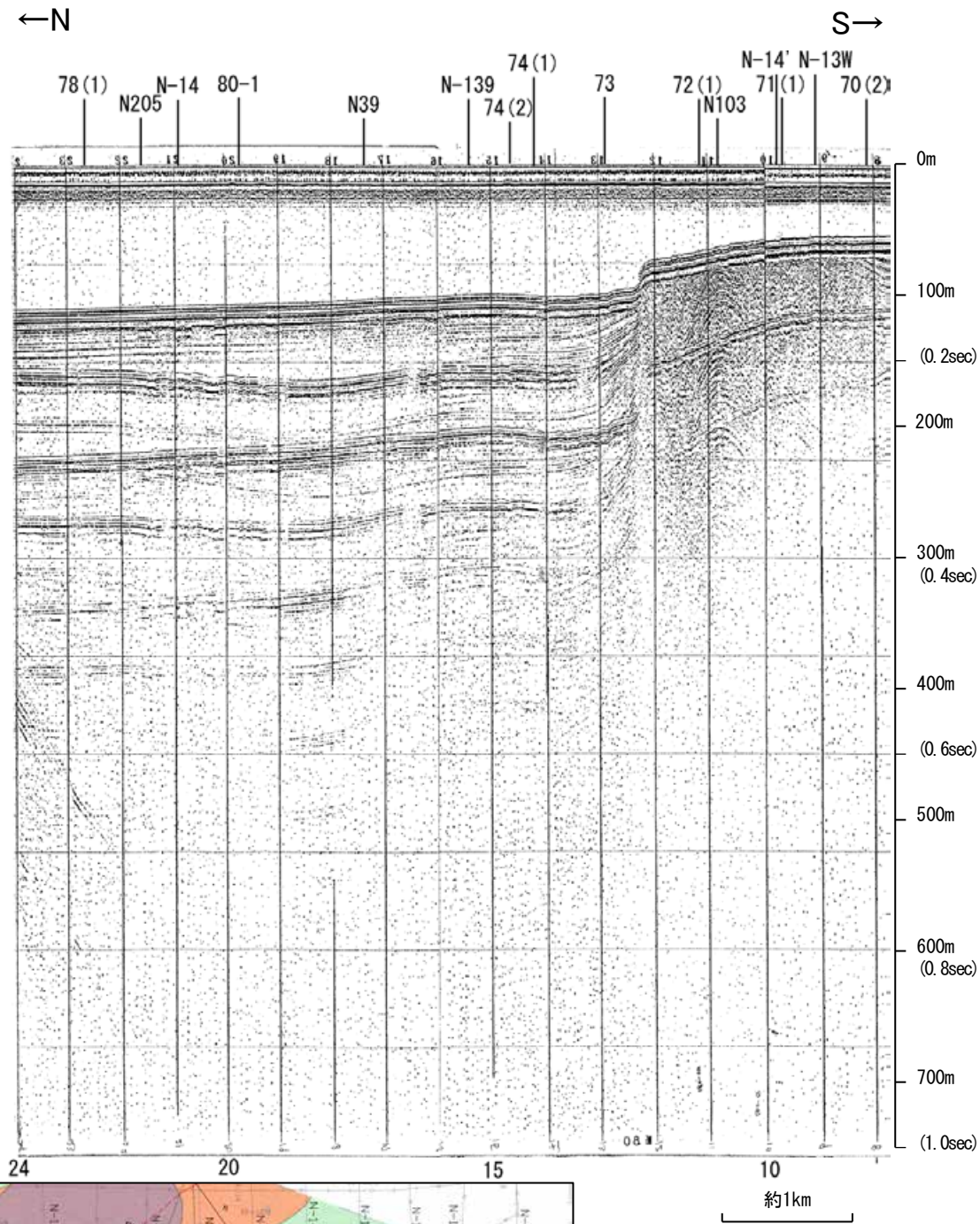


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層	B <sub>2</sub> 層
	中期	B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 80(1)



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
前期	B層	
第三紀	新新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

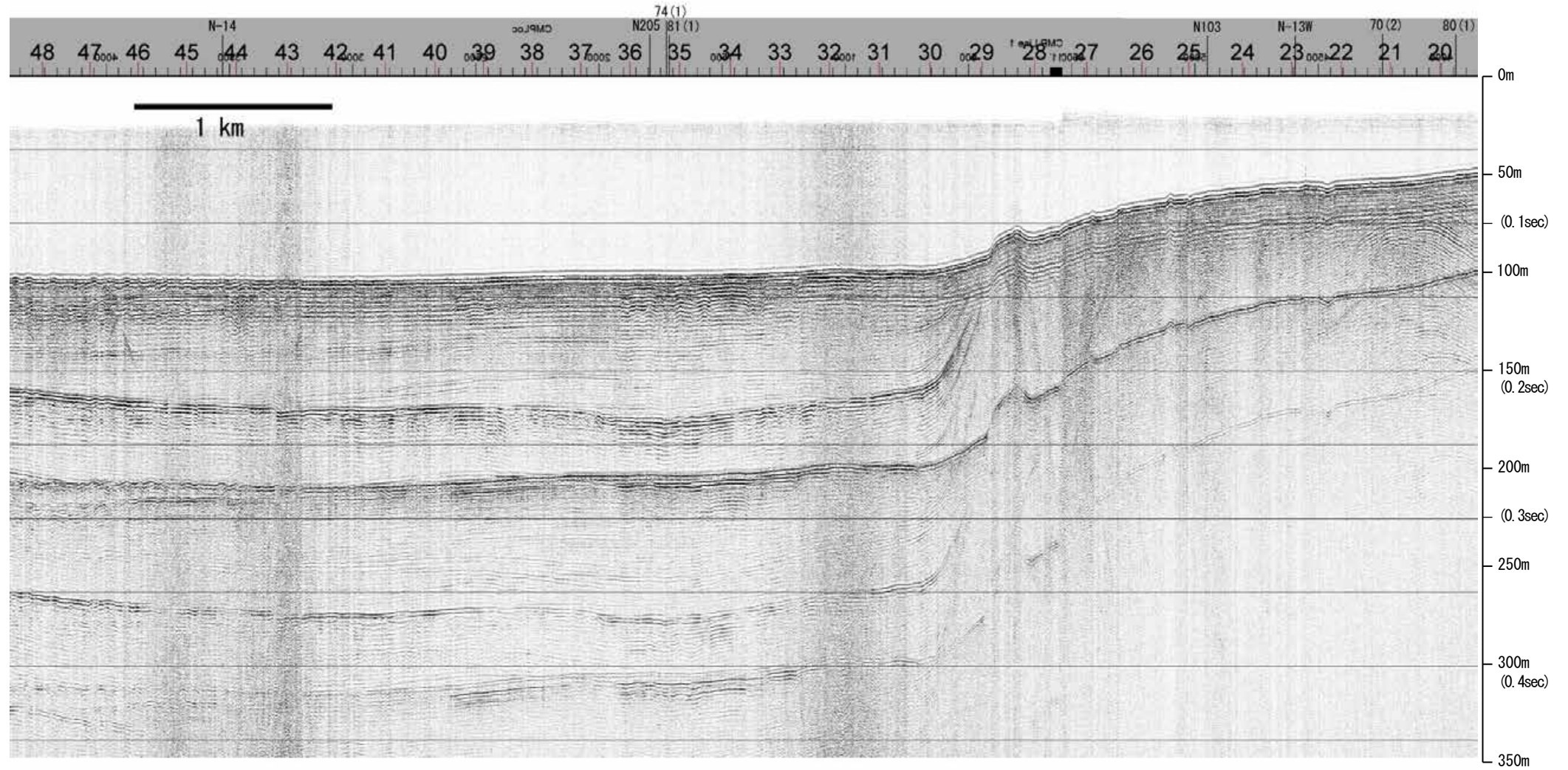
1:11

この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

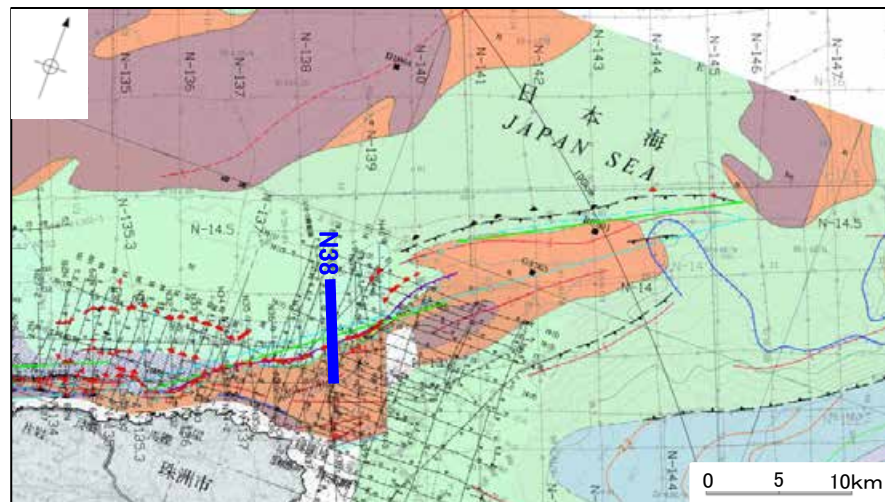
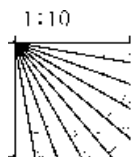
# 産総研ブーマー N38

←NNW

SSE→



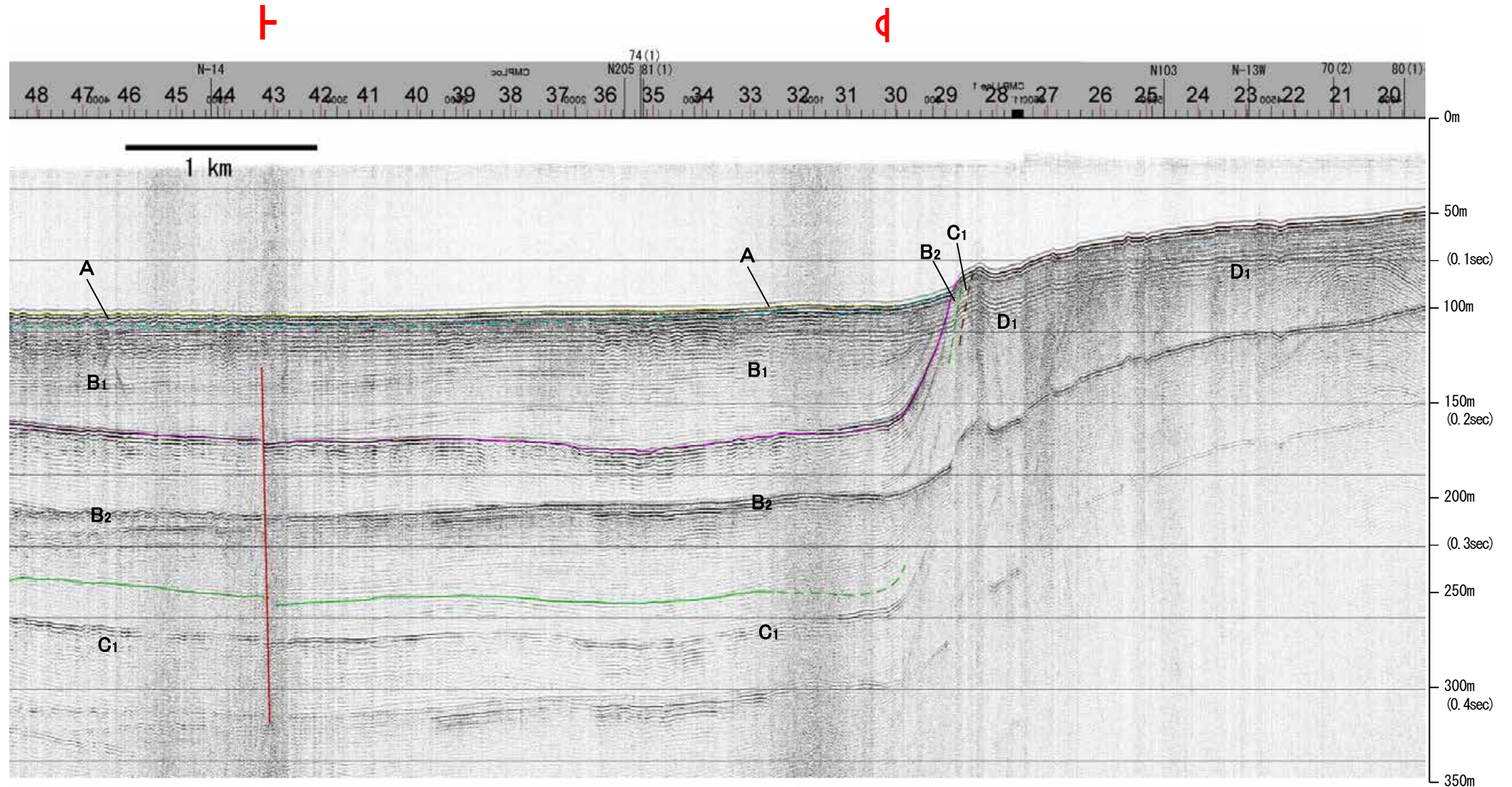
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
第三紀	中期	B層	B層
		B層	B層
	前期	C層	C層
		C層	C層
鮮新世	D層	D層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



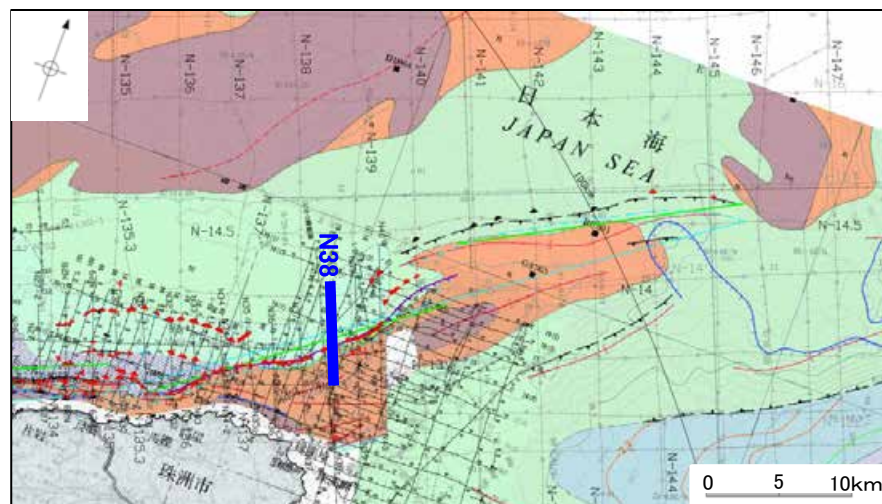
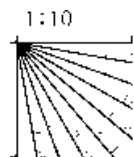
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

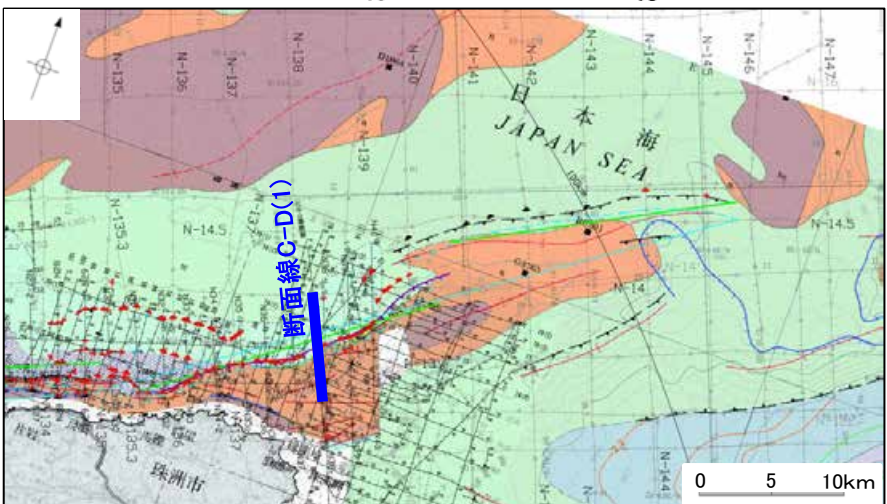
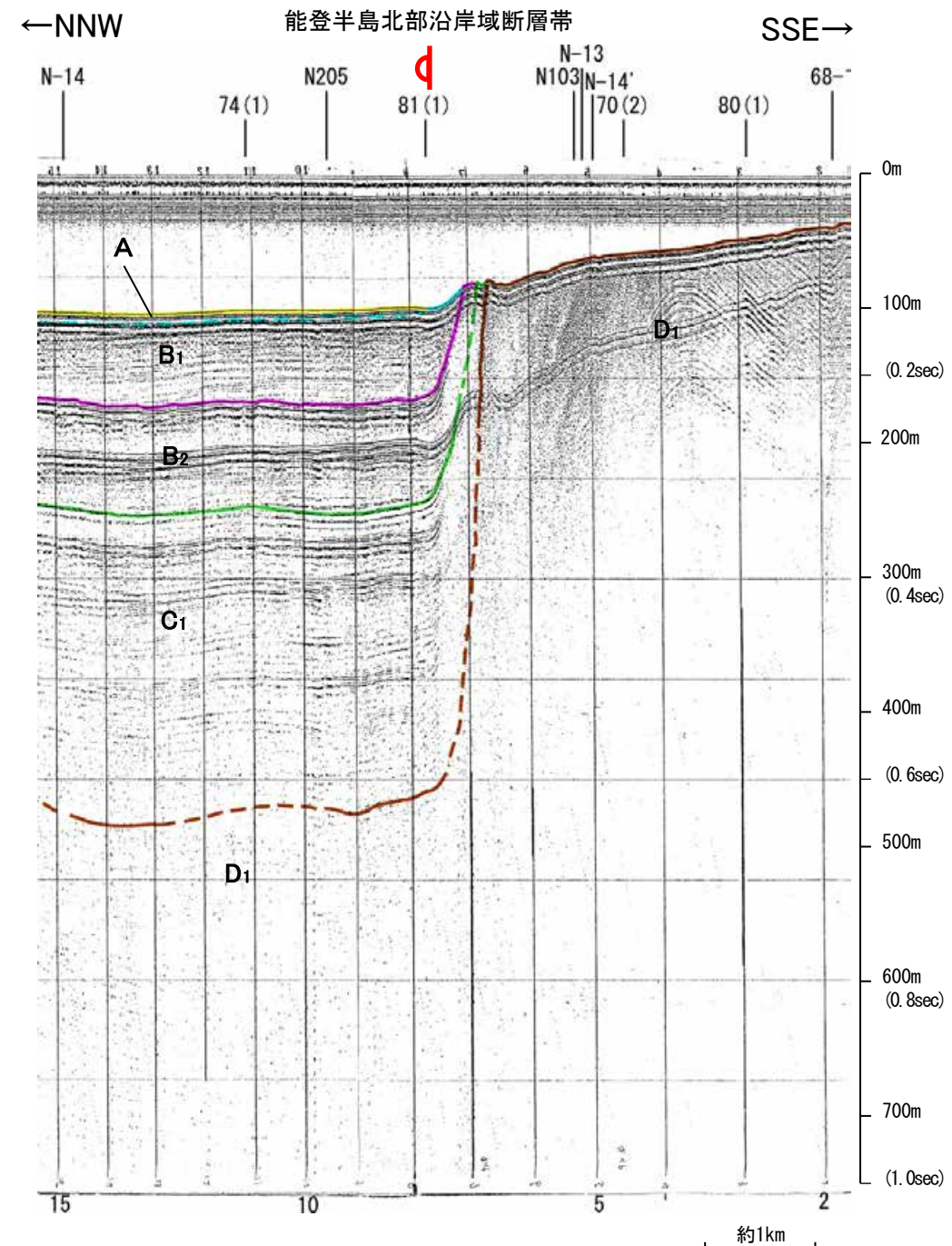
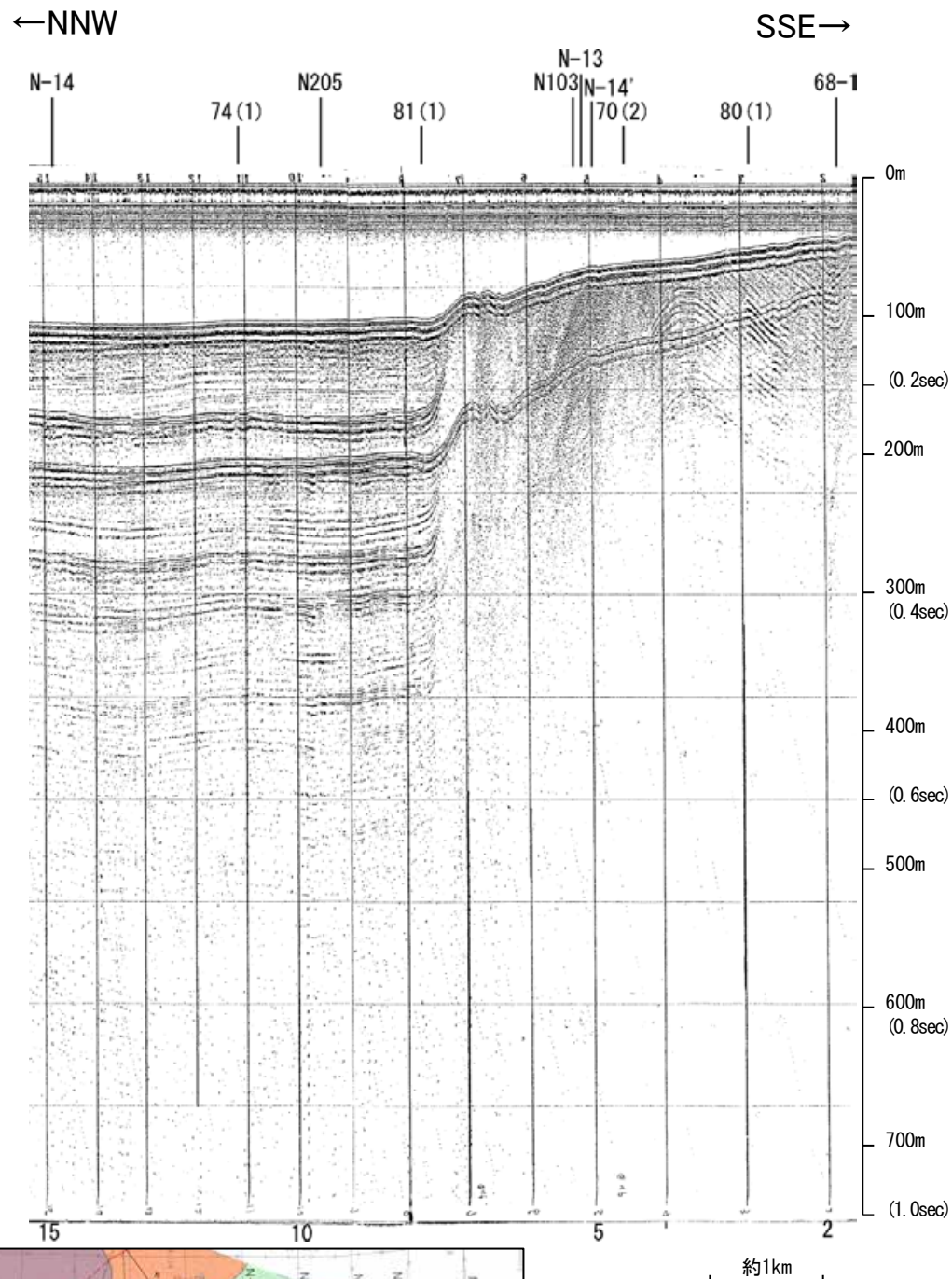


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	更新世	B層
中期	B <sub>1</sub> 層	
前期	B <sub>2</sub> 層	
	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

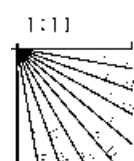


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 断面線C-D(1)



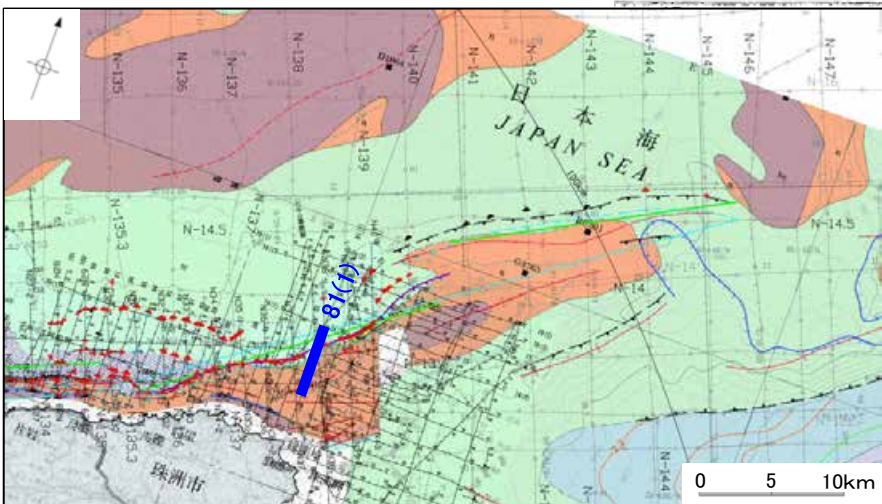
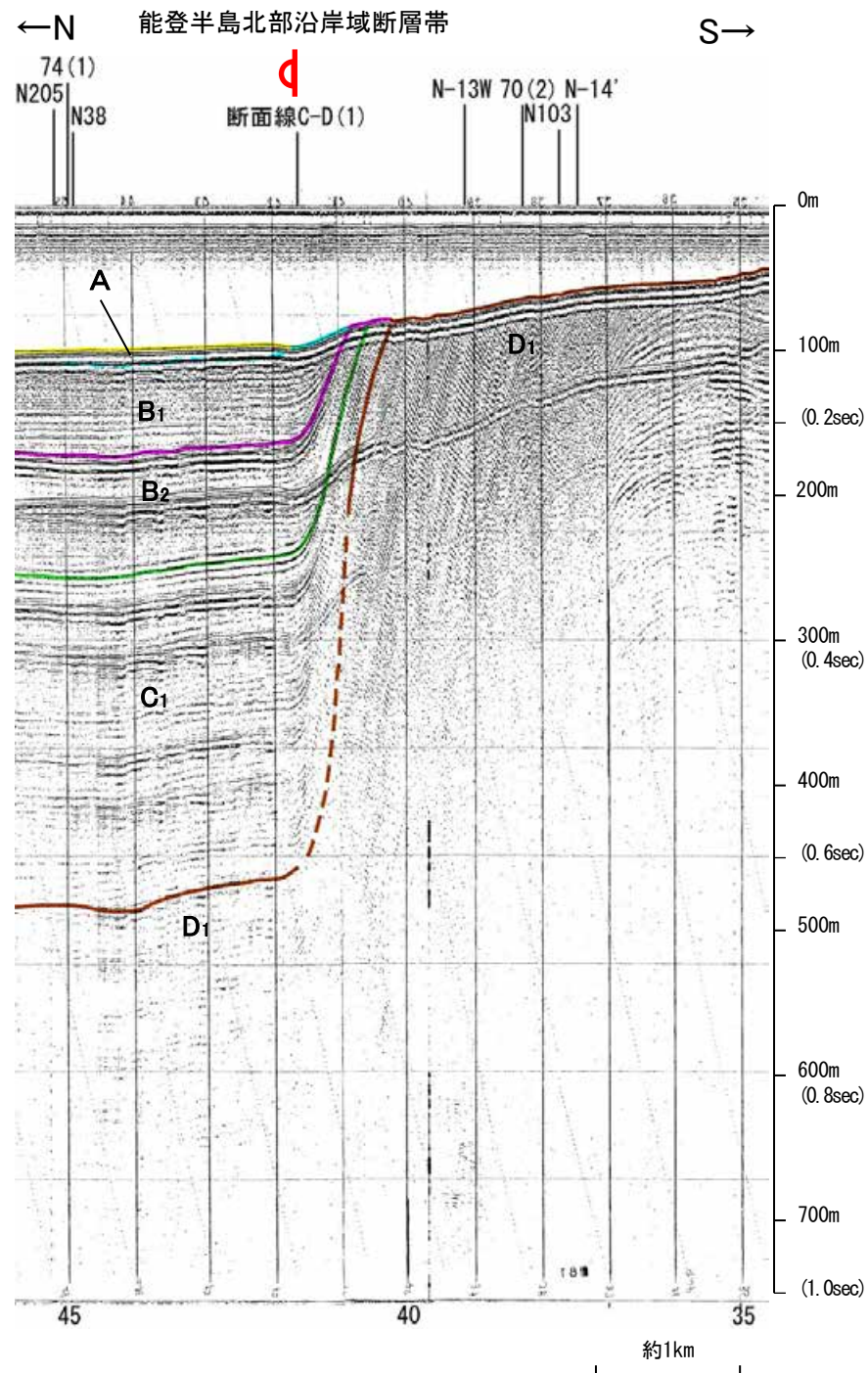
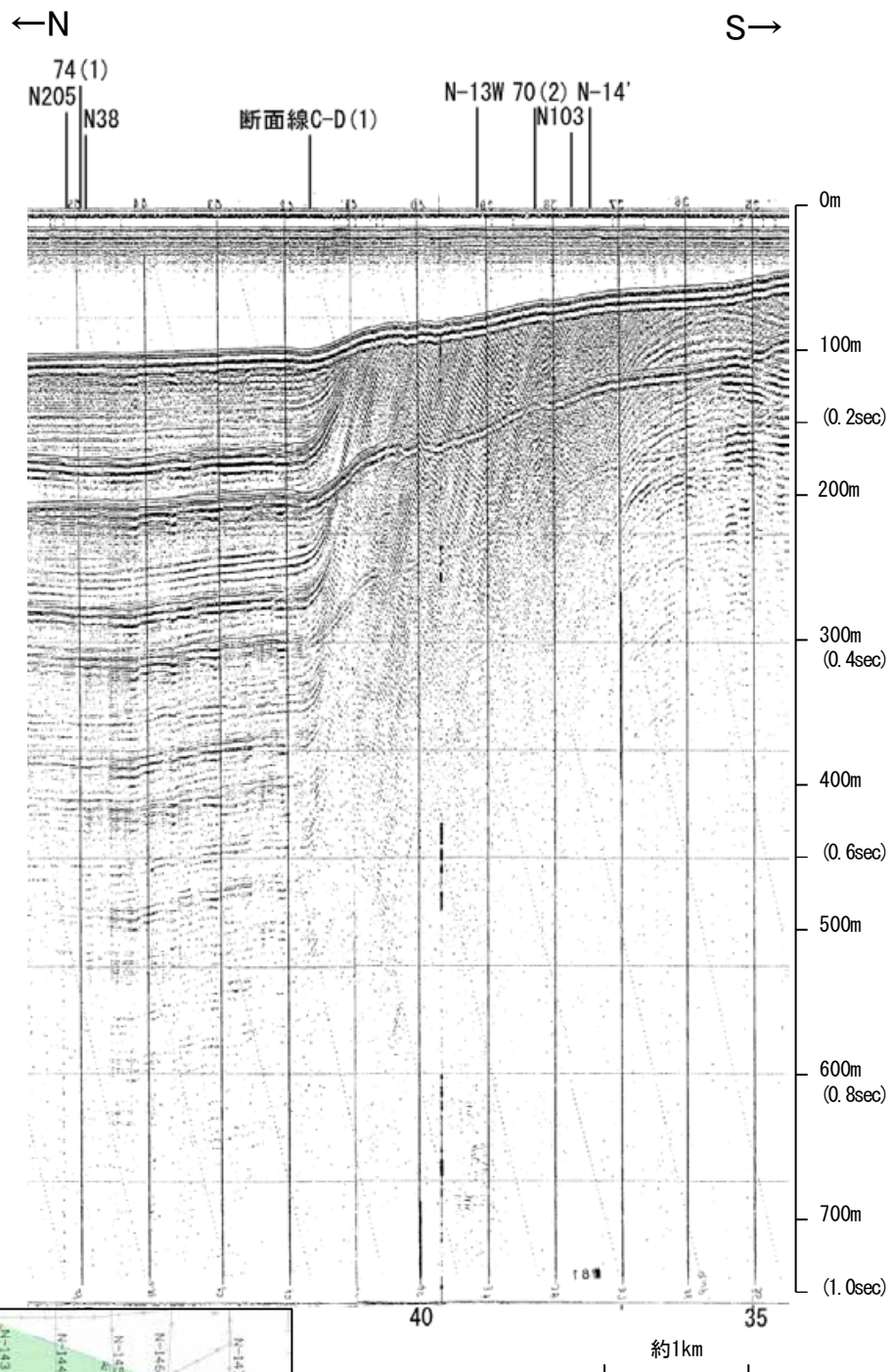
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	更新世	B層
前期	B層	
	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D <sub>1</sub> 層
古第三紀		D層
	先第三紀	D層



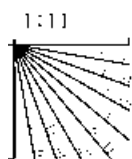
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 海上保安庁スパーカー 81(1)

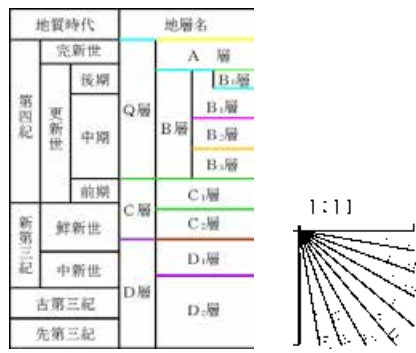
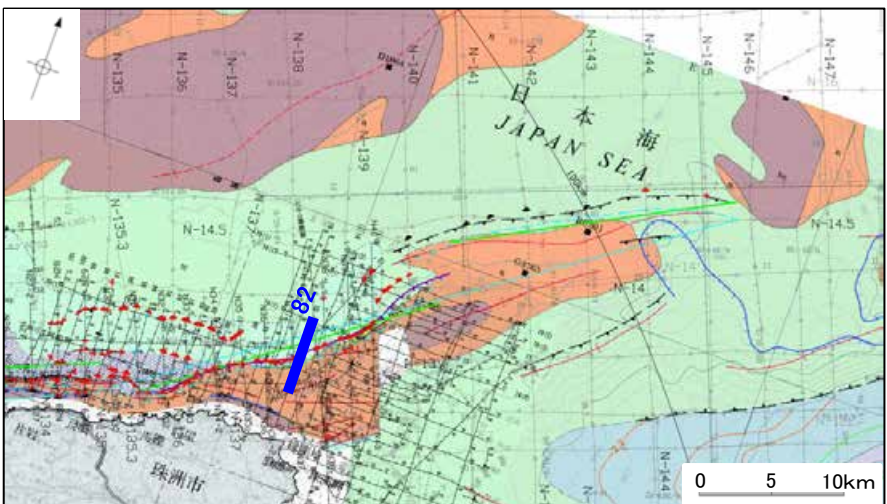
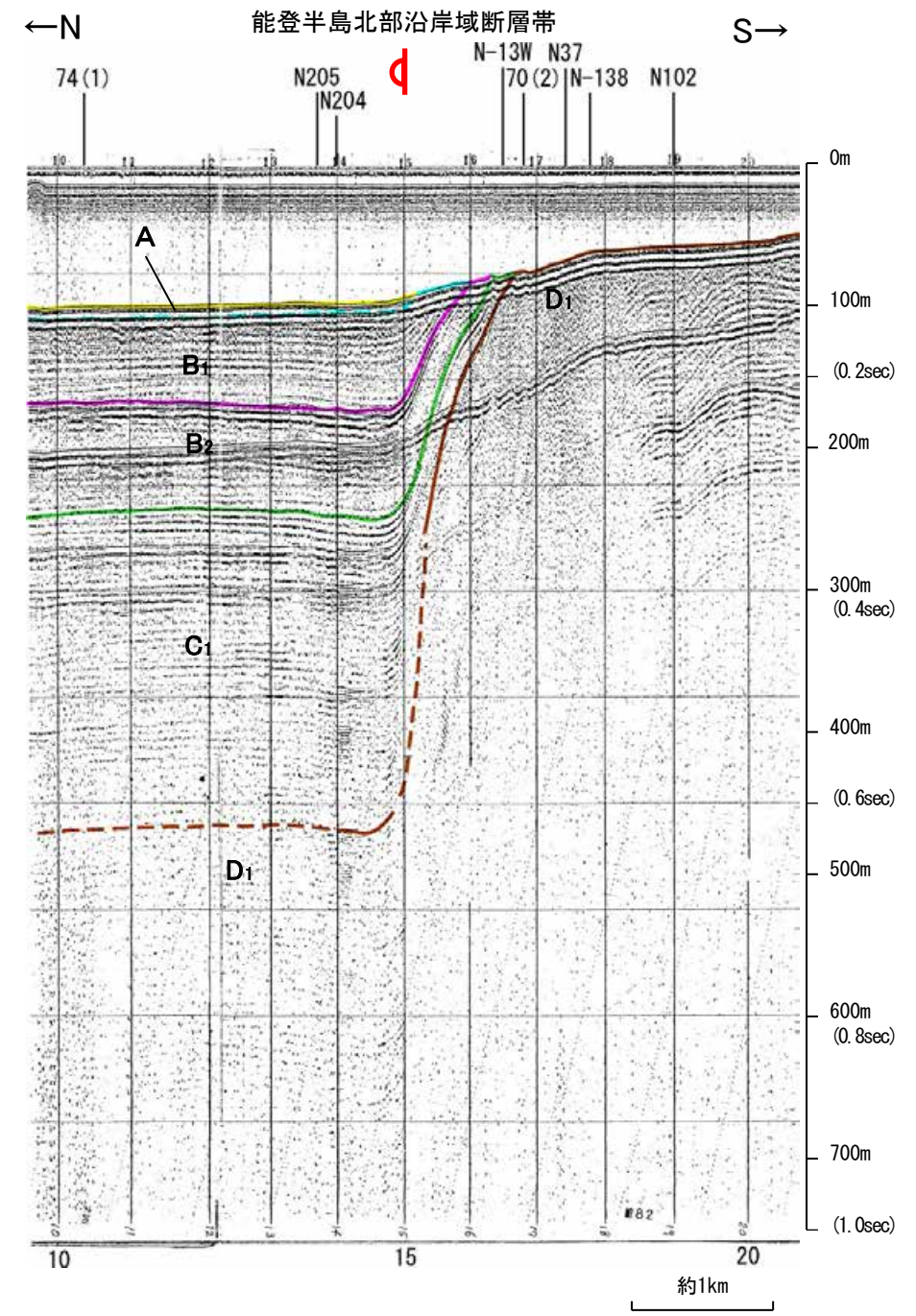
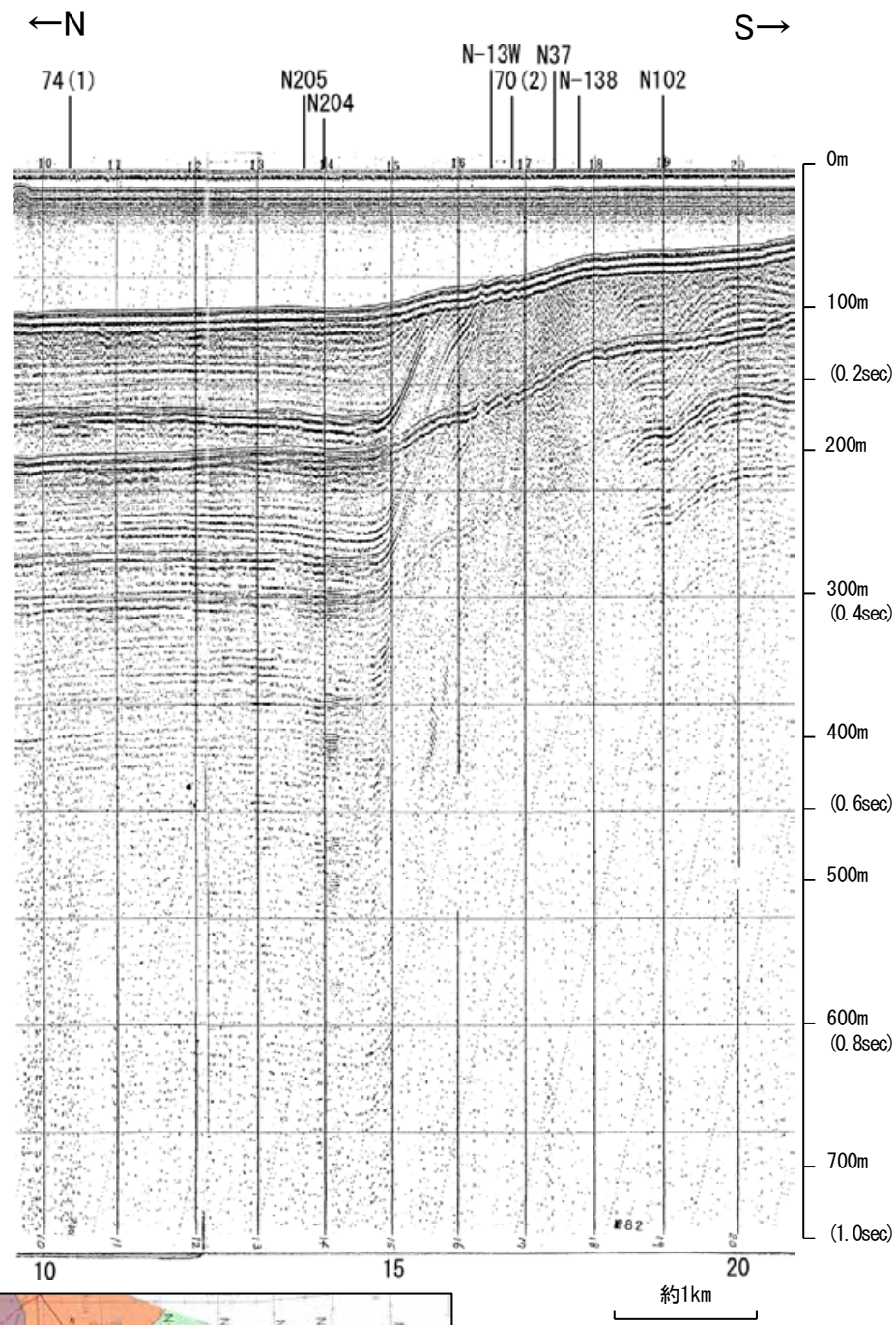


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
	前期	B層
C層		
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 82

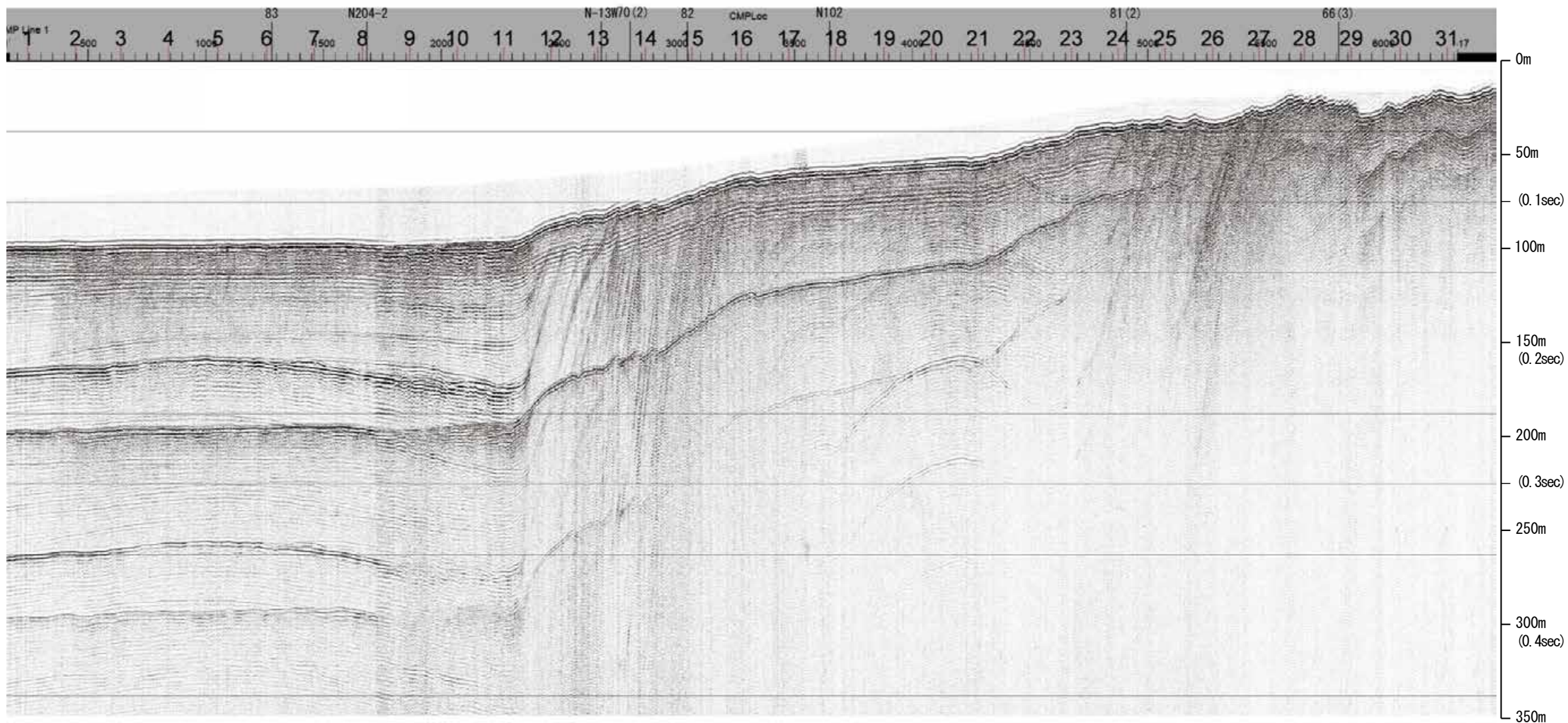


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 産総研ブーマー N37

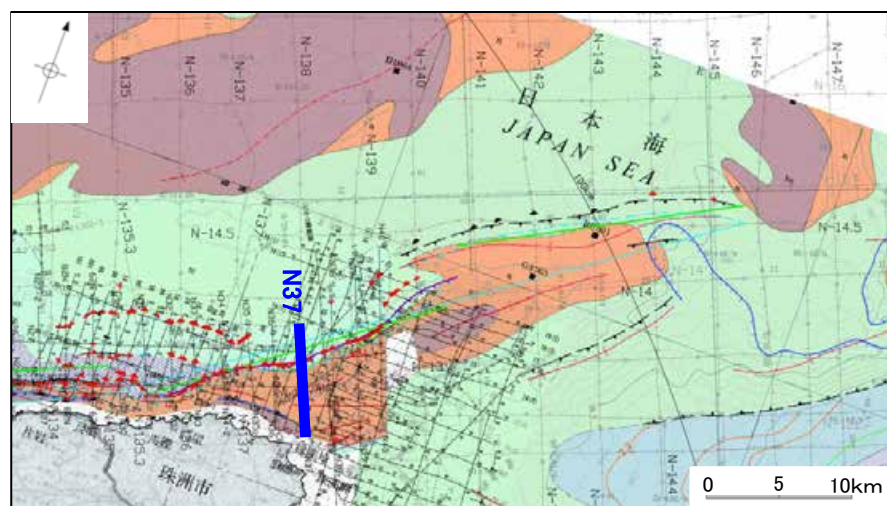
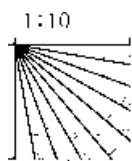
←NNW

SSE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
前期	B層	B層	
	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



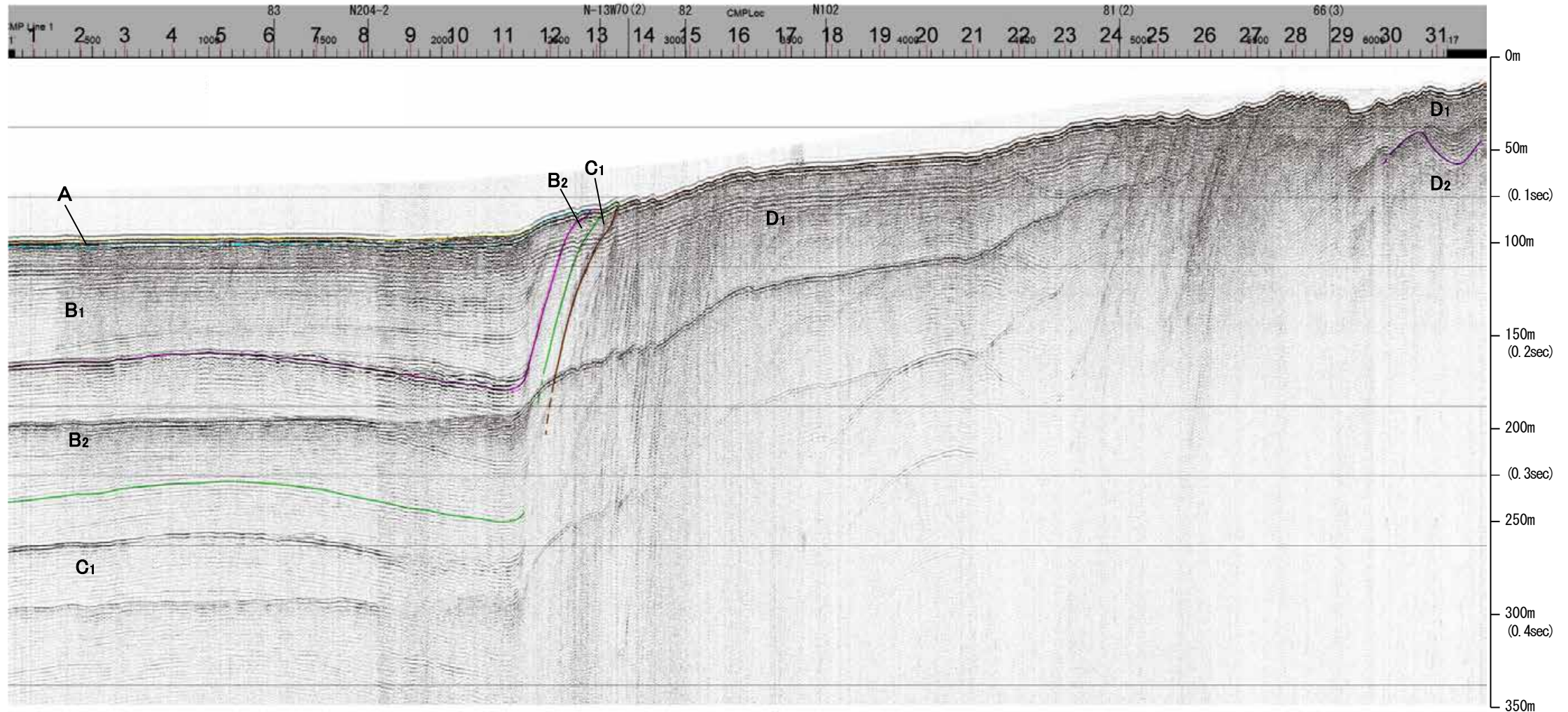
# 産総研ブーマー N37

←NNW

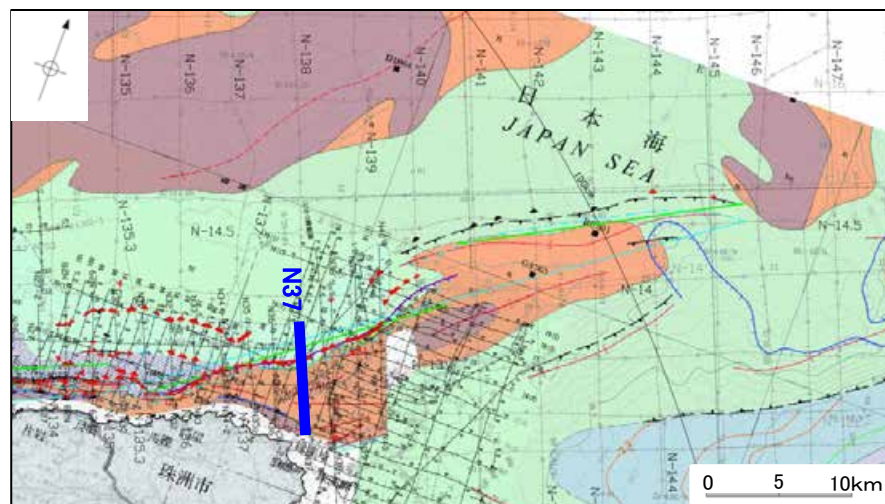
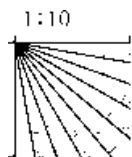
SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

d

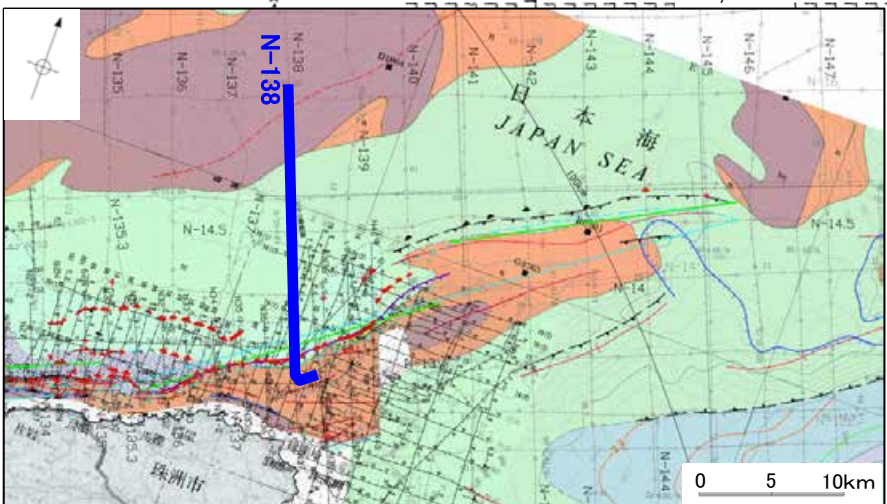
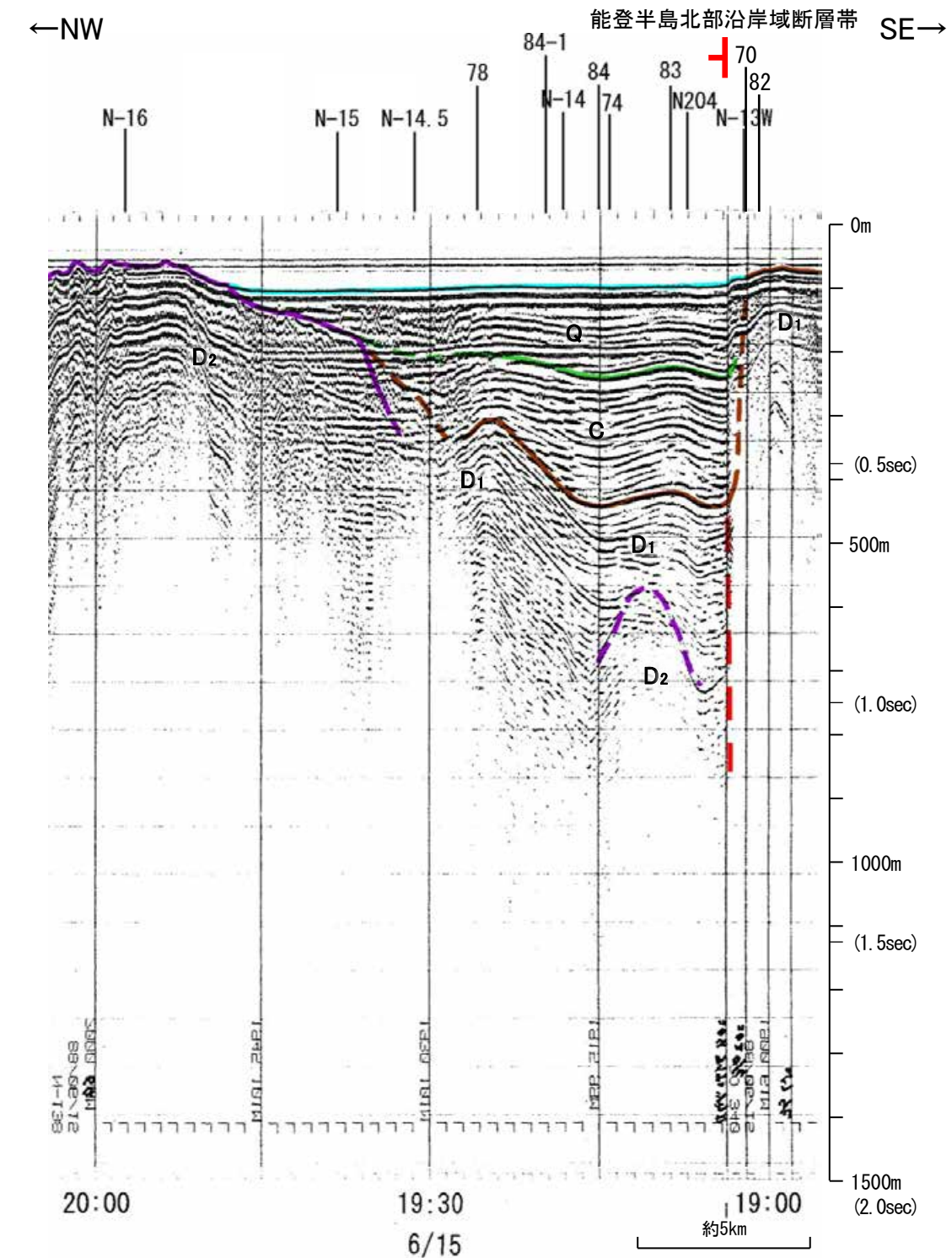
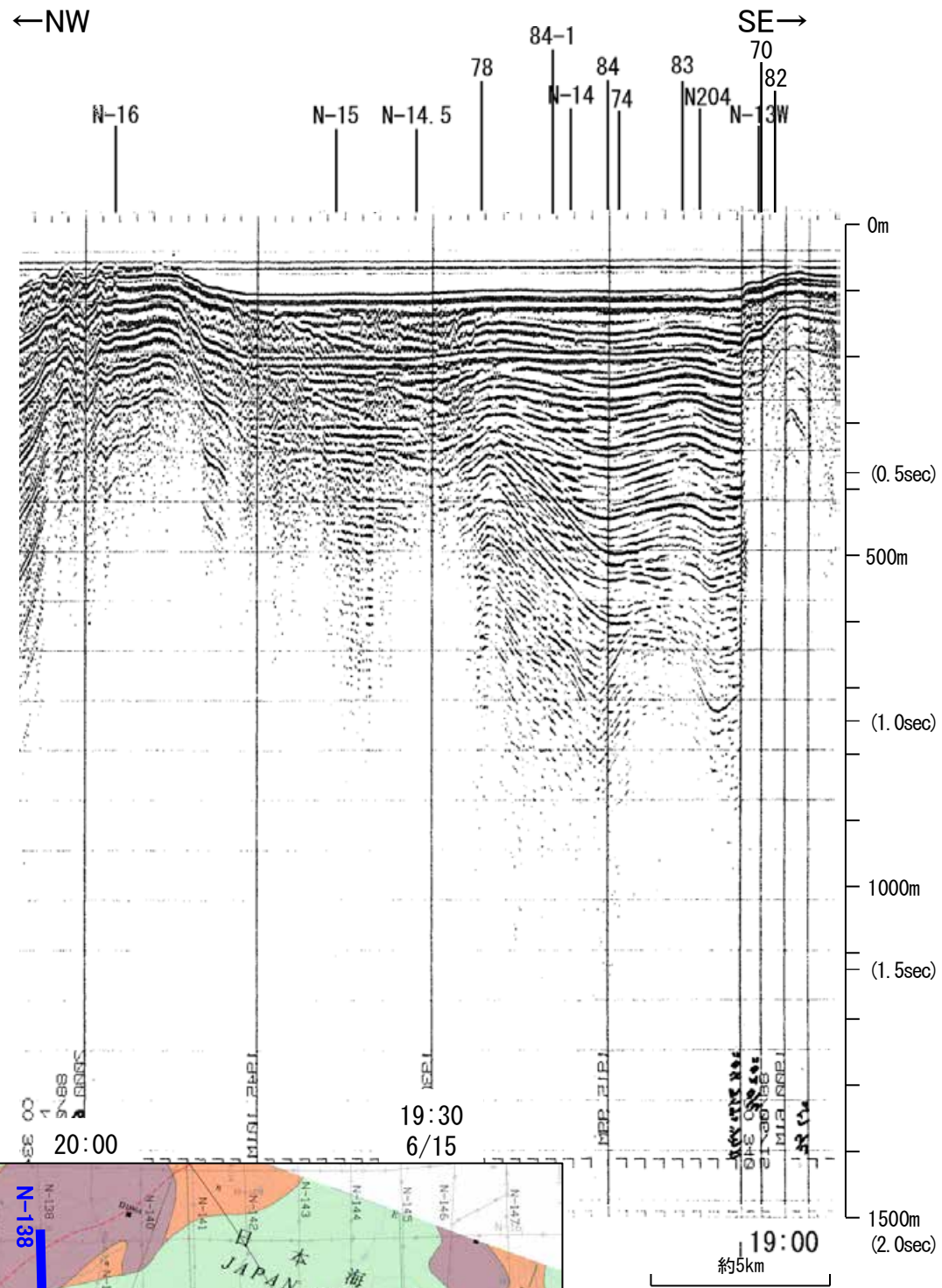


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	B層	B層
前期	C層	C層	
	C層	C層	
新第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

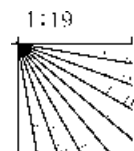


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-138

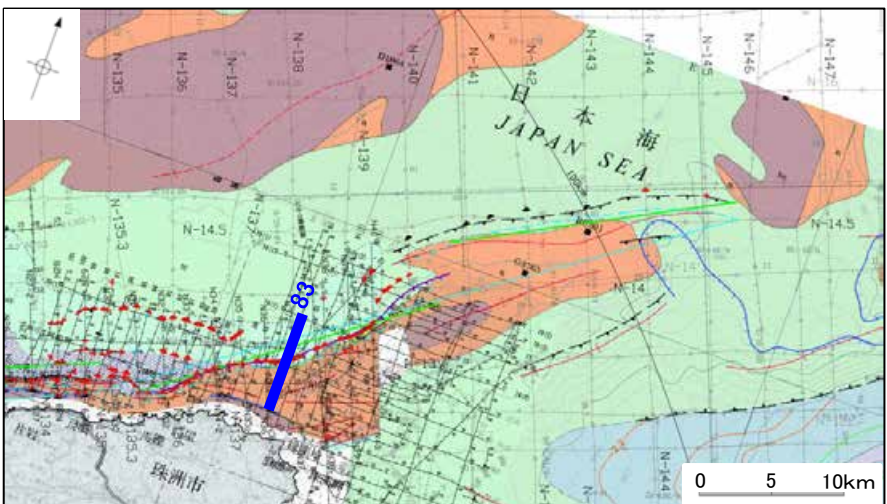
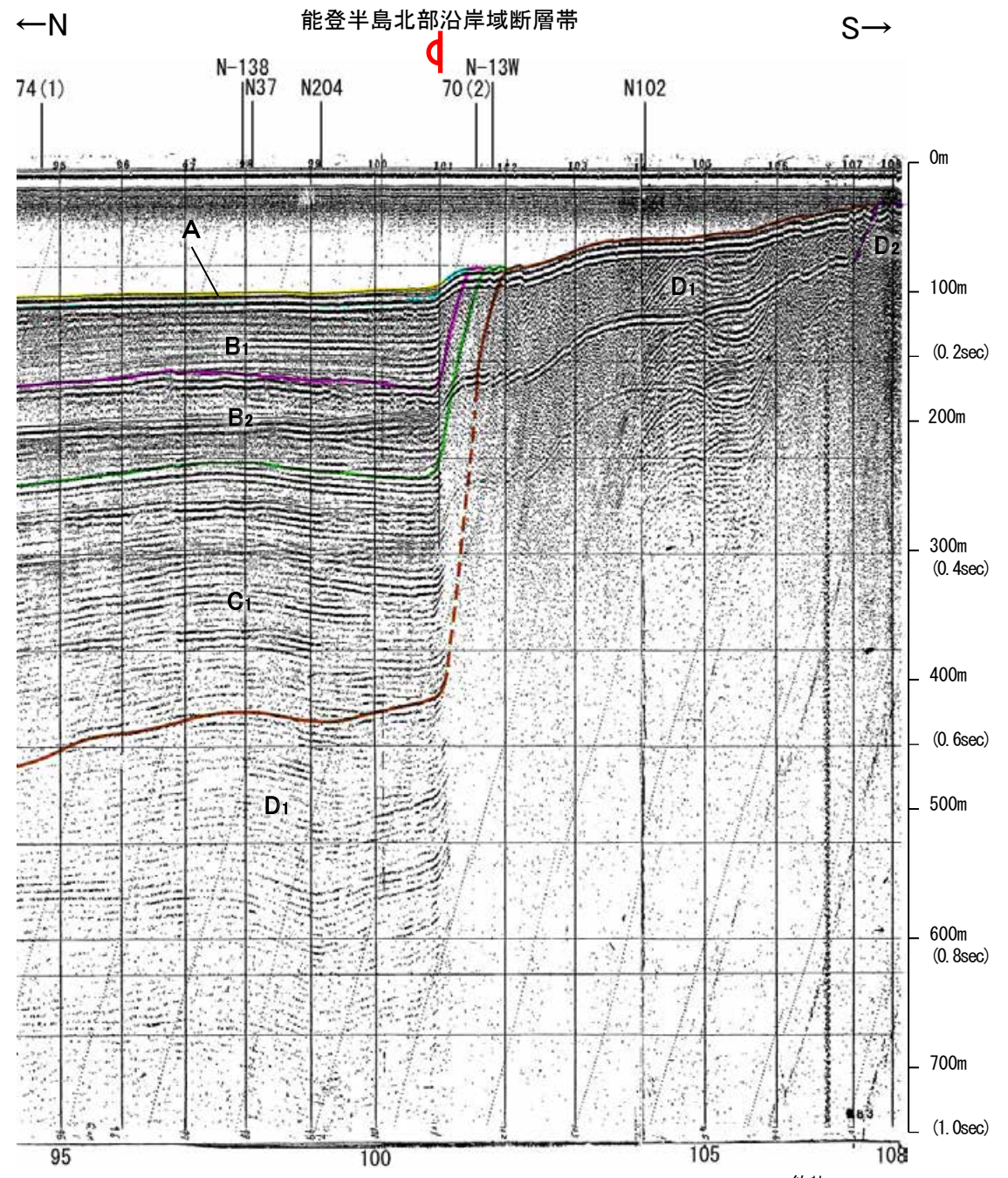
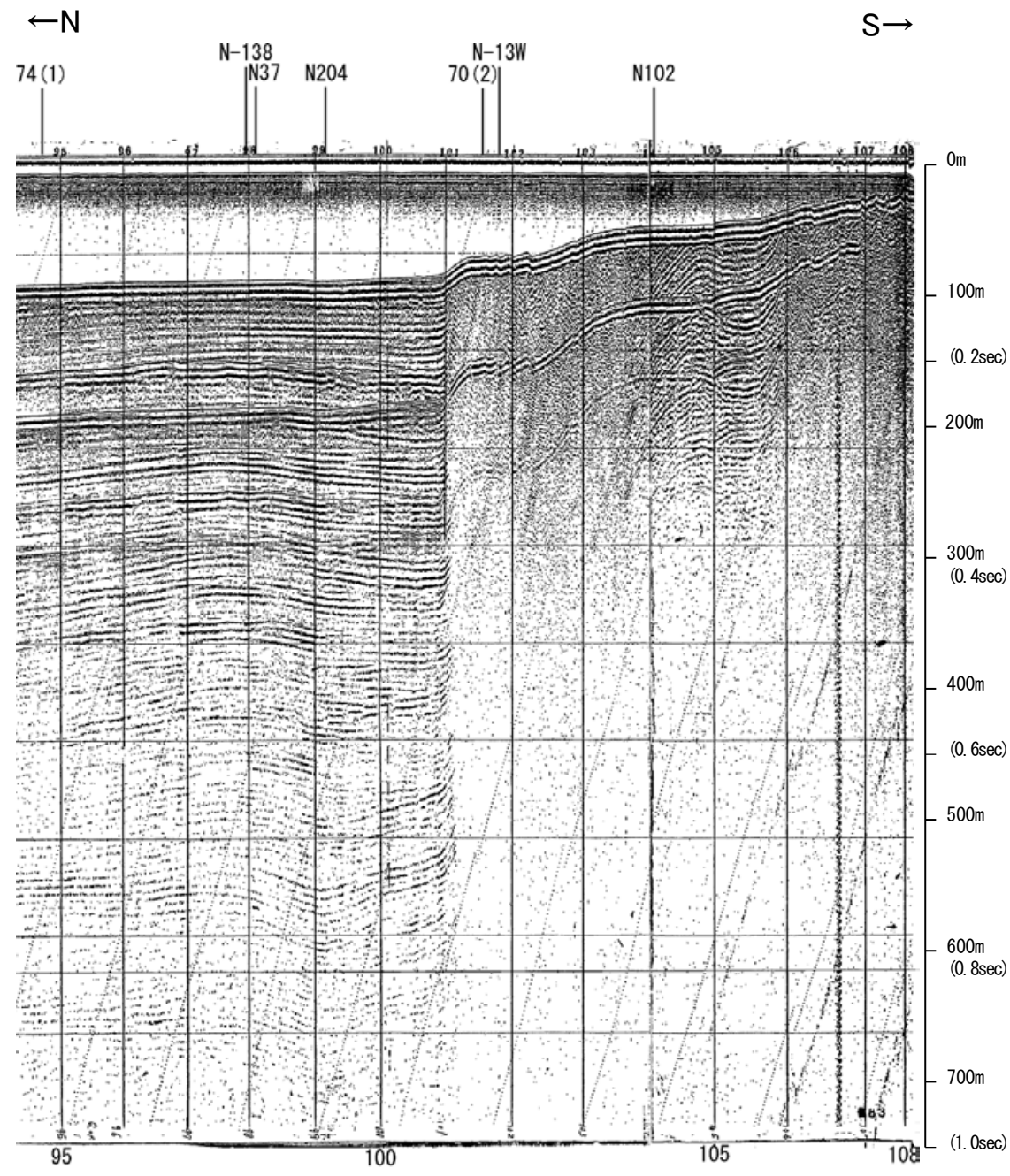


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
	中期	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層

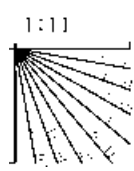


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 83

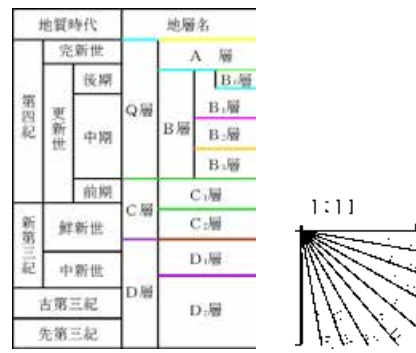
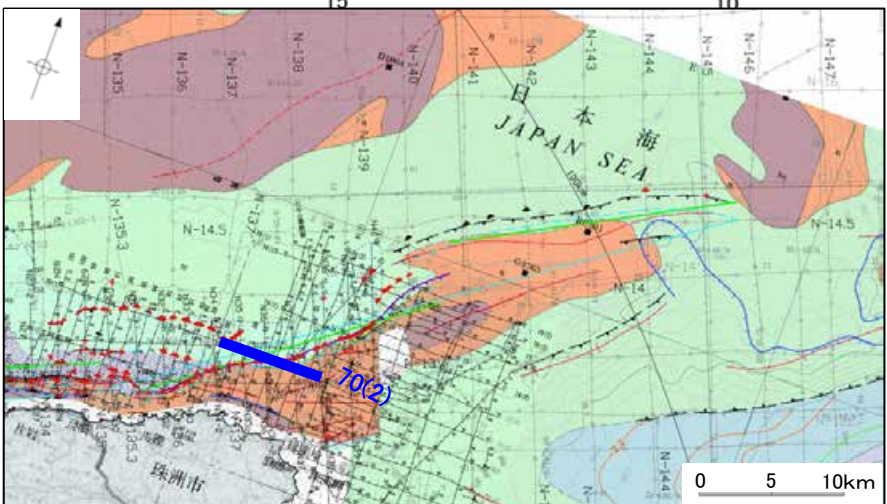
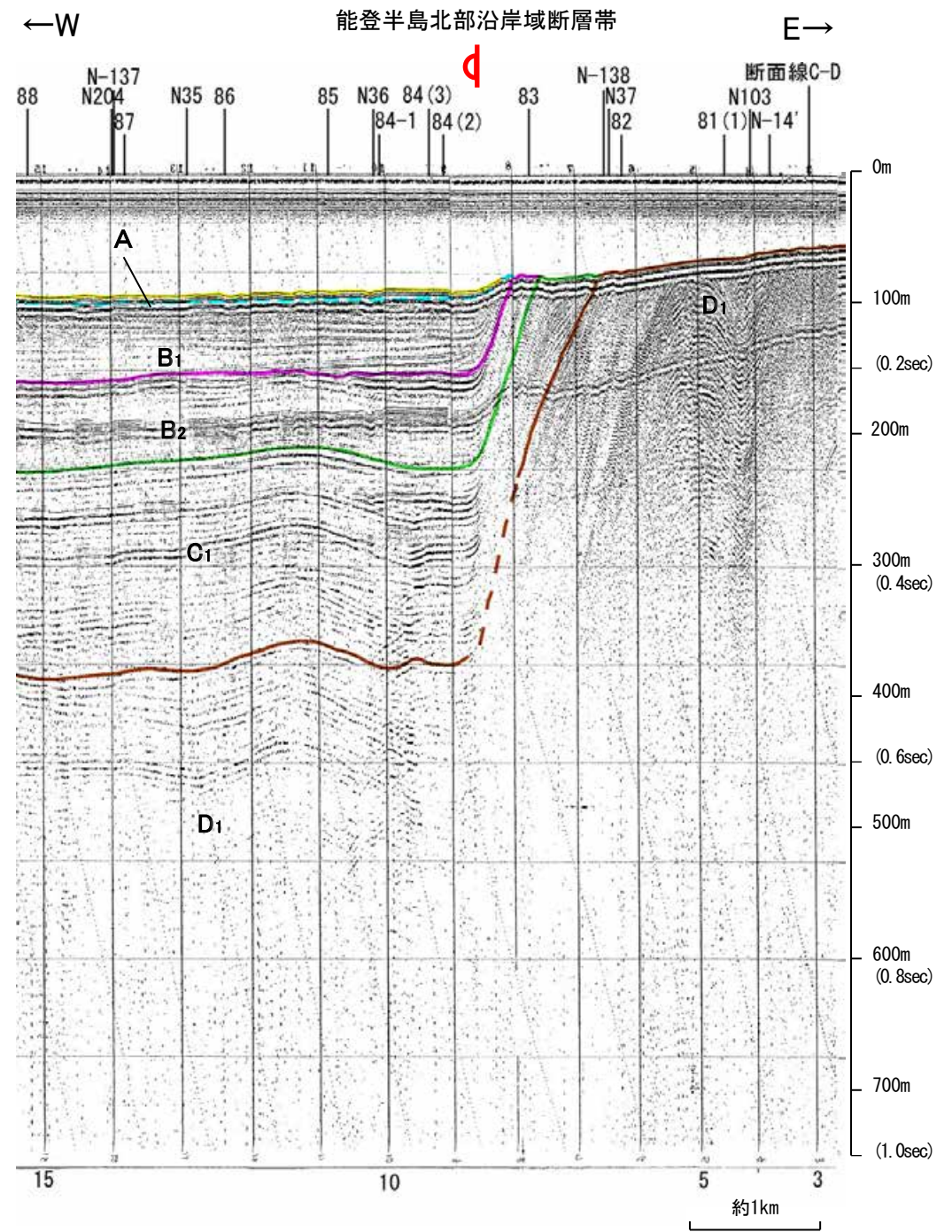
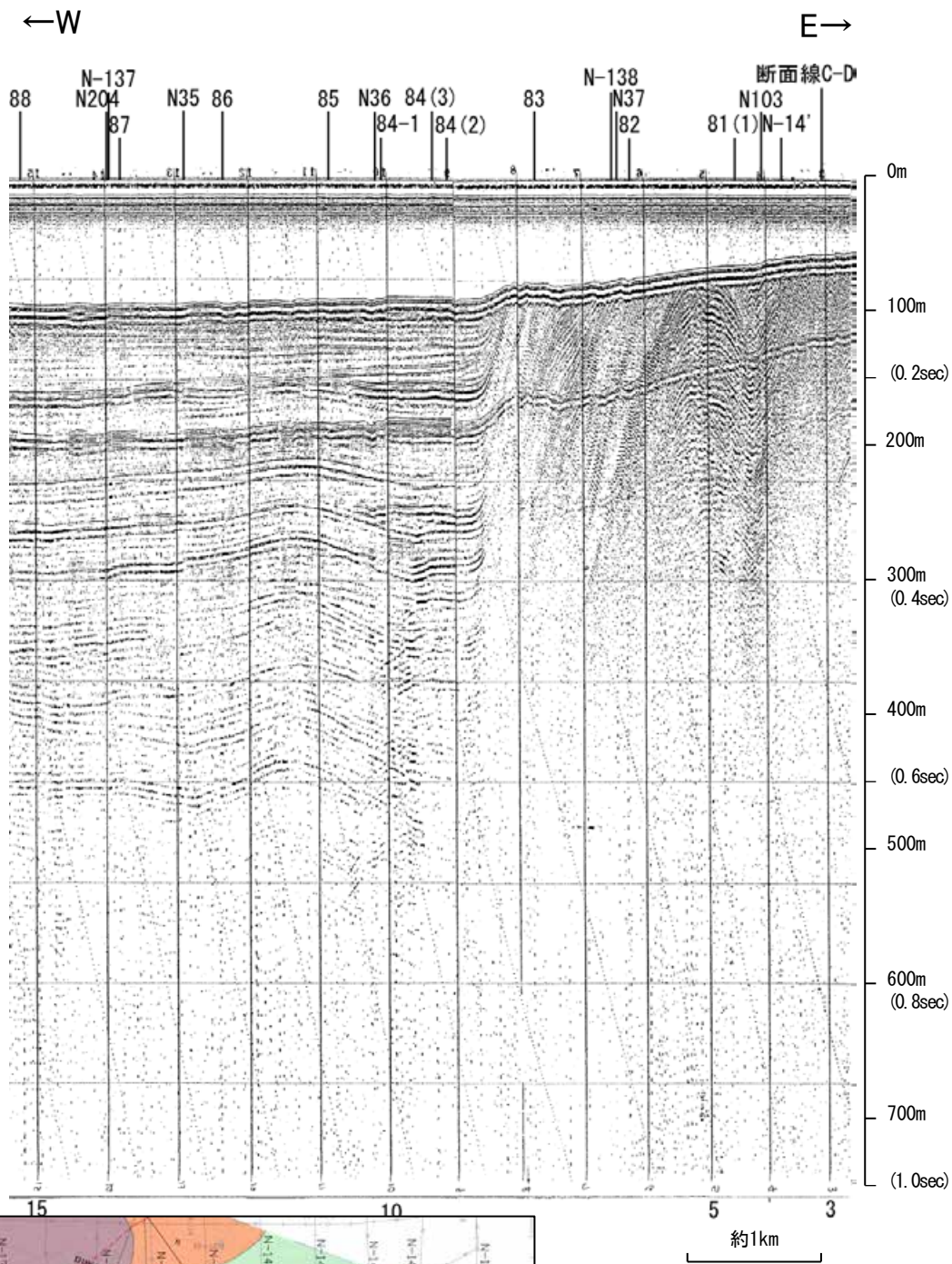


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
前期	B層	
	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



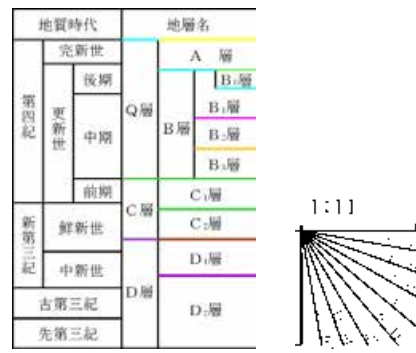
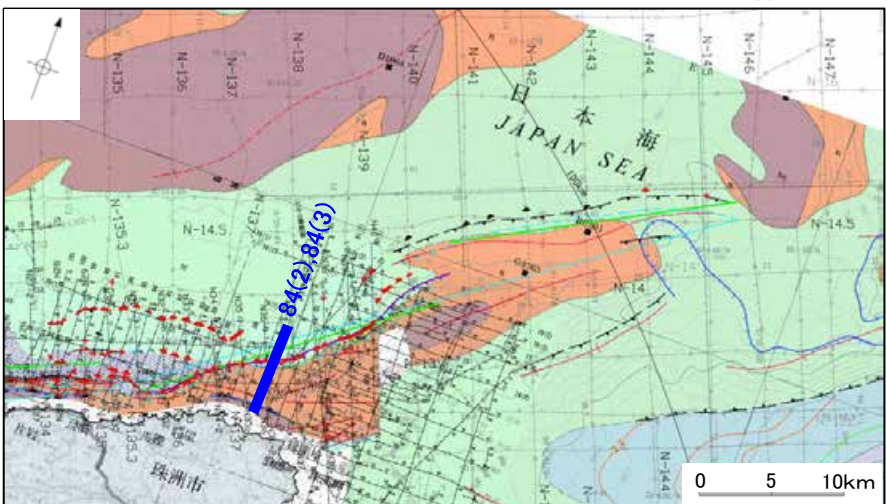
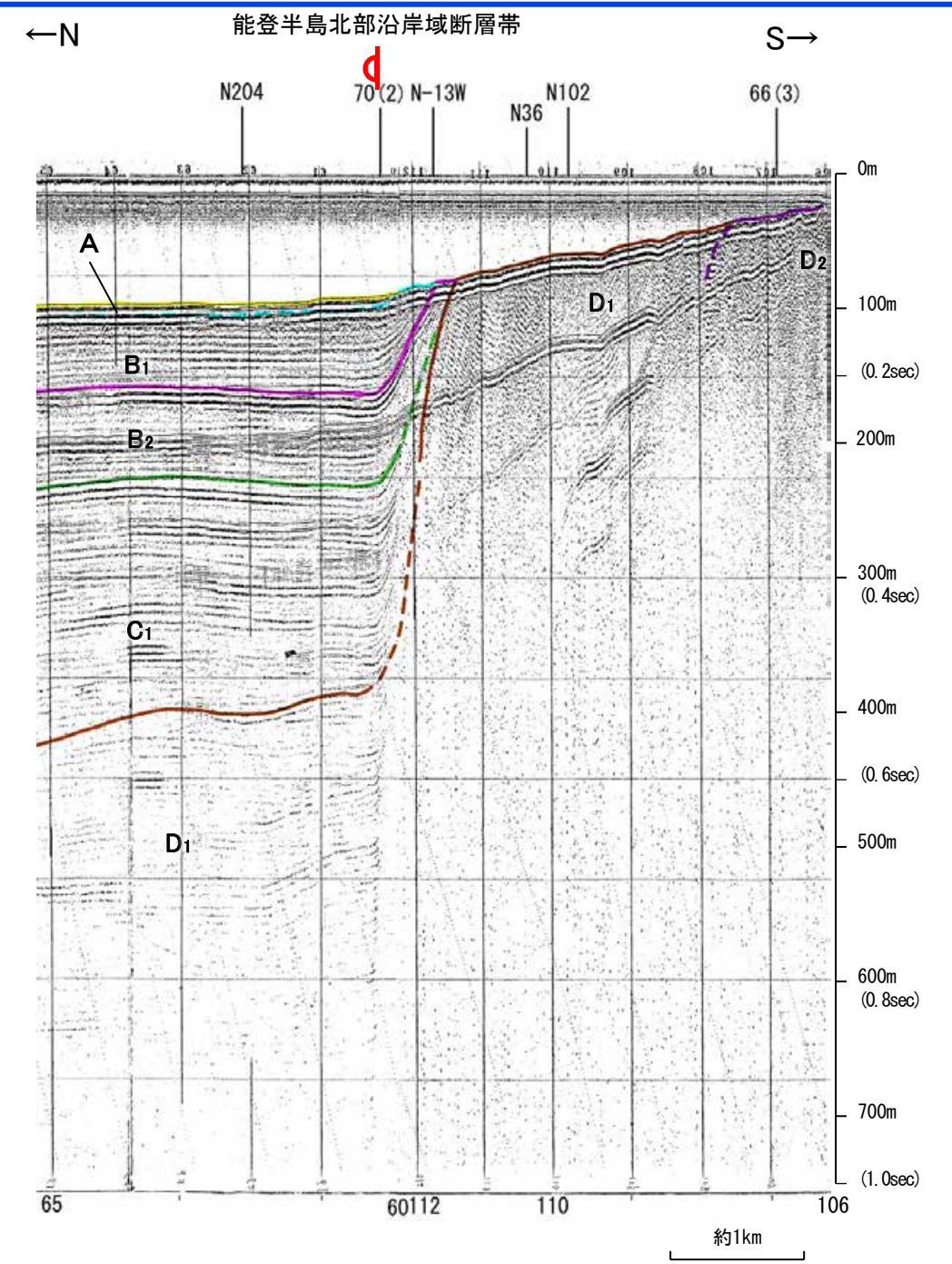
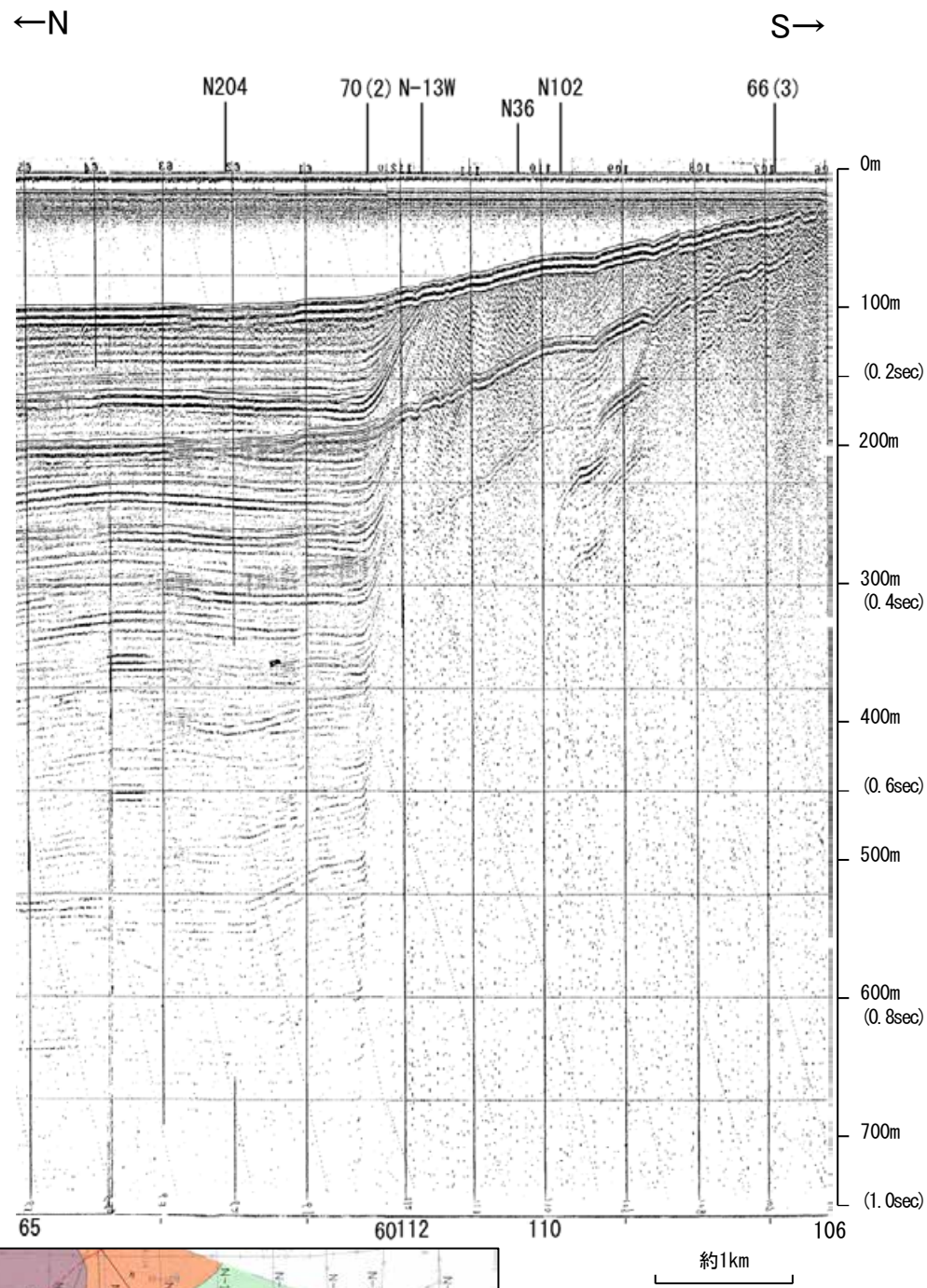
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 70(2)



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 84(2),84(3)



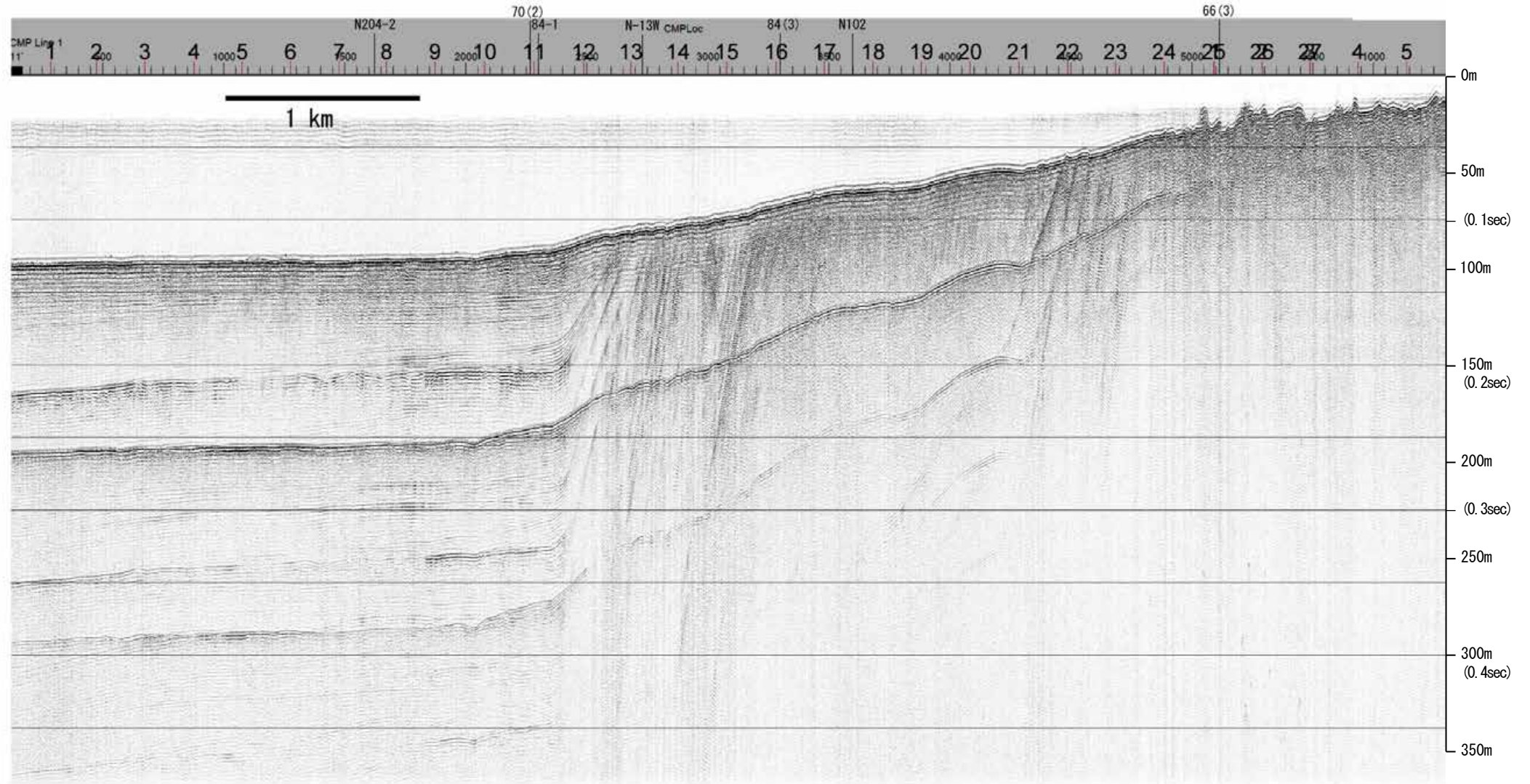
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



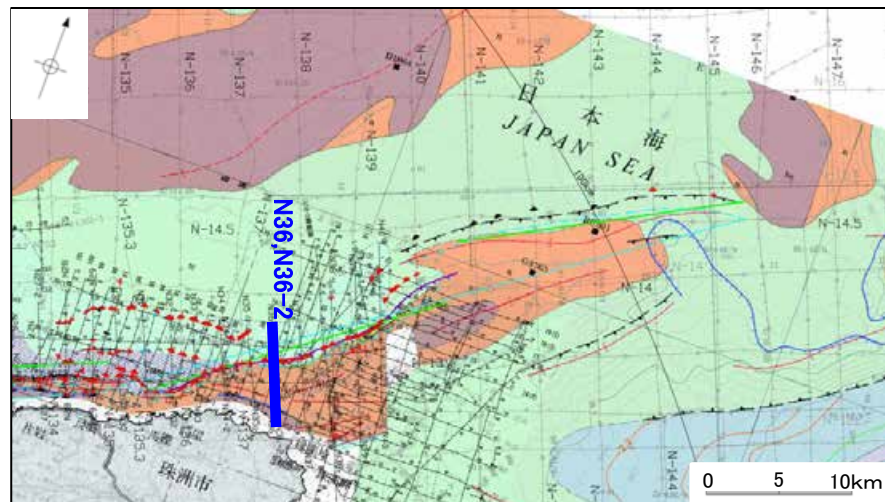
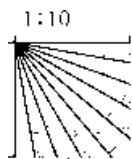
# 産総研ブーマー N36,N36-2

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
前期	C層	C層	
	C層	C層	
第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



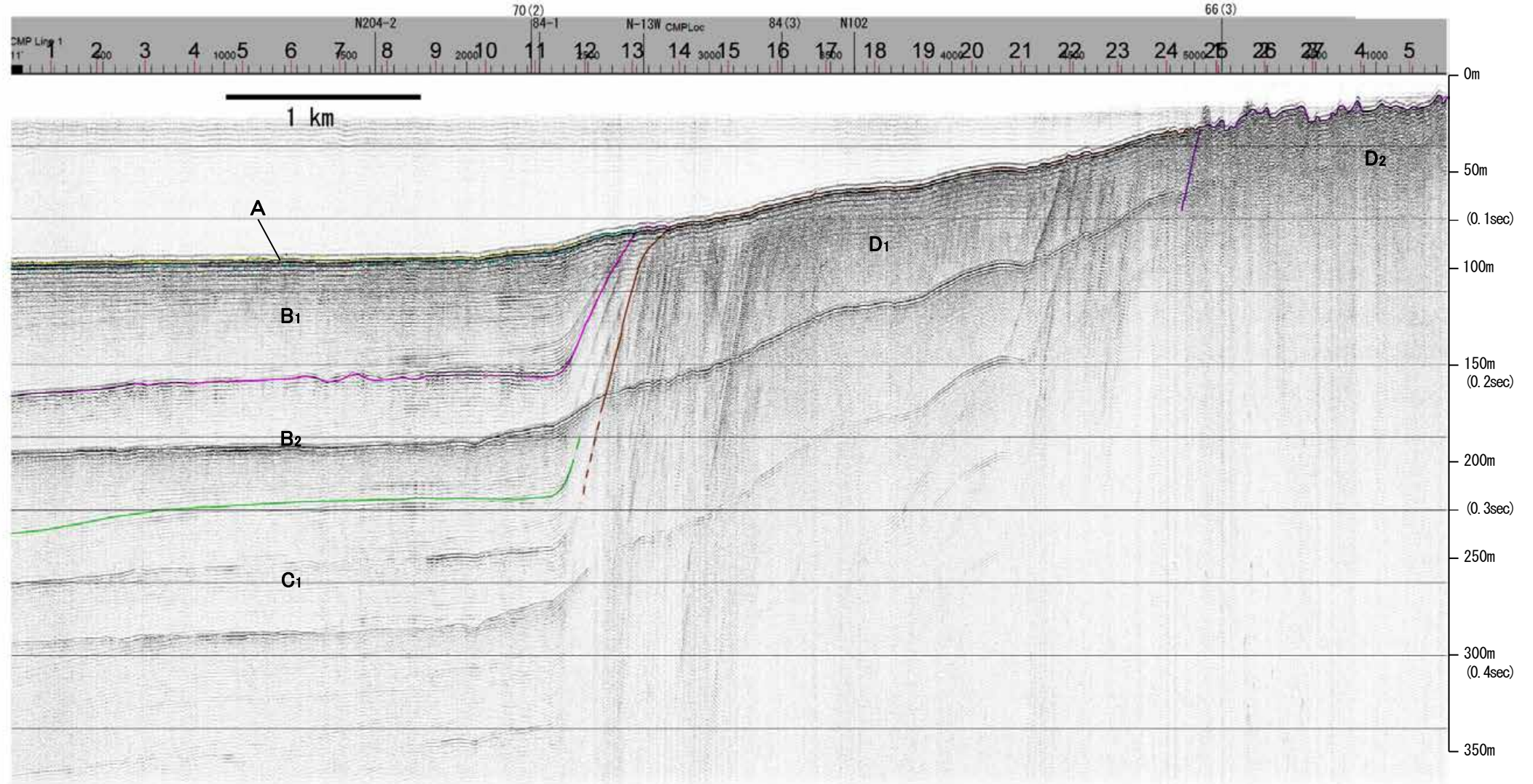
# 産総研ブーマー N36,N36-2

←NNW

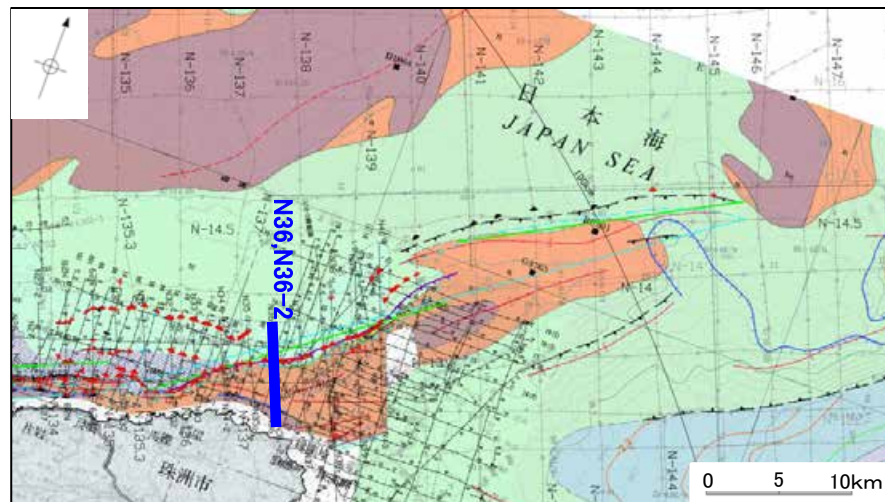
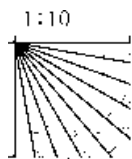
能登半島北部沿岸域断層帯

SSE→

4

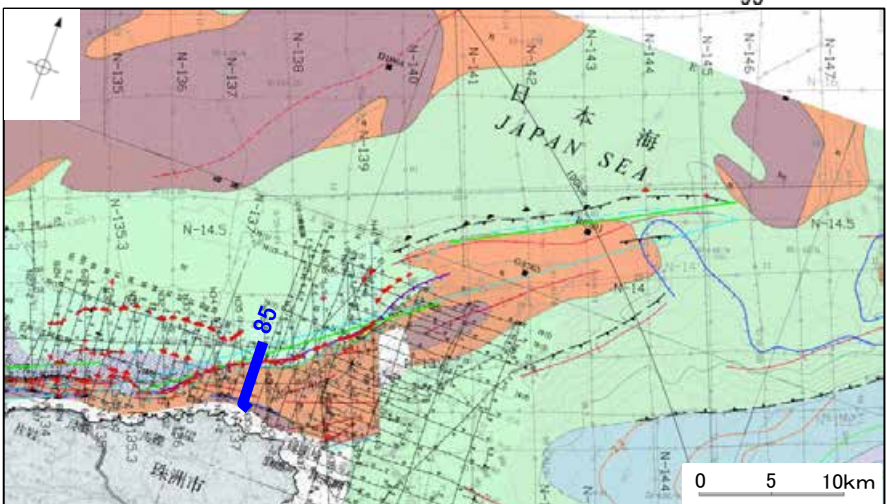
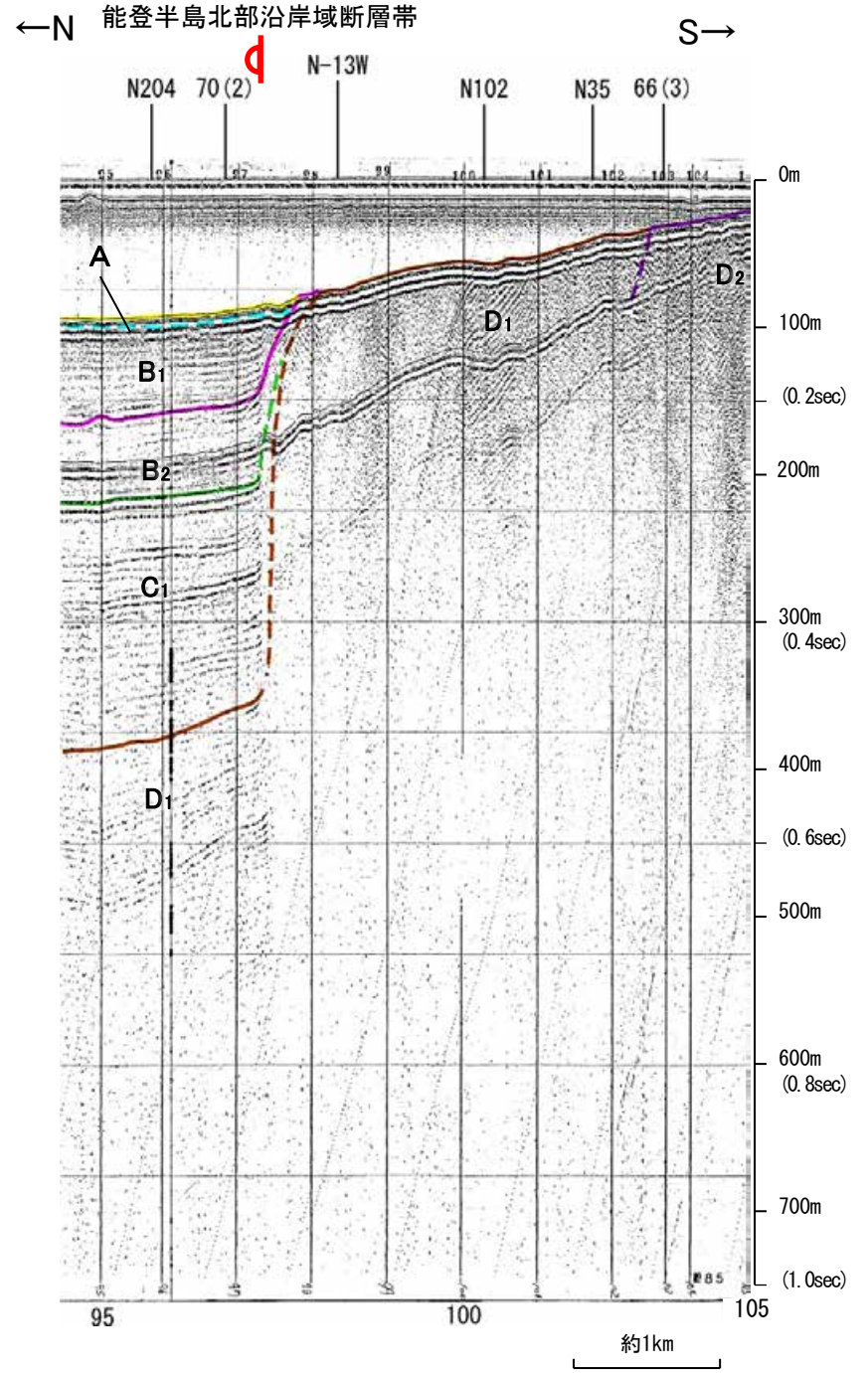
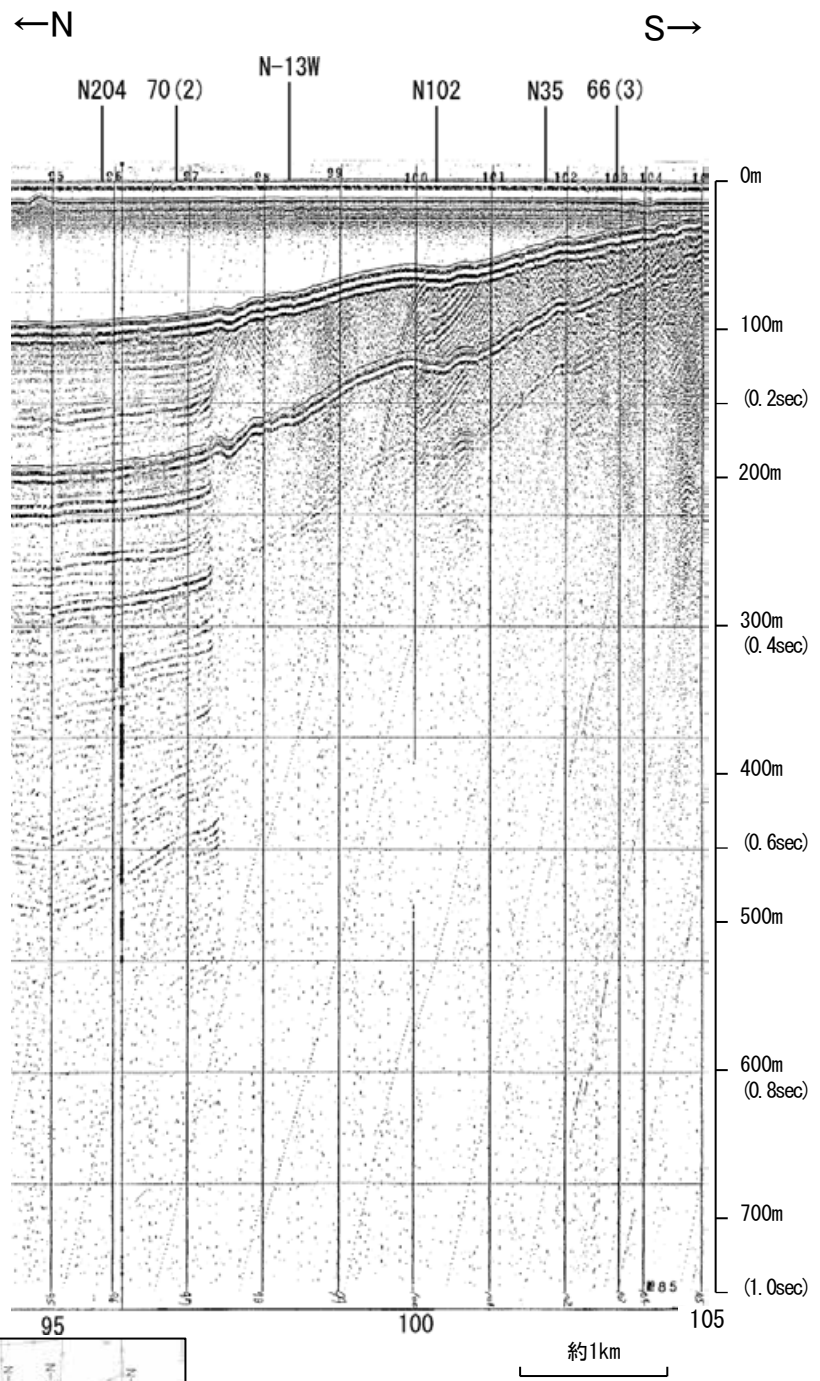


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	

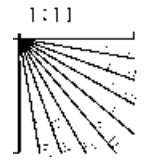


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 85



地質時代	地層名		
第四紀	完新世	A層	
	後期	B層	
	更新世	Q層	B <sub>1</sub> 層
		中期	B層
	前期	B層	
第三紀	C層	C層	
	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
古第三紀	D層		
先第三紀	D層		

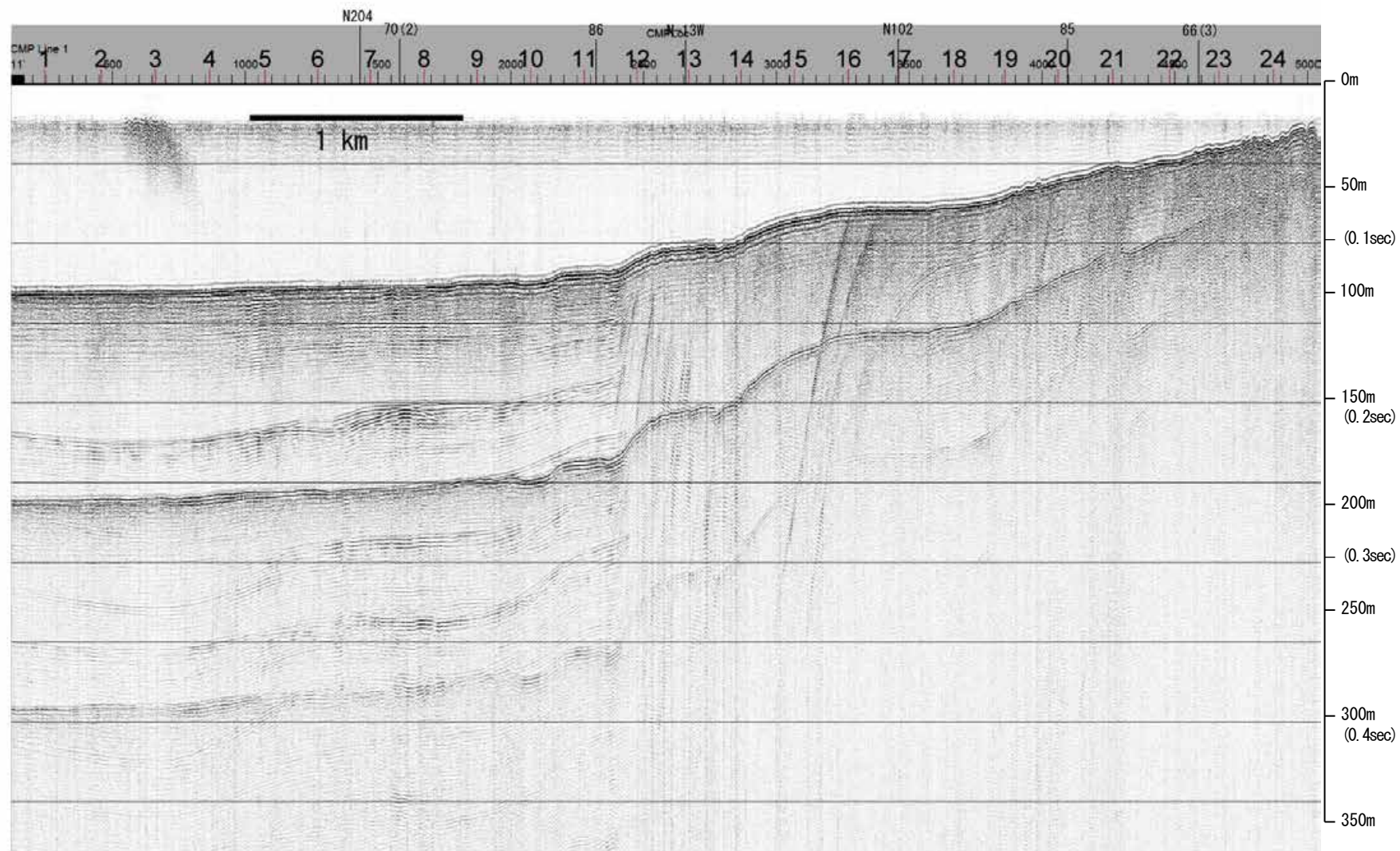


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

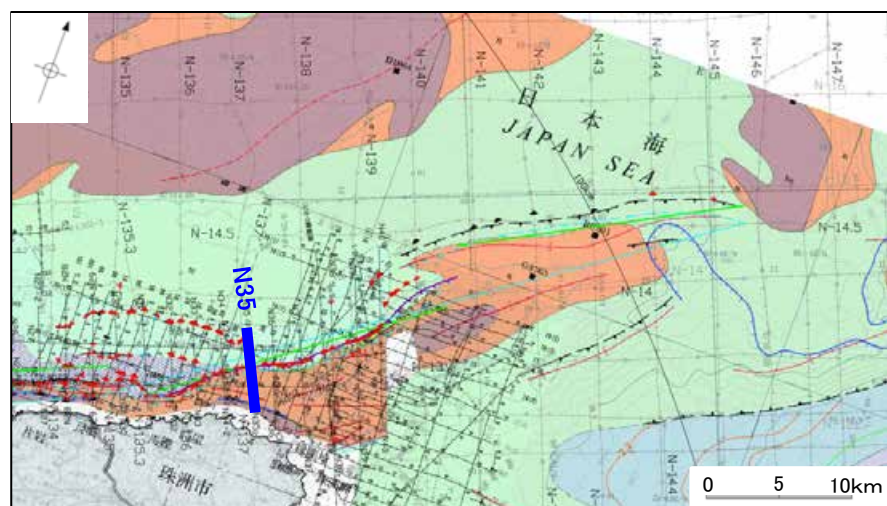
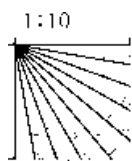
# 産総研ブーマー N35

←NNW

SSE→



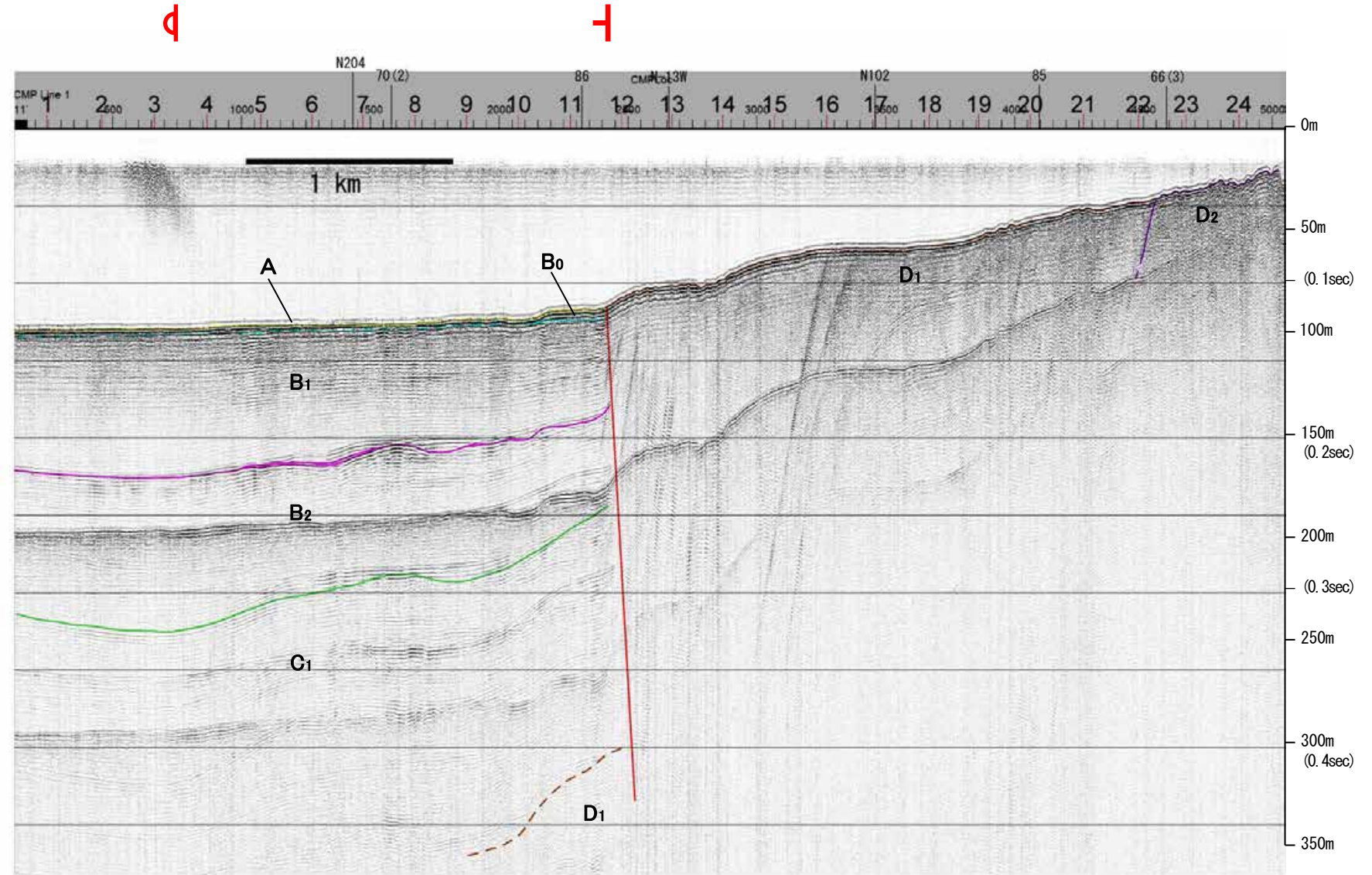
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	更新世	Q層
中期	B層	
	B <sub>1</sub> 層	
前期	C層	
	C <sub>1</sub> 層	
鮮新世	D層	
	D <sub>1</sub> 層	
中新世	D層	
	D <sub>1</sub> 層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



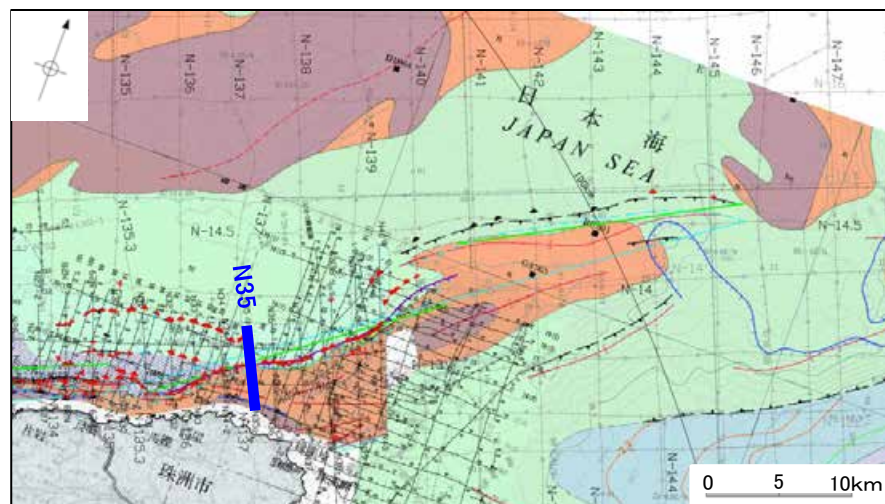
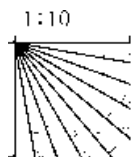
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯



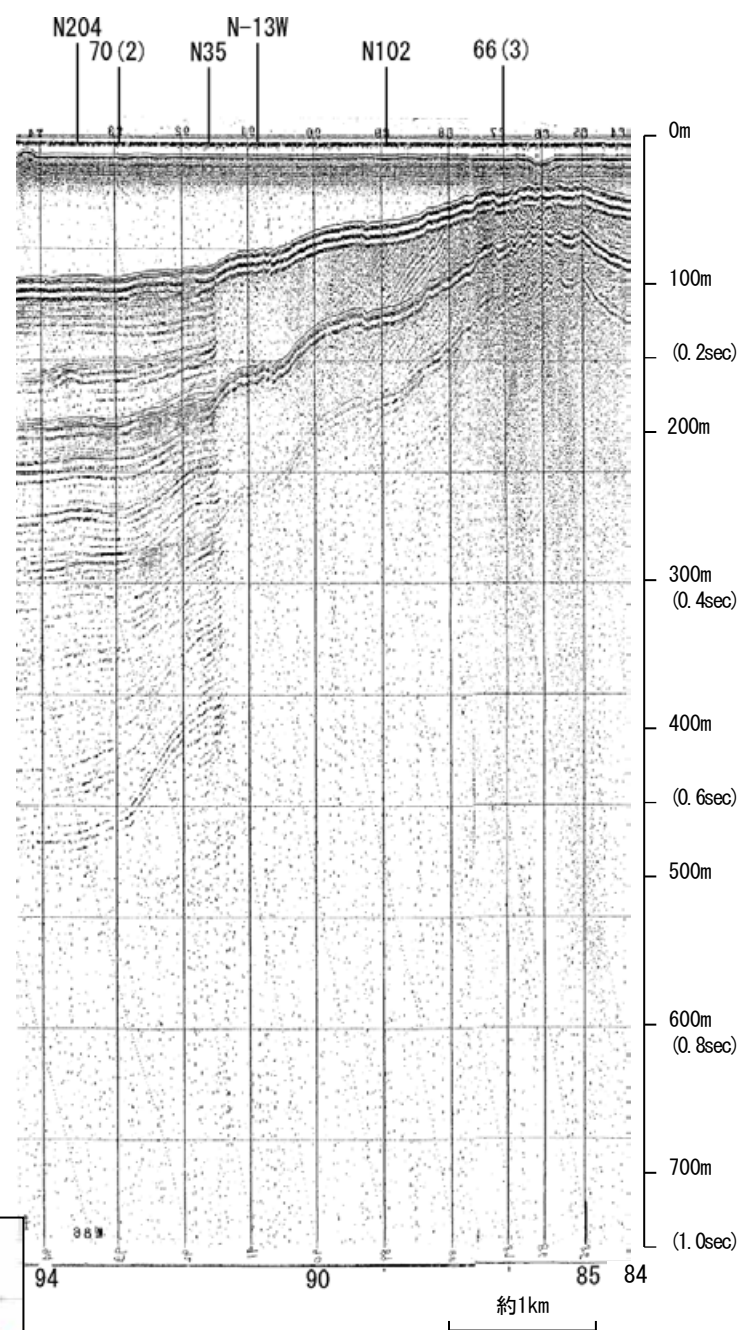
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	B層	B層
第三紀	中新世	C層	C層
	鮮新世	C層	C層
		D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層	



※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

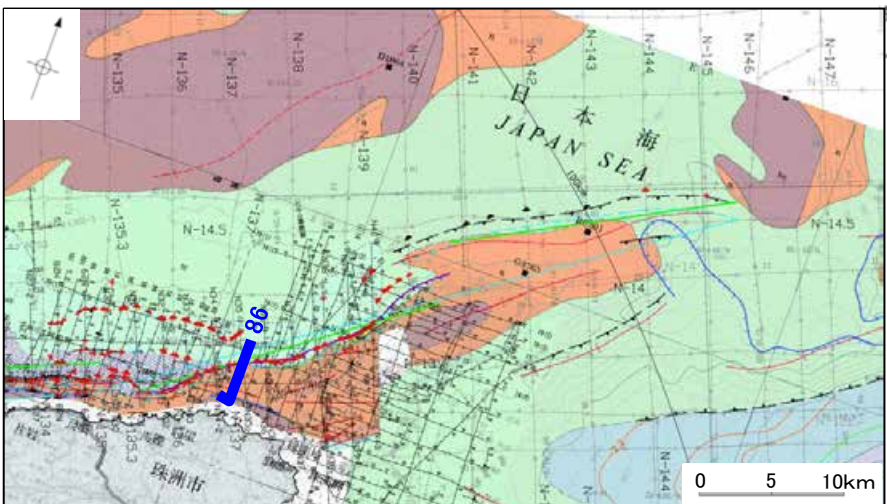
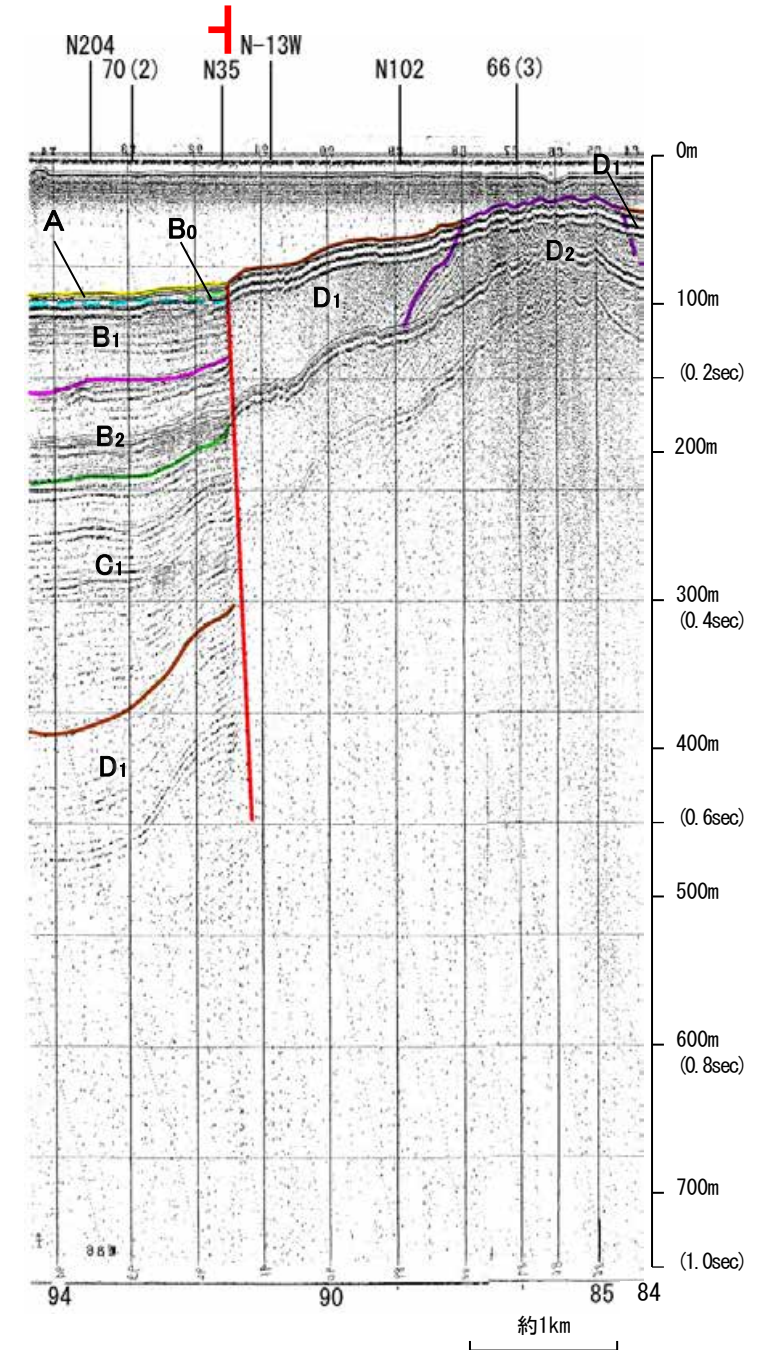
# 海上保安庁スパーカー 86

←N S→

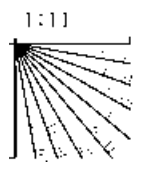


←N S→

能登半島北部沿岸域断層帯

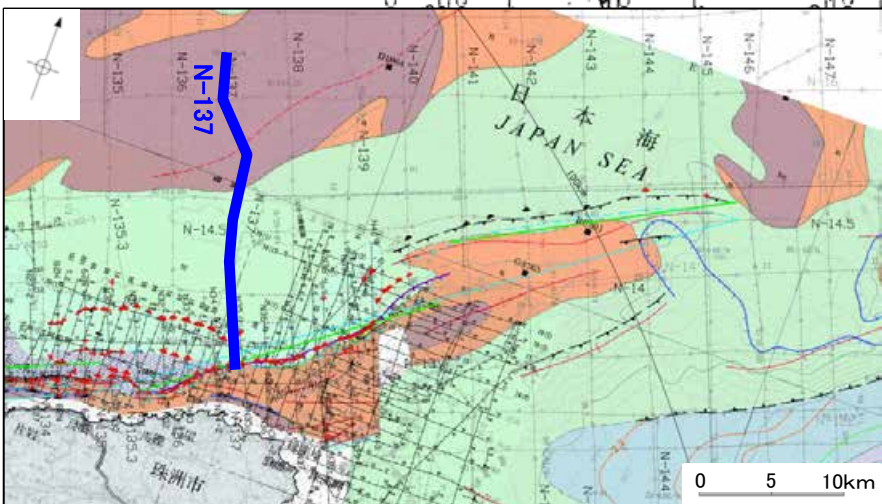
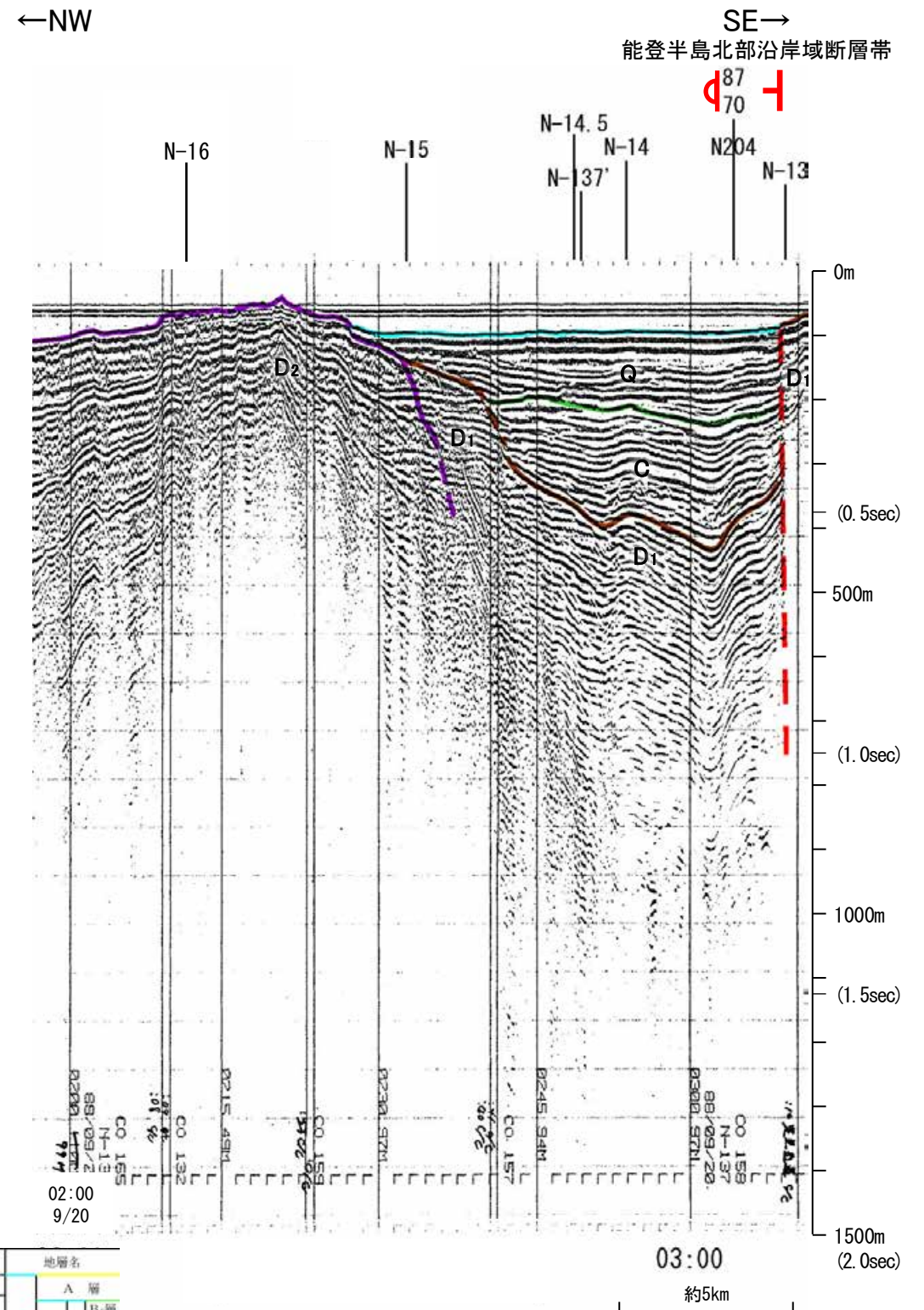
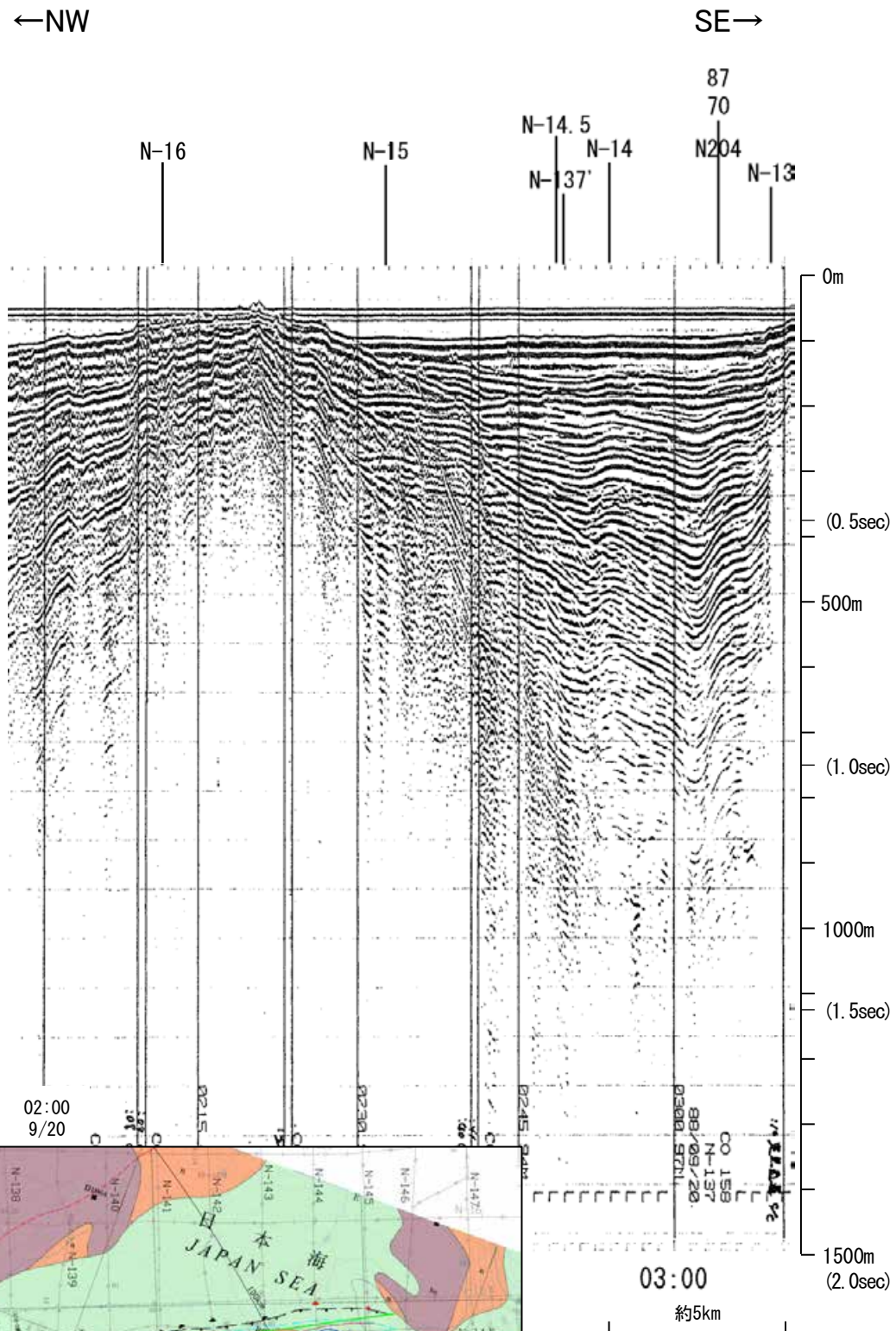


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B <sub>0</sub> 層
		中期	B層
			B層
前期	B層		
第三紀	新第三紀	C層	
		C層	
	古第三紀	D層	
先第三紀	D層		

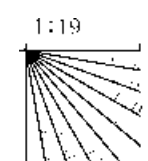


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-137

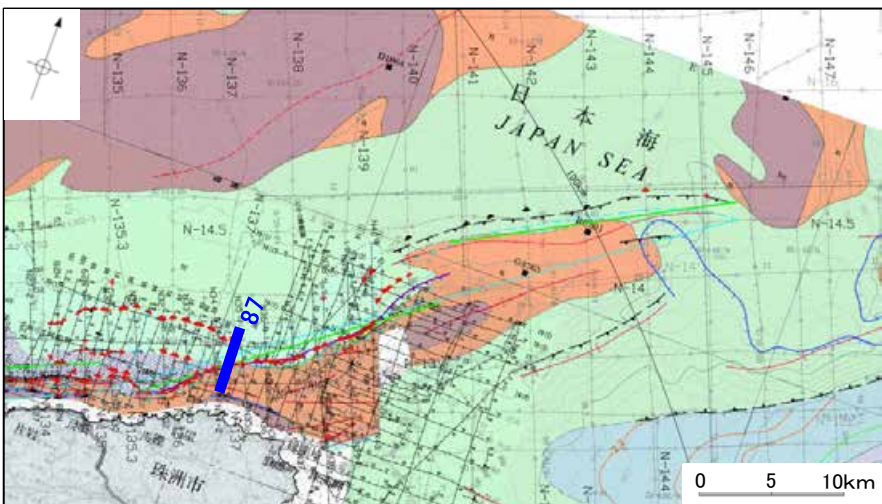
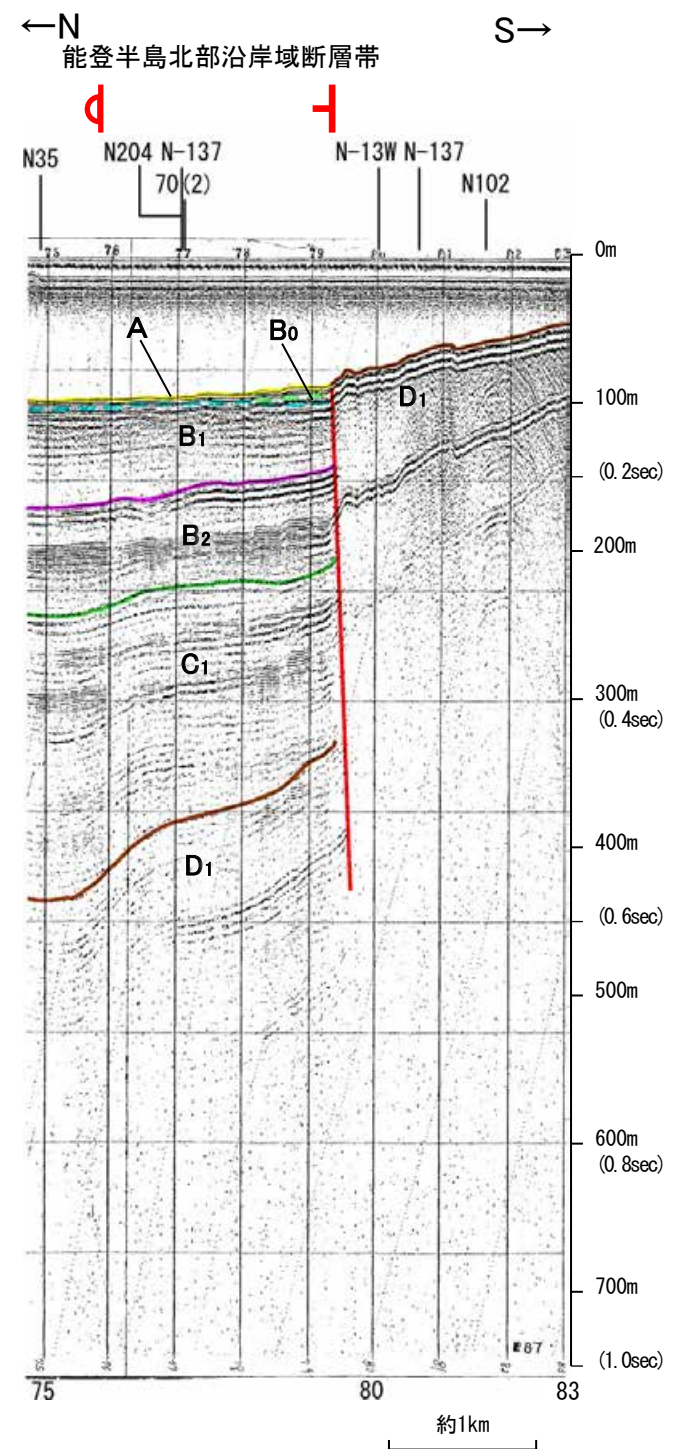
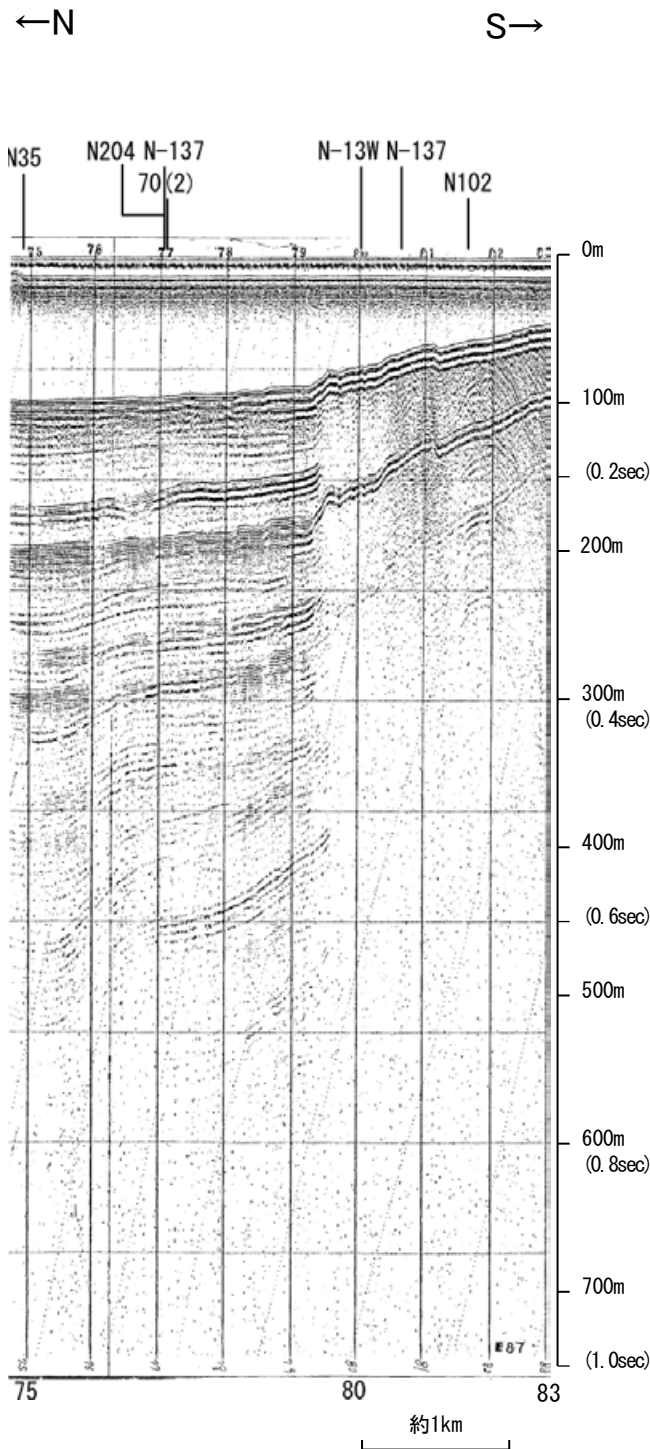


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

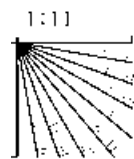


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 87



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



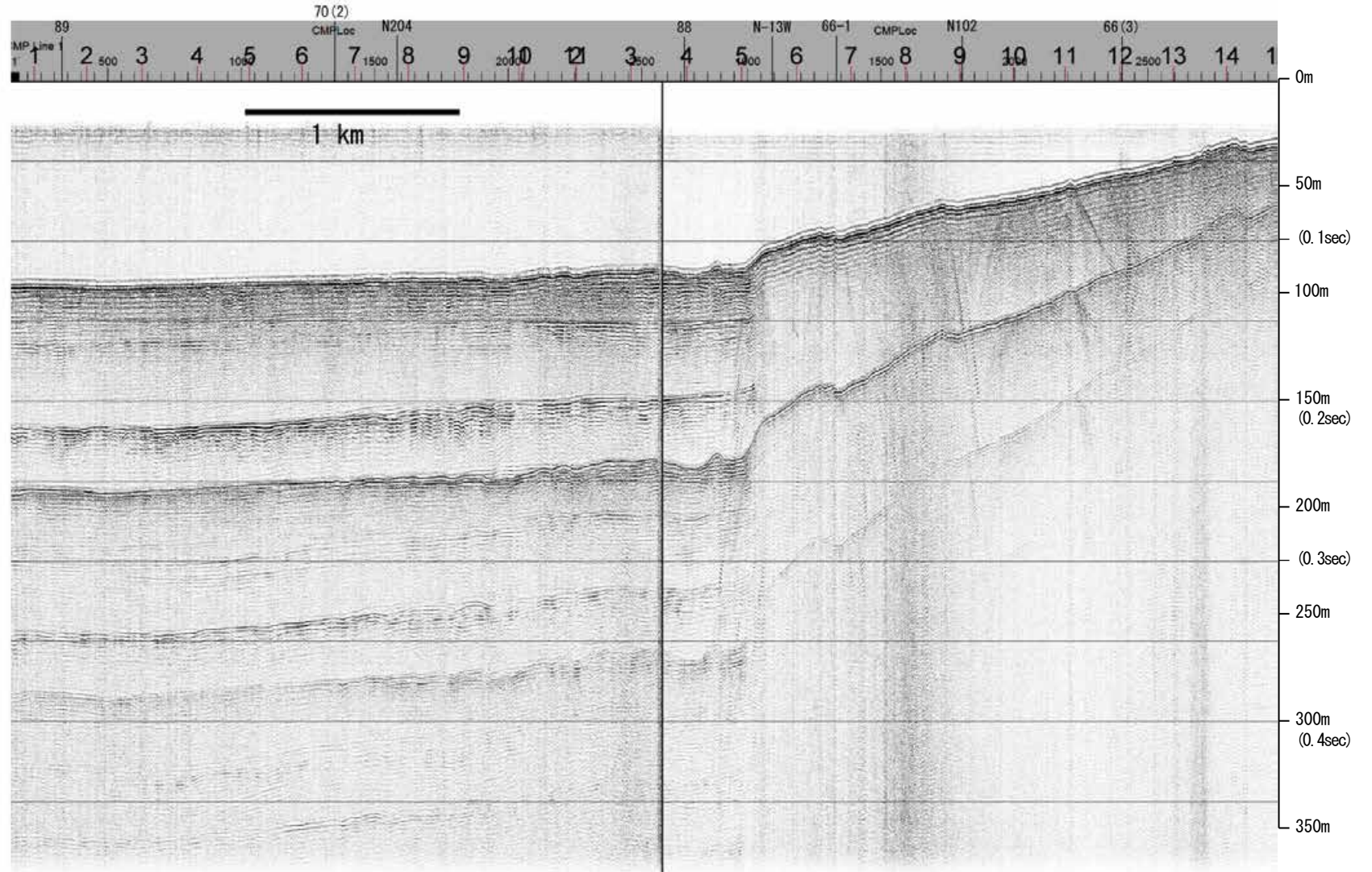
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



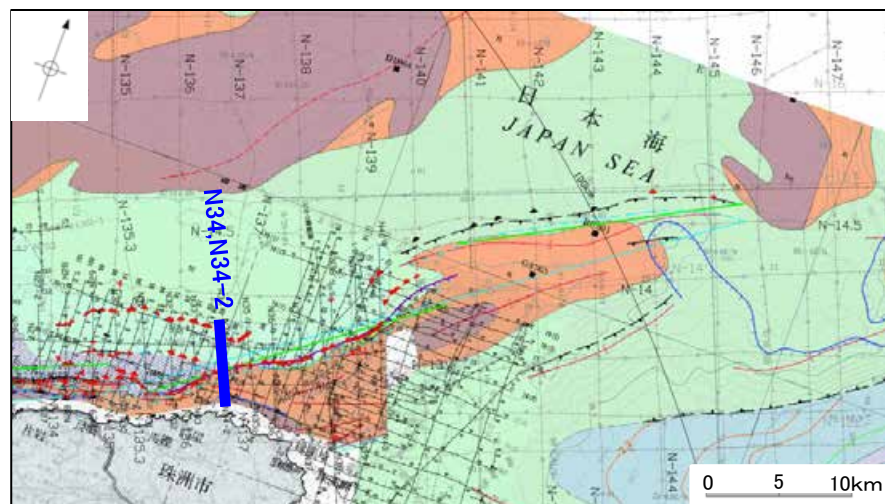
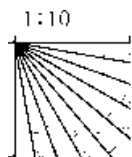
# 産総研ブーマー N34,N34-2

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
前期	C層	C層	
	C層	C層	
新第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

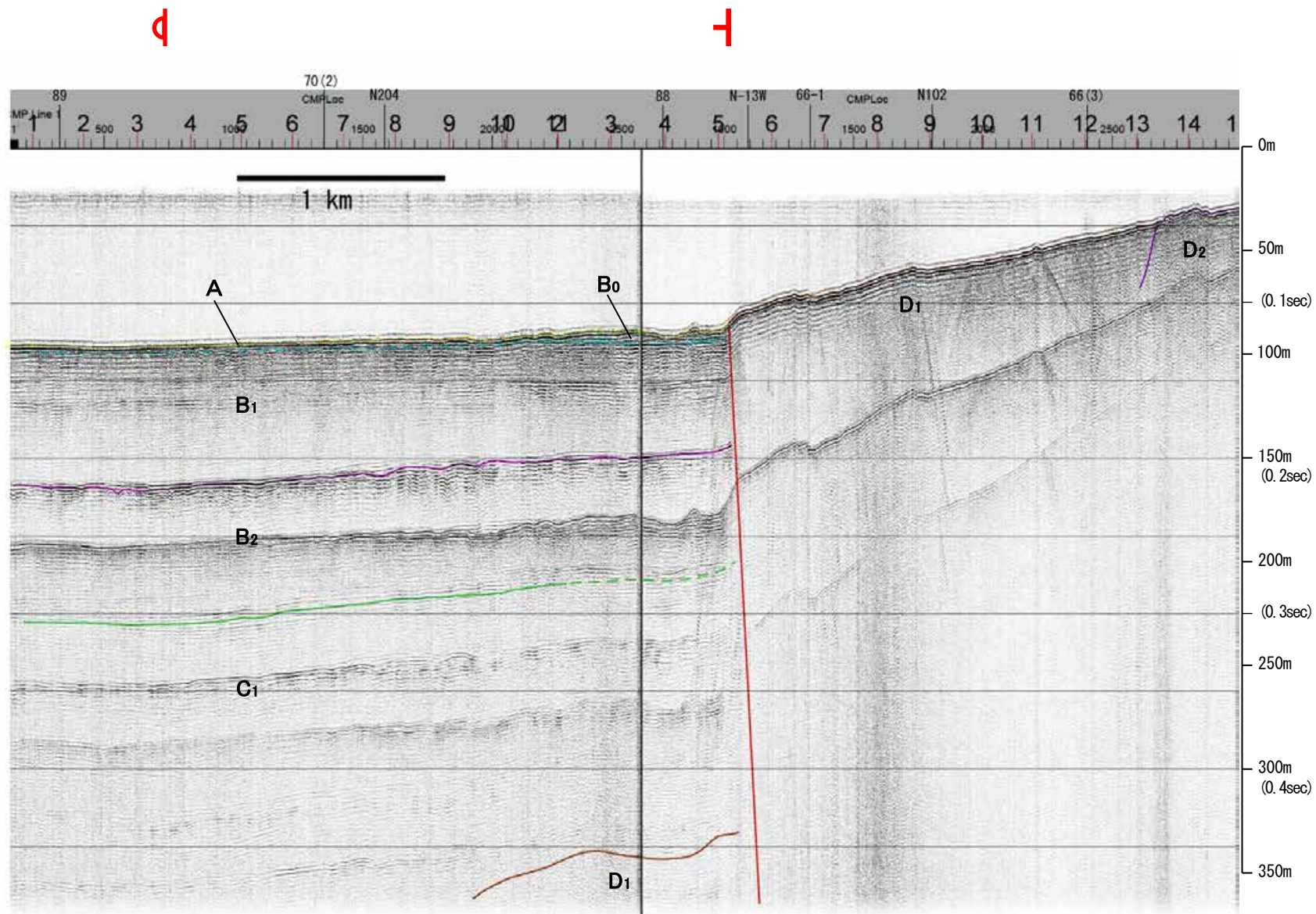


# 産総研ブーマー N34,N34-2

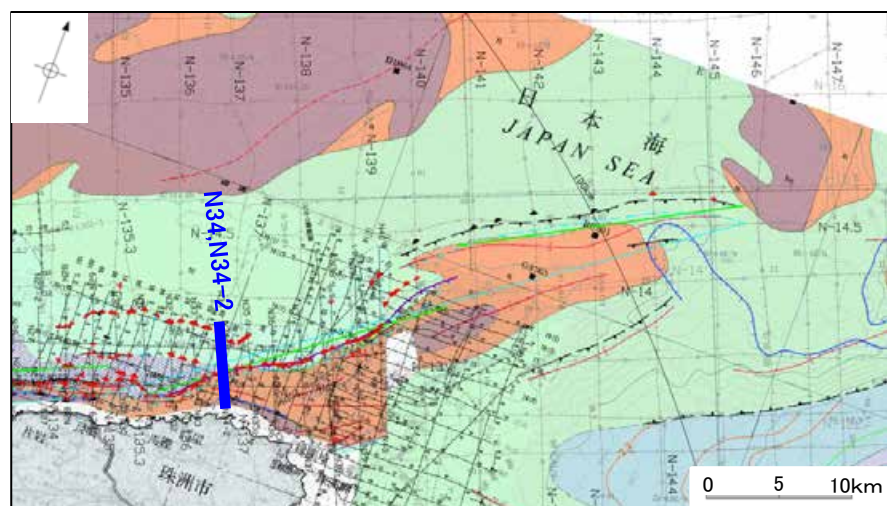
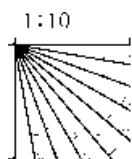
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

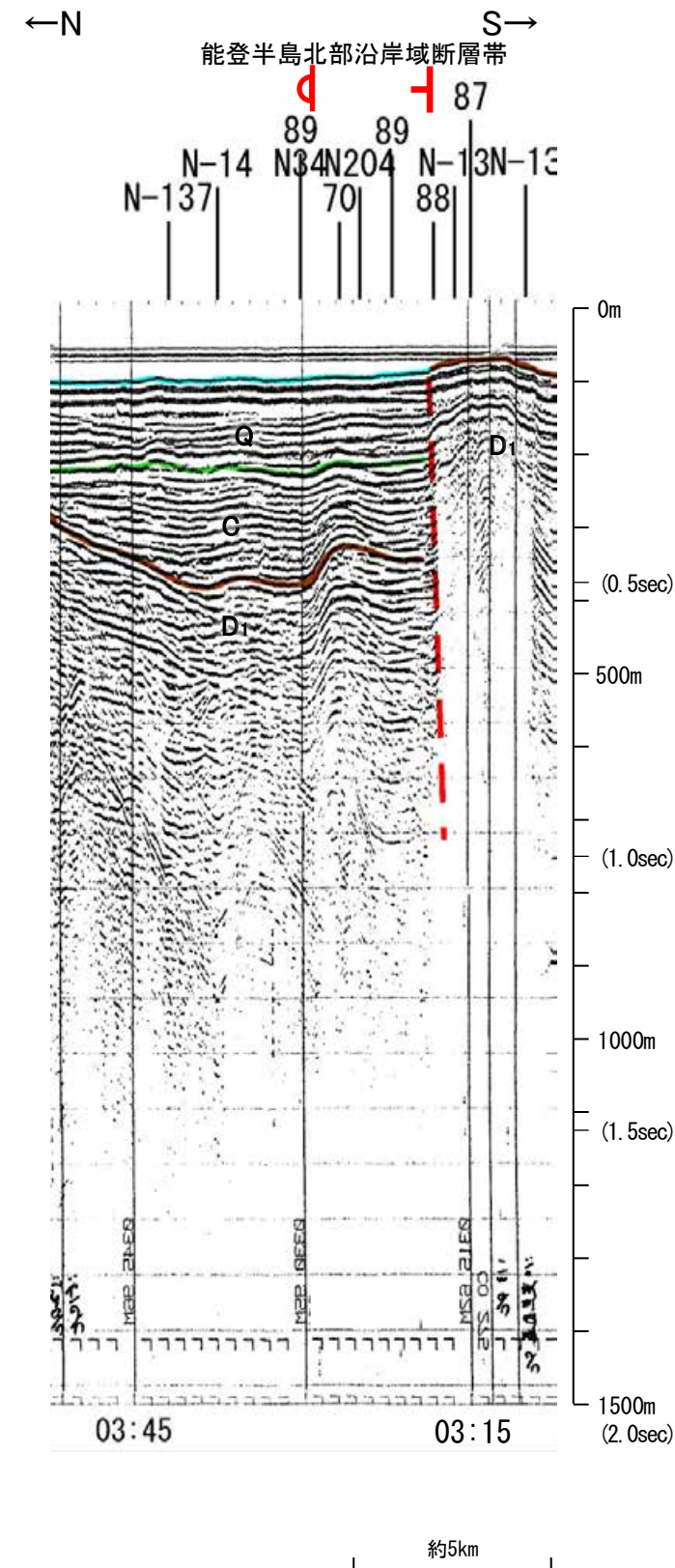
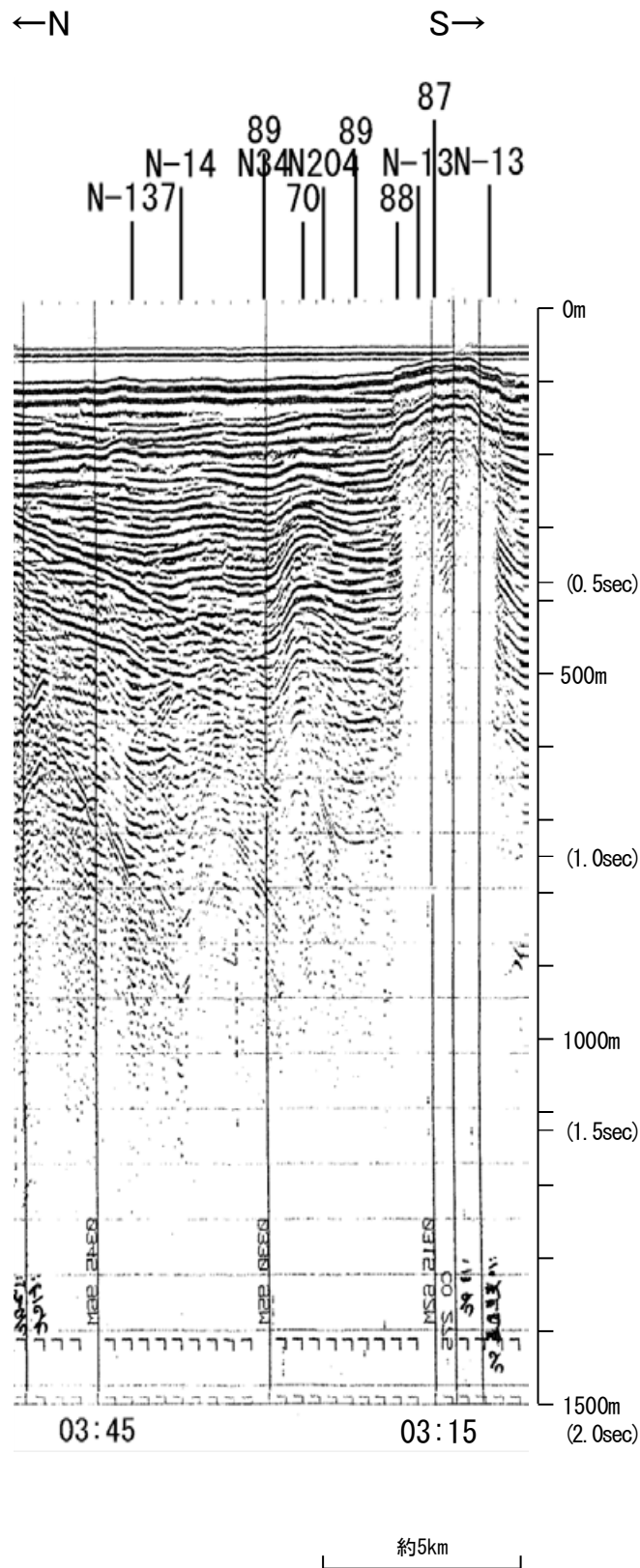


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層	B <sub>2</sub> 層
	中期	B <sub>3</sub> 層	B <sub>3</sub> 層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層	C <sub>1</sub> 層
	中新世	D <sub>1</sub> 層	D <sub>1</sub> 層
古第三紀	D <sub>2</sub> 層	D <sub>2</sub> 層	
先第三紀	D <sub>3</sub> 層	D <sub>3</sub> 層	

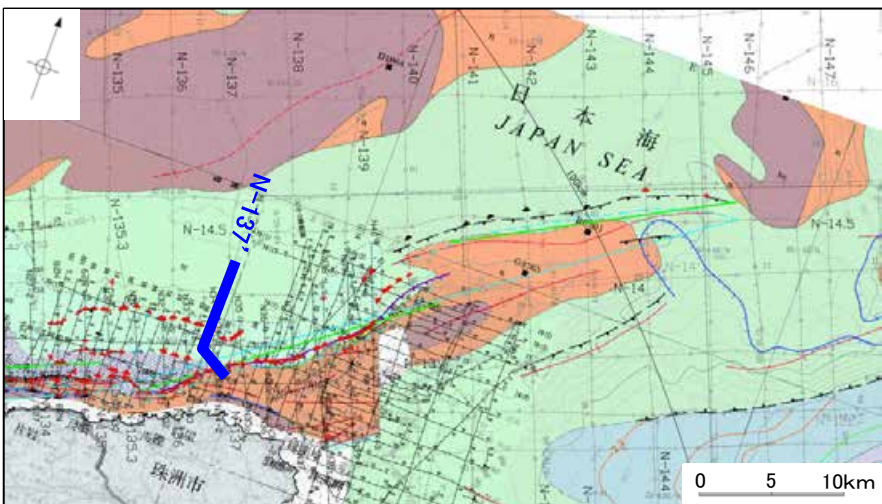
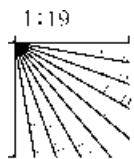


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

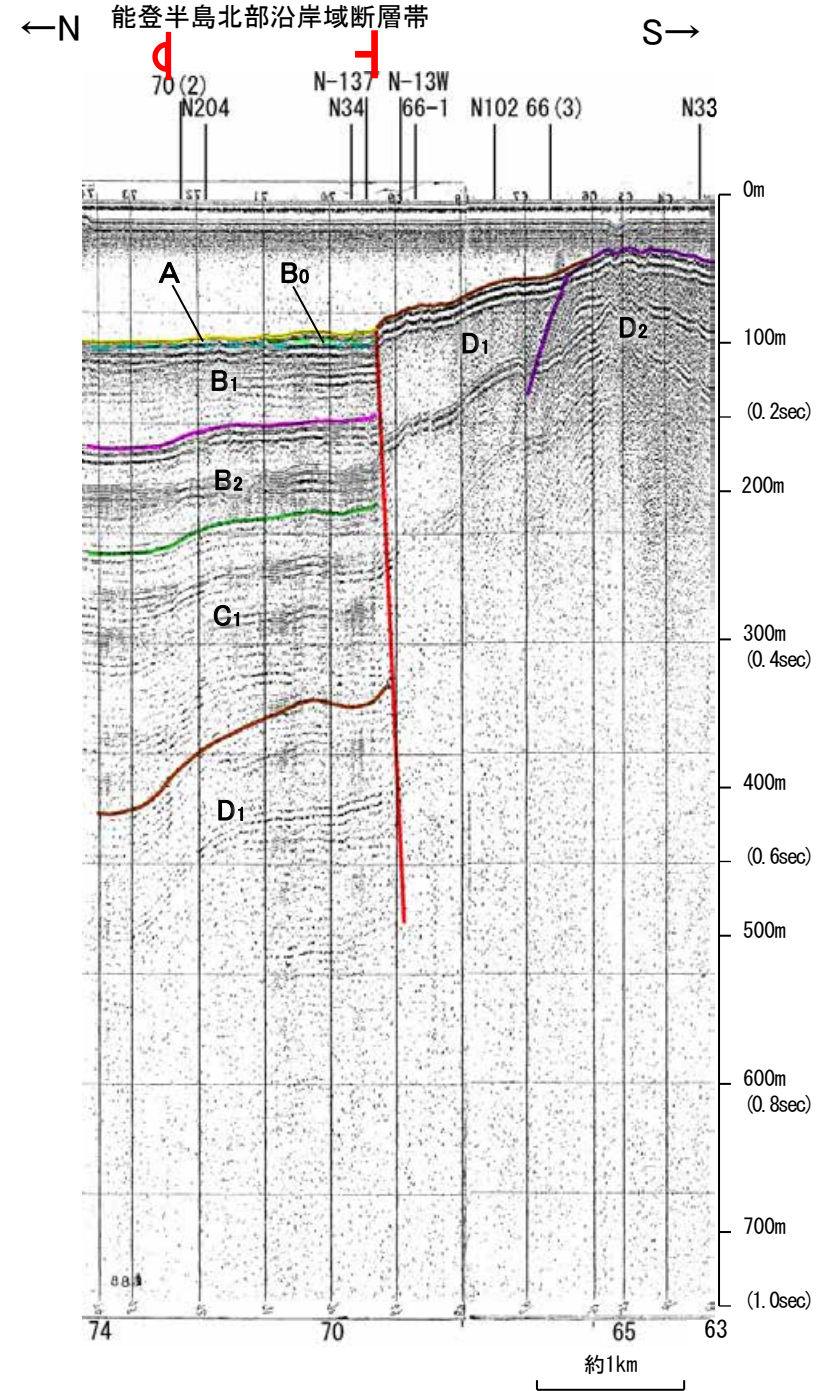
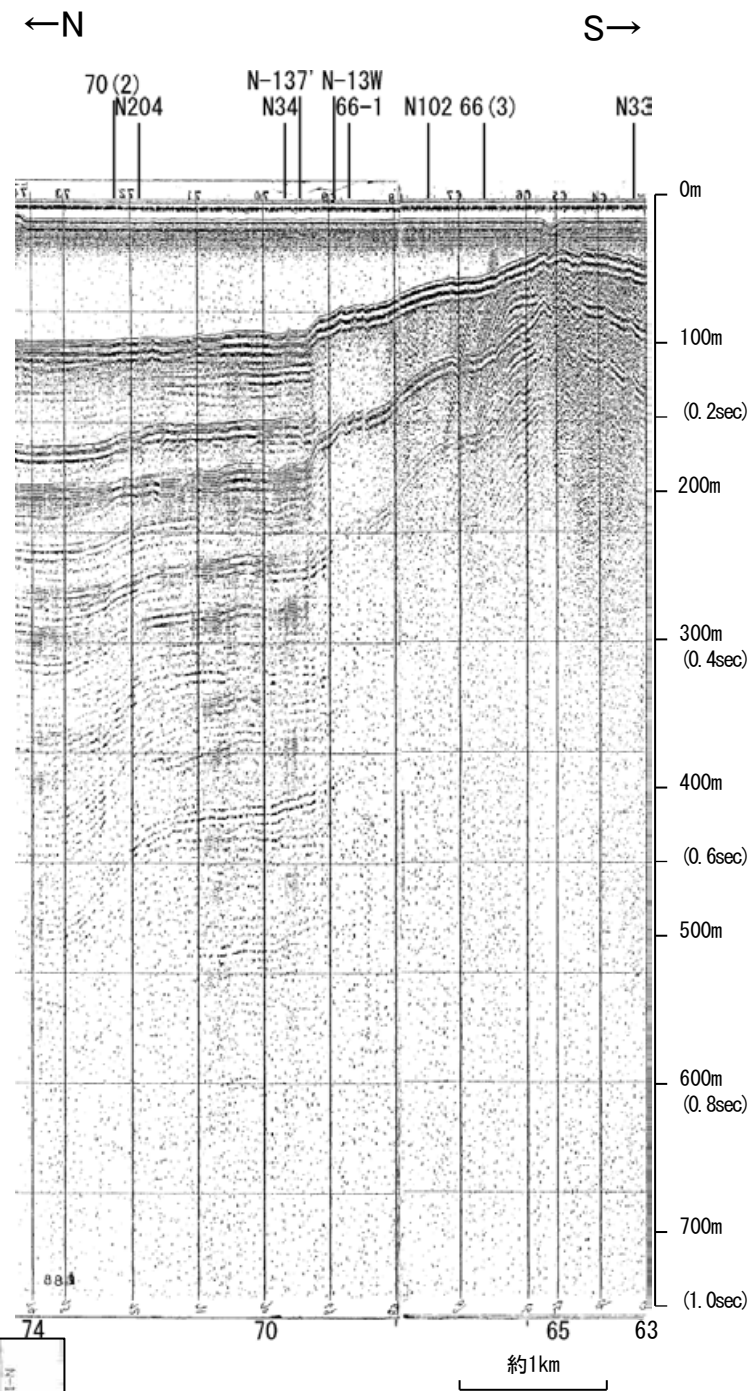
# 地質調査所エアガン N-137'



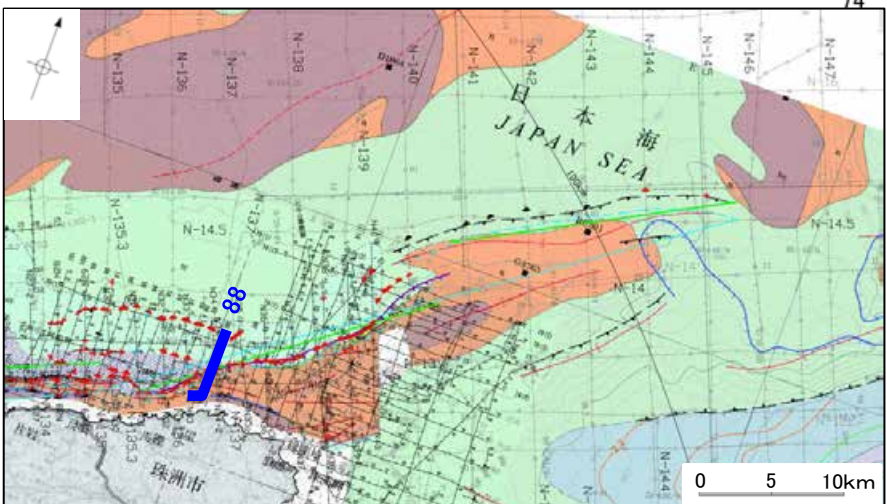
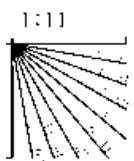
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
	中期	B層	B層
更新世	前期	B層	B層
	前期	C層	C層
新第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層



この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



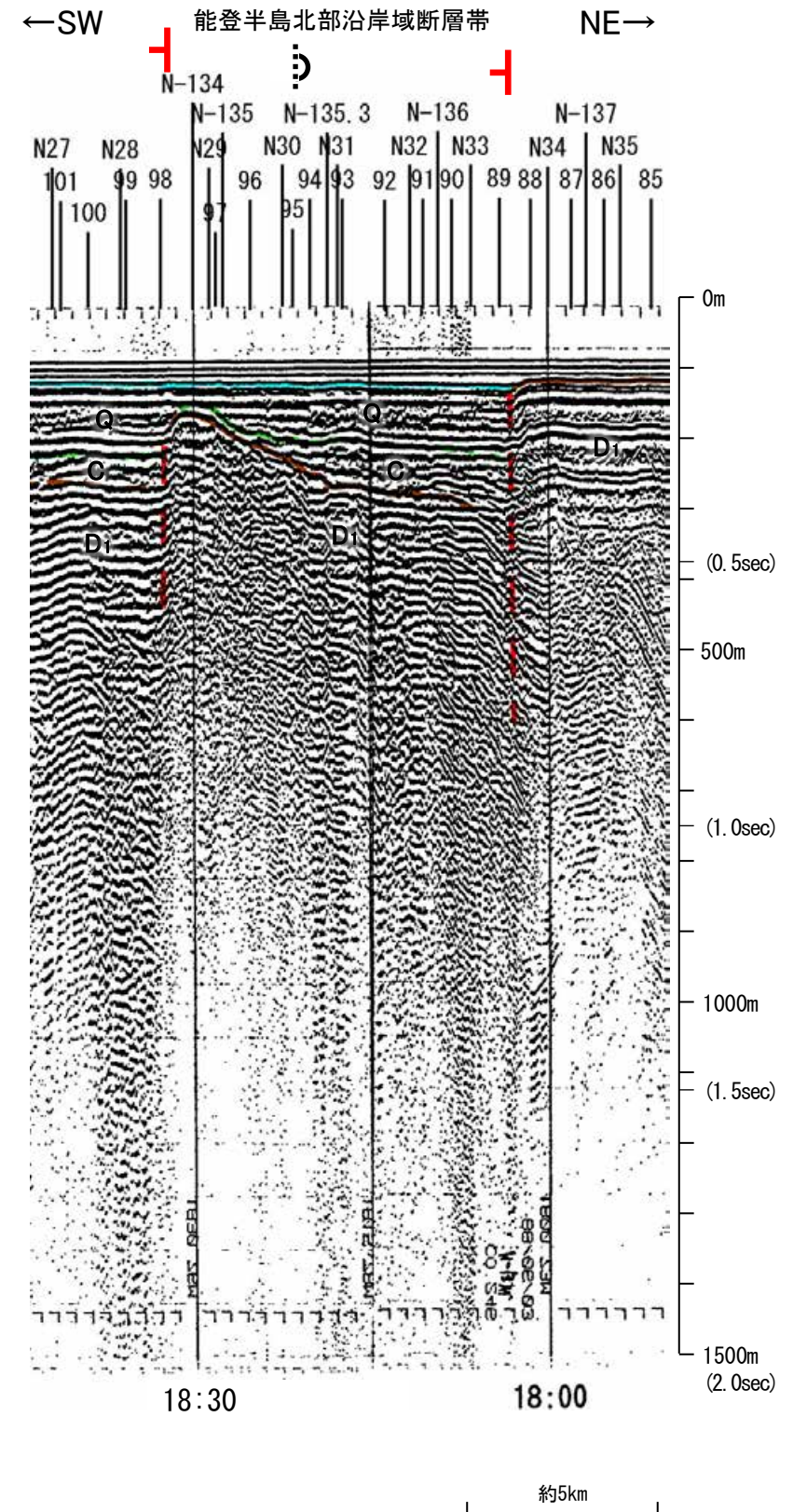
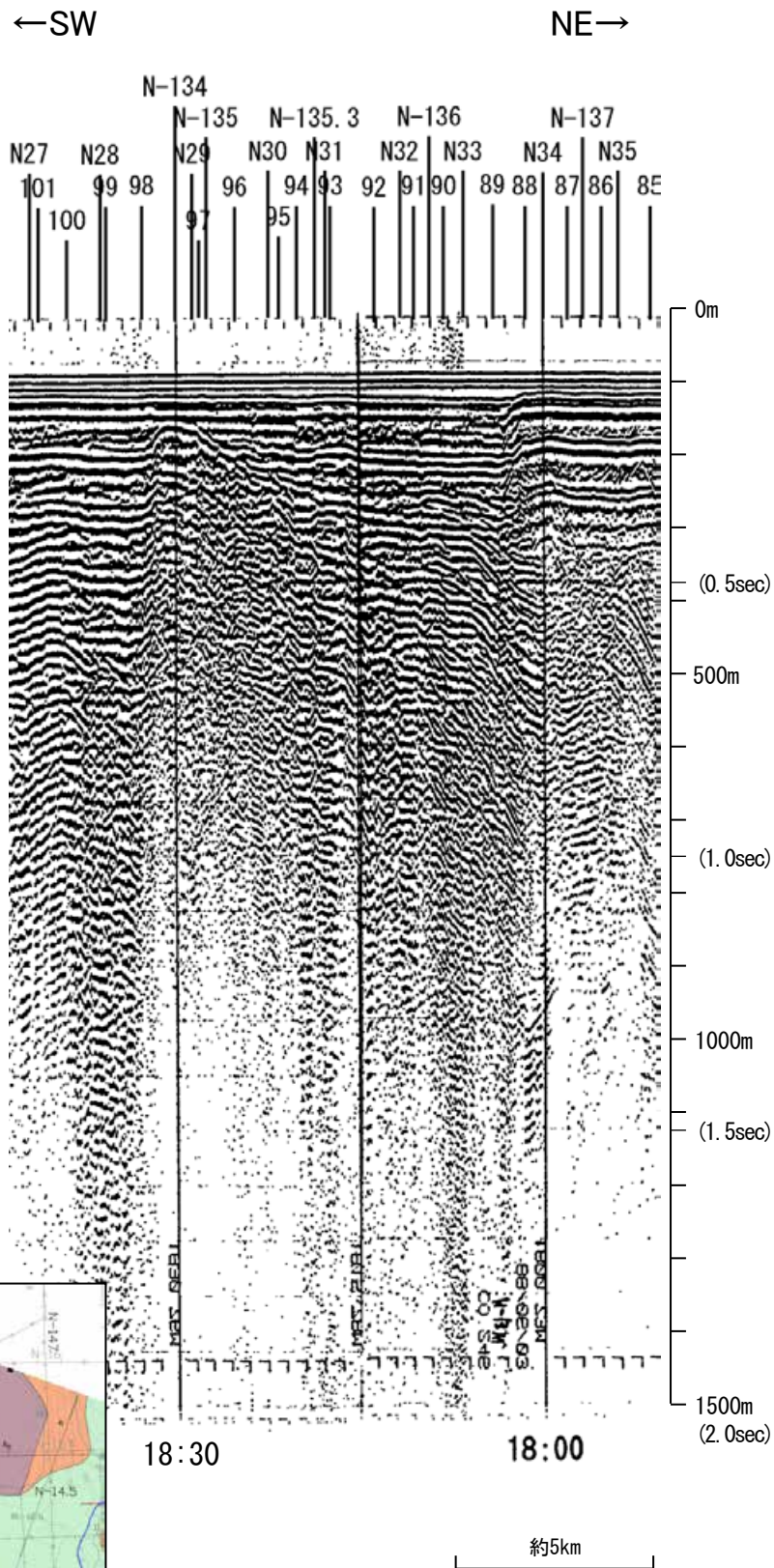
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	更新世	B層
中期	B層	
前期	C層	
	C層	
第三紀	鮮新世	D層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



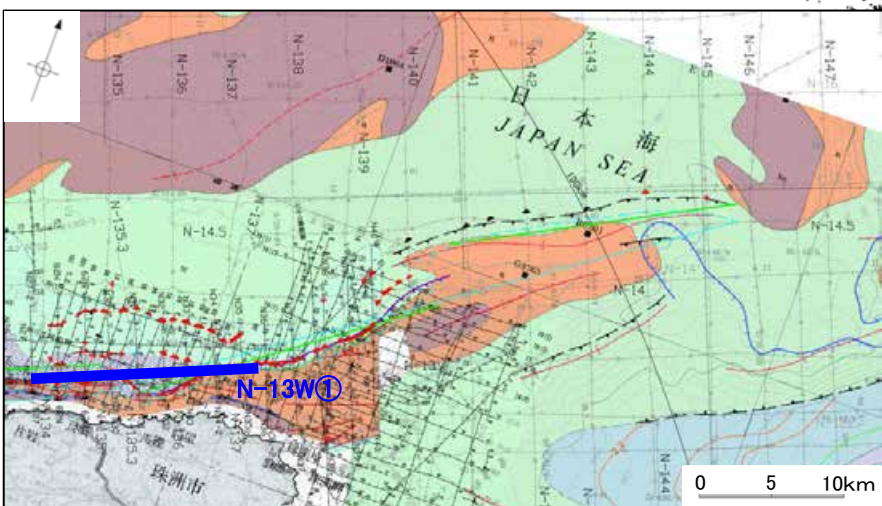
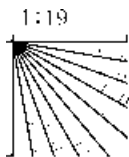
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 地質調査所エアガン N-13W①

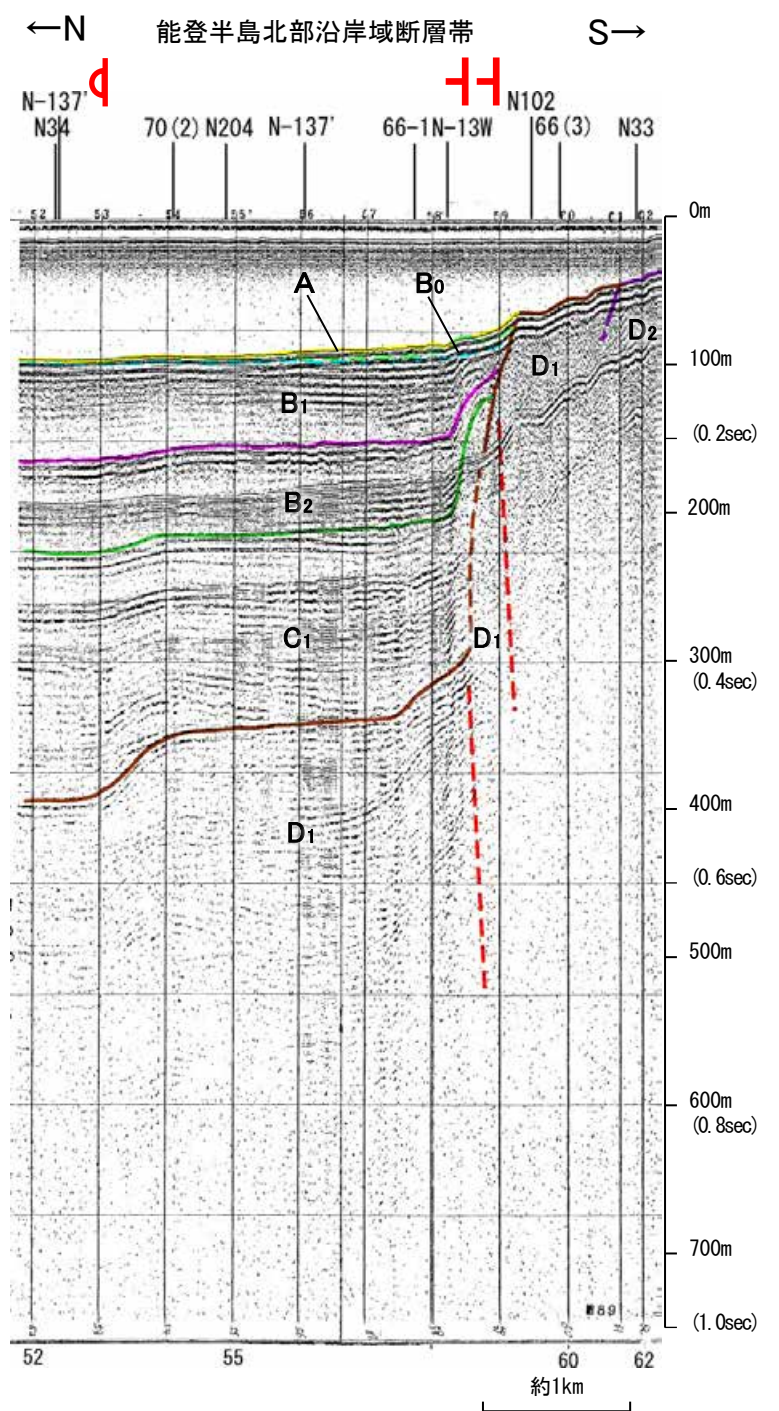
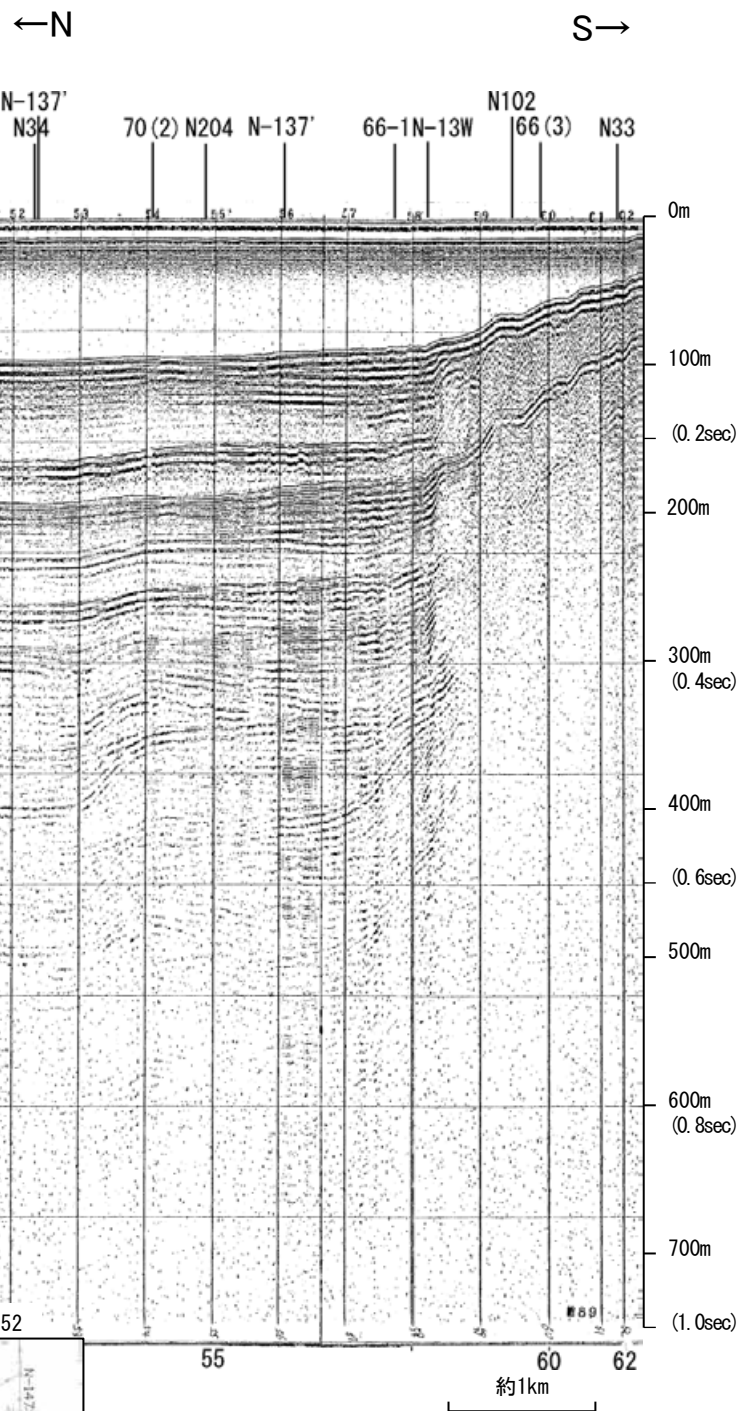


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	更新世	B <sub>2</sub> 層
中期	B <sub>3</sub> 層	
前期	C層	
	C <sub>1</sub> 層	
鮮新世	D層	
	D <sub>1</sub> 層	
中新世	D <sub>2</sub> 層	
	D <sub>3</sub> 層	
古第三紀	D <sub>4</sub> 層	
先第三紀	D <sub>5</sub> 層	

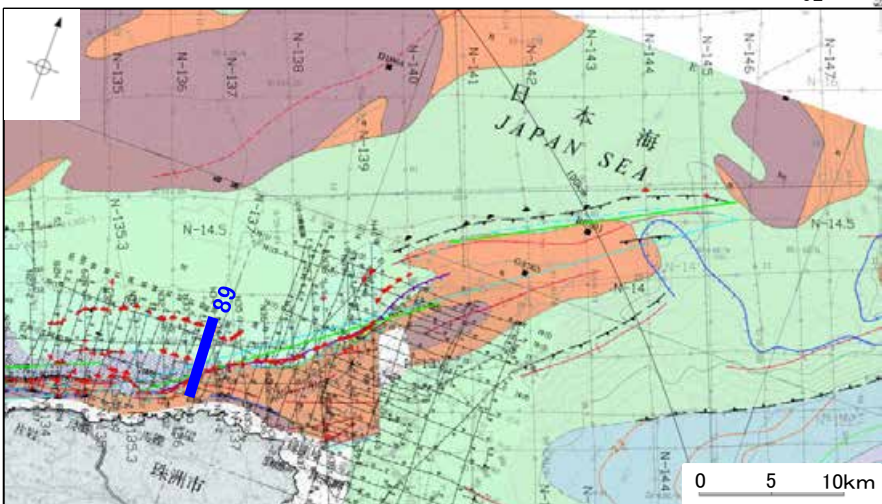
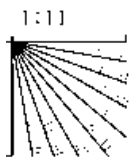


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 89



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層

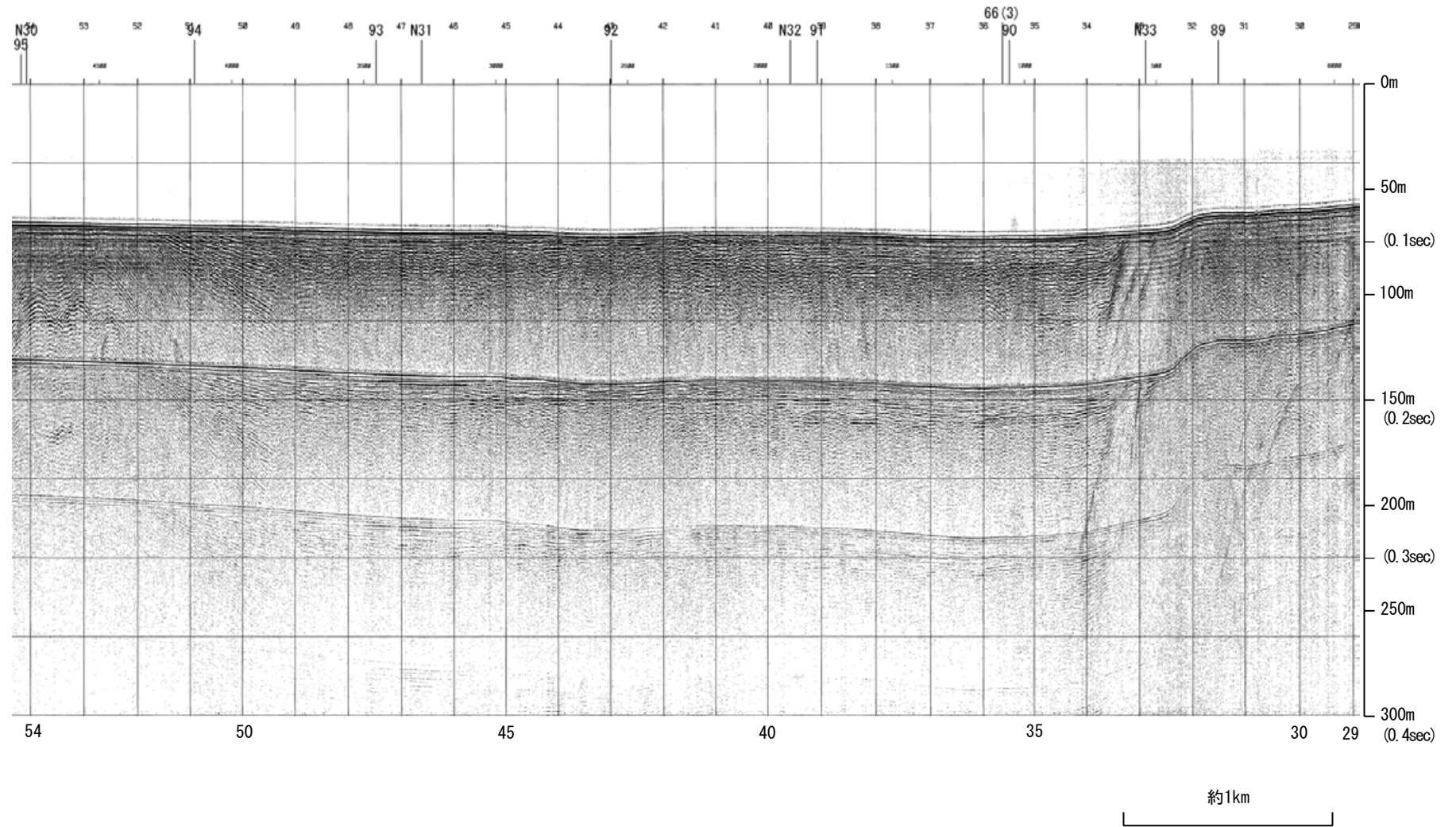


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

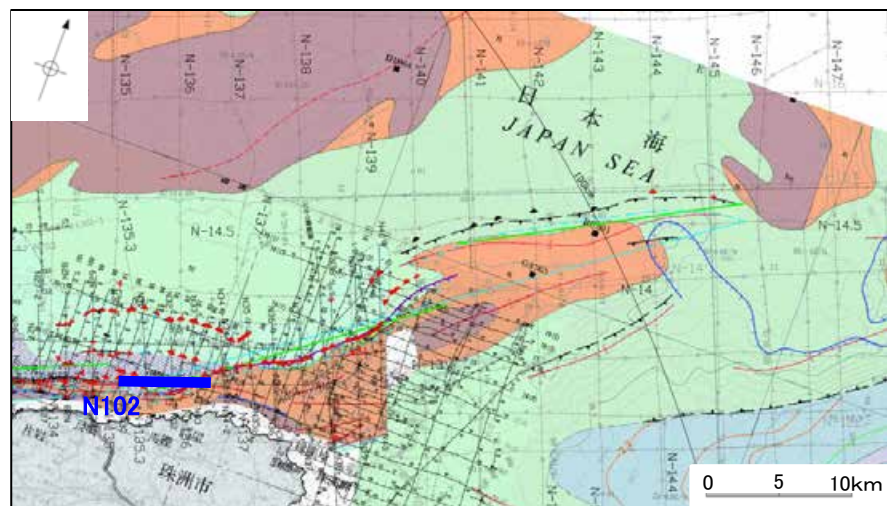
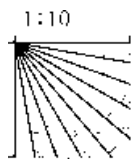
# 産総研ブーマー N102

←WSW

ENE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
第三紀	中新世	B層	B層
	前期	C層	C層
		C層	C層
鮮新世	D層	D層	
新第三紀	中新世	D層	D層
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



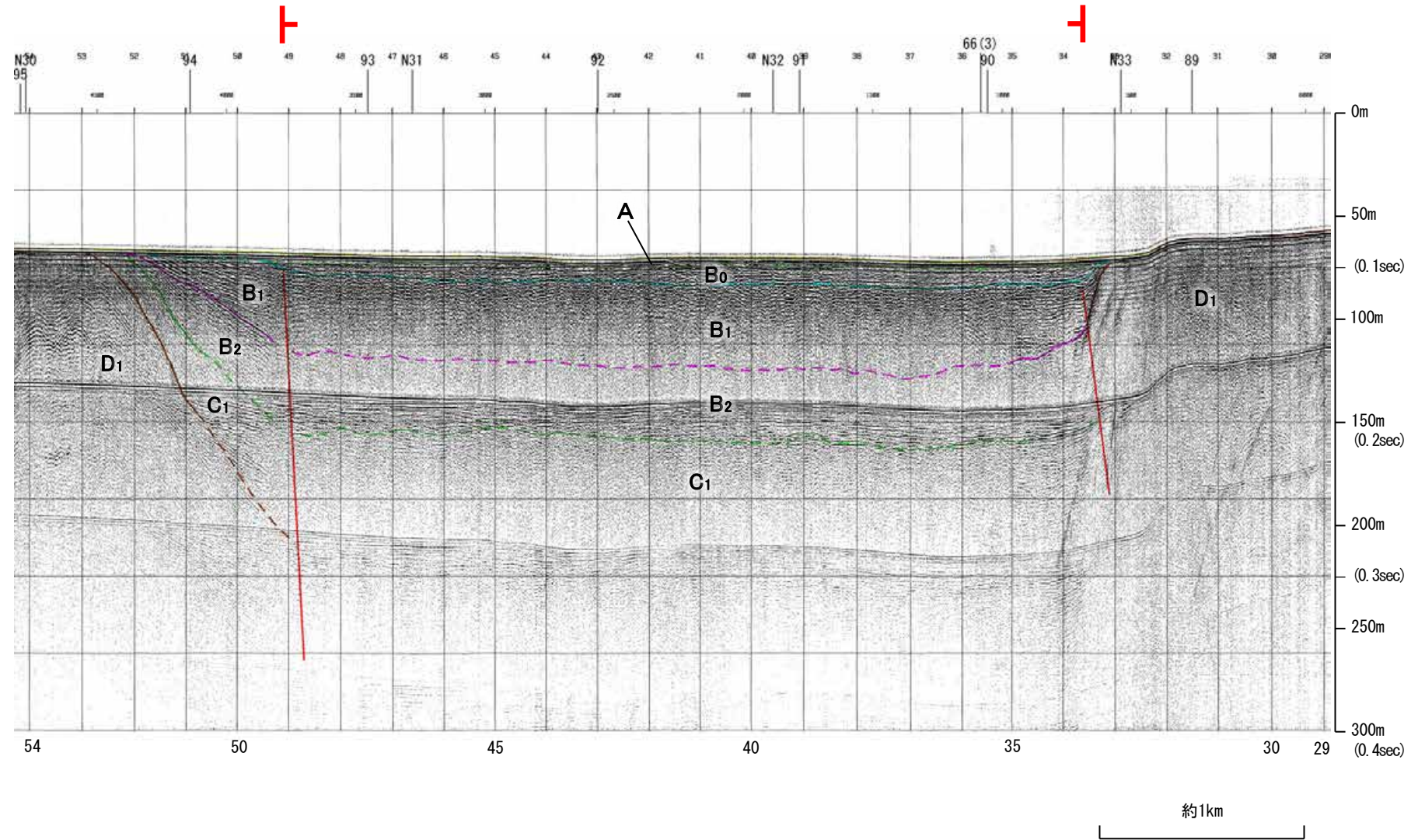


# 産総研ブーマー N102

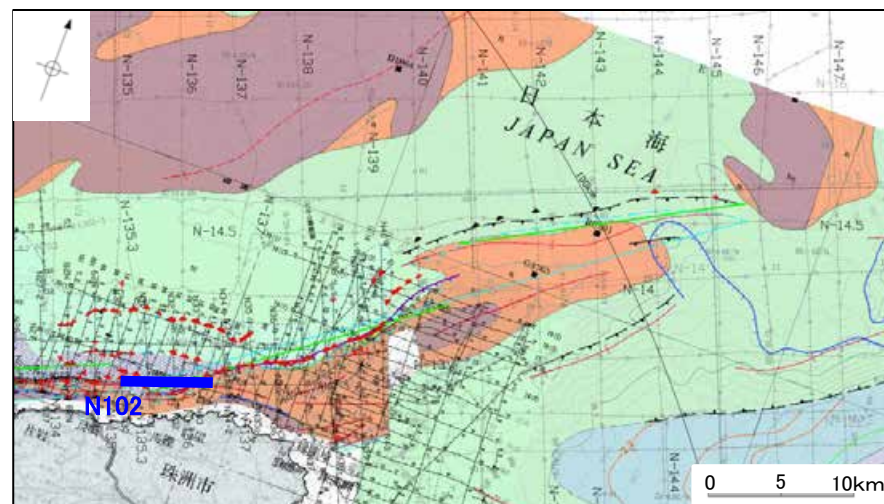
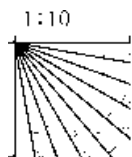
←WSW

ENE→

能登半島北部沿岸域断層帯

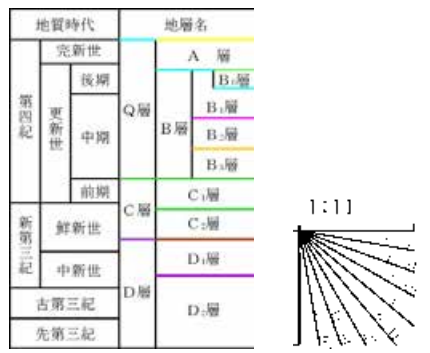
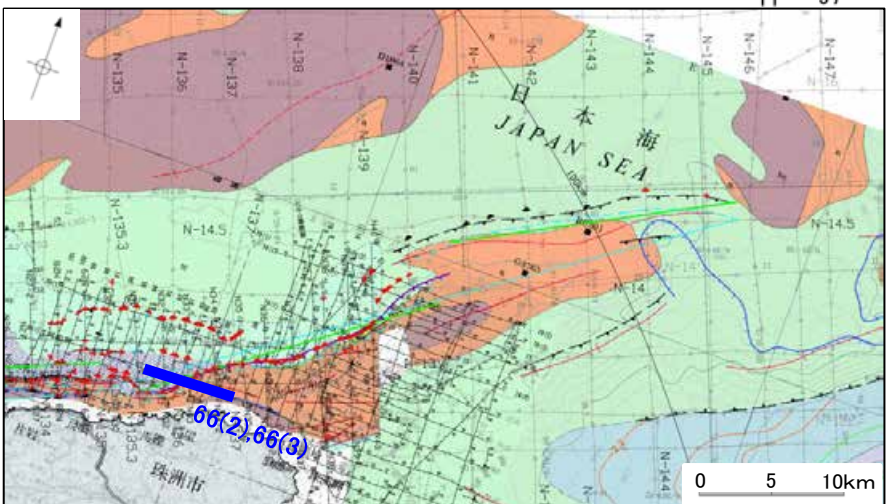
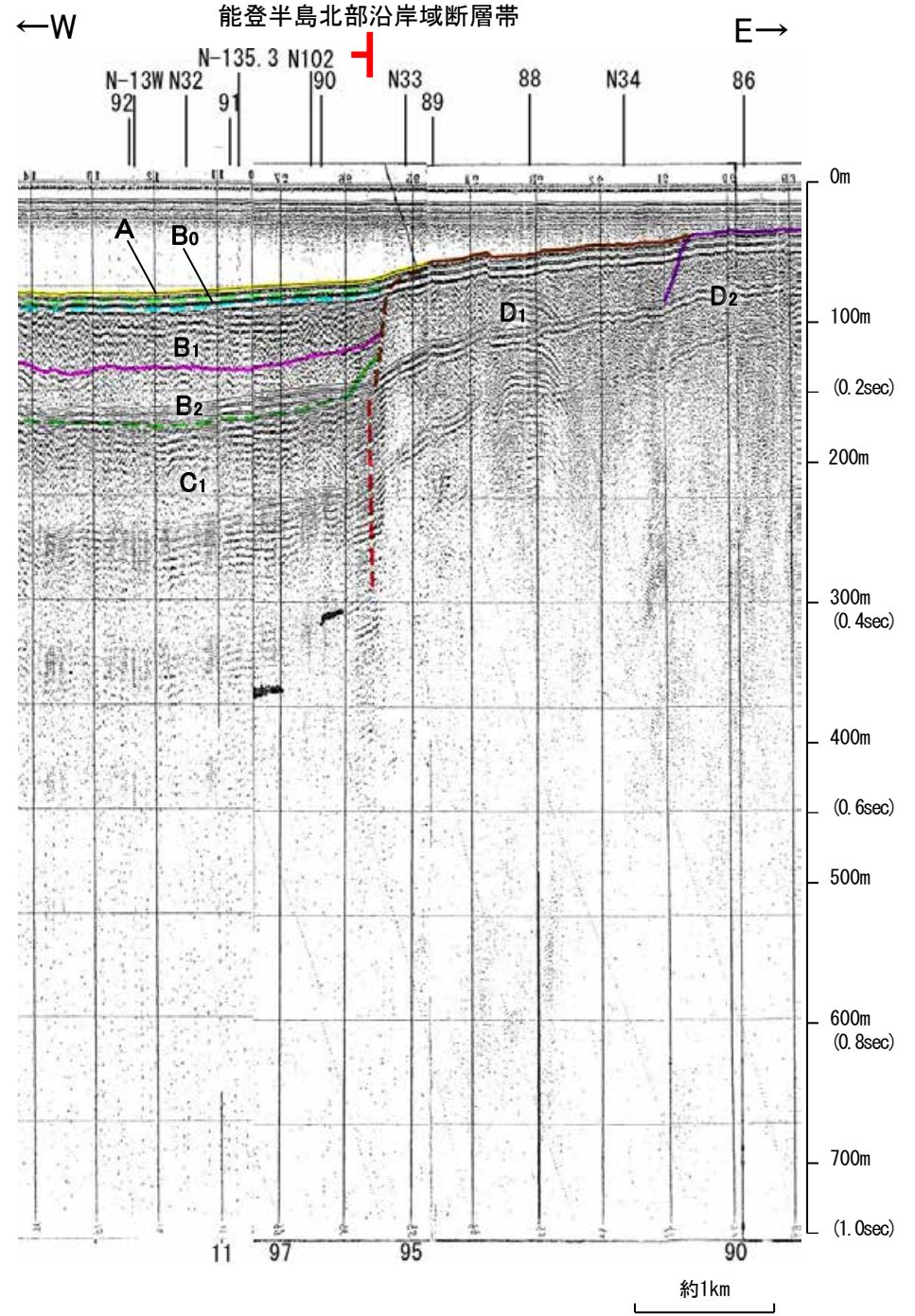
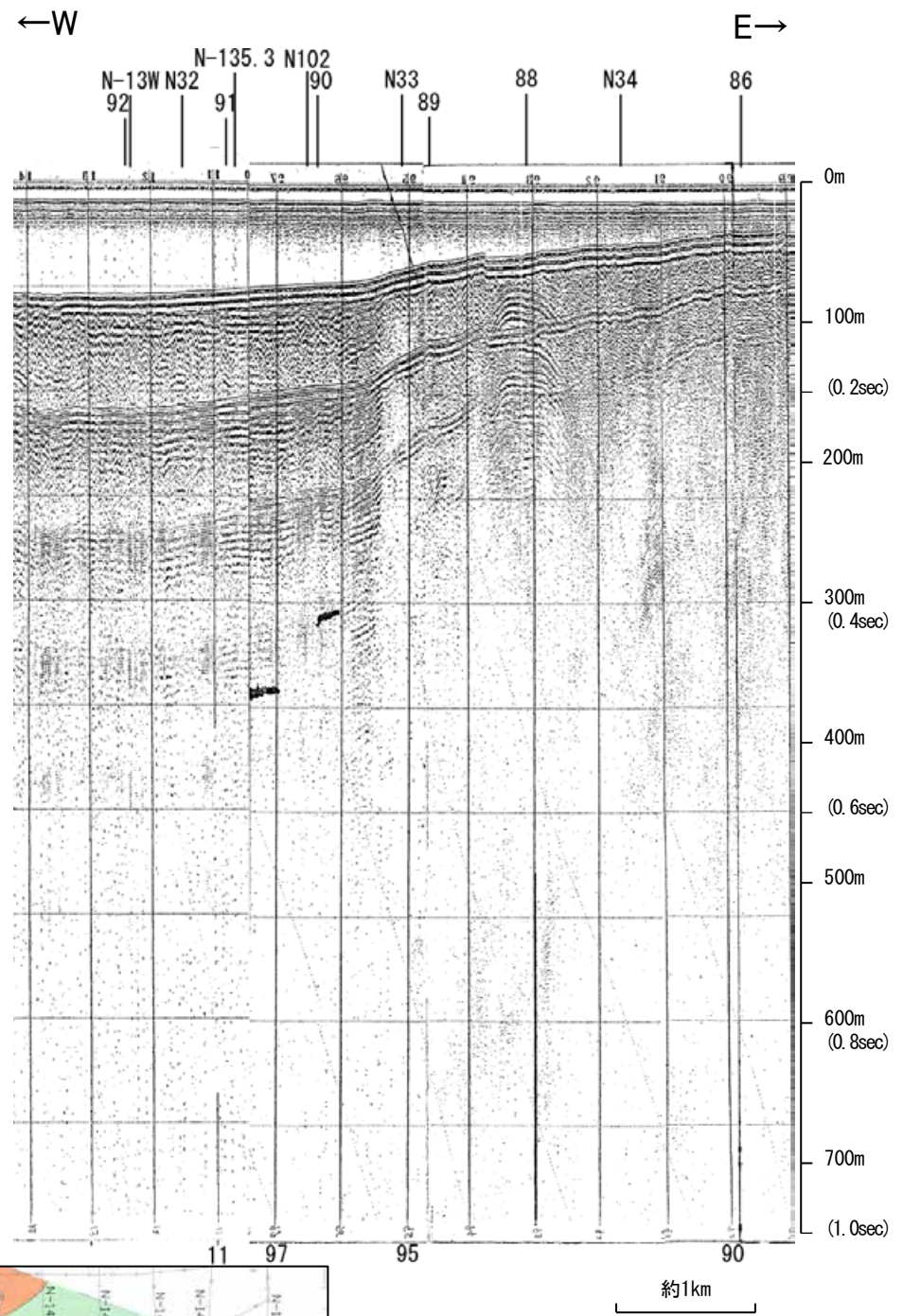


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層



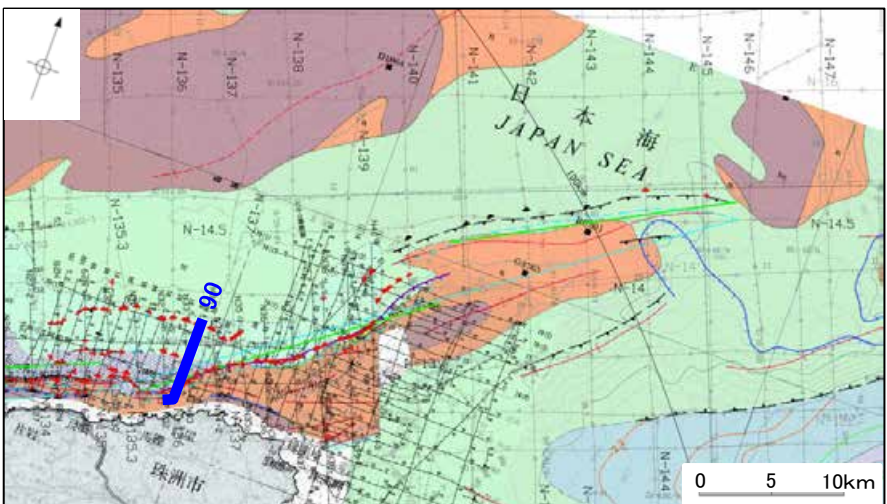
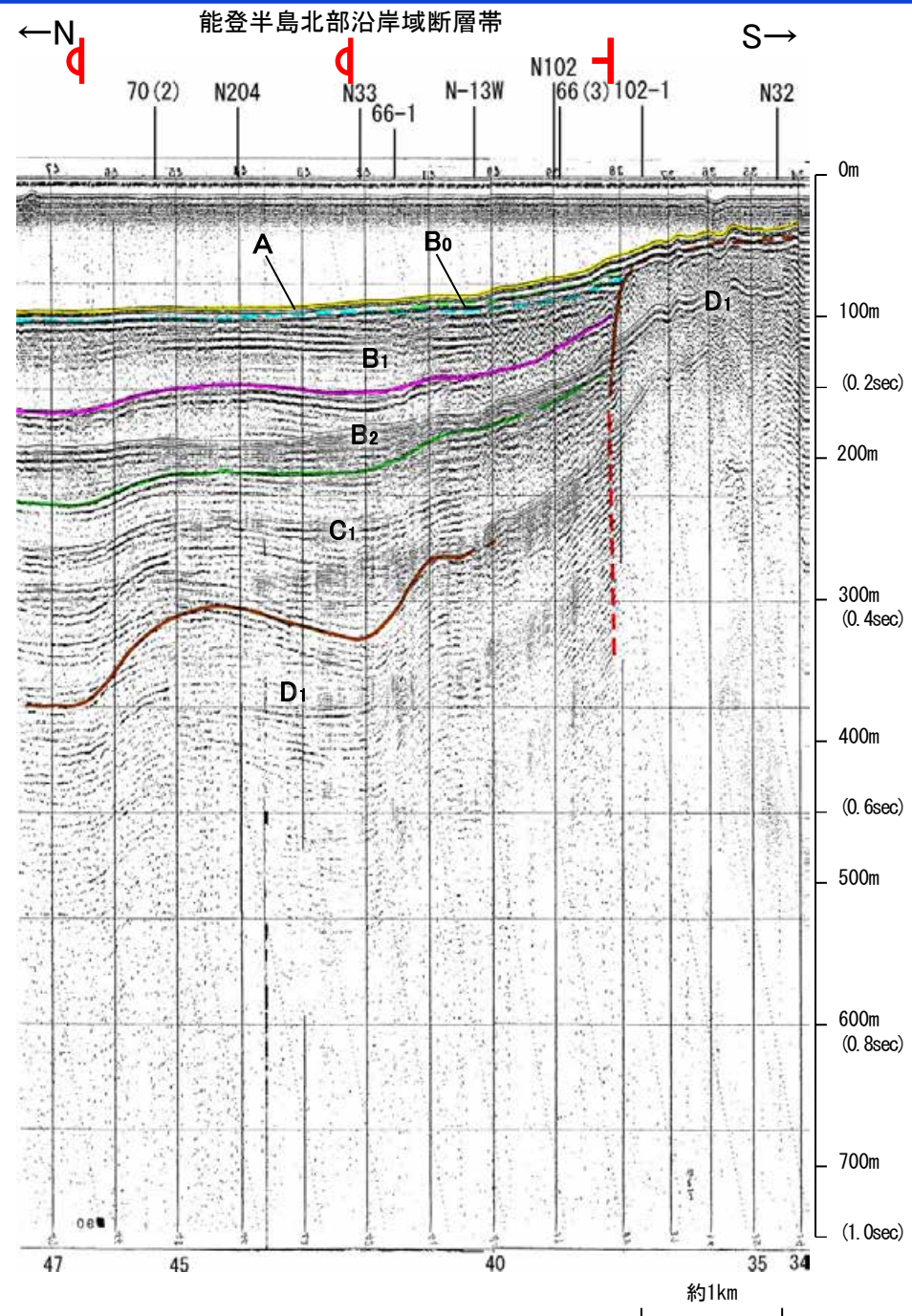
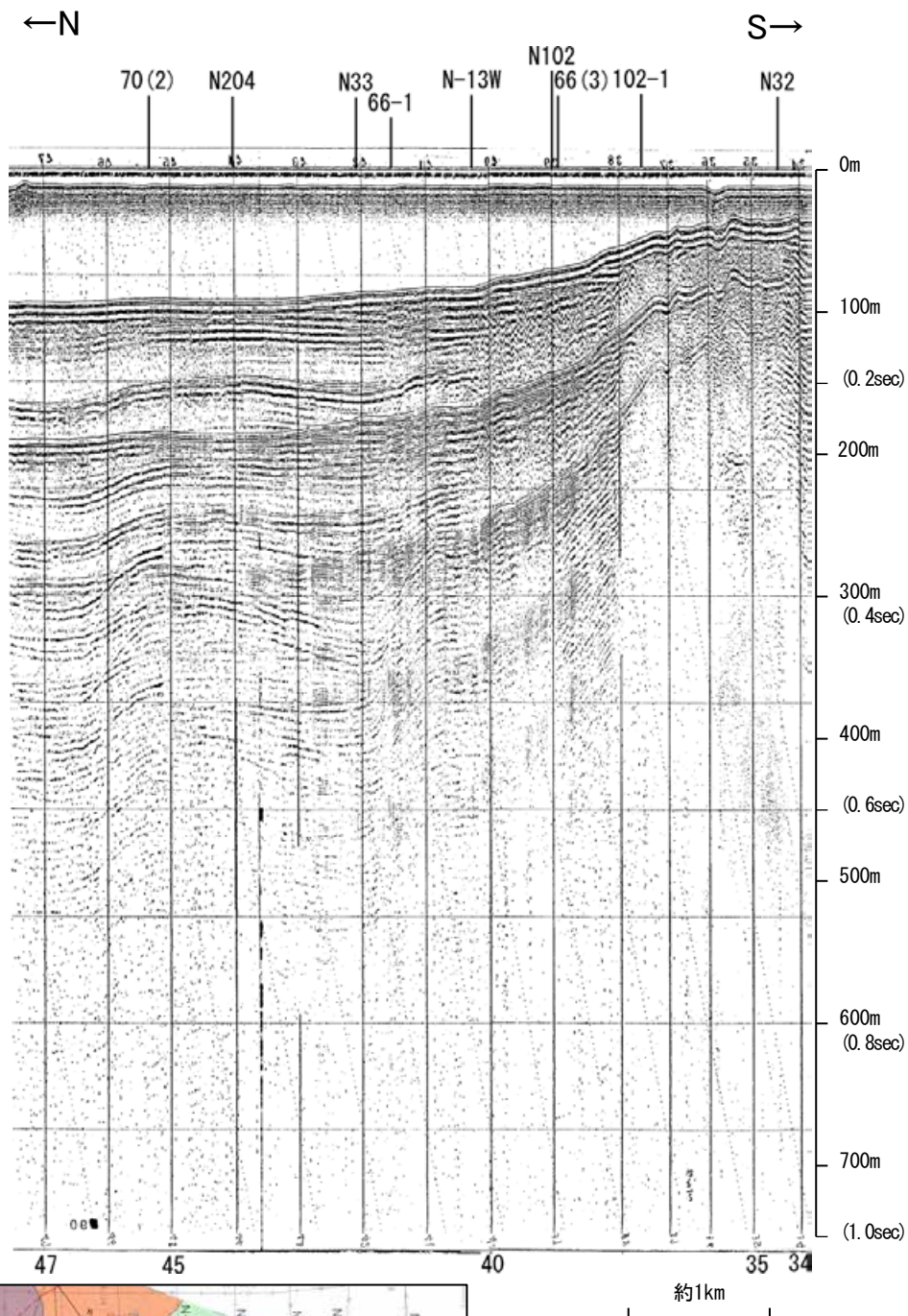
※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 66(2),66(3)

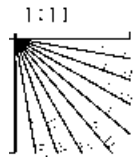


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 90



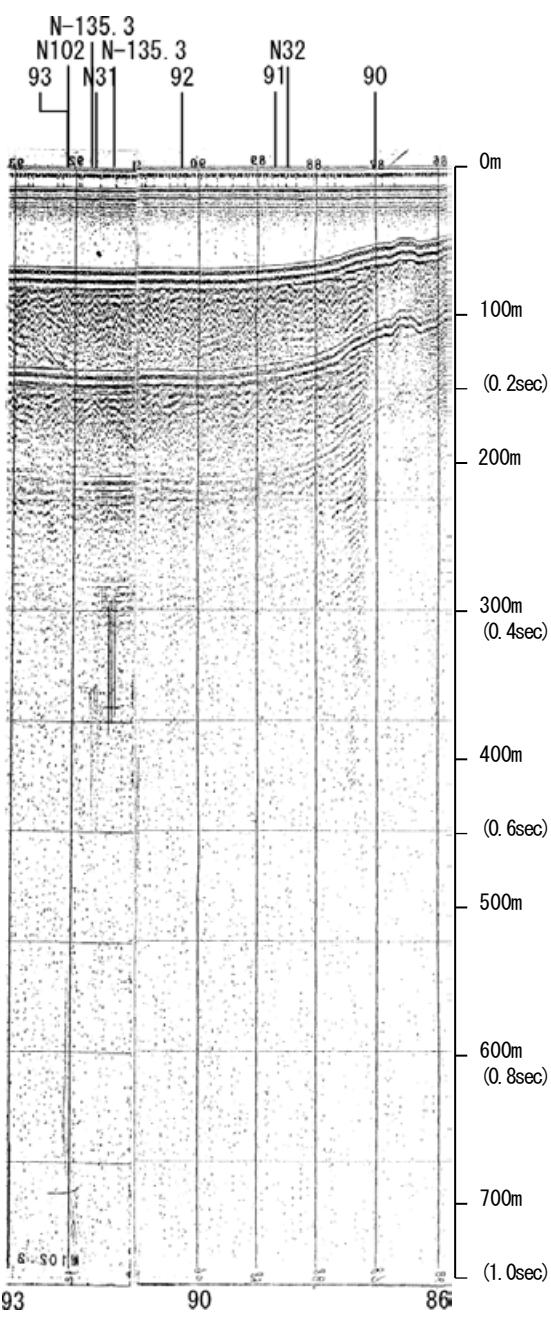
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
B層		
前期	C層	
	C層	
新第三紀	鮮新世	D <sub>1</sub> 層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
	先第三紀	D層



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

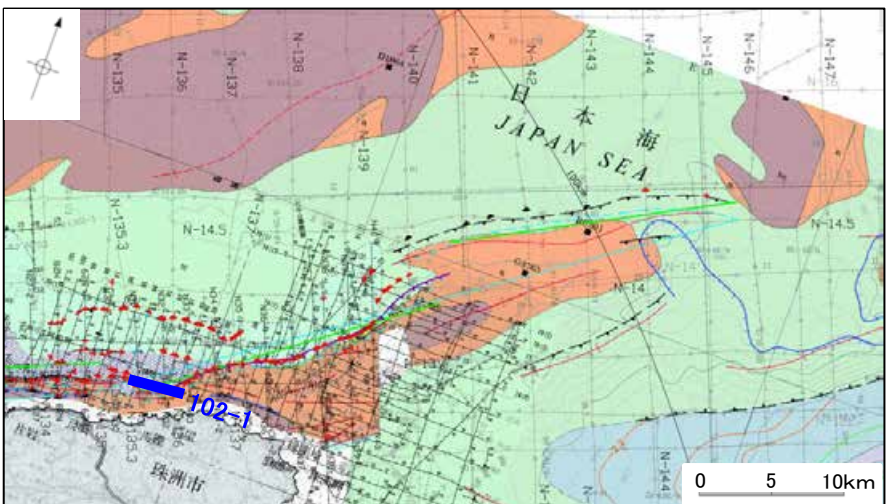
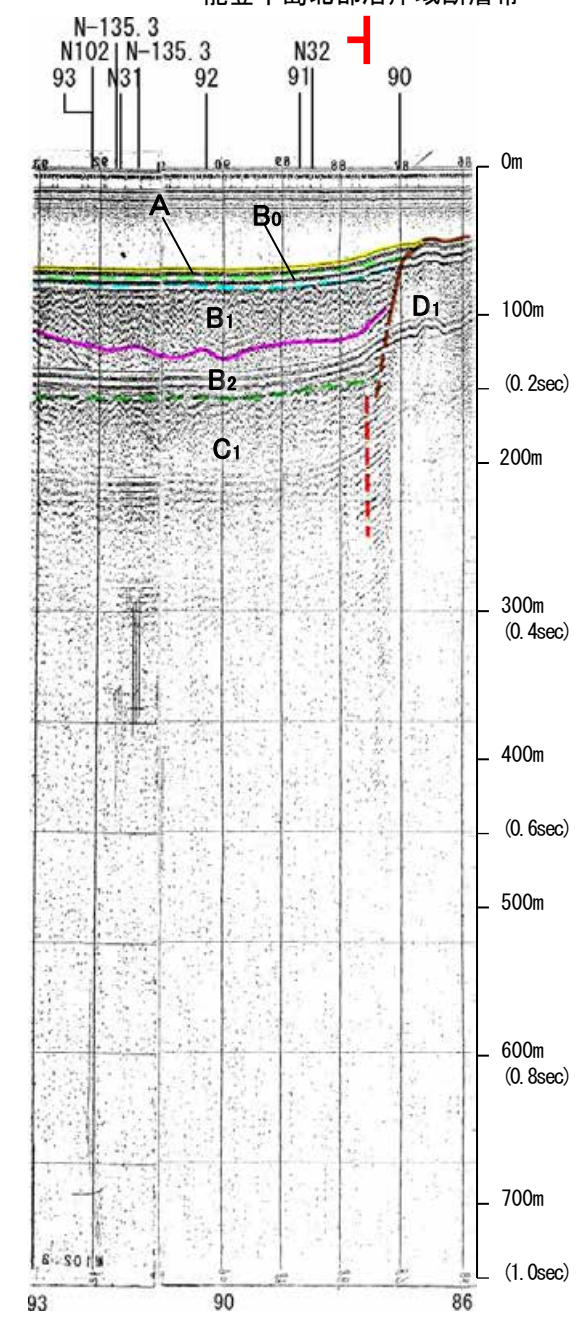
# 海上保安庁スパーカー 102-1

←W E→

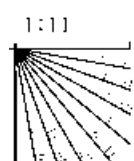


←W E→

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
前期	B層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

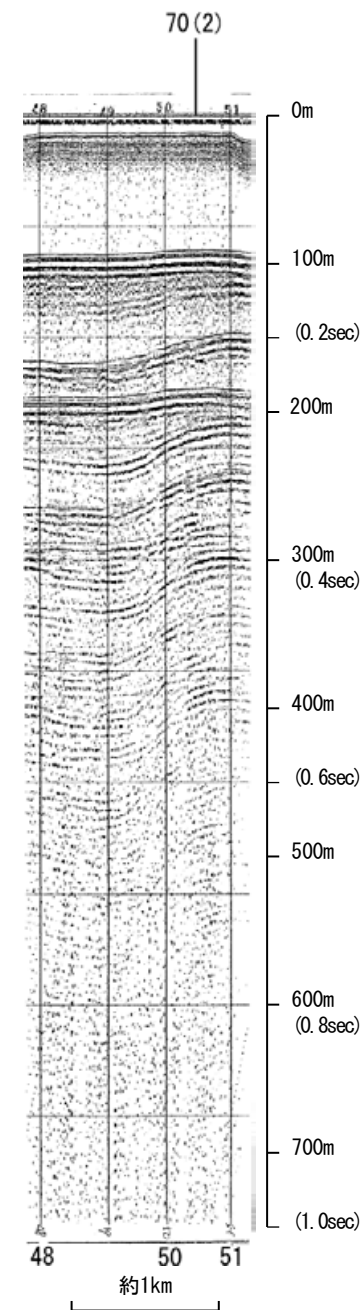


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

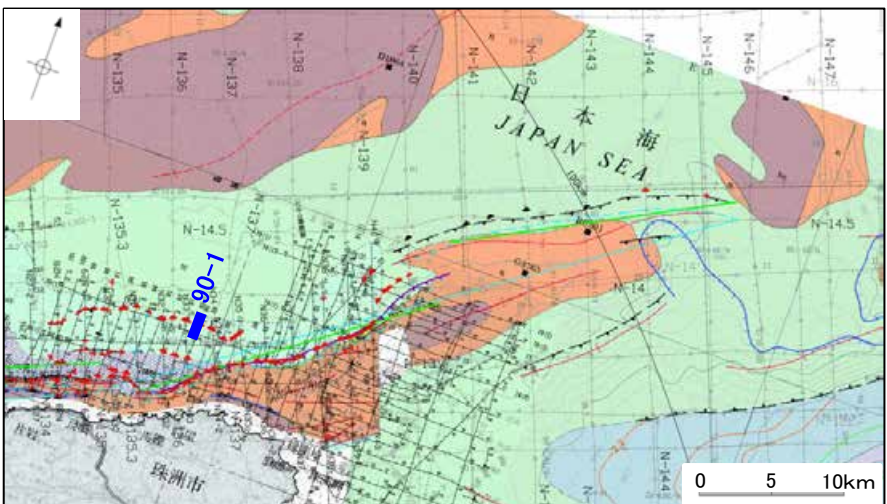
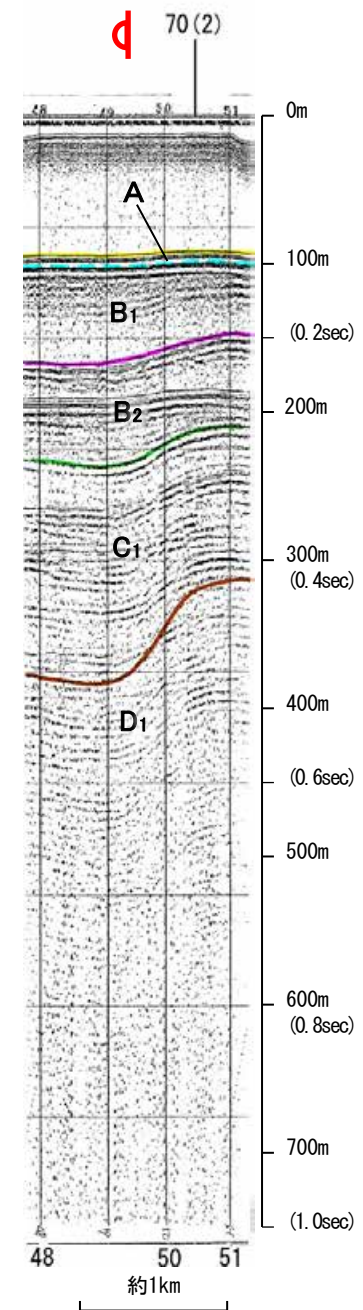
# 海上保安庁スパーカー 90-1

←N S→

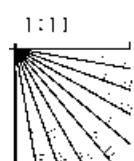
←N S→



能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
前期	B層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

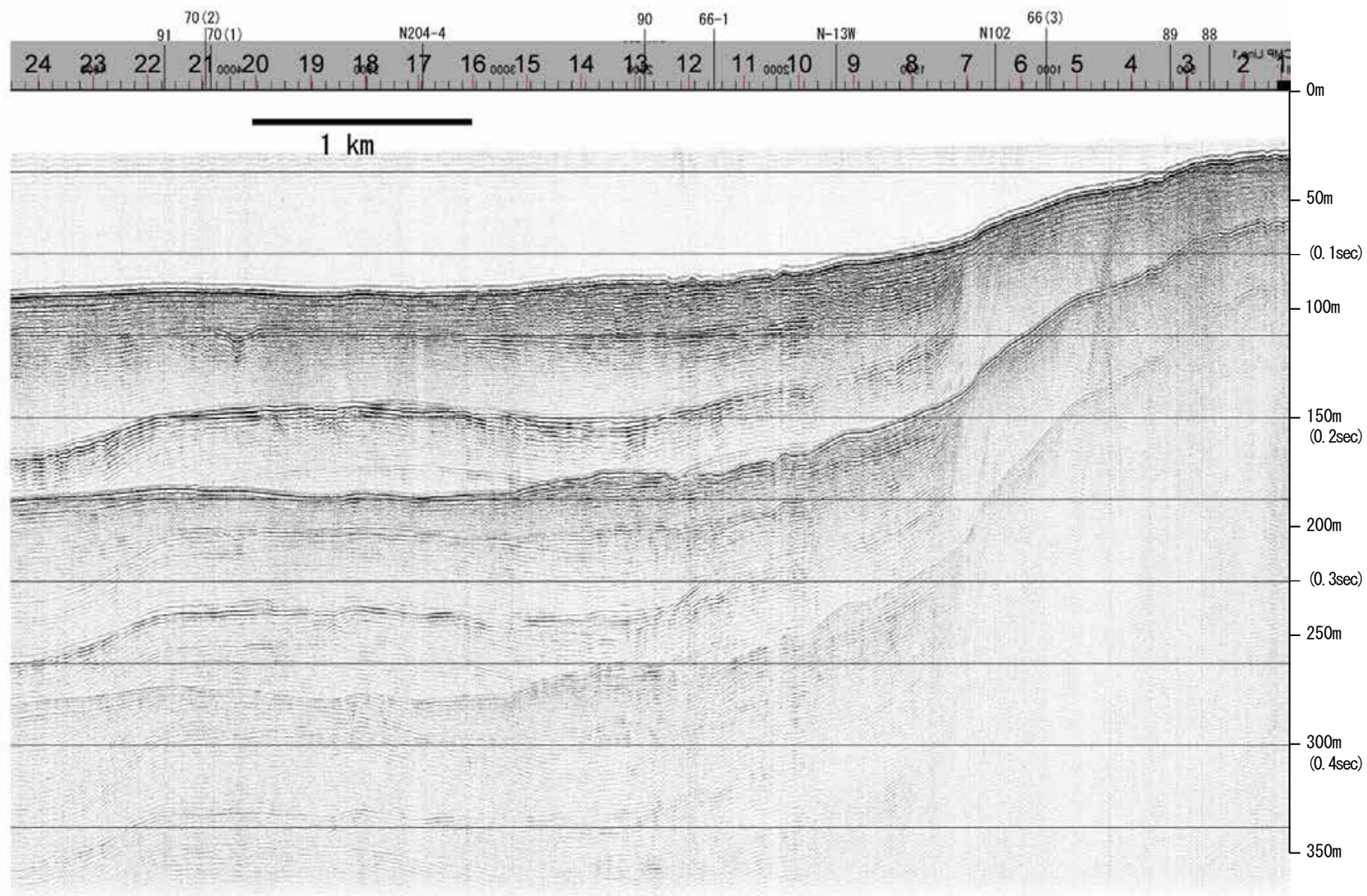


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

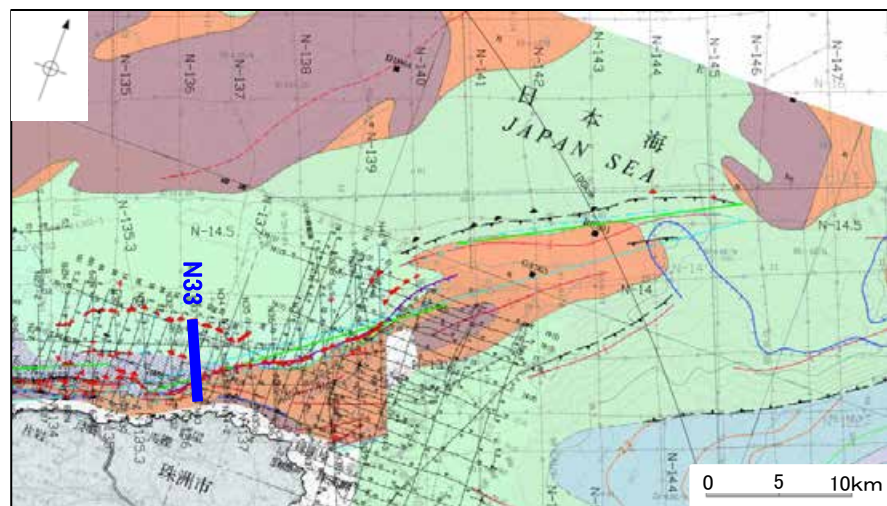
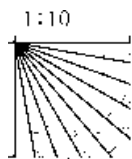
# 産総研ブーマー N33

←NNW

SSE→



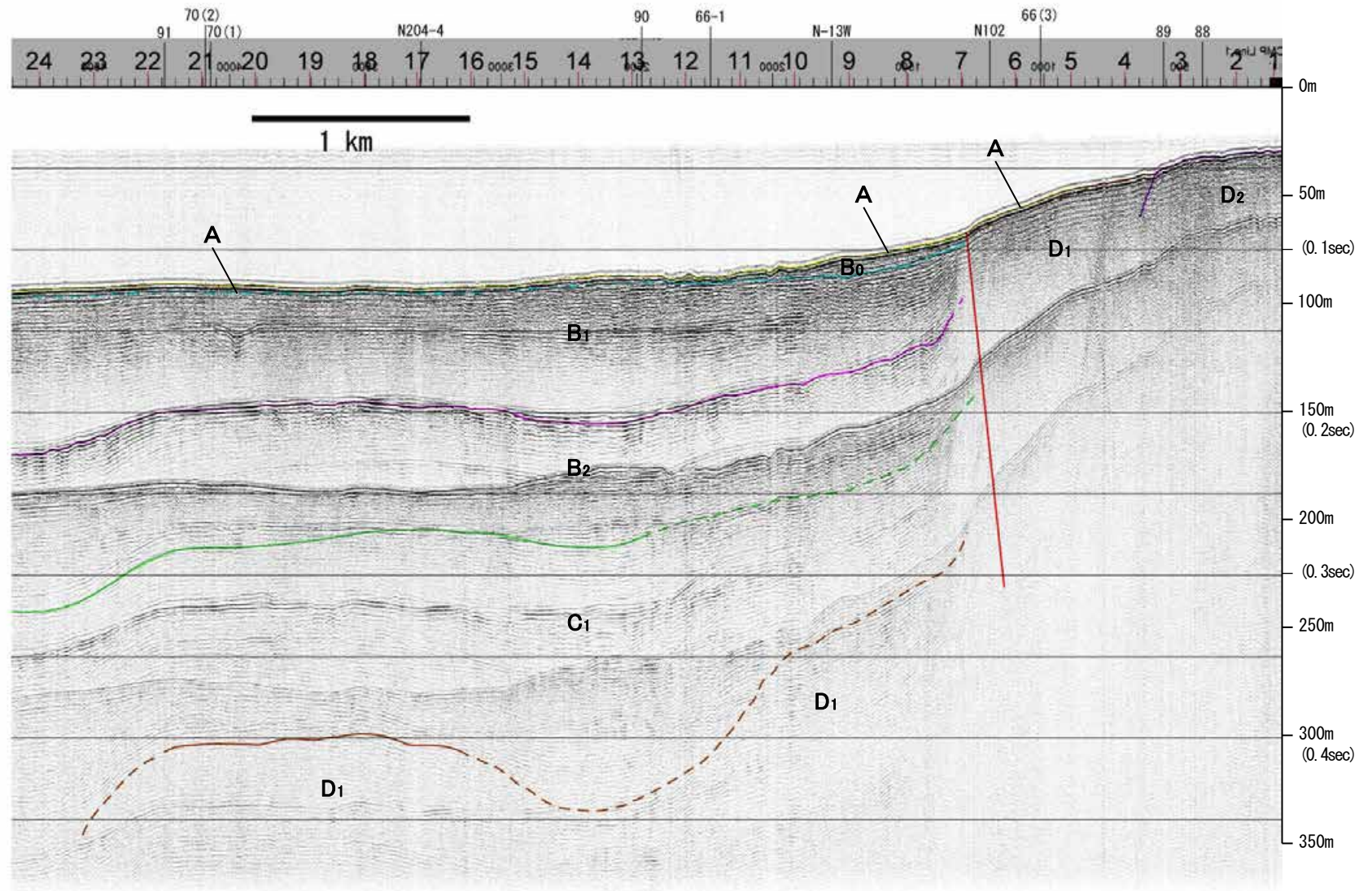
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	C層	C層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



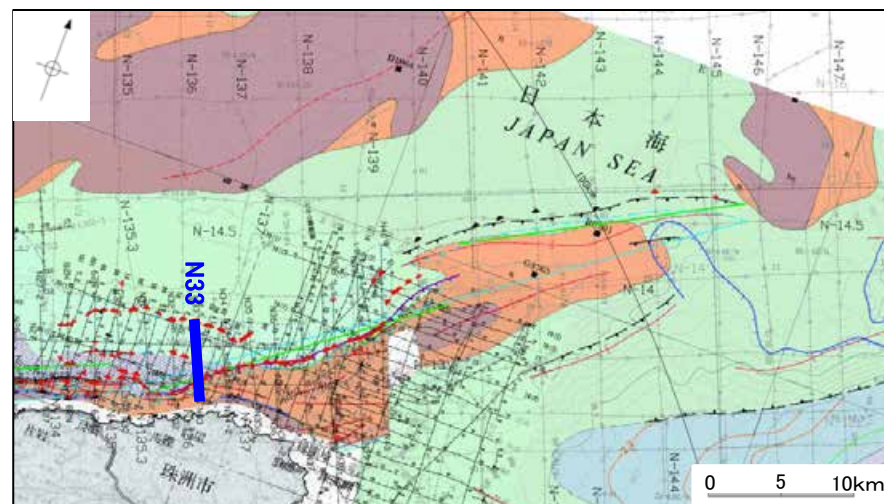
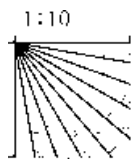
←NNW

能登半島北部沿岸域断層帯

SSE→

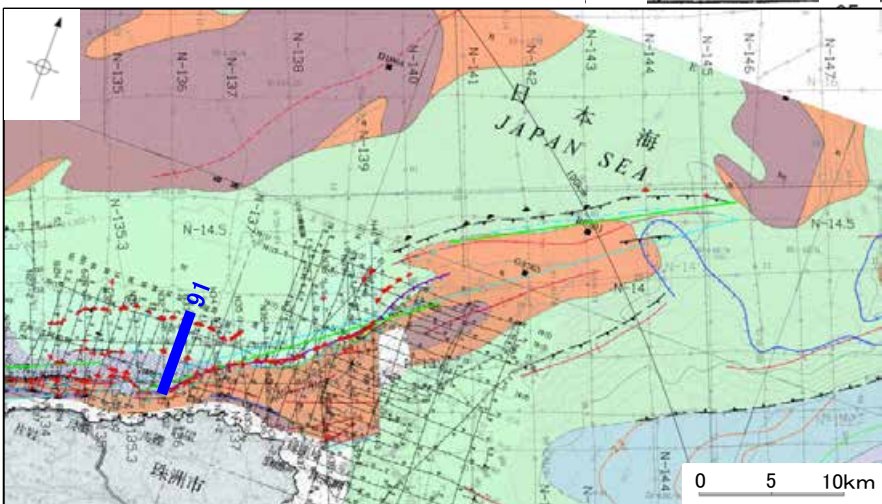
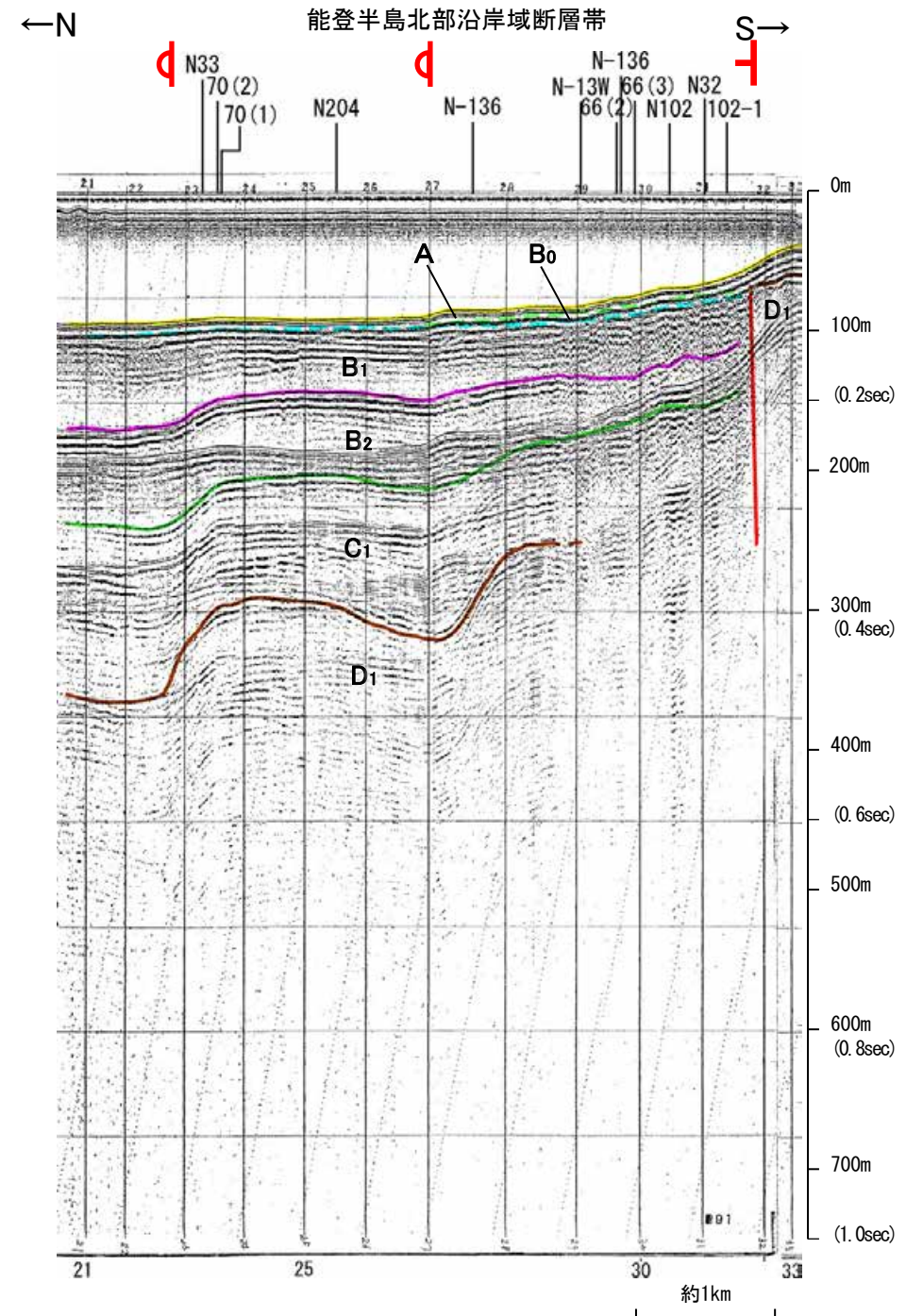
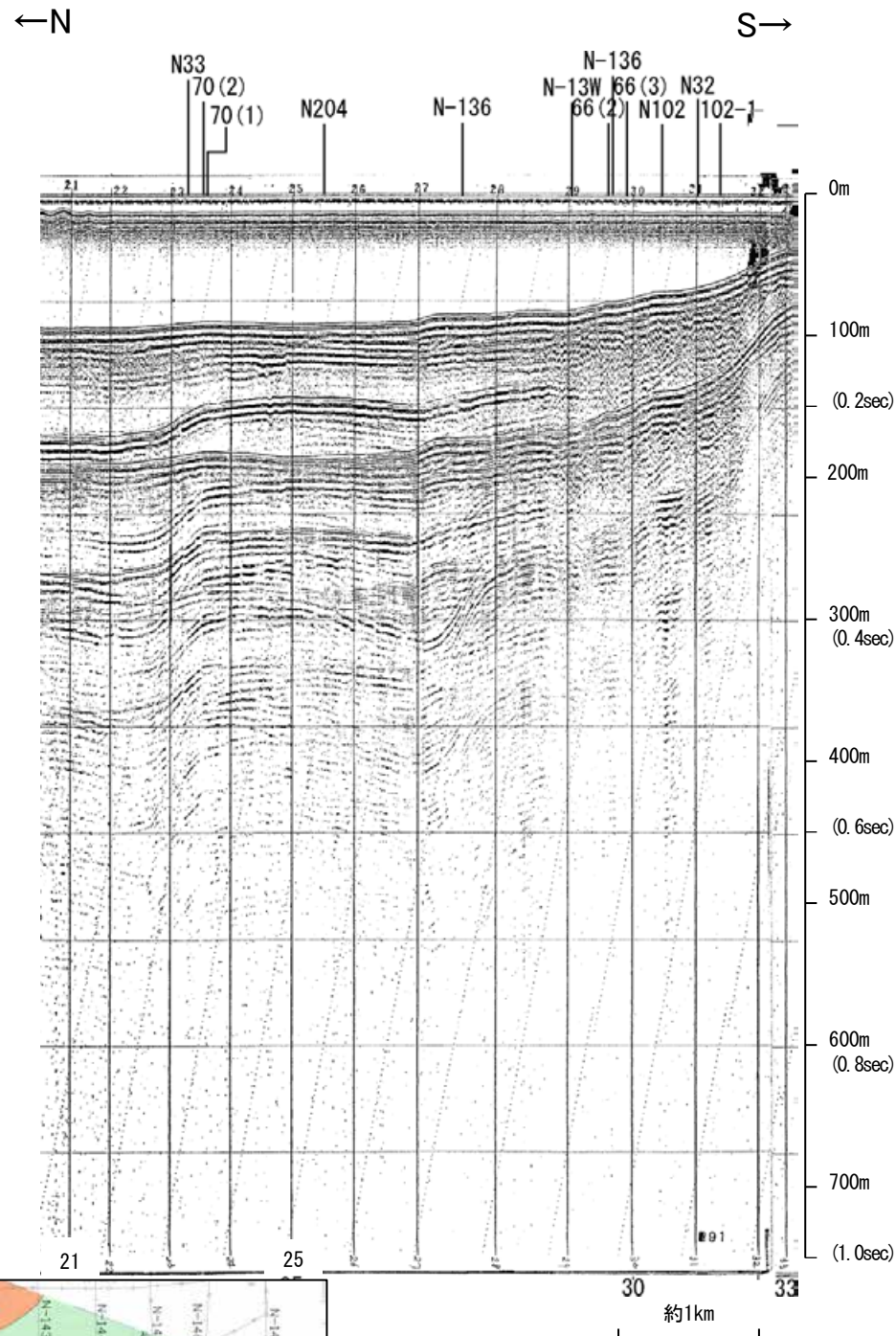


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
第三紀	中期	B層	B層
		B層	B層
	前期	C層	C層
		C層	C層
鮮新世	D層	D層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

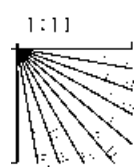


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 91



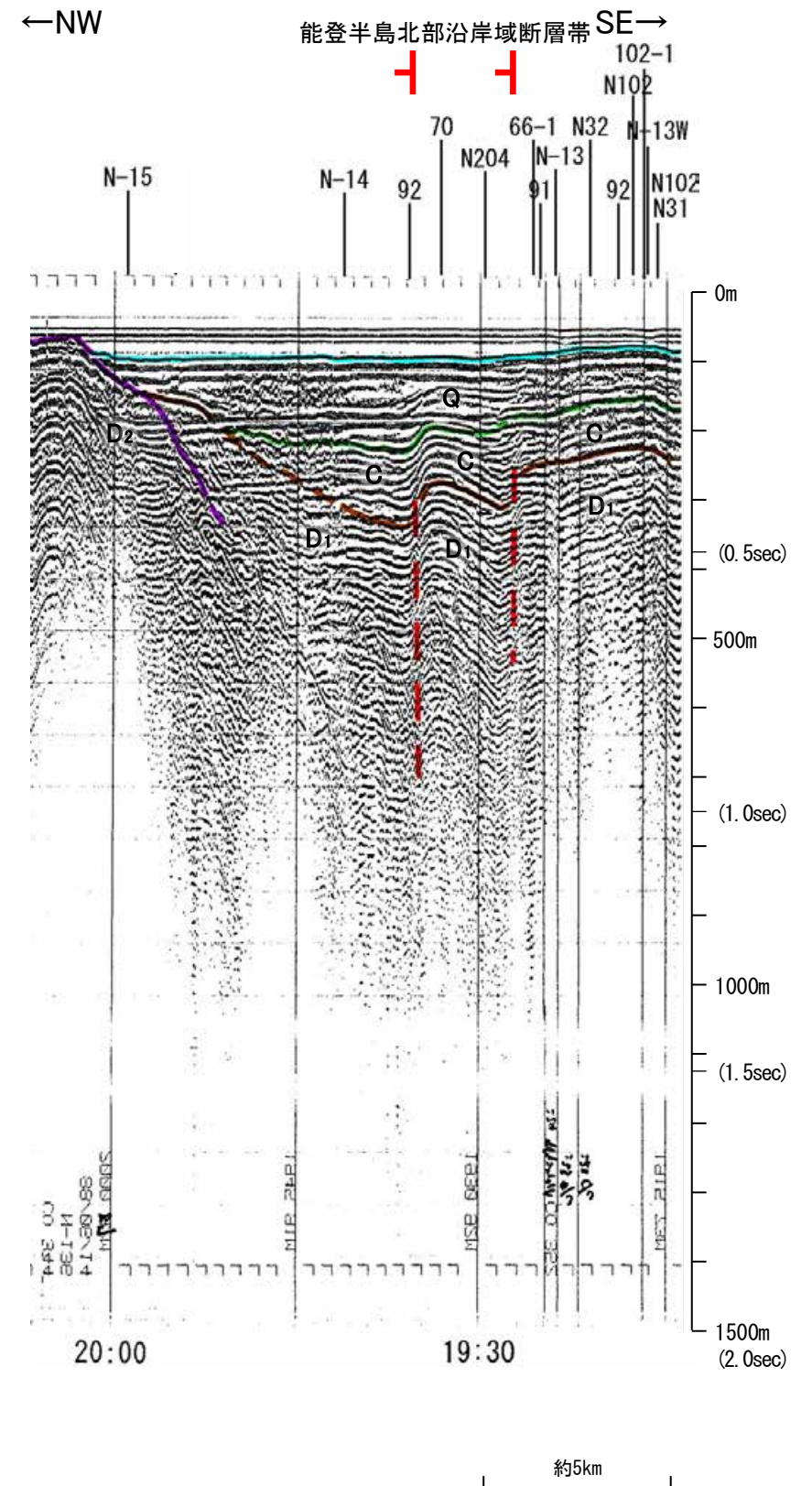
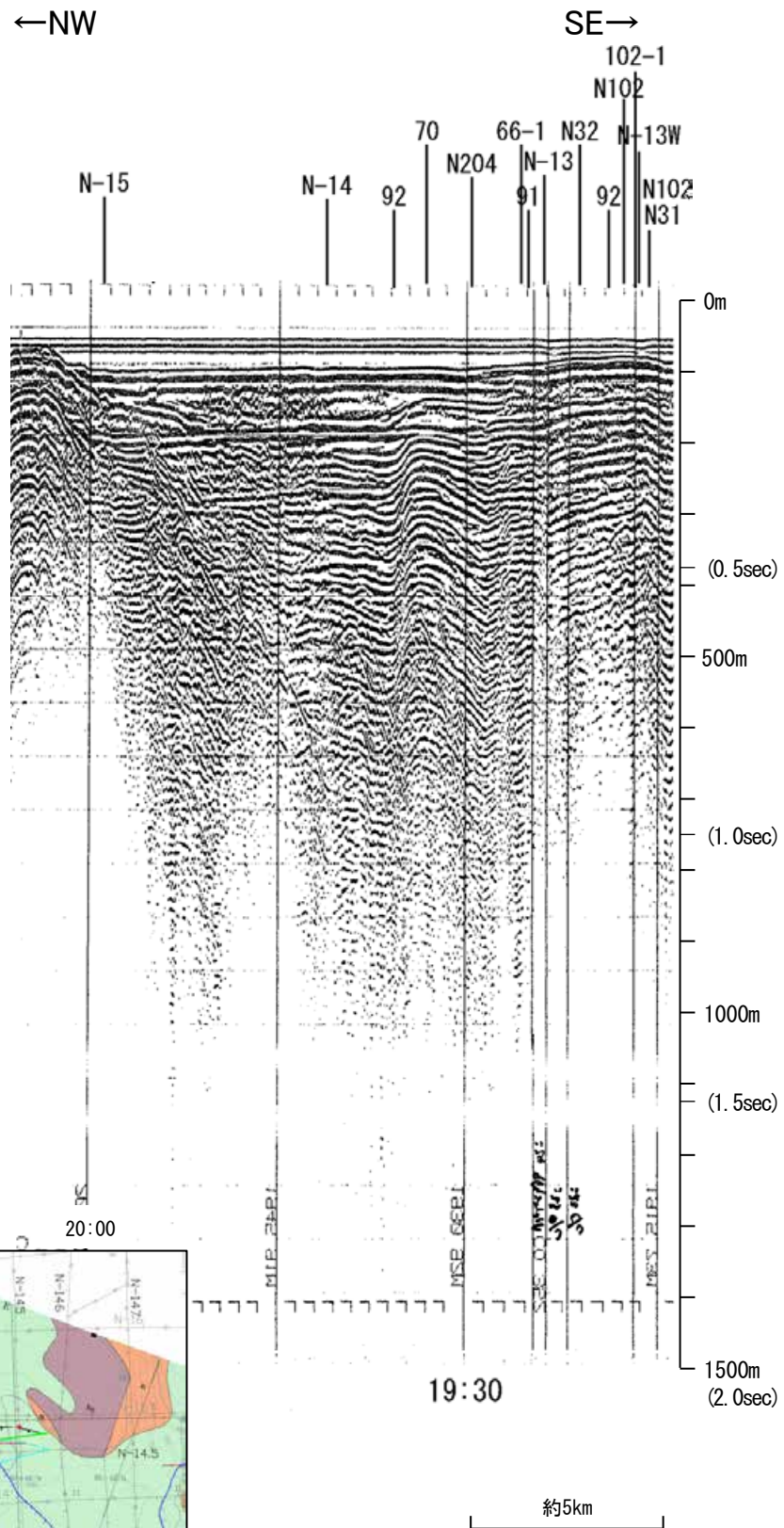
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	更新世	B <sub>1</sub> 層
		B層
前期	B層	
	B層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	C層
		D層
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



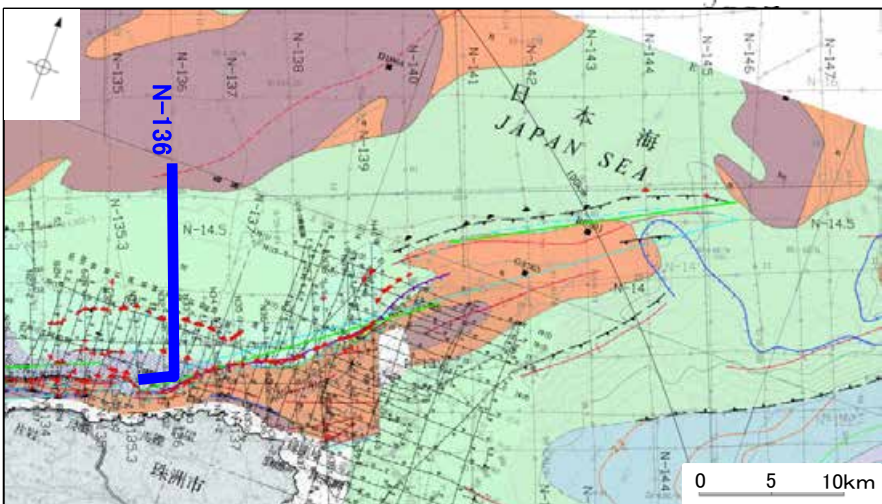
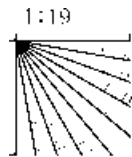
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 地質調査所エアガン N-136



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B <sub>1</sub> 層
		前期	B <sub>2</sub> 層
	鮮新世	中期	B <sub>3</sub> 層
前期		B <sub>4</sub> 層	
新第三紀	中新世	C層	
	古第三紀	D層	
先第三紀		D <sub>1</sub> 層	

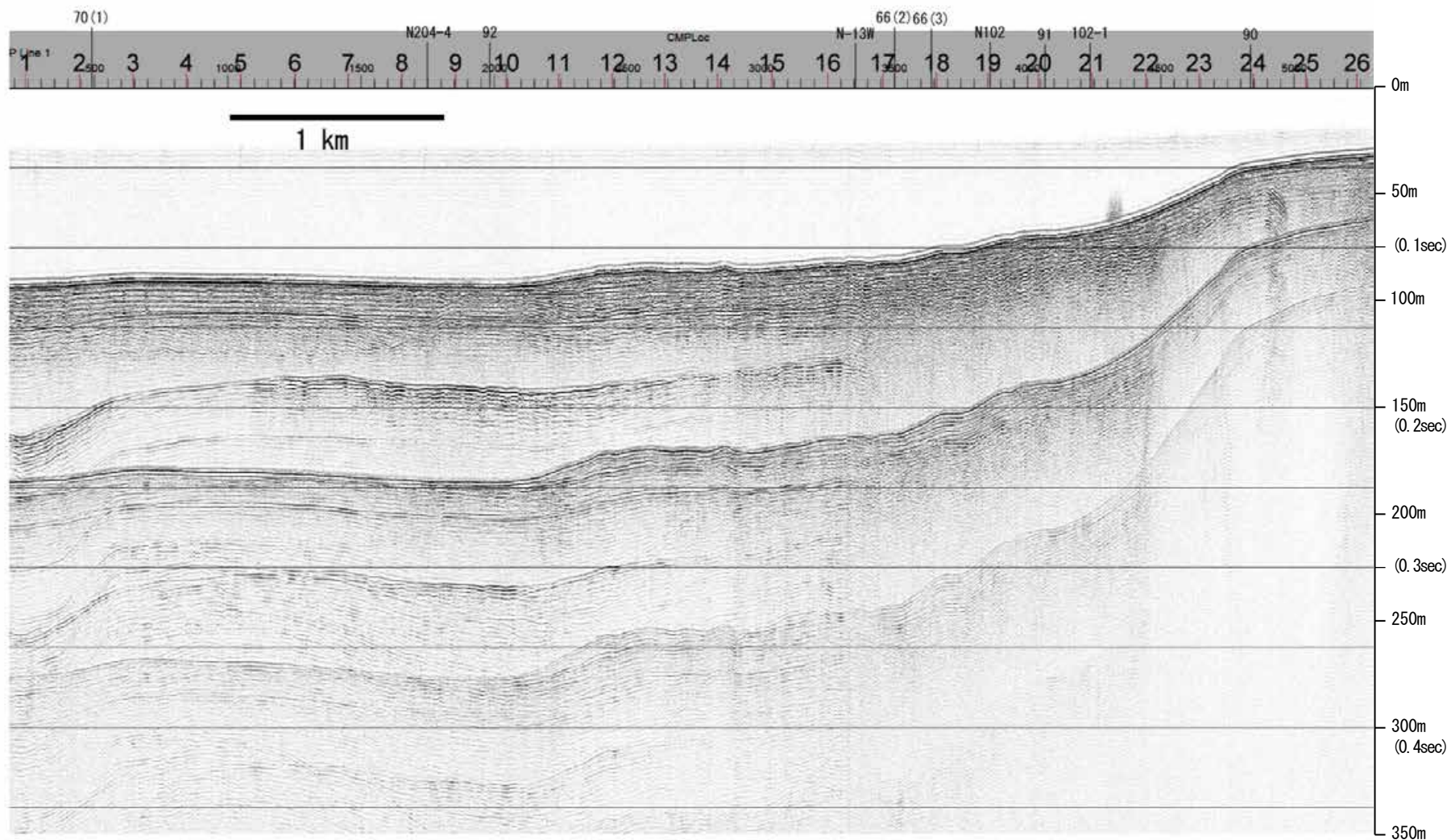


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

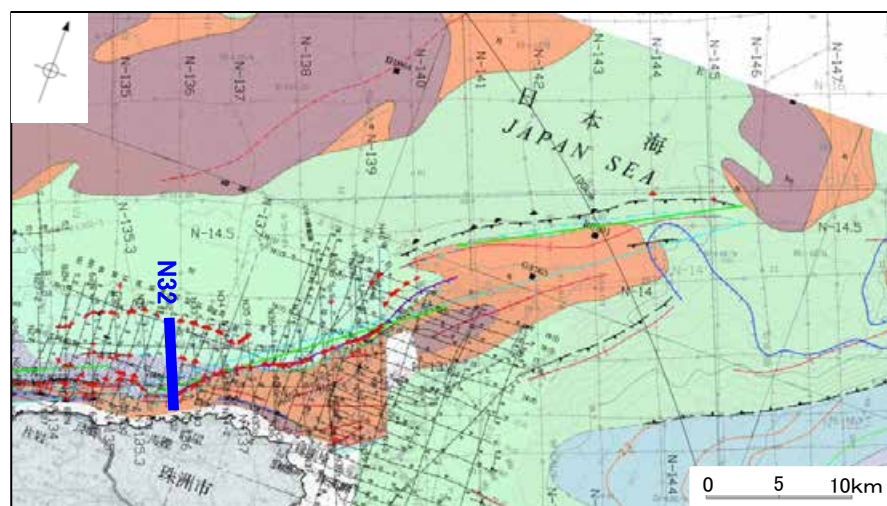
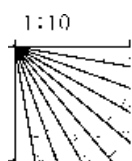
# 産総研ブーマー N32

←NNW

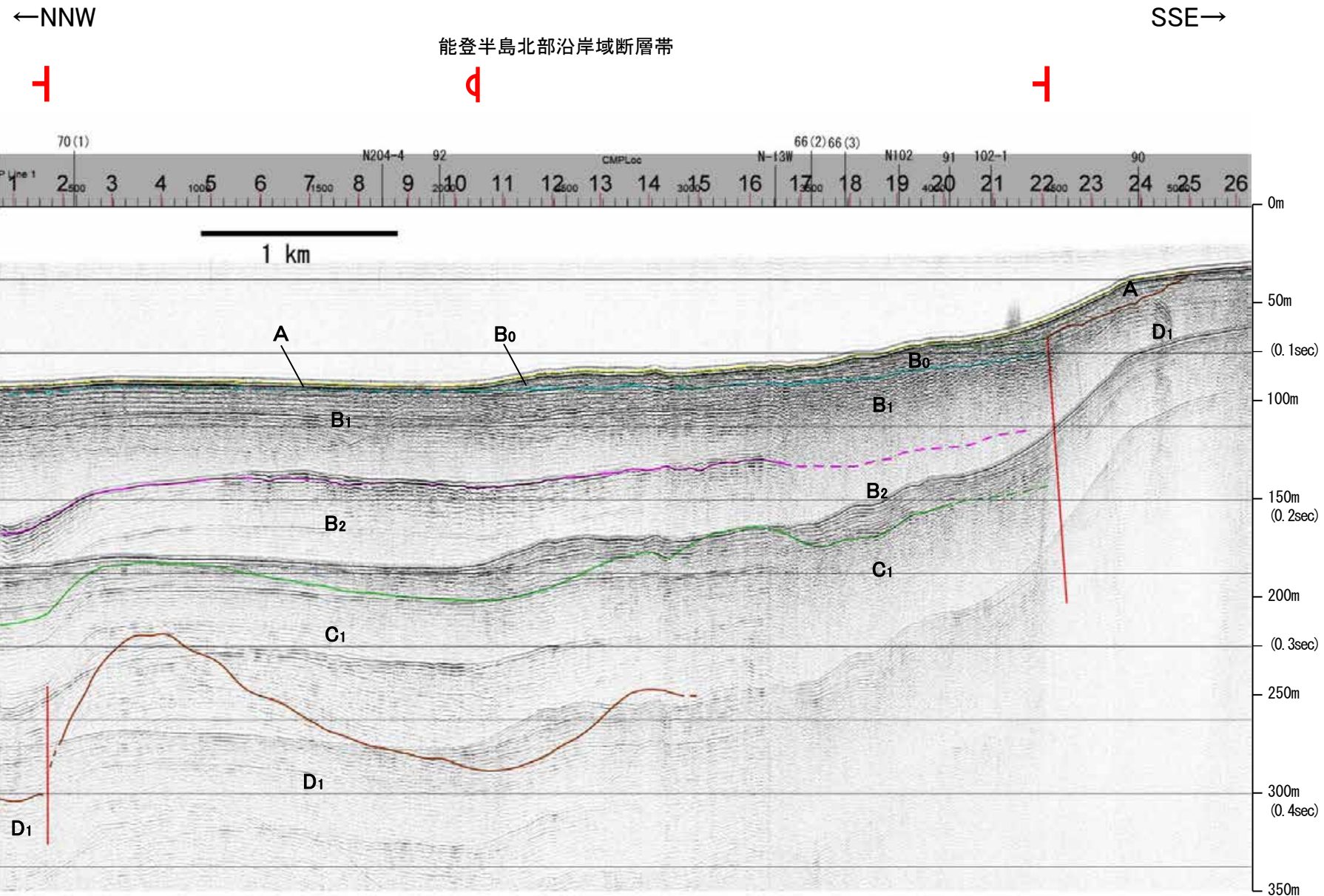
SSE→



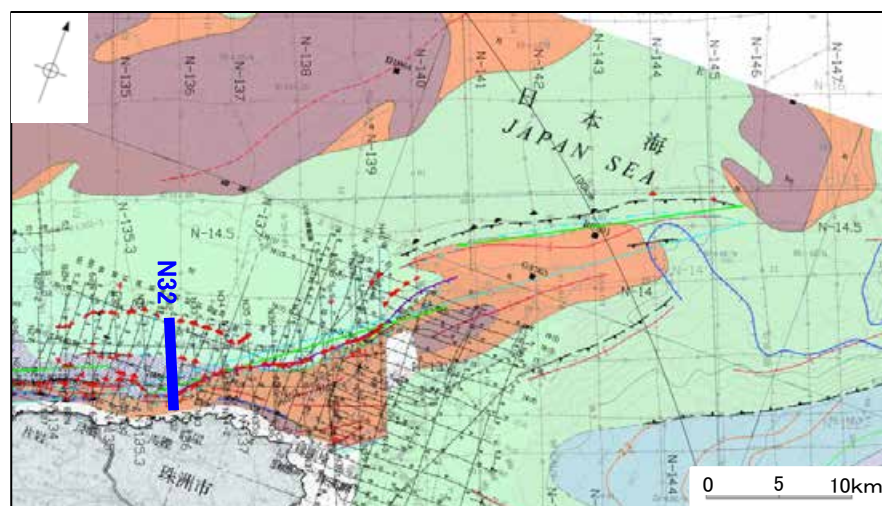
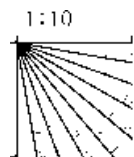
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
		C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀			
先第三紀			



# 産総研ブーマー N32

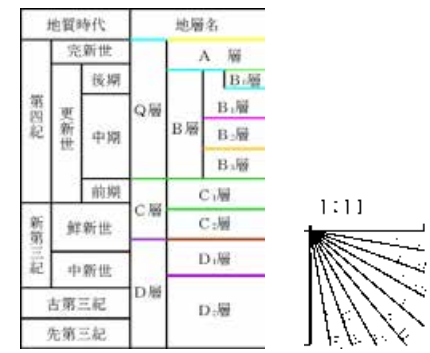
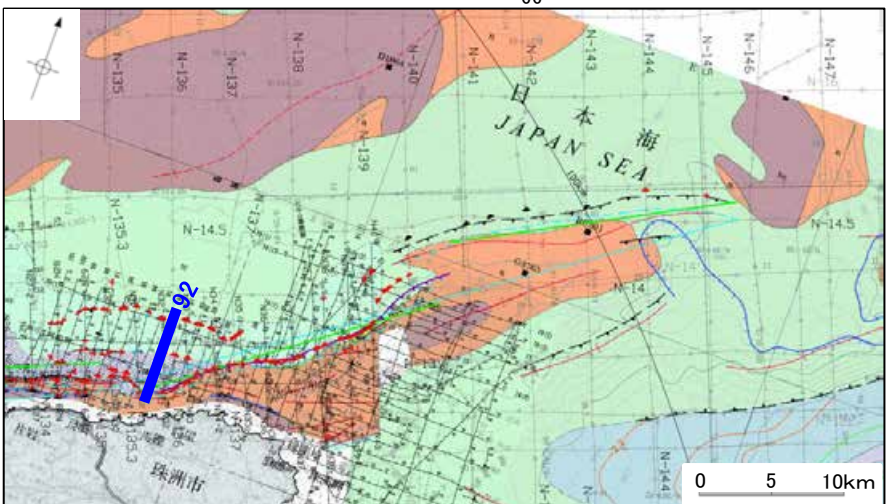
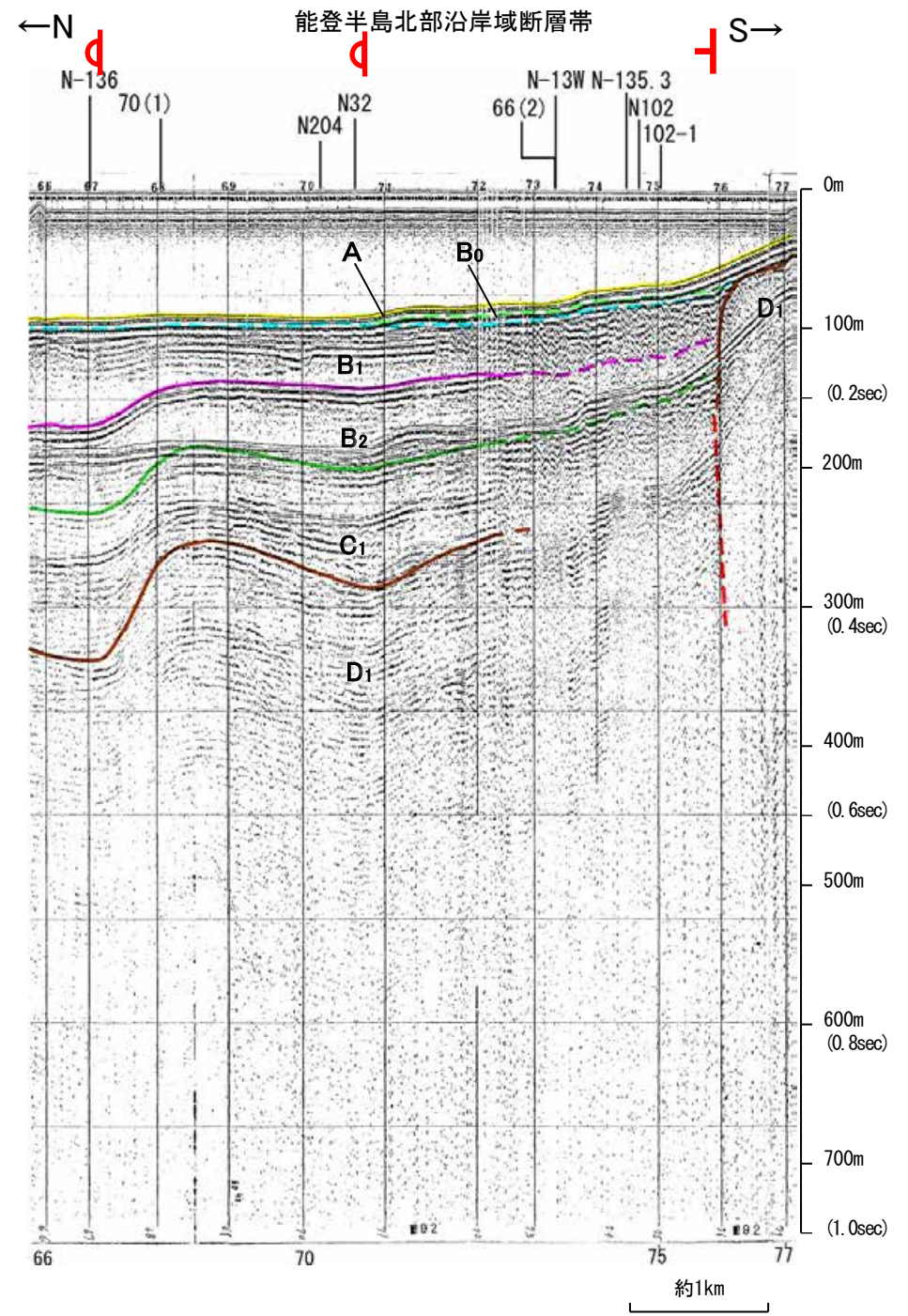
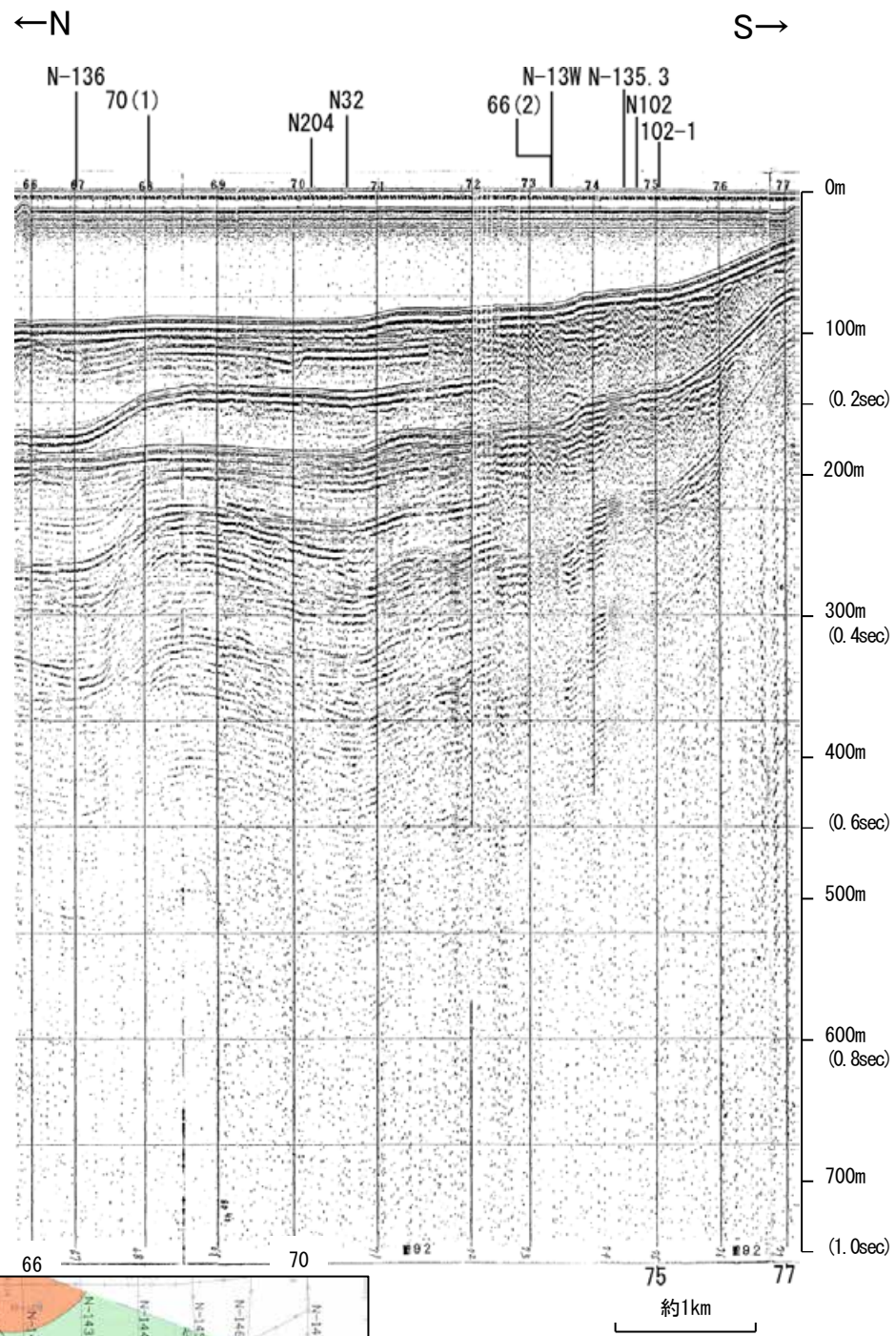


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B <sub>1</sub> 層	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層	B <sub>2</sub> 層
前期	B <sub>3</sub> 層	B <sub>3</sub> 層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 92

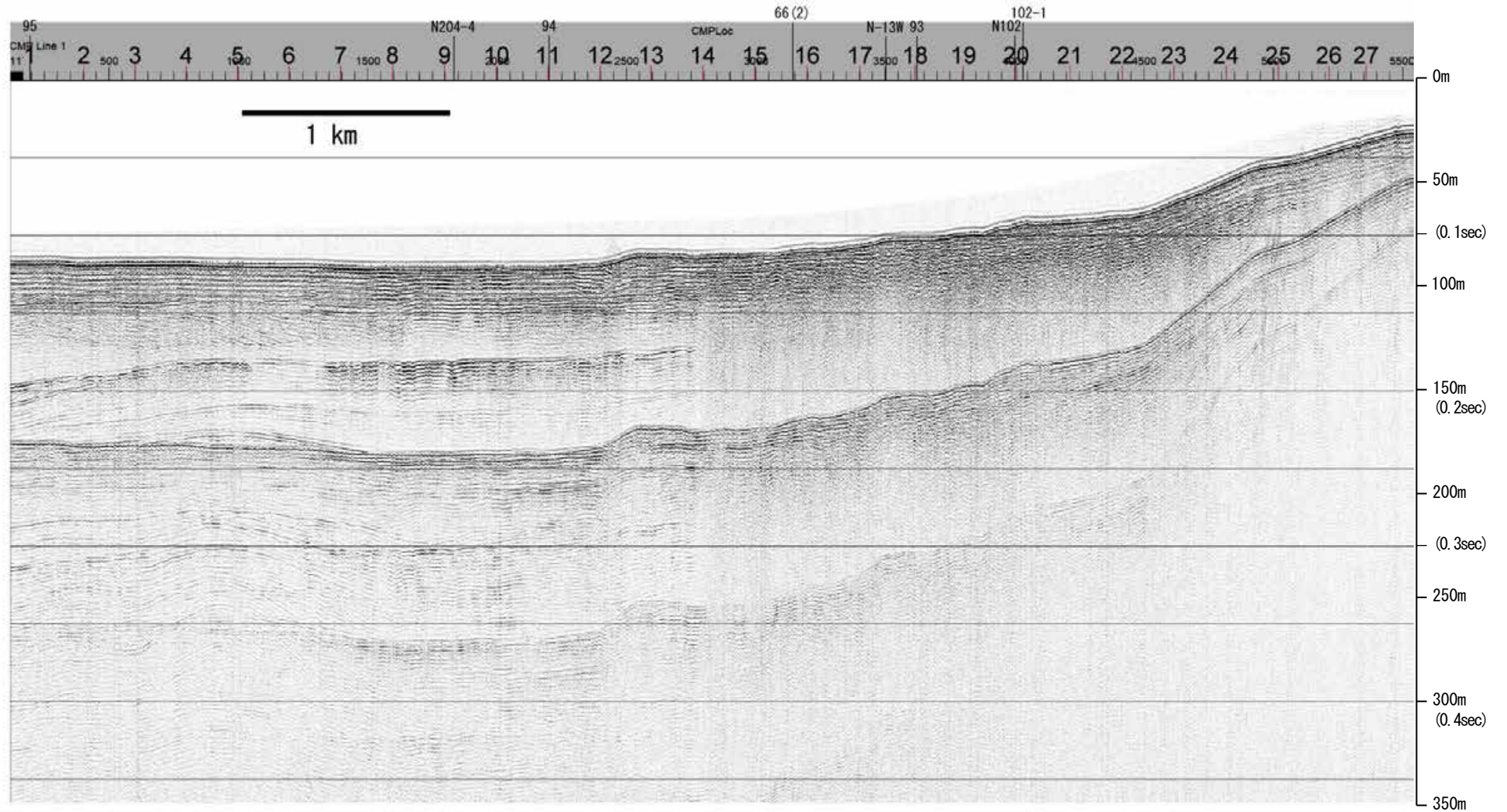


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

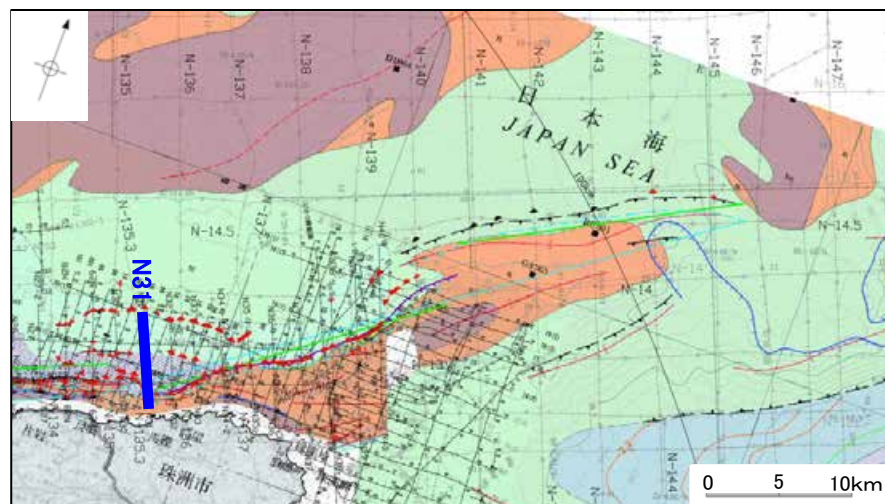
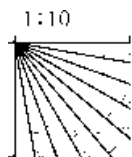
# 産総研ブーマー N31

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
		B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

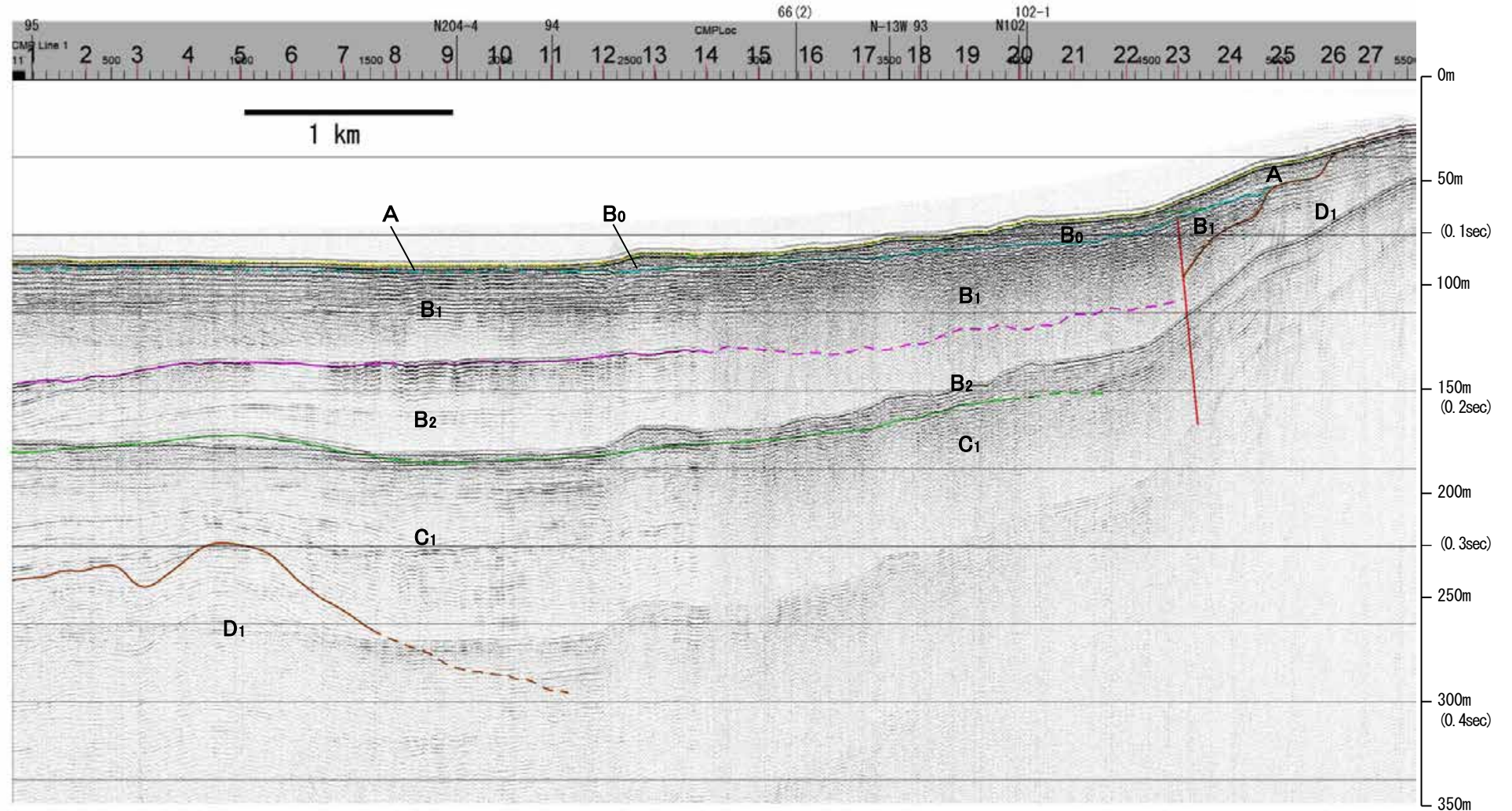


# 産総研ブーマー N31

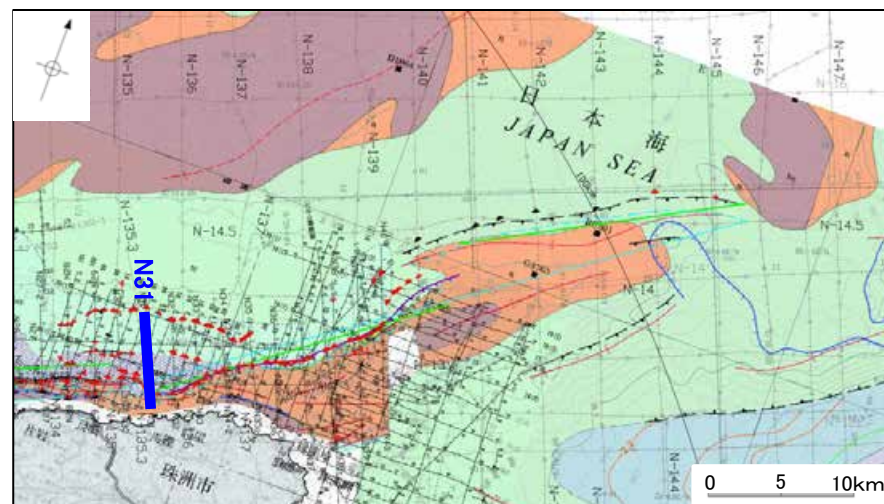
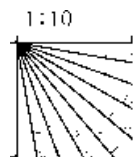
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

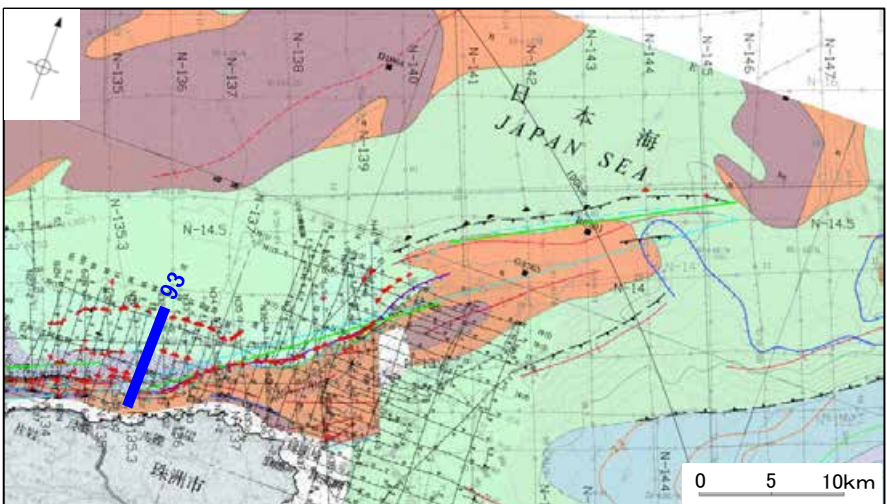
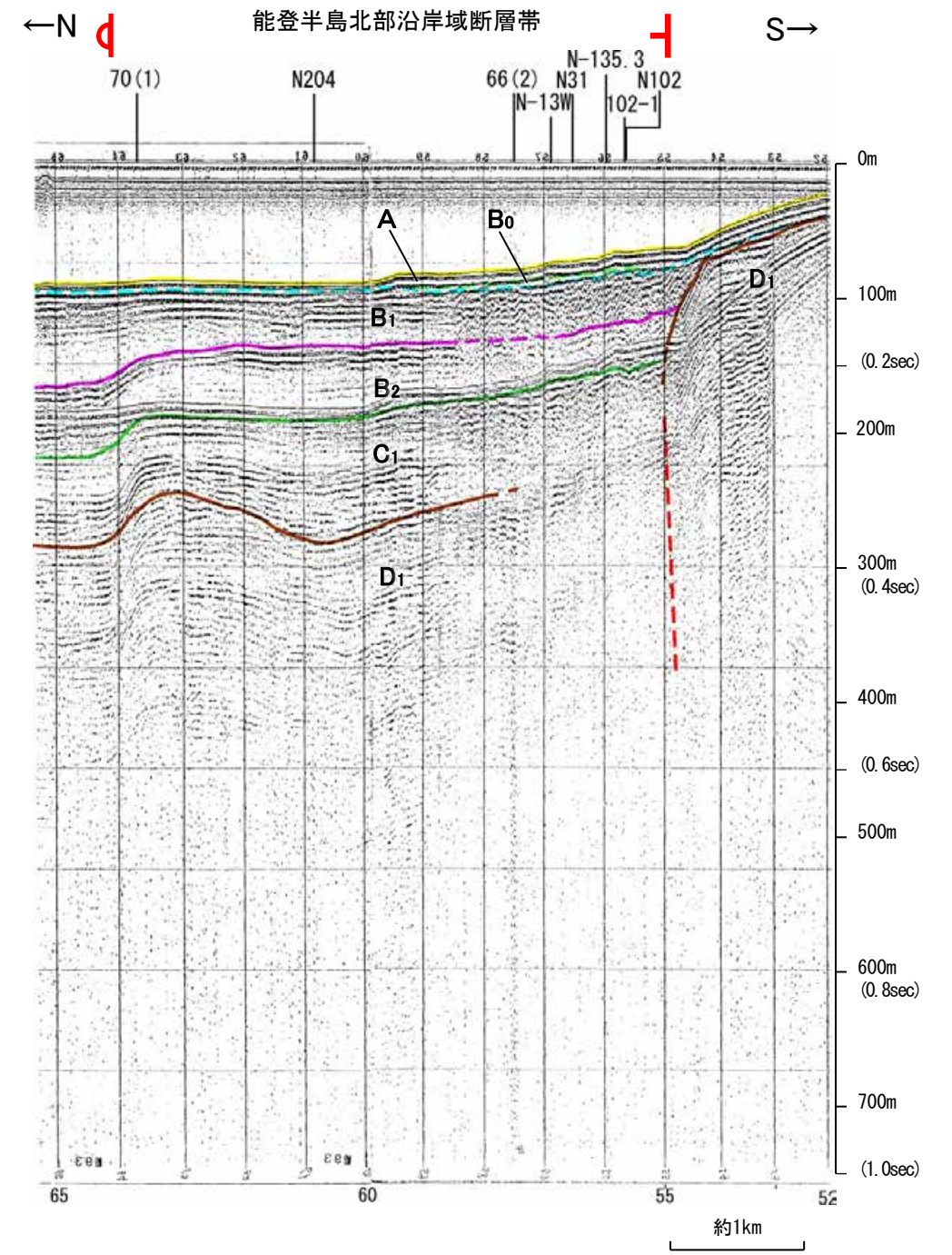
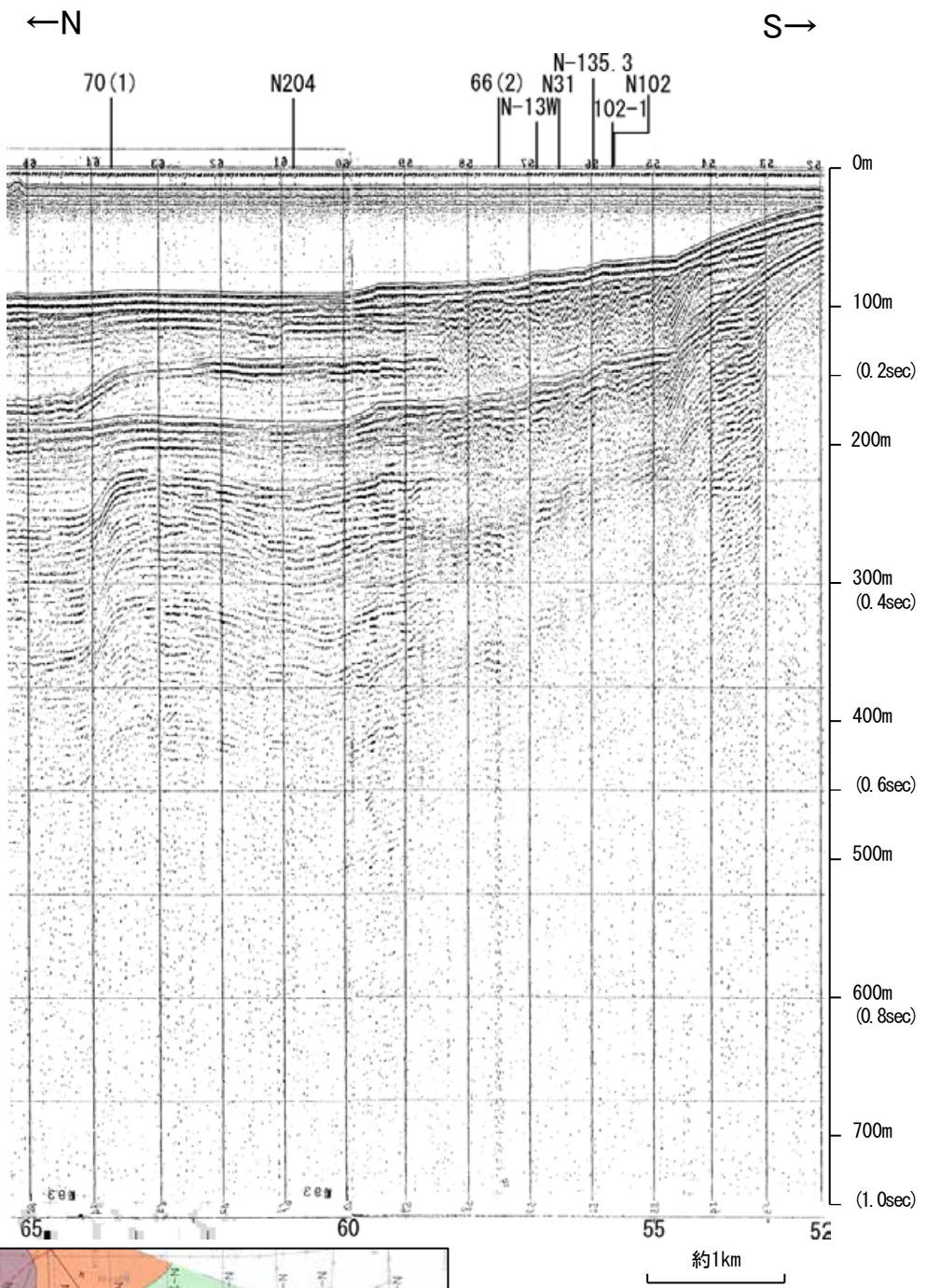


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	更新世	B <sub>2</sub> 層
前期		B <sub>3</sub> 層
第三紀	鮮新世	C層
		C <sub>1</sub> 層
	中新世	D層
		D <sub>1</sub> 層
古第三紀	D <sub>2</sub> 層	
先第三紀	D <sub>3</sub> 層	

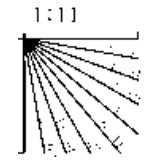


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 93

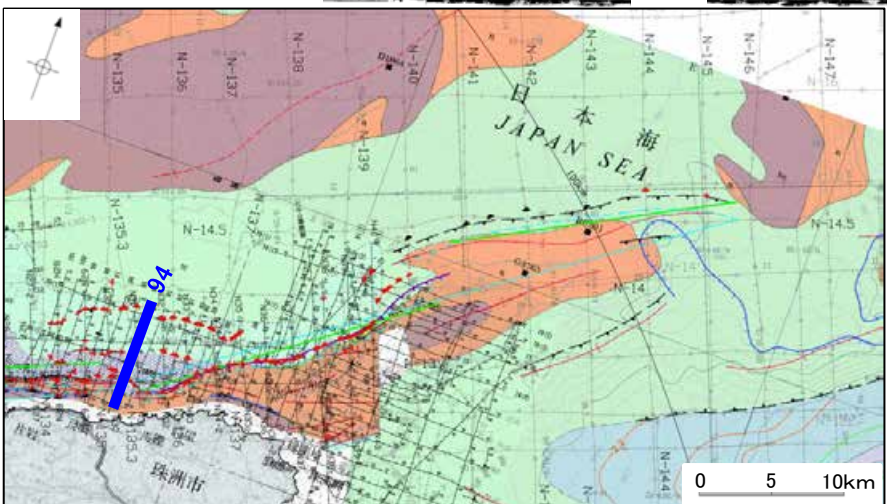
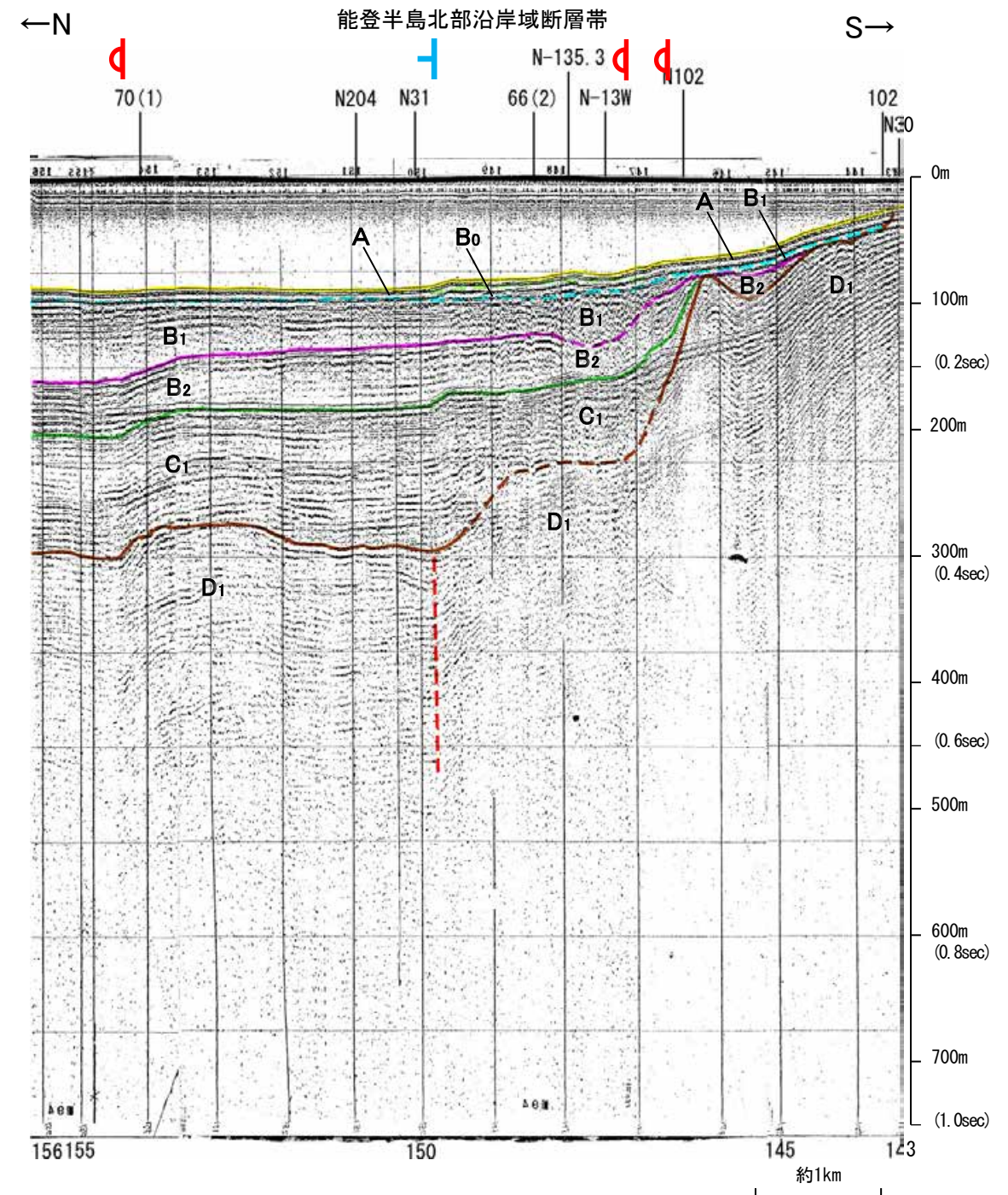
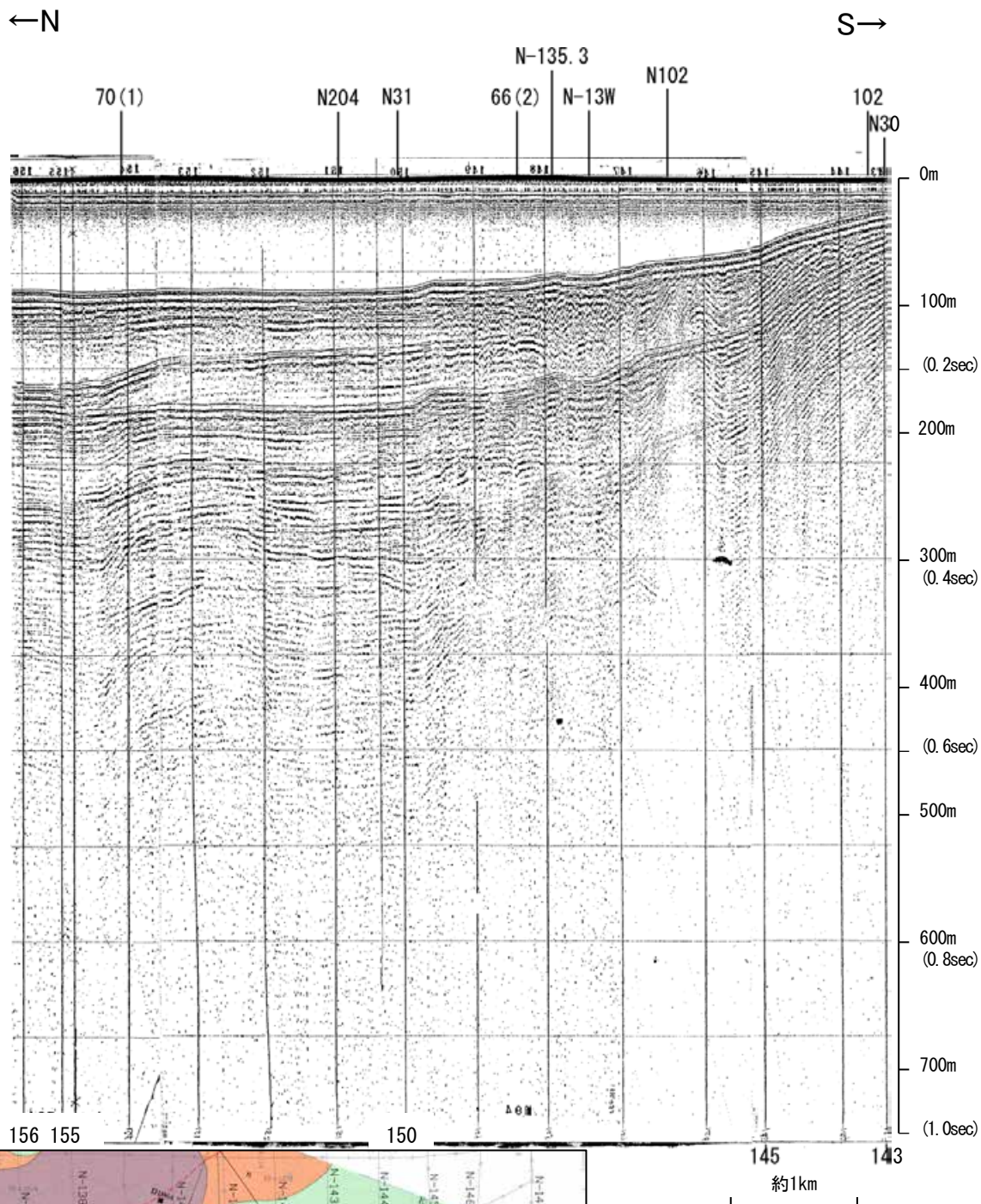


地質時代	地層名
完新世	A層
第四紀 更新世	後期 B層
	中期 B層
	前期 B層
鮮新世	C層
	D層
中新世	D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層

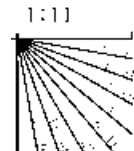


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 94



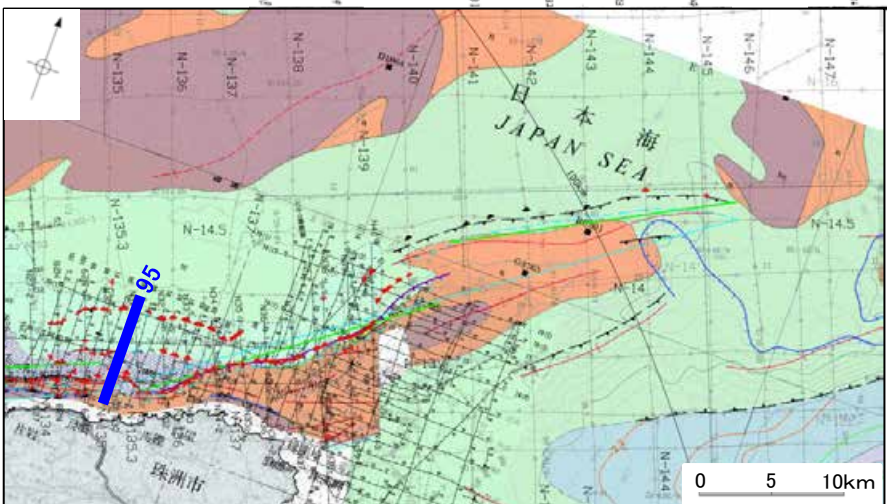
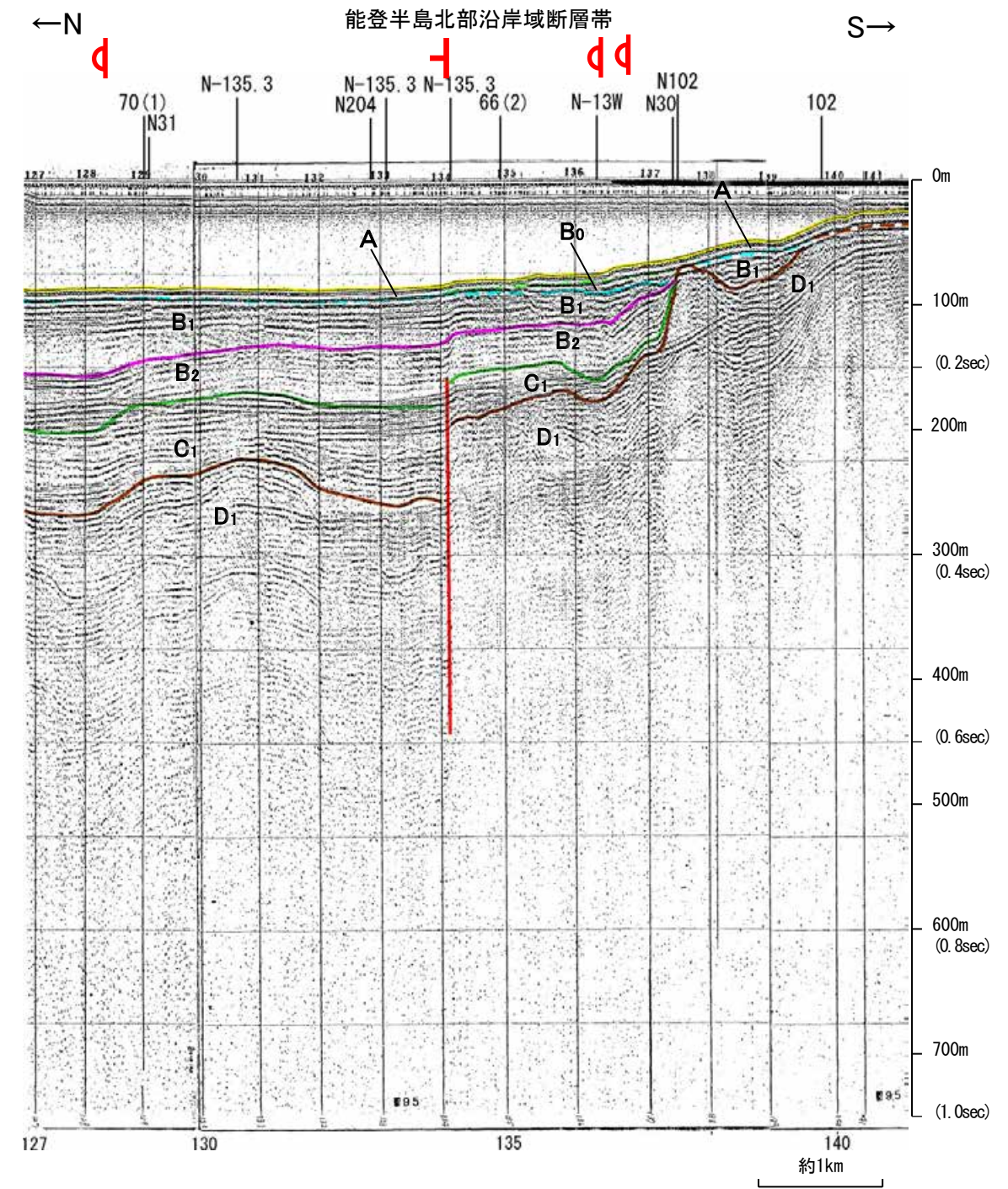
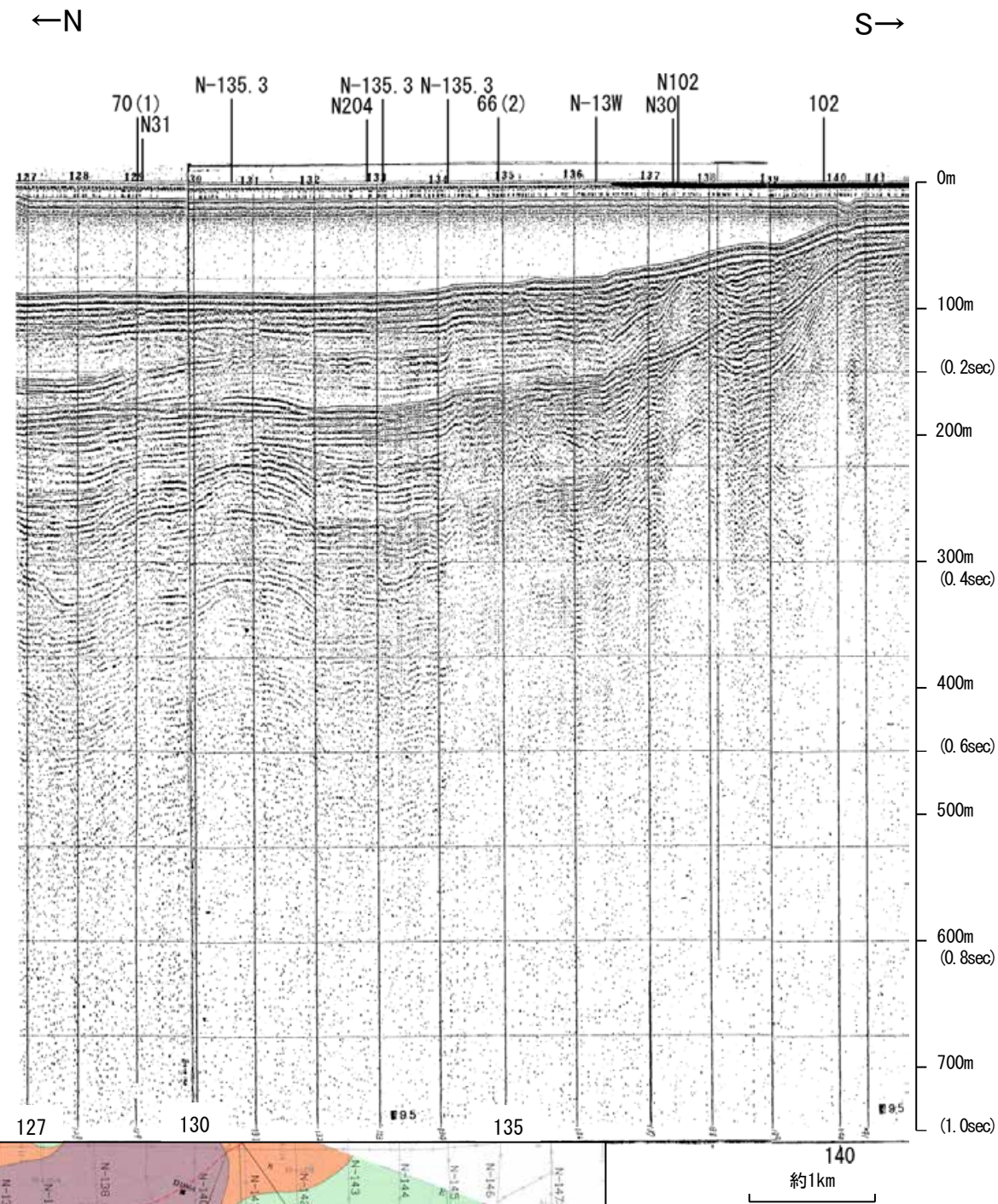
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
前期	B層	
第三紀	C層	
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



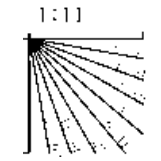
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 海上保安庁スパーカー 95



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



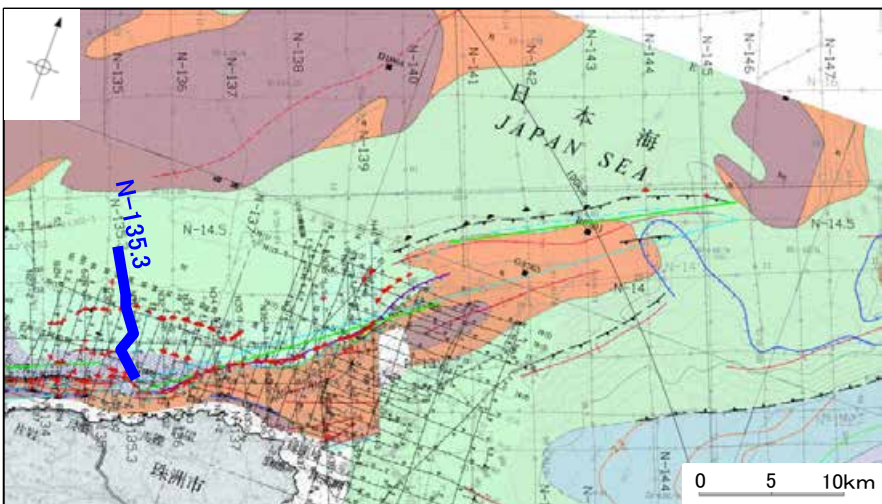
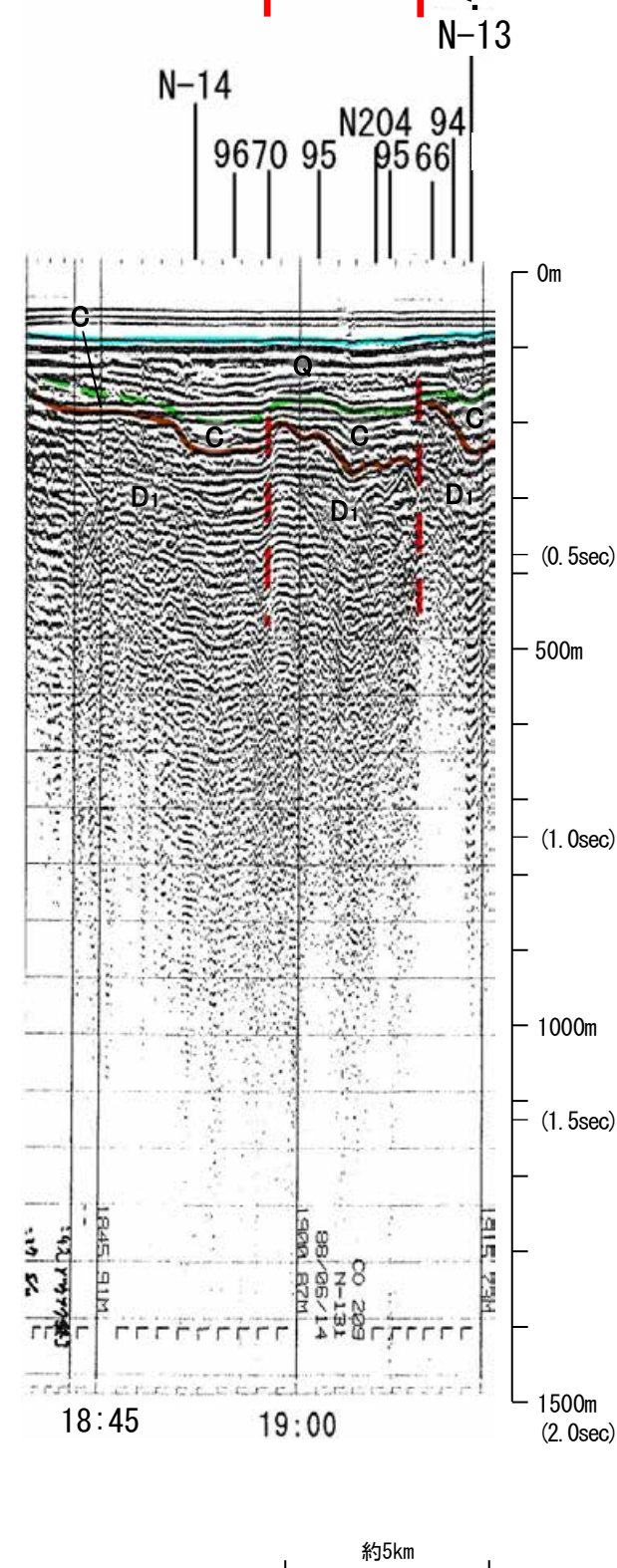
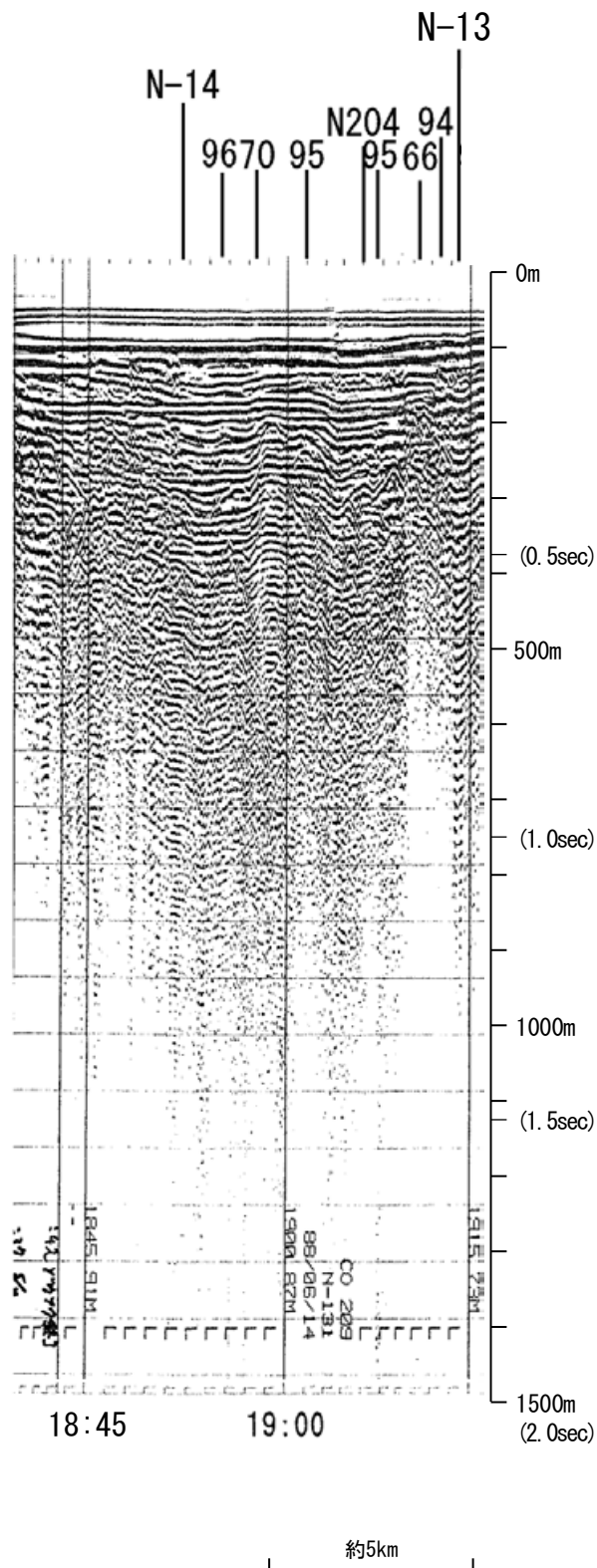
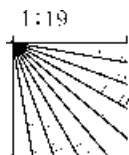
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-135.3

←NW SE→

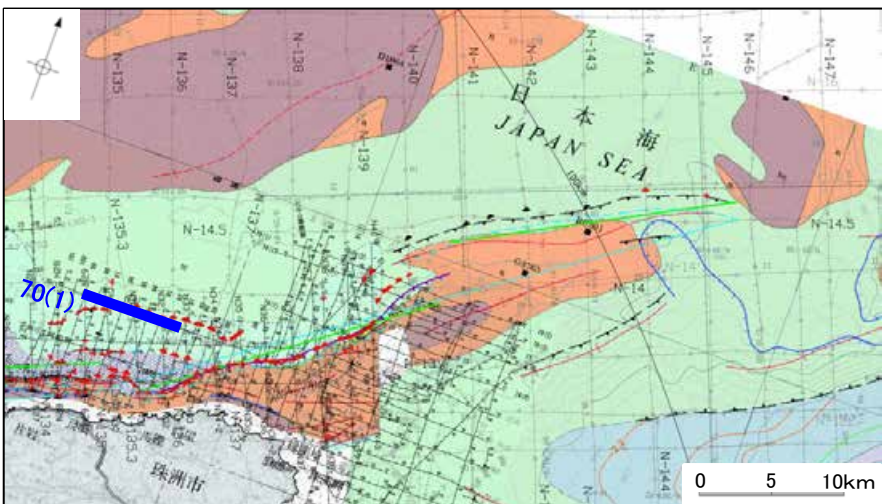
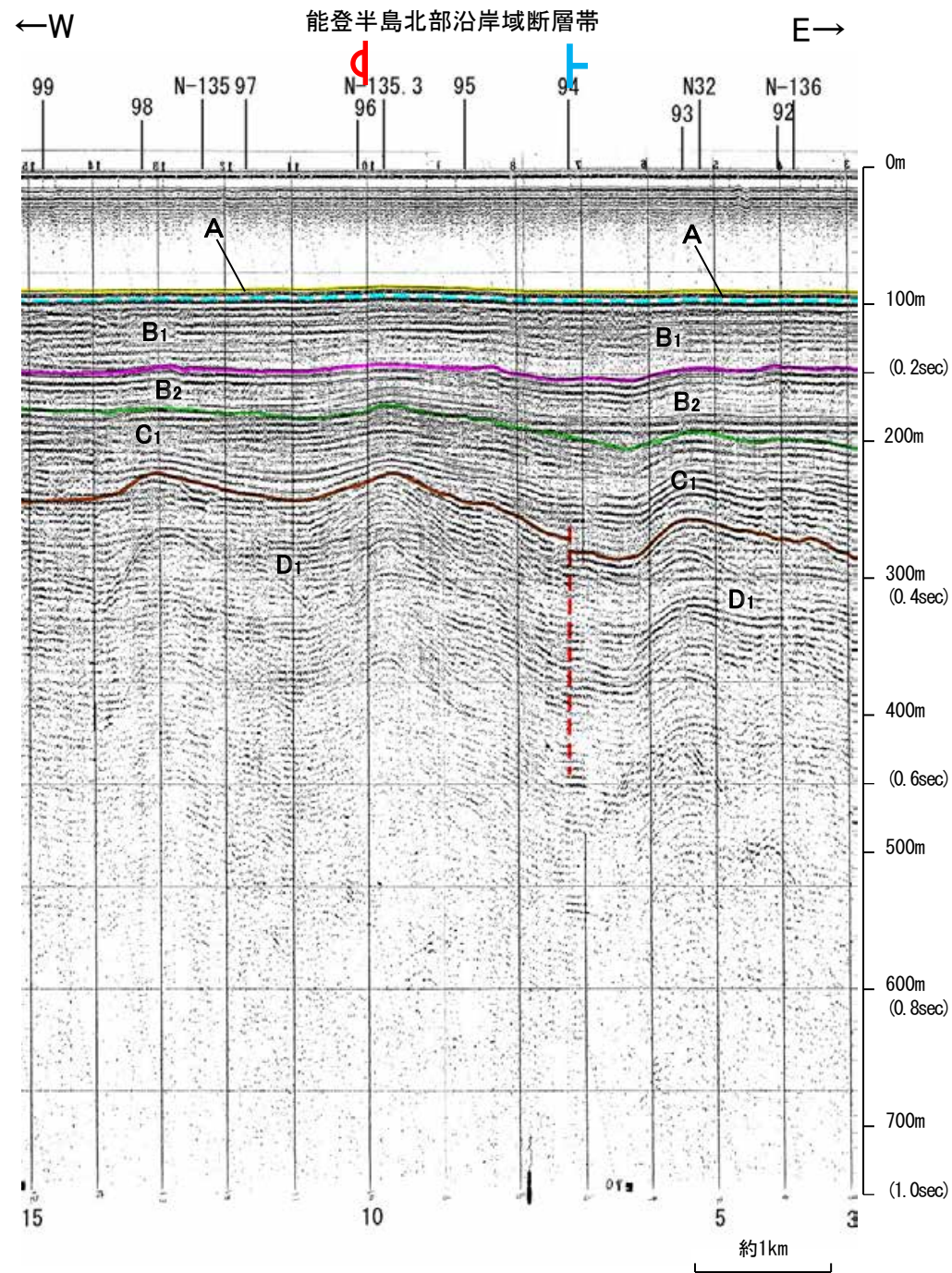
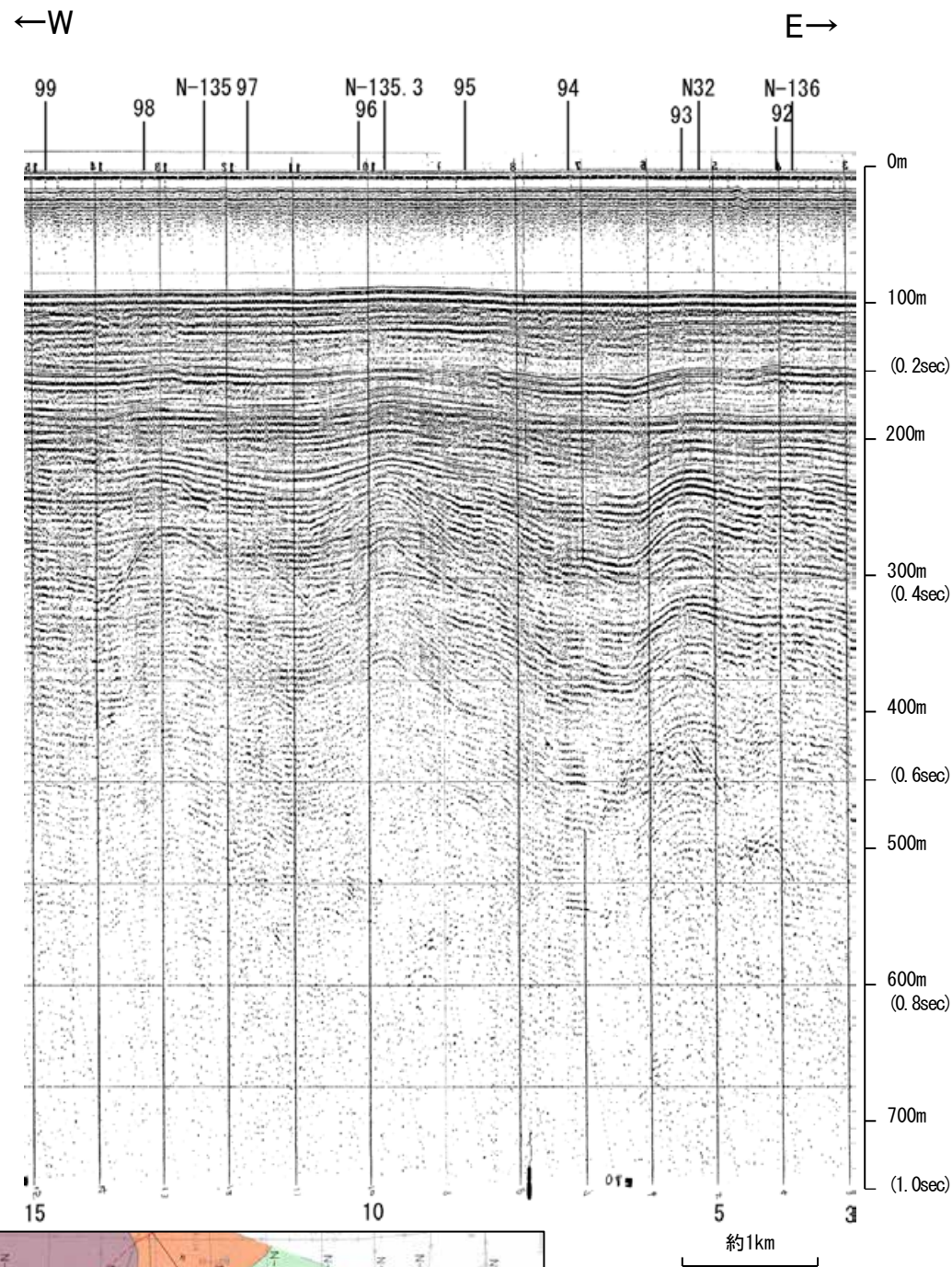
←NW SE→  
能登半島北部沿岸域断層帯

地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	更新世	Q層
	中期	B <sub>1</sub> 層
B <sub>2</sub> 層		
前期	B <sub>3</sub> 層	
第三紀	鮮新世	C <sub>1</sub> 層
	中新世	C <sub>2</sub> 層
		D <sub>1</sub> 層
古第三紀	D <sub>2</sub> 層	
先第三紀	D <sub>3</sub> 層	

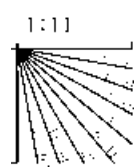


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 70(1)



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
前期	B層	
	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

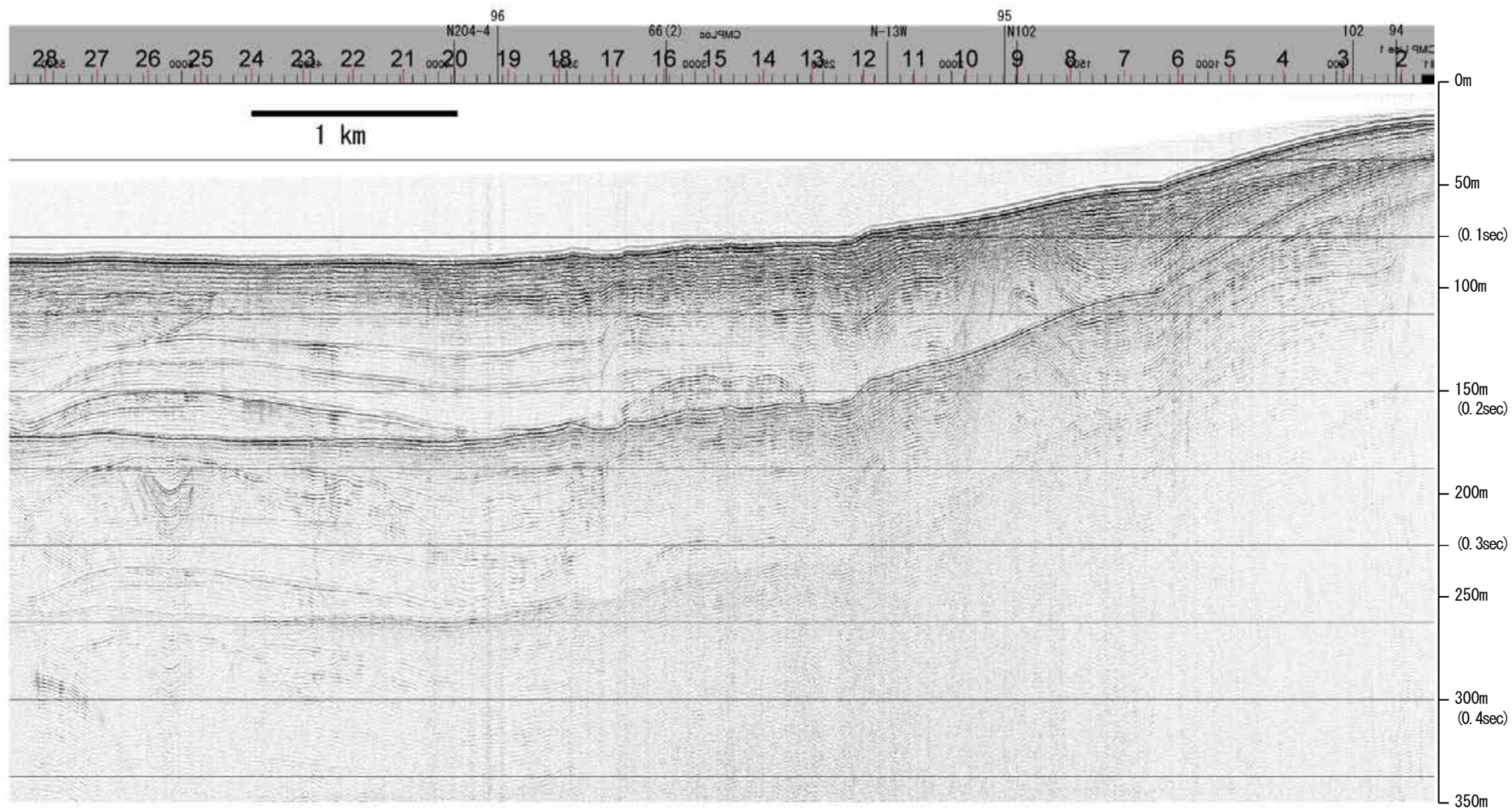


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

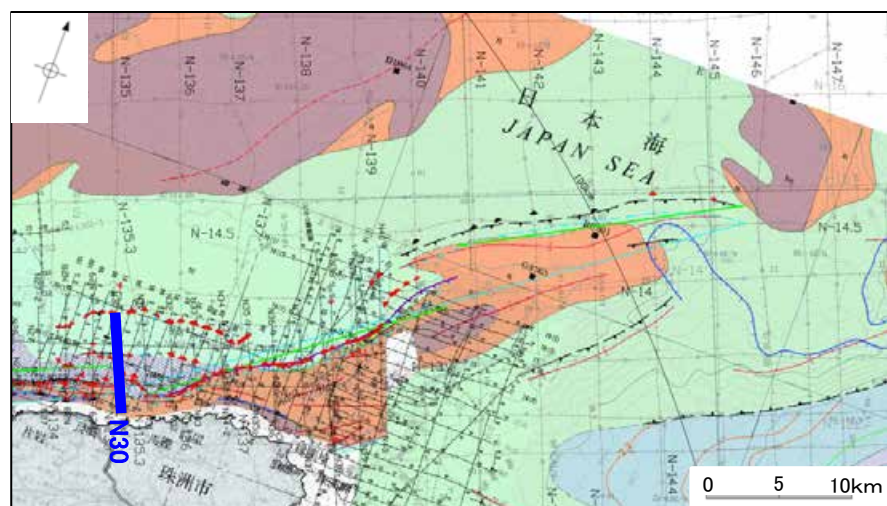
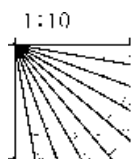
# 産総研ブーマー N30

←NNW

SSE→



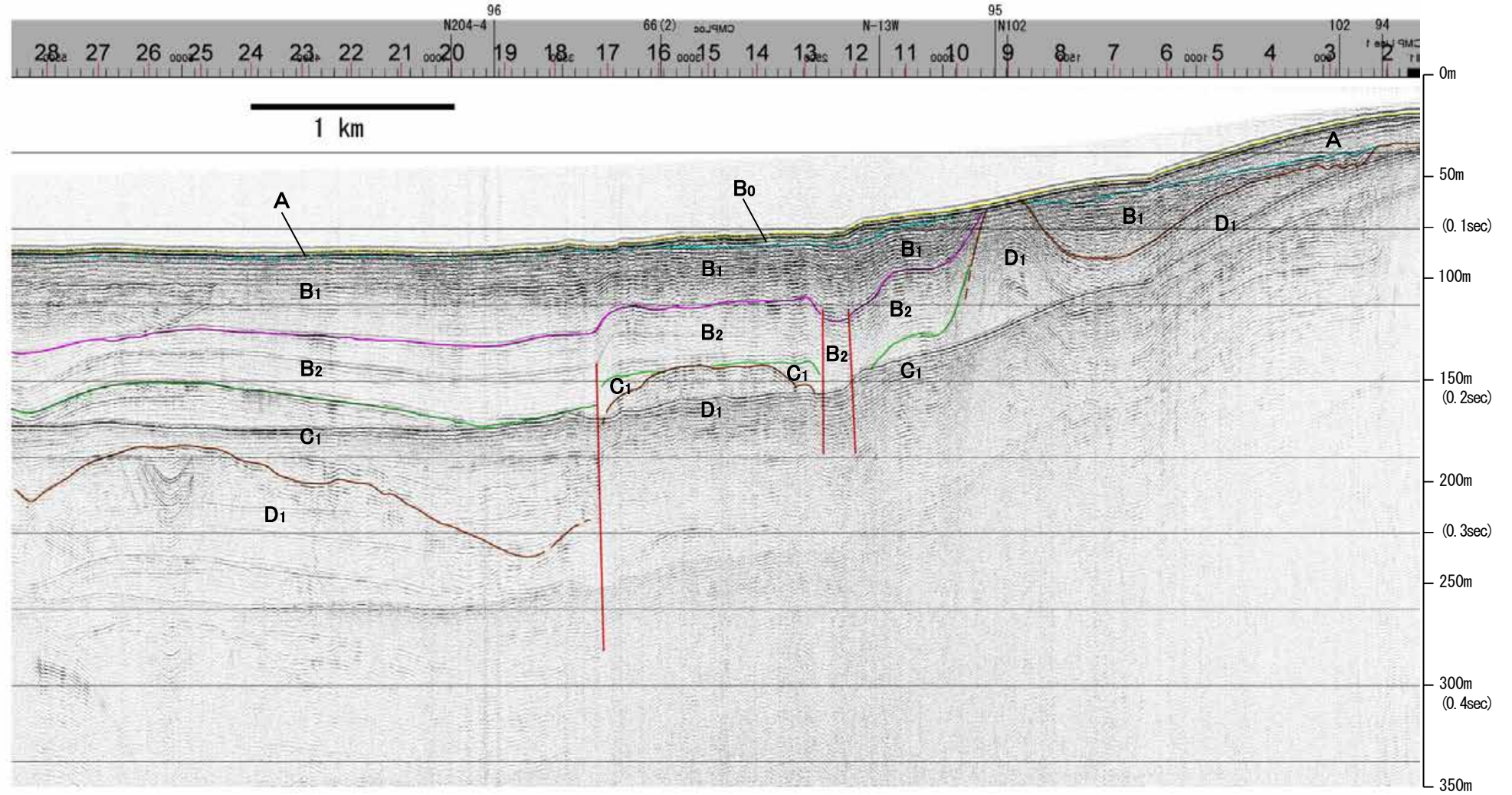
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
前期	C層	C層	
	C層	C層	
鮮新世	D層	D層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



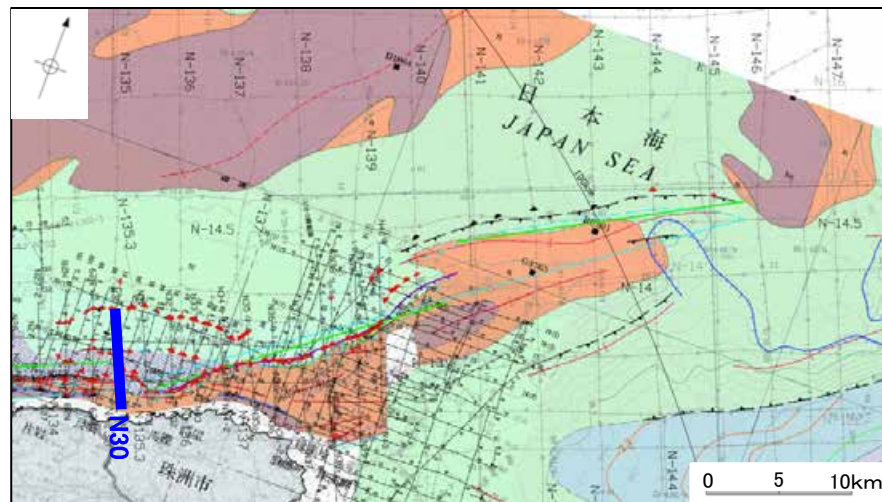
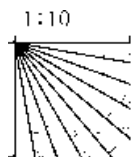
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

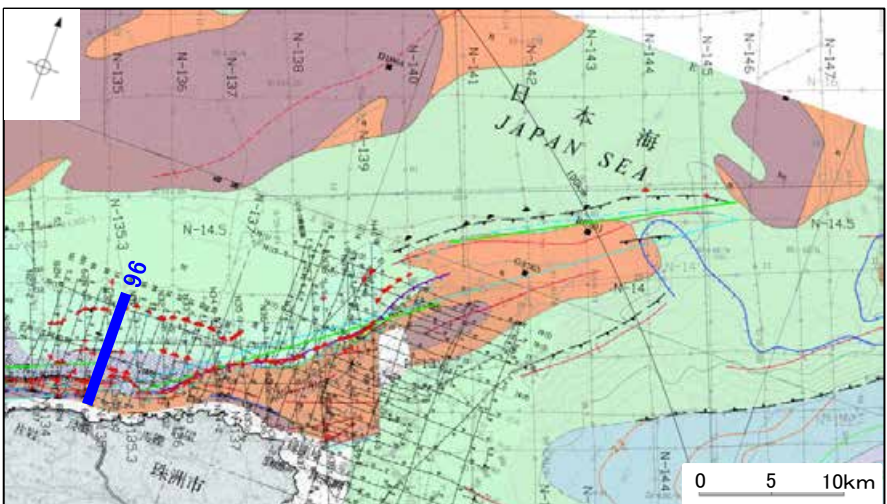
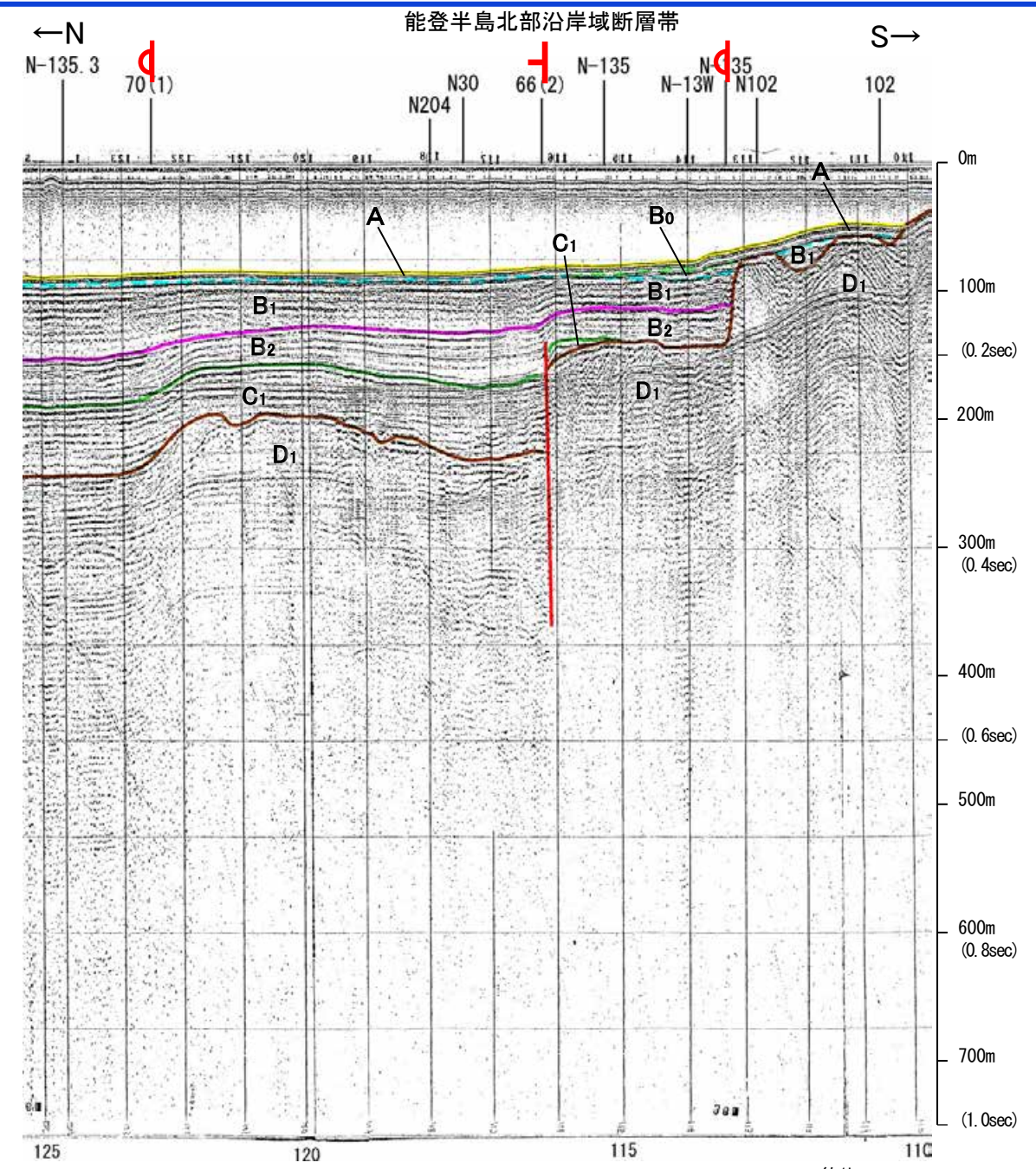
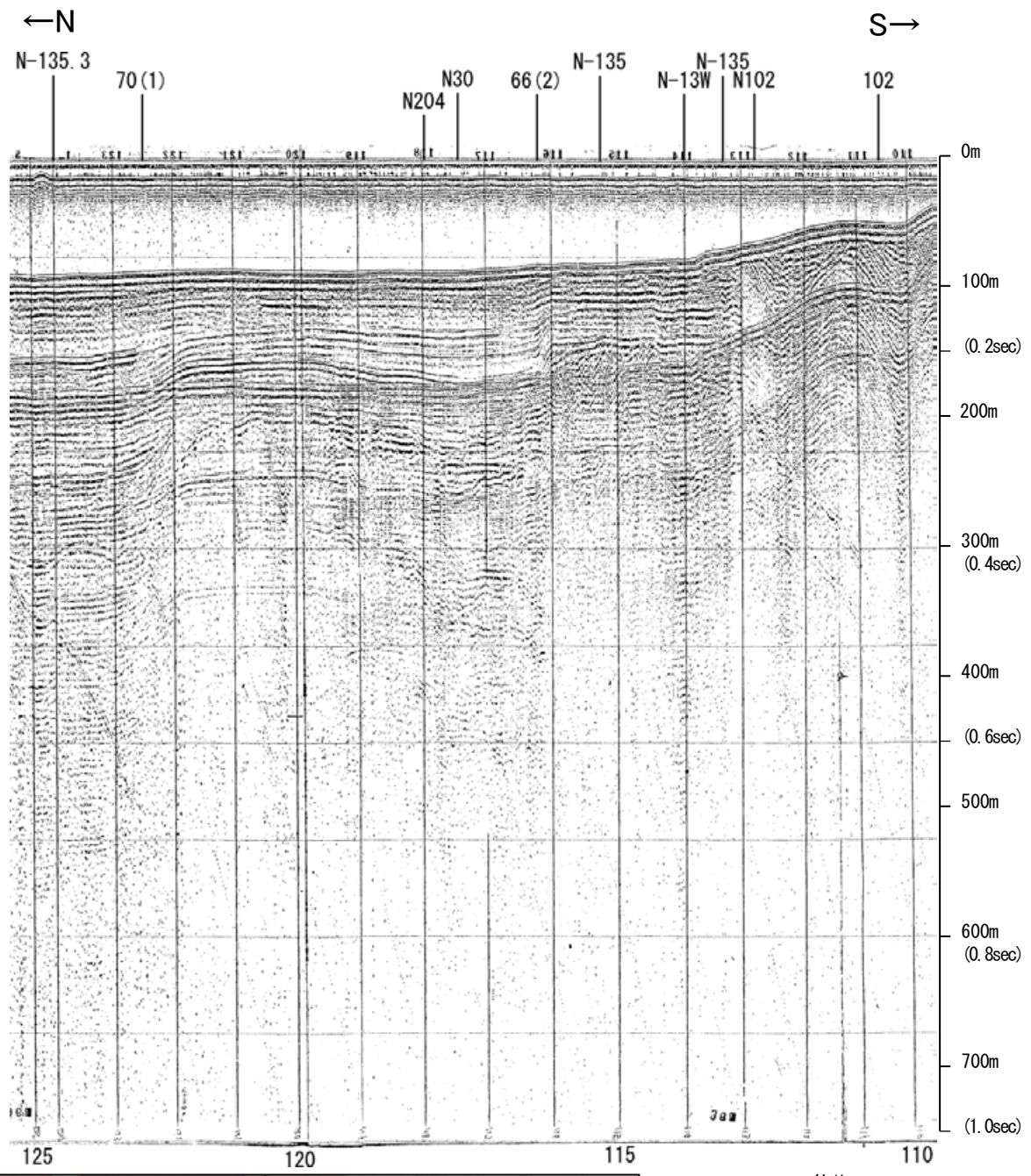


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B <sub>1</sub> 層	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層	B <sub>2</sub> 層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	D層	D層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

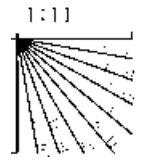


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 96

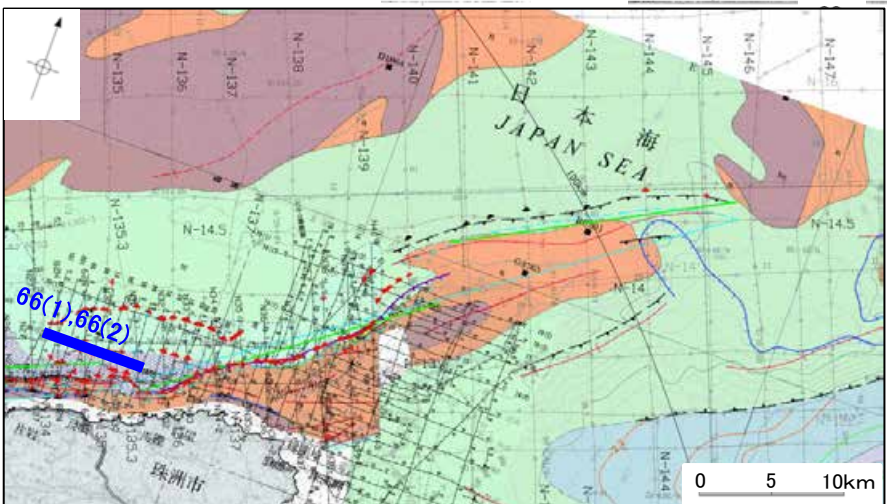
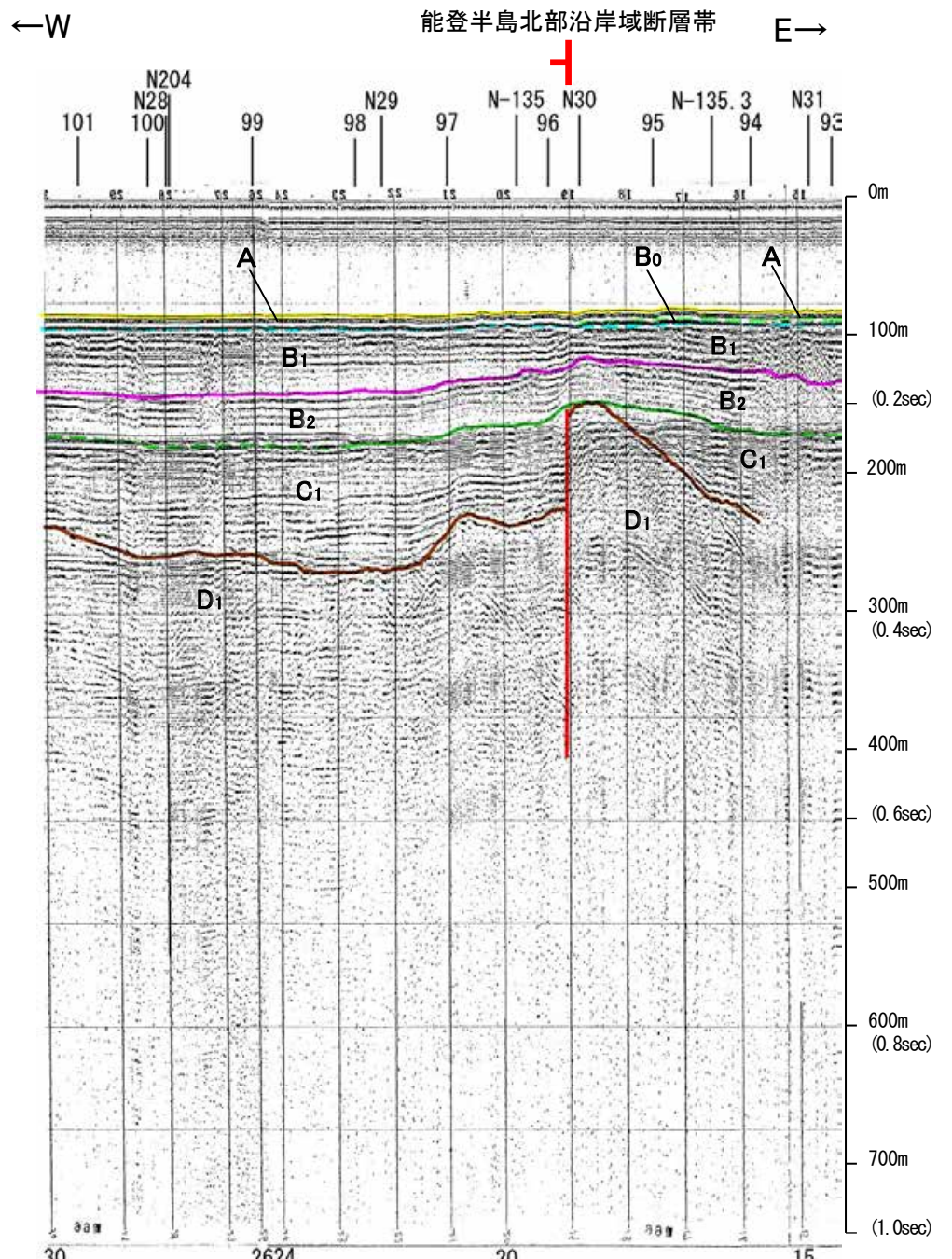
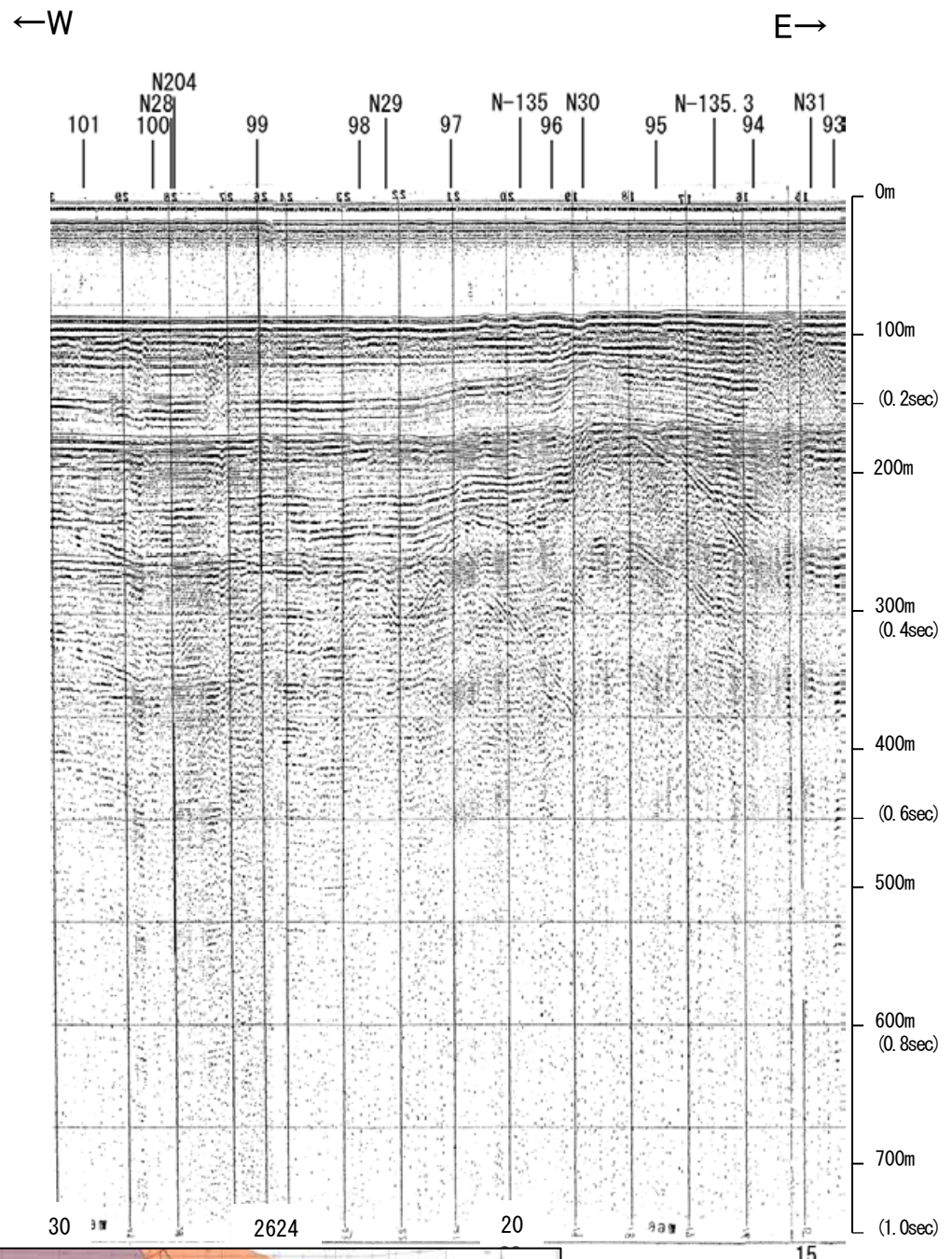


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
前期	B層	
	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

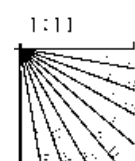


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 66(1),66(2)

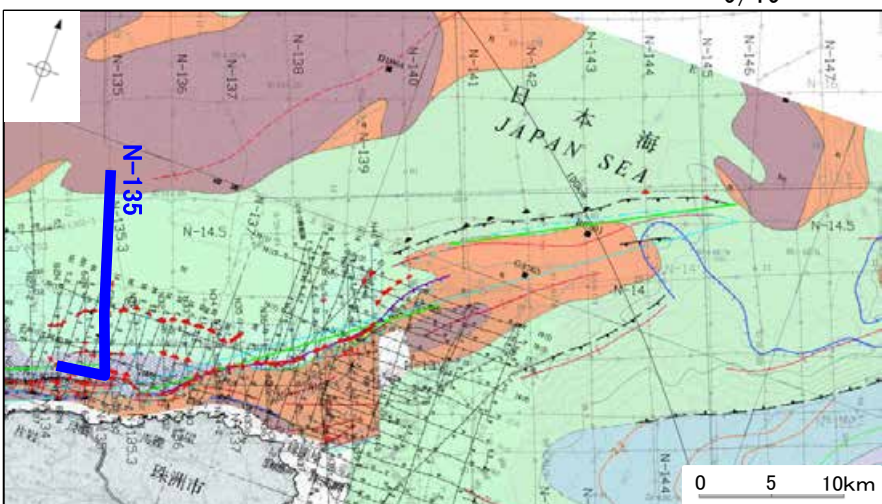
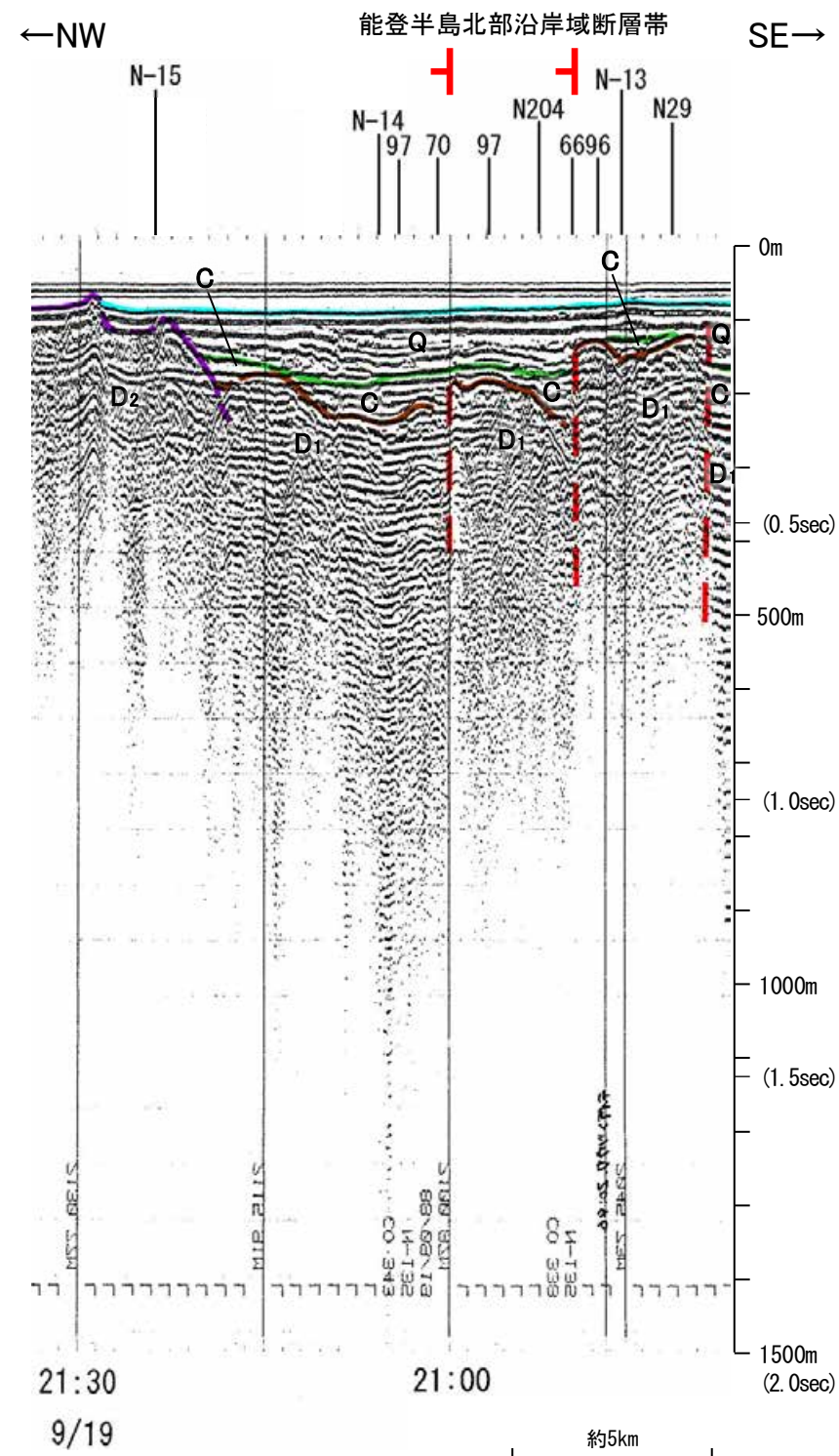
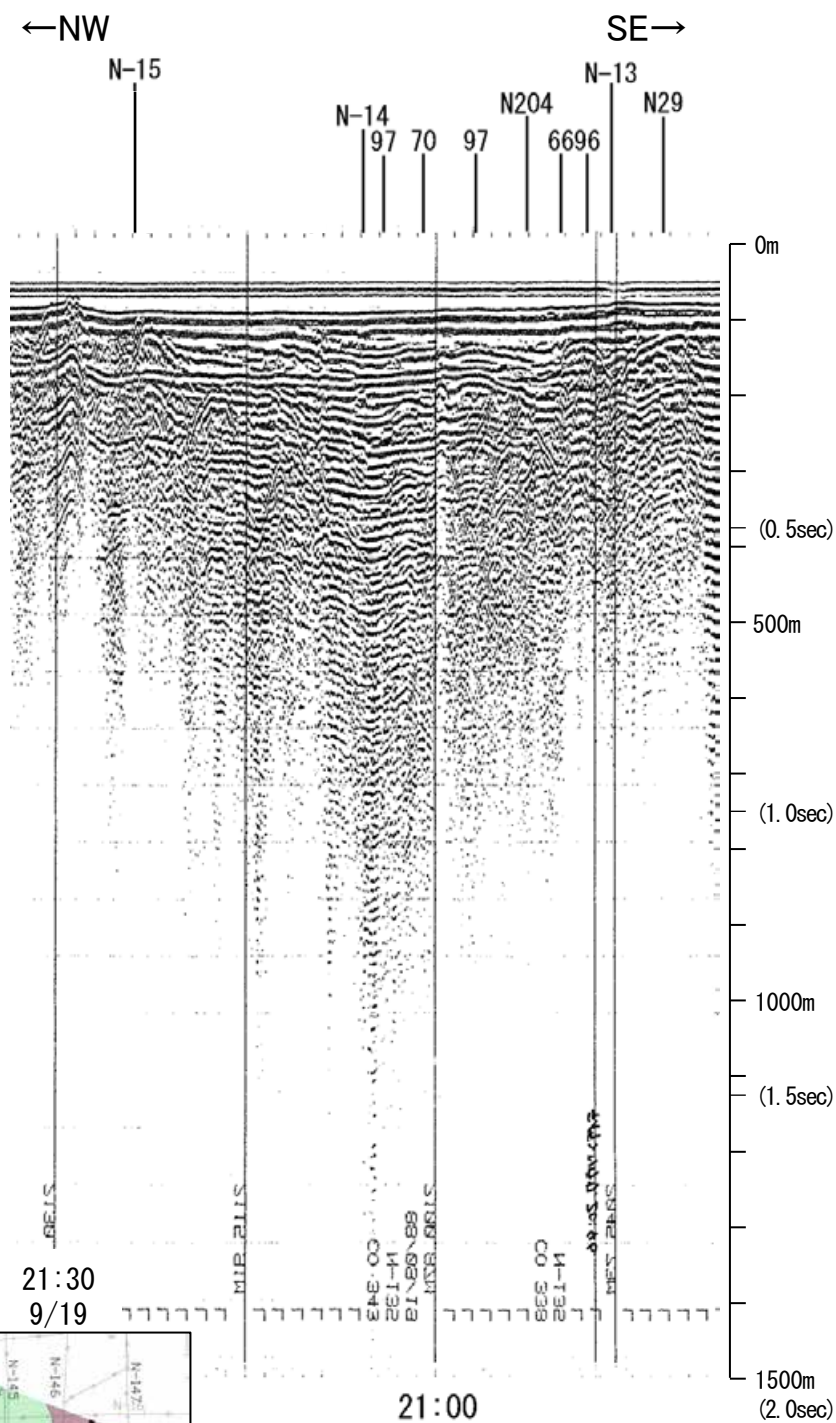


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>1</sub> 層
		B <sub>2</sub> 層
	中期	B層
前期	B層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

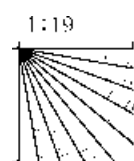


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 地質調査所エアガン N-135



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	Q層	A層
	後期		B層
			B層
	中期		B層
前期	B層		
第三紀	鮮新世	D層	C層
	中新世		D層
	古第三紀		D層
先第三紀			D層



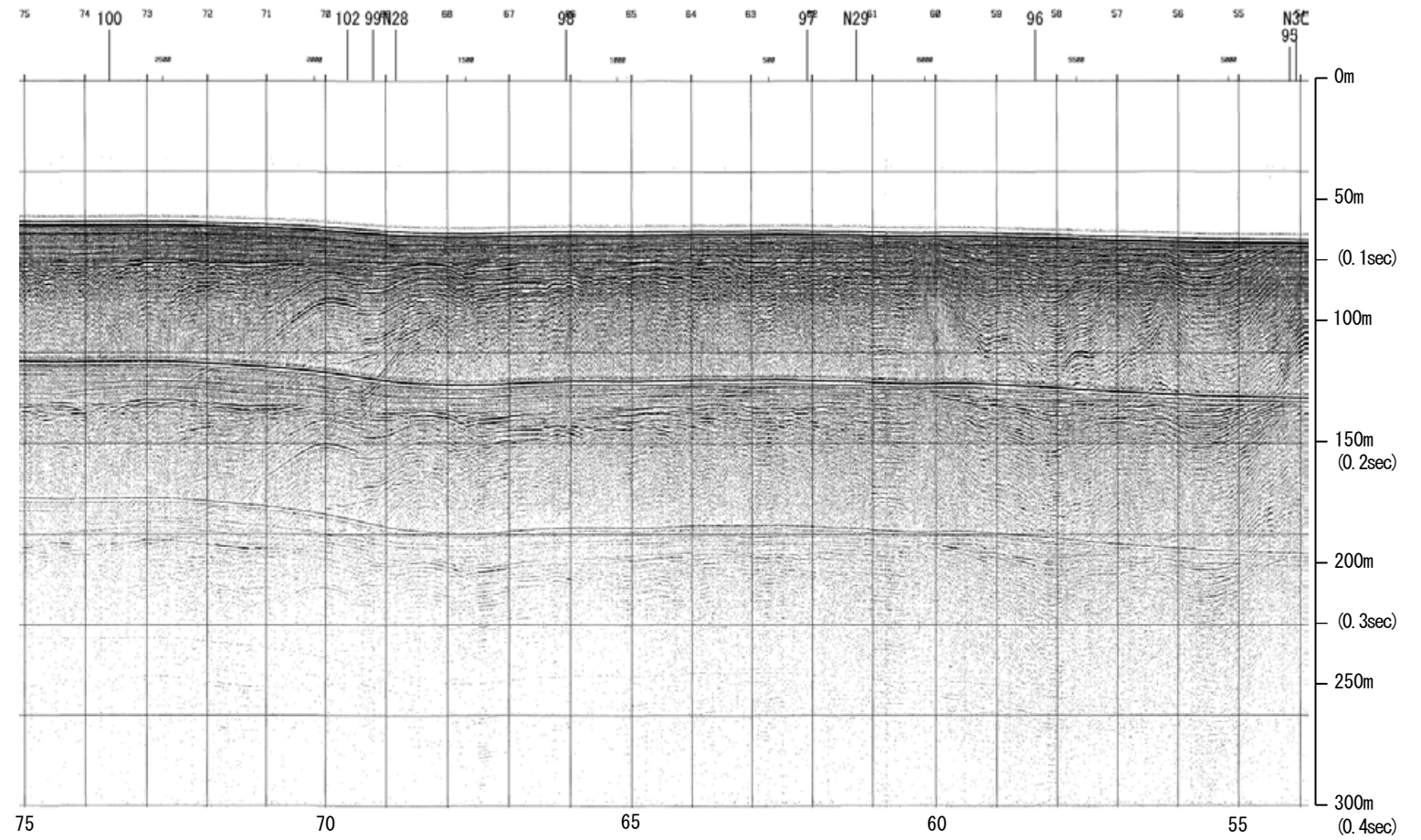
この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



# 産総研ブーマー N102

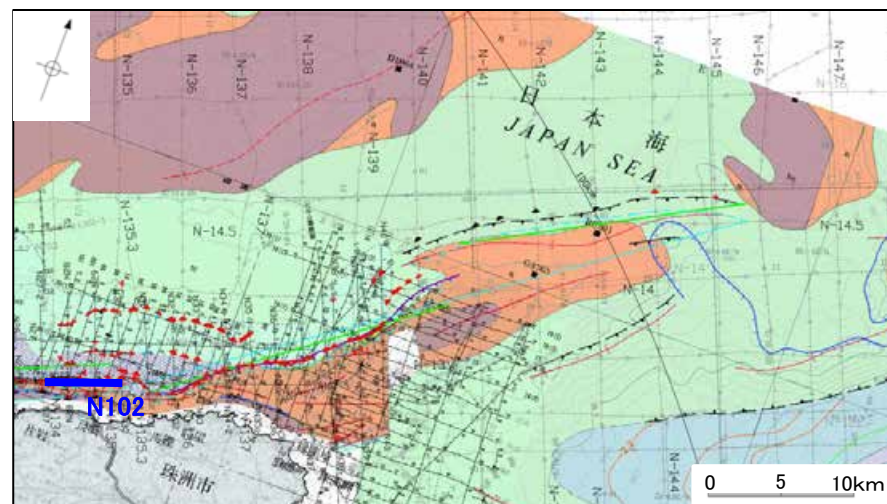
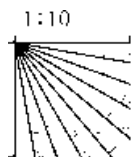
←WSW

ENE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
前期	B層	B層	
	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	C層	C層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

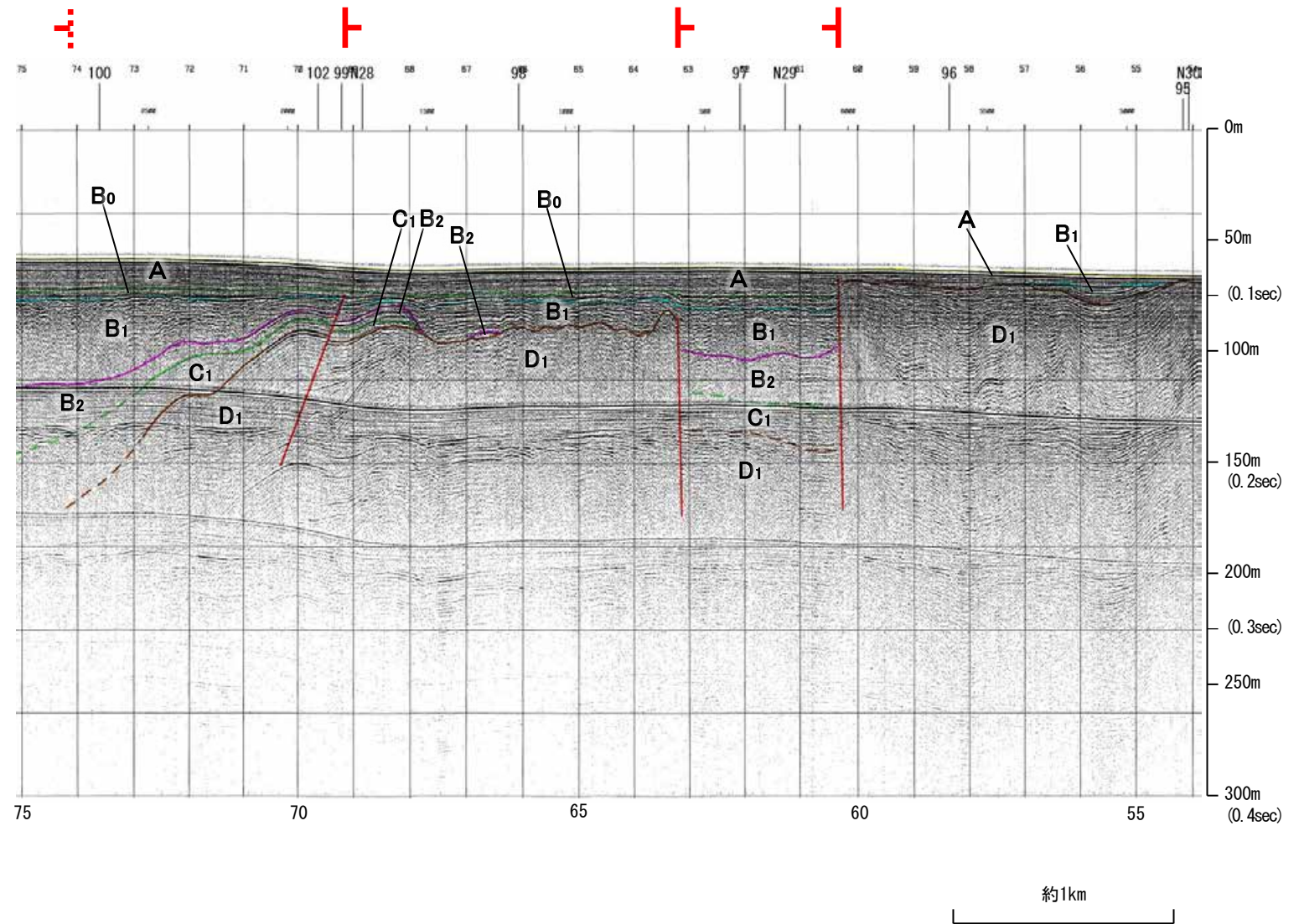


# 産総研ブーマー N102

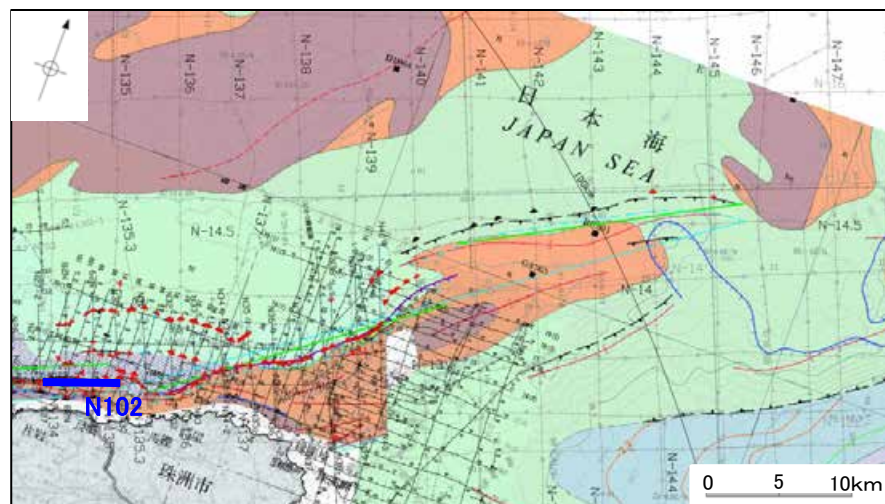
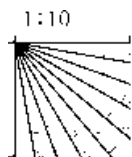
←WSW

ENE→

能登半島北部沿岸域断層帯

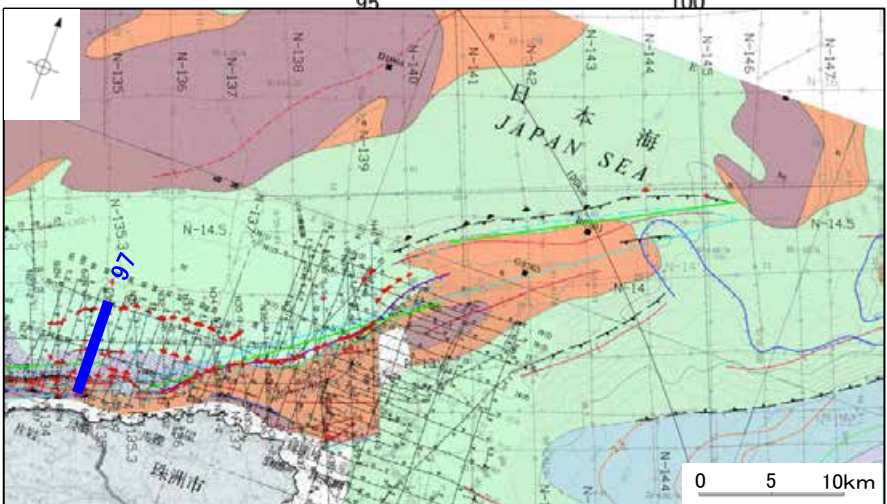
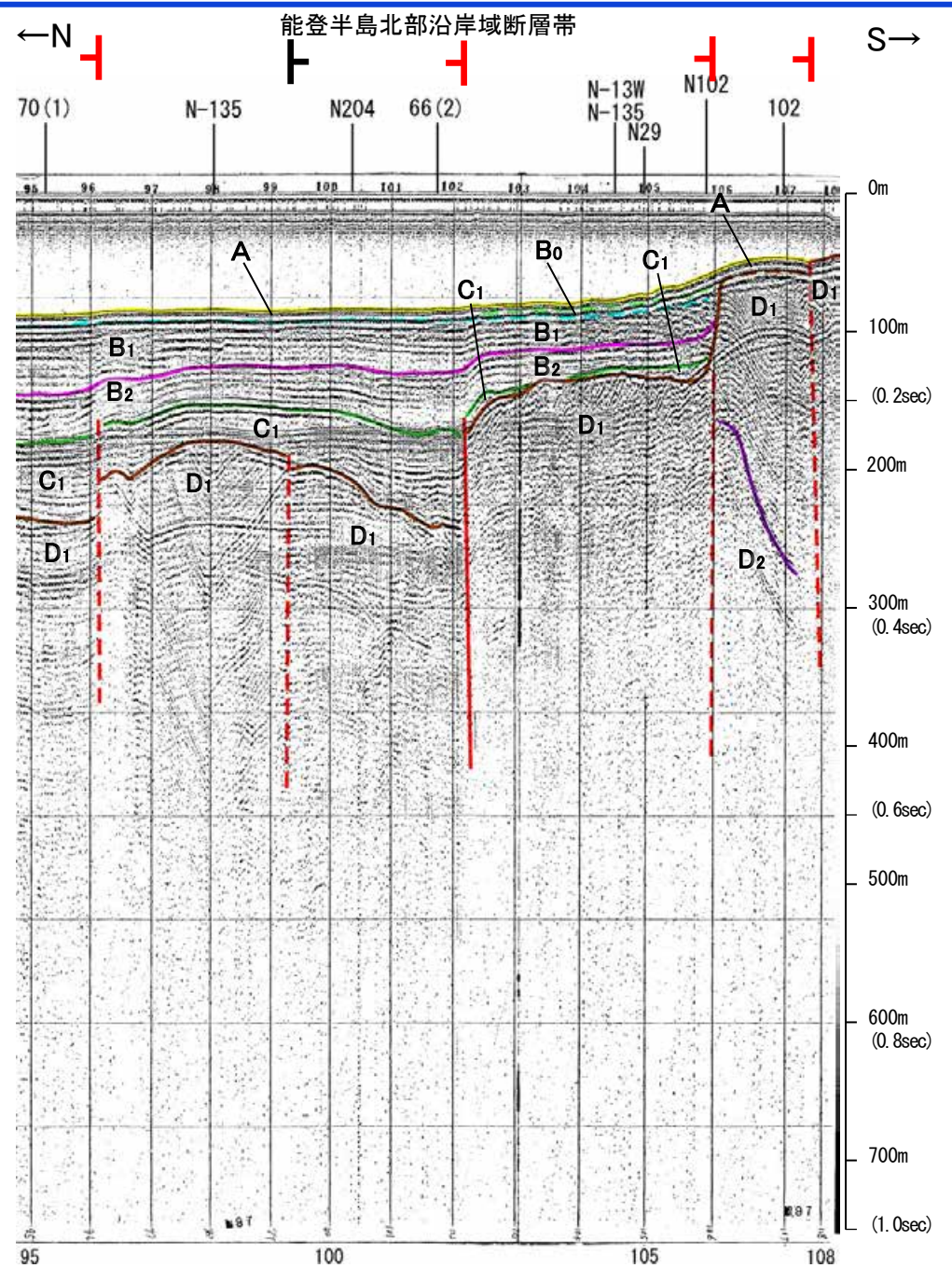
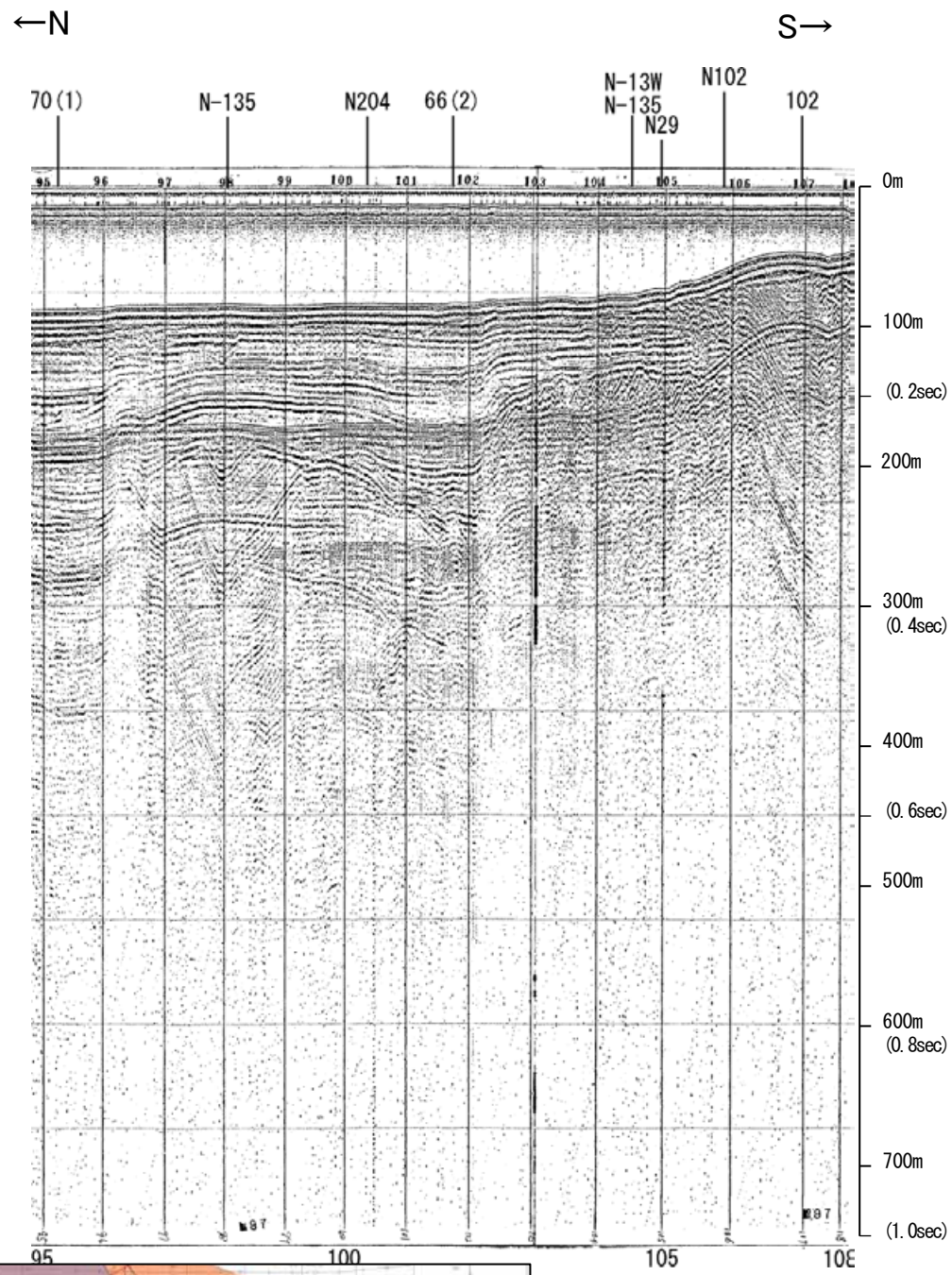


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
	前期	B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
		C層	C層
	中新世	D層	D層
		D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

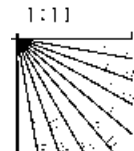


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 97



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B <sub>0</sub> 層
	中期	B <sub>1</sub> 層 B <sub>2</sub> 層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

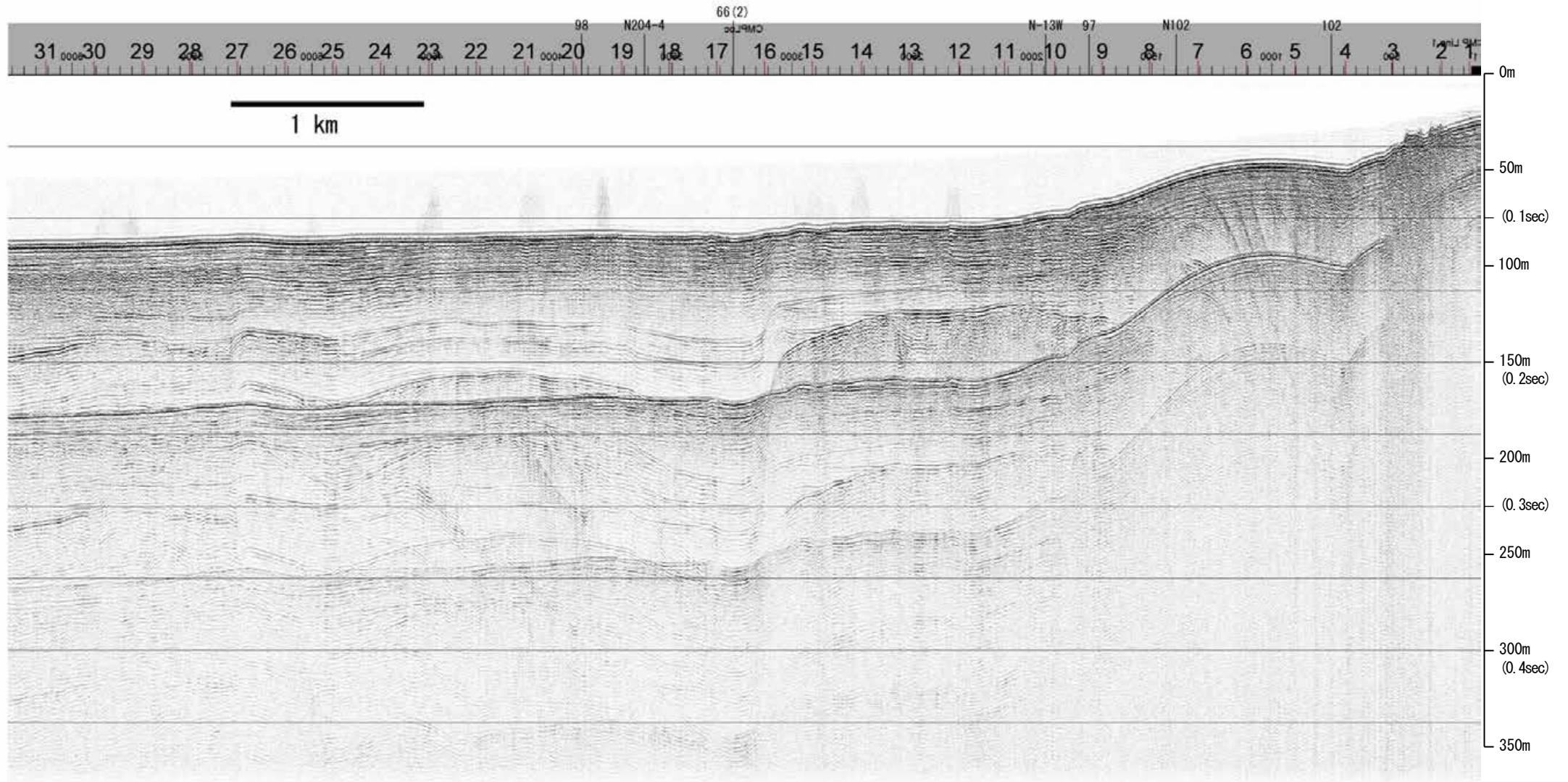


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

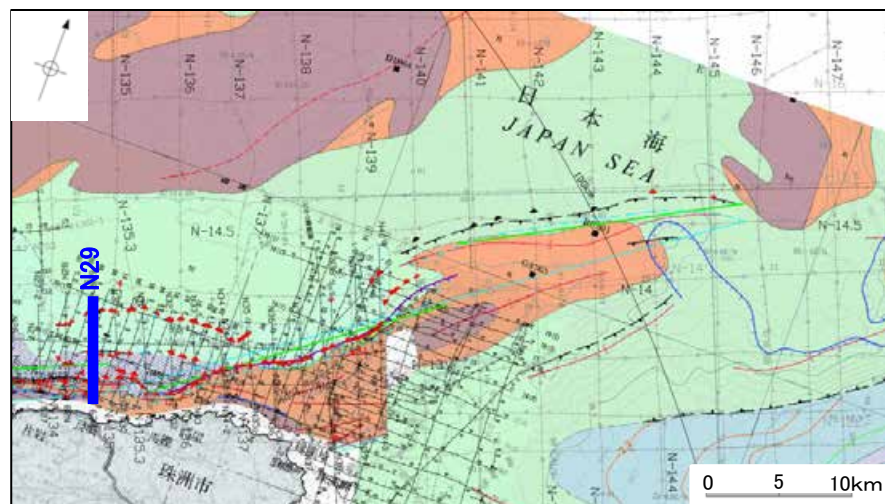
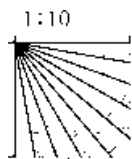
# 産総研ブーマー N29

←NNW

SSE→



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
		D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

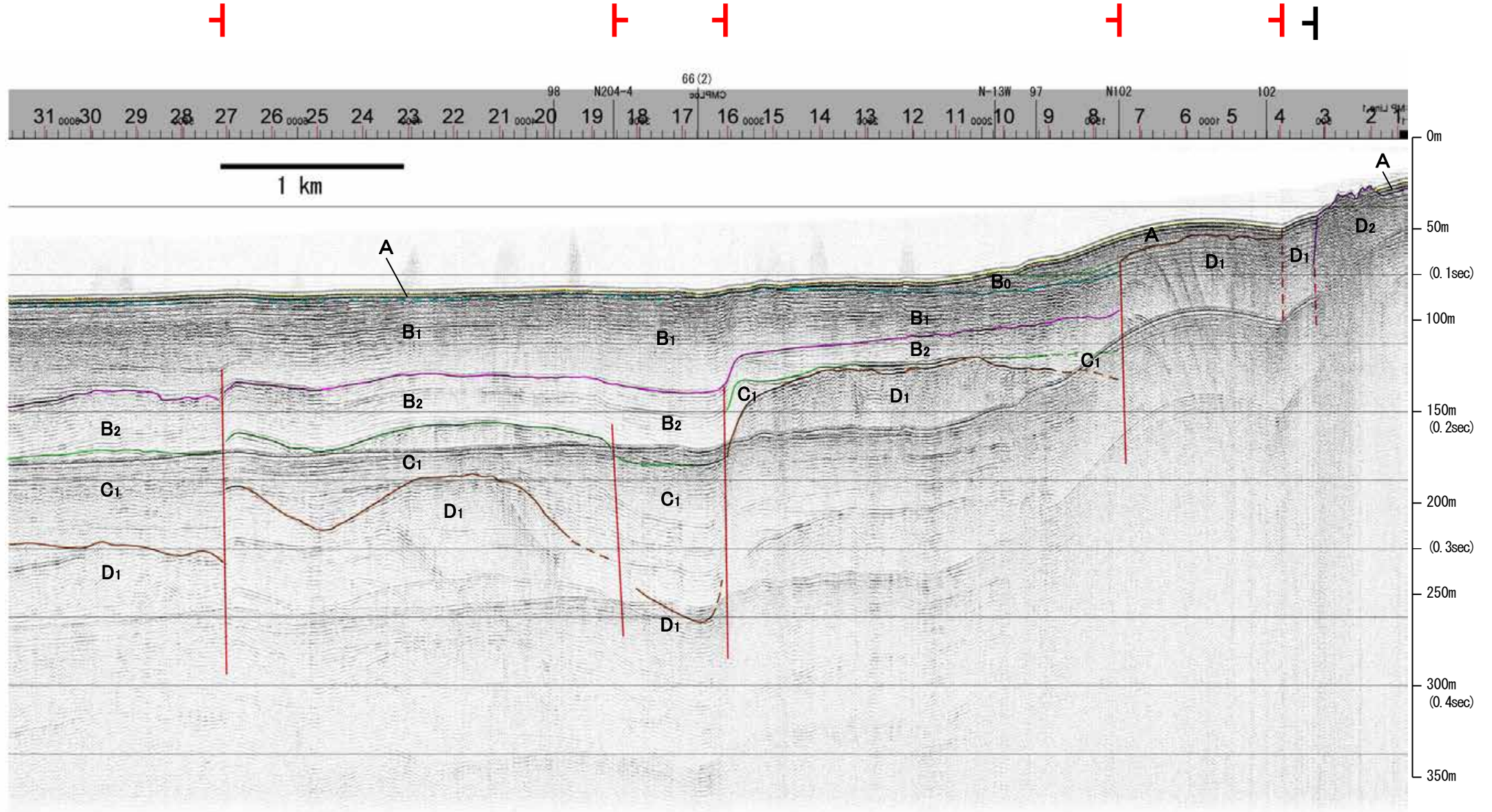


# 産総研ブーマー N29

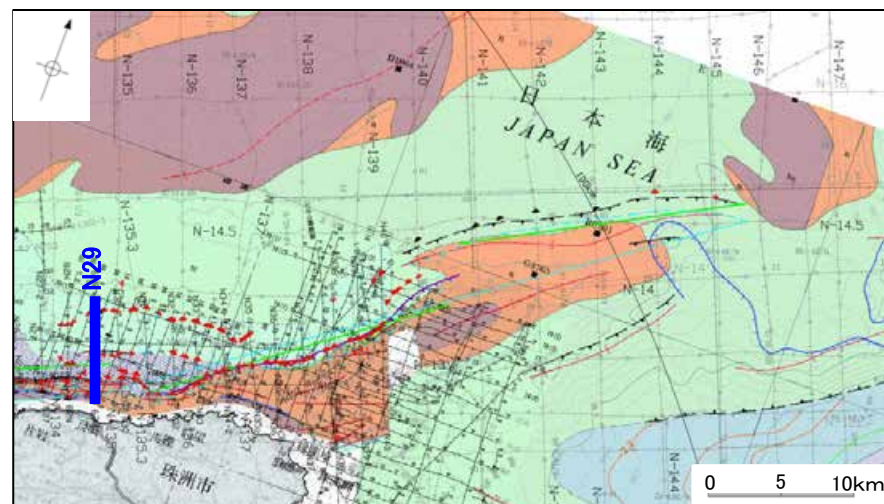
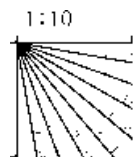
←NNW

能登半島北部沿岸域断層帯

SSE→

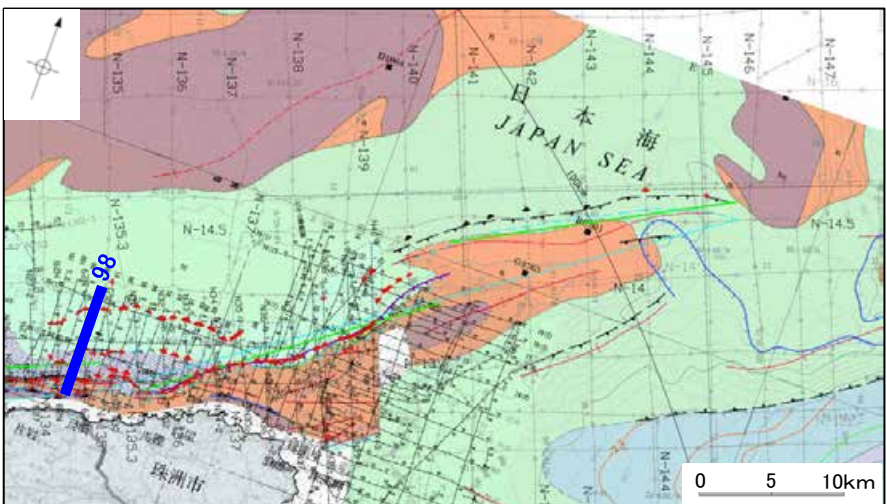
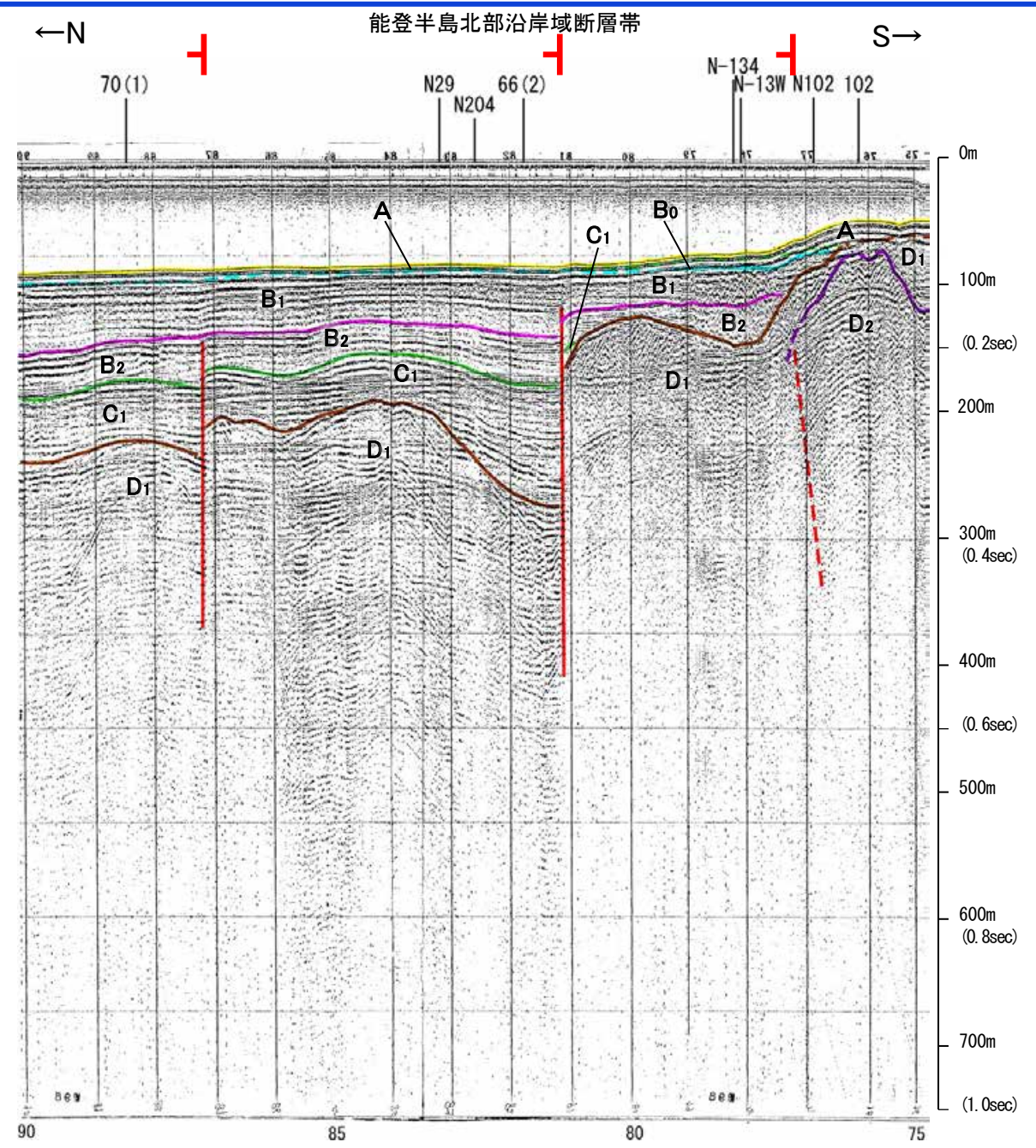
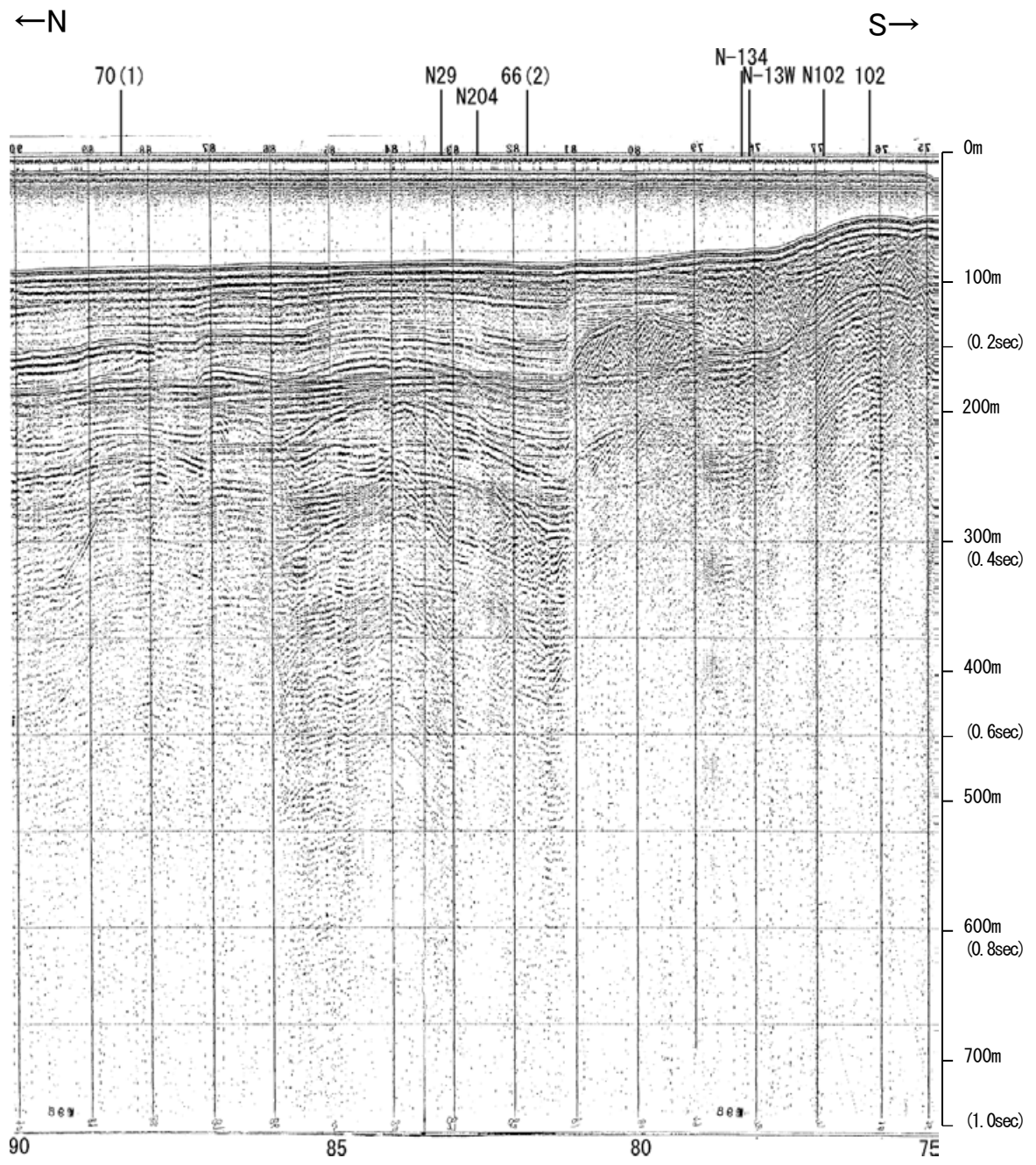


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	中期	B層	B層
前期	B層	B層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

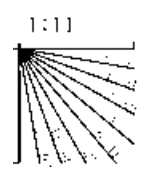


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 98

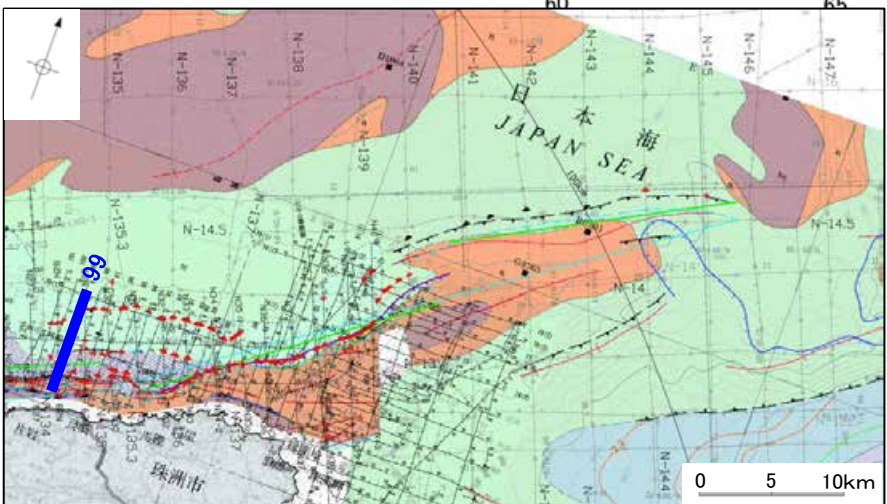
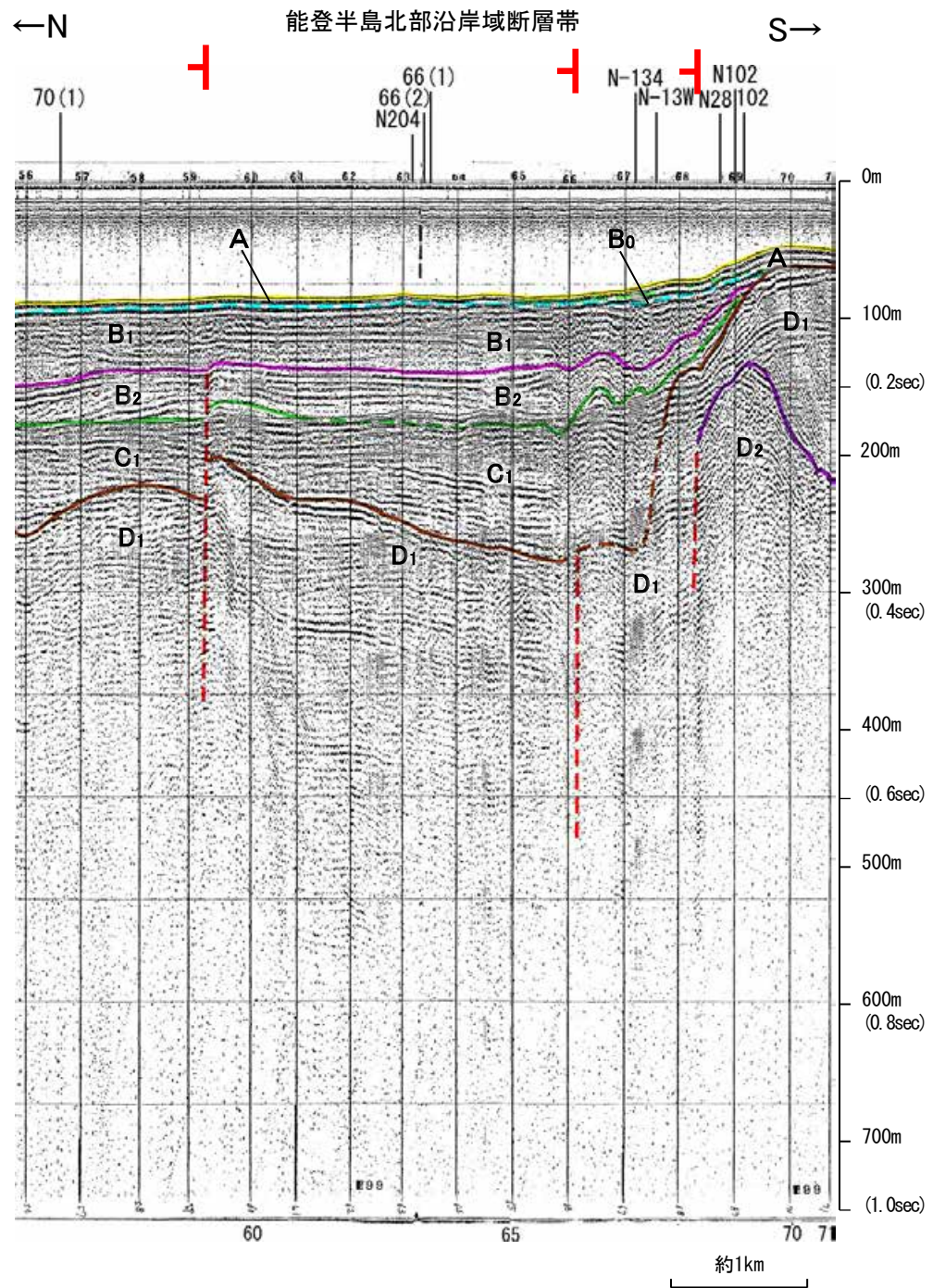
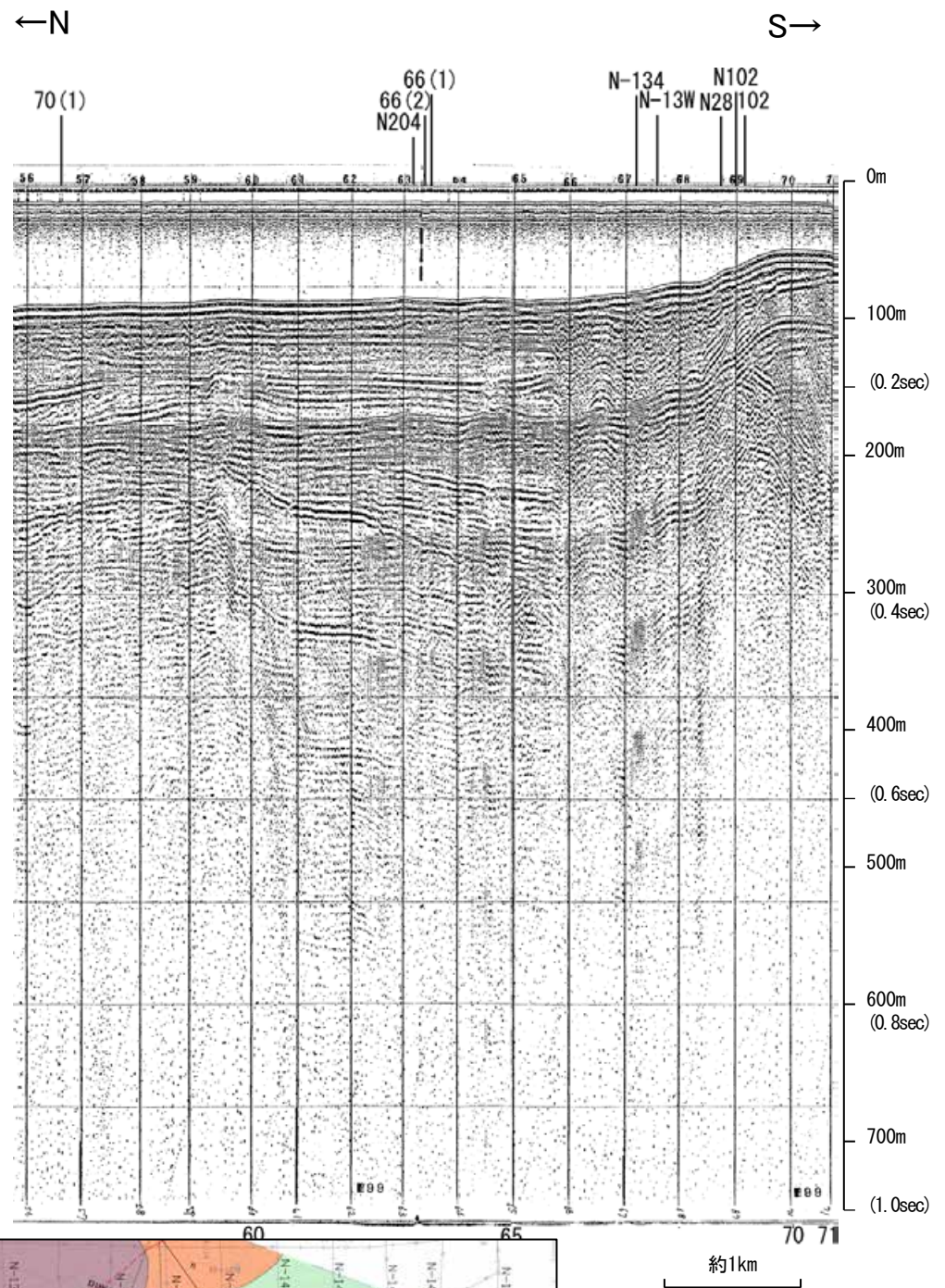


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層
前期	B層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層

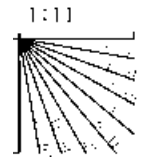


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 99



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世	B <sub>1</sub> 層
	中期	B層
第三紀	前期	C層
	鮮新世	C層
第三紀	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

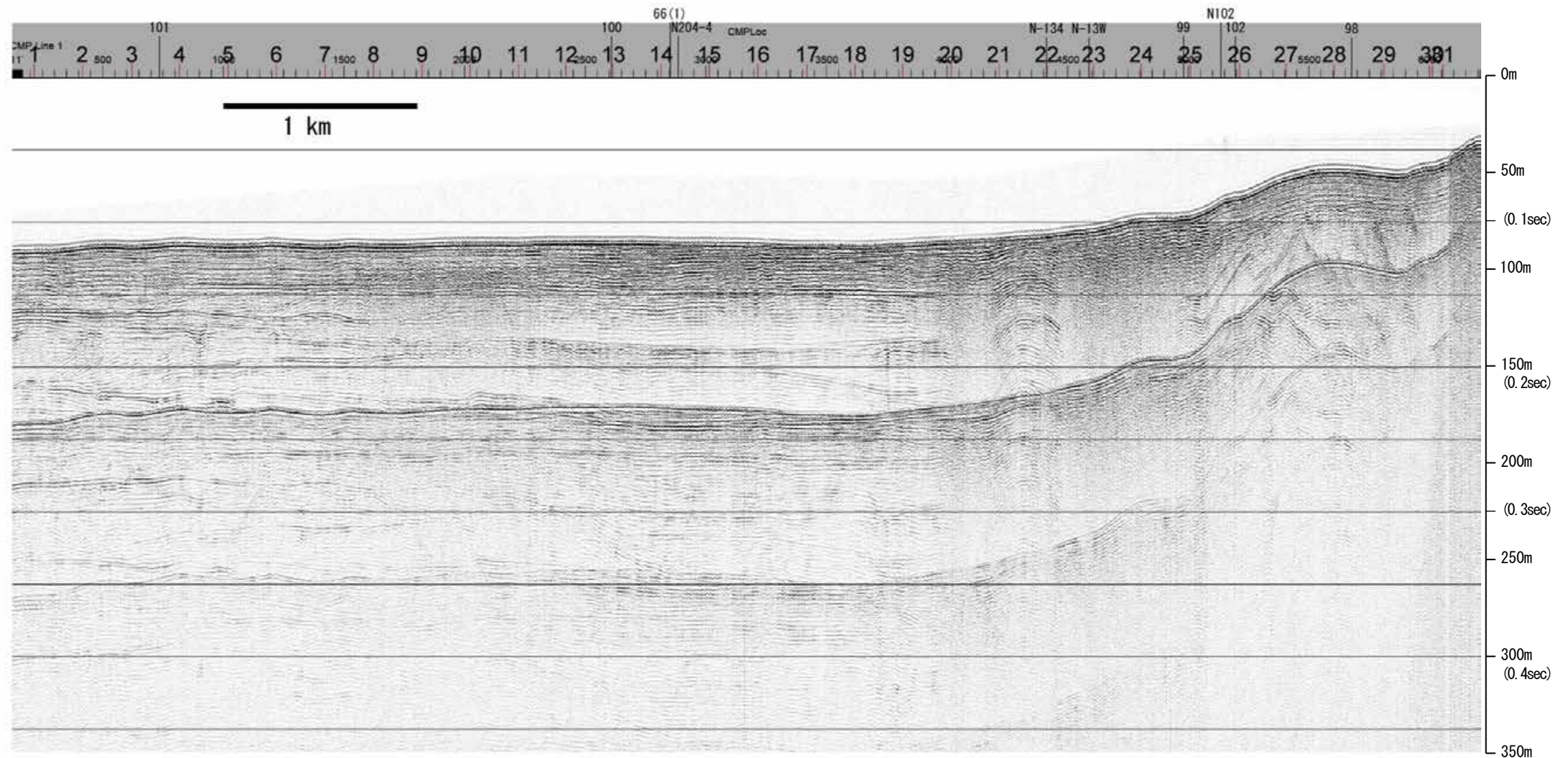


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

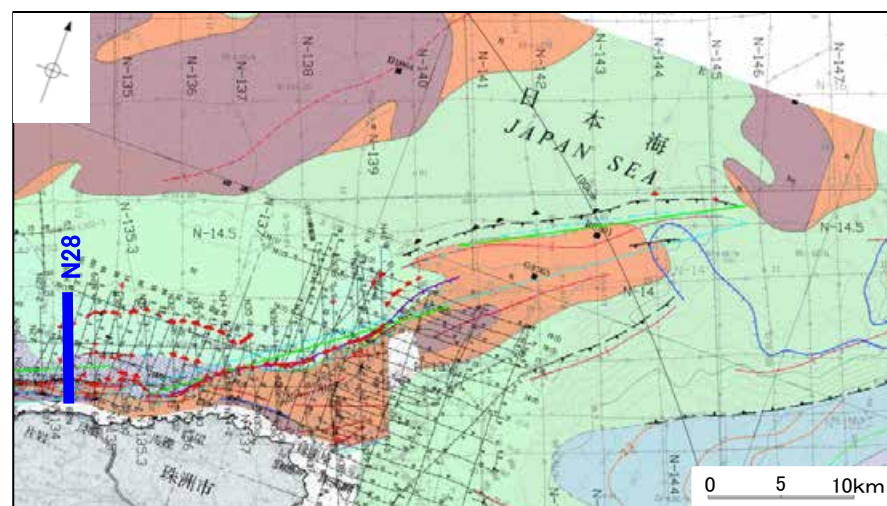
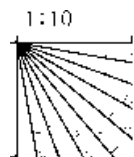
# 産総研ブーマー N28

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
前期	C層	C層	
	C層	C層	
鮮新世	D層	D層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



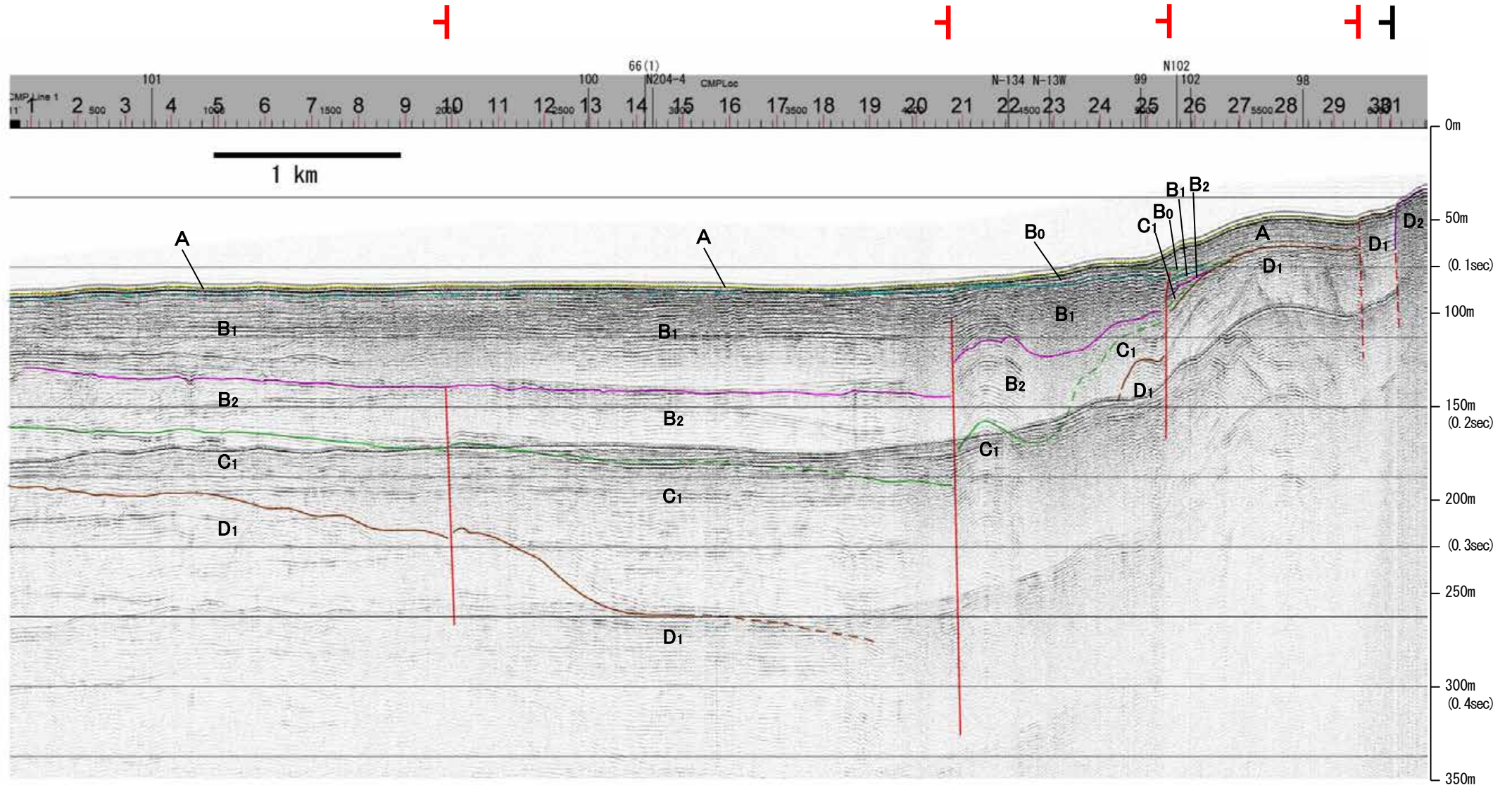


# 産総研ブーマー N28

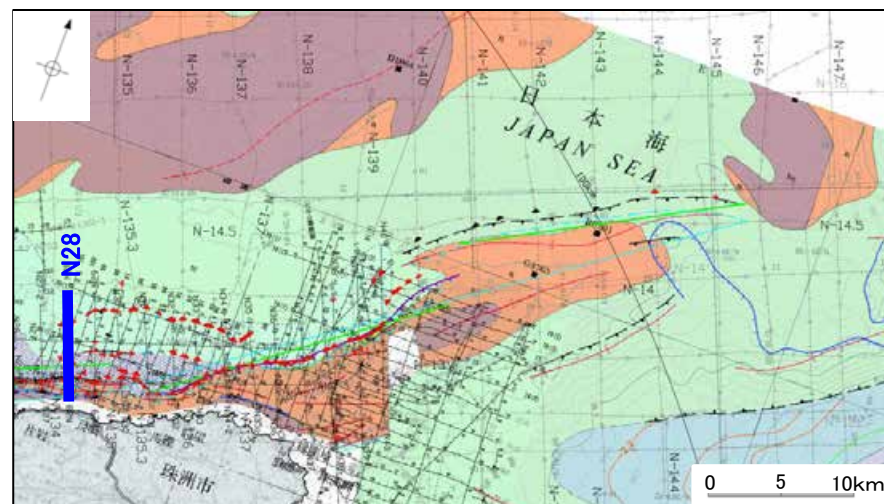
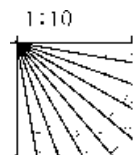
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯

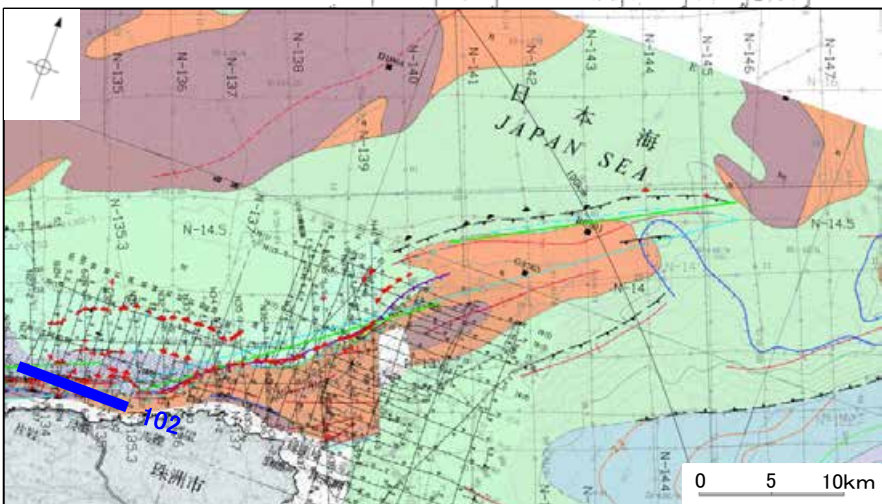
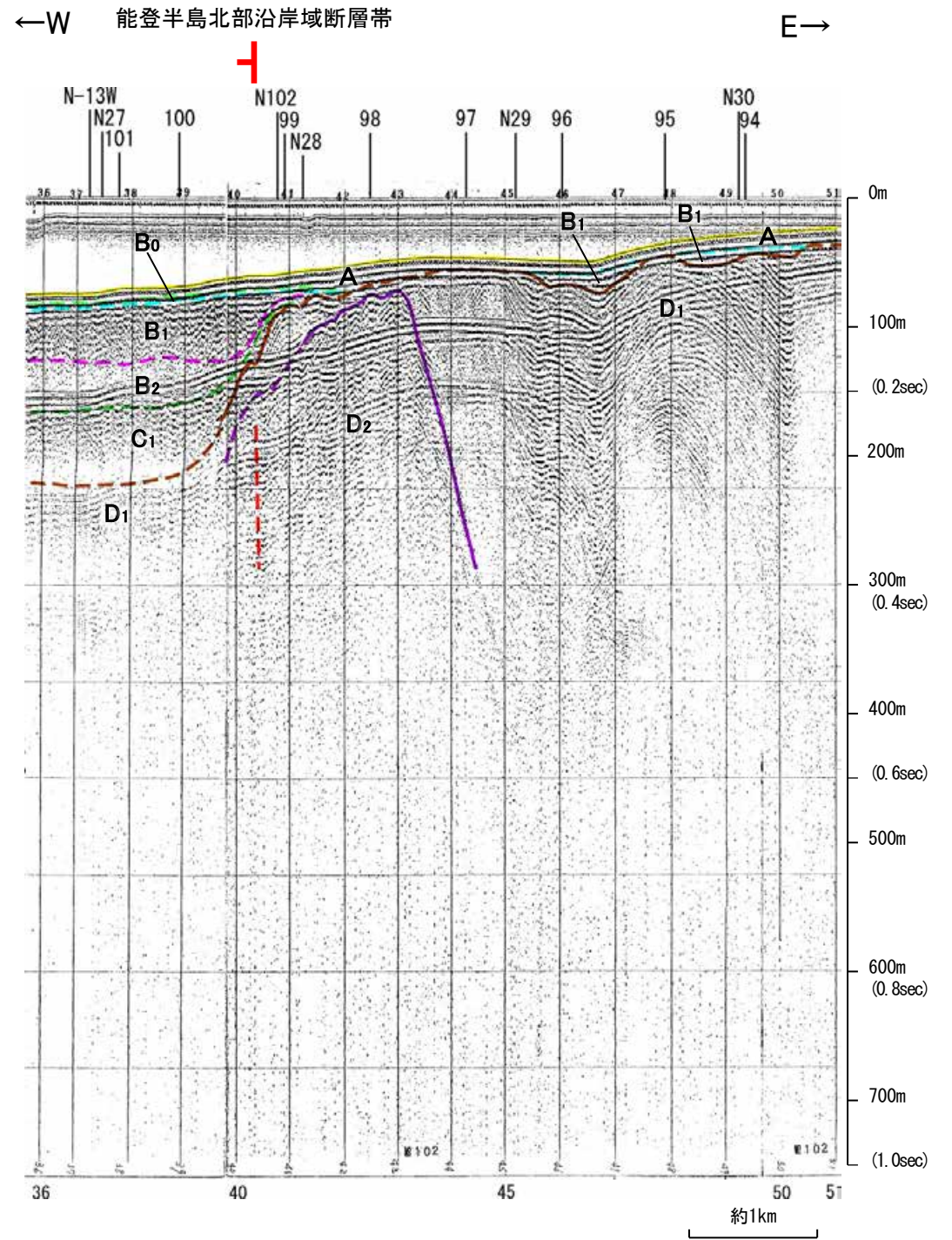
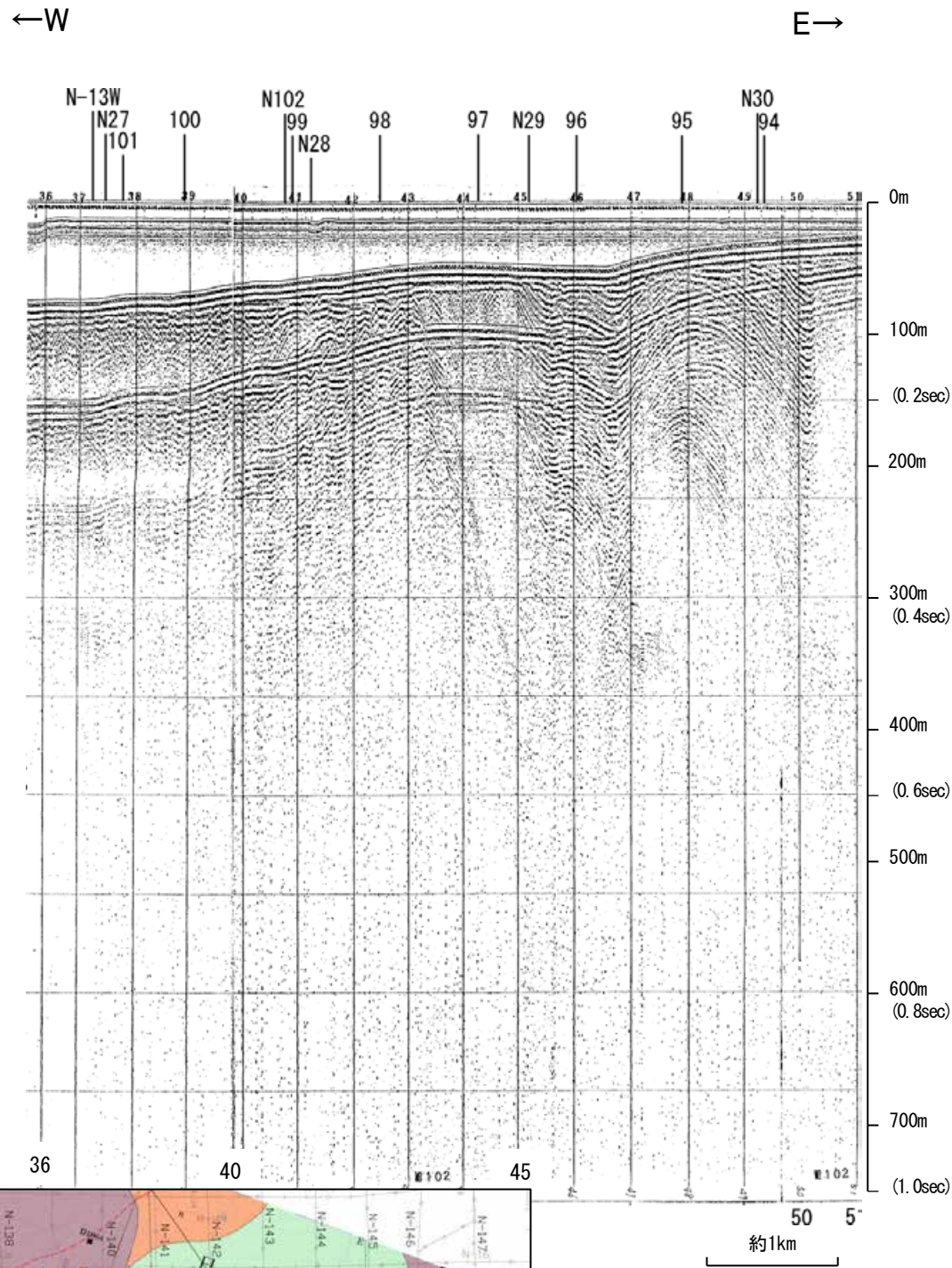


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B <sub>1</sub> 層	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層	B <sub>2</sub> 層
前期	B <sub>3</sub> 層	B <sub>3</sub> 層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層

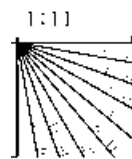


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 102

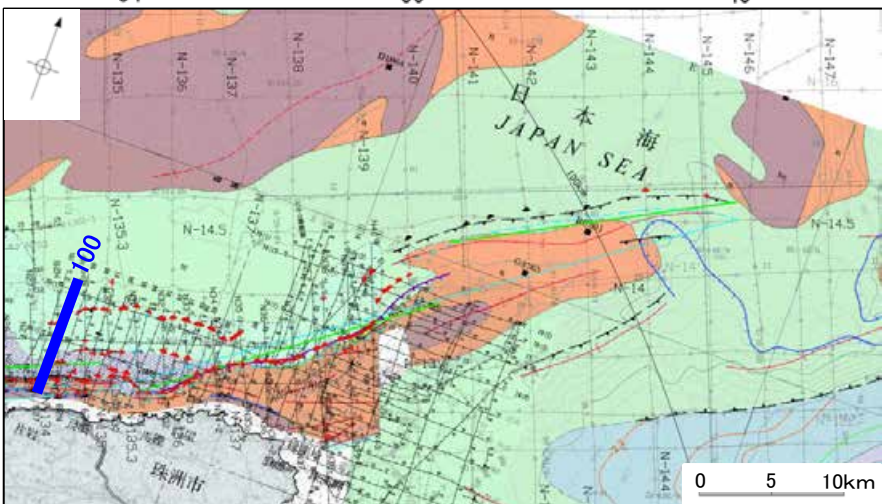
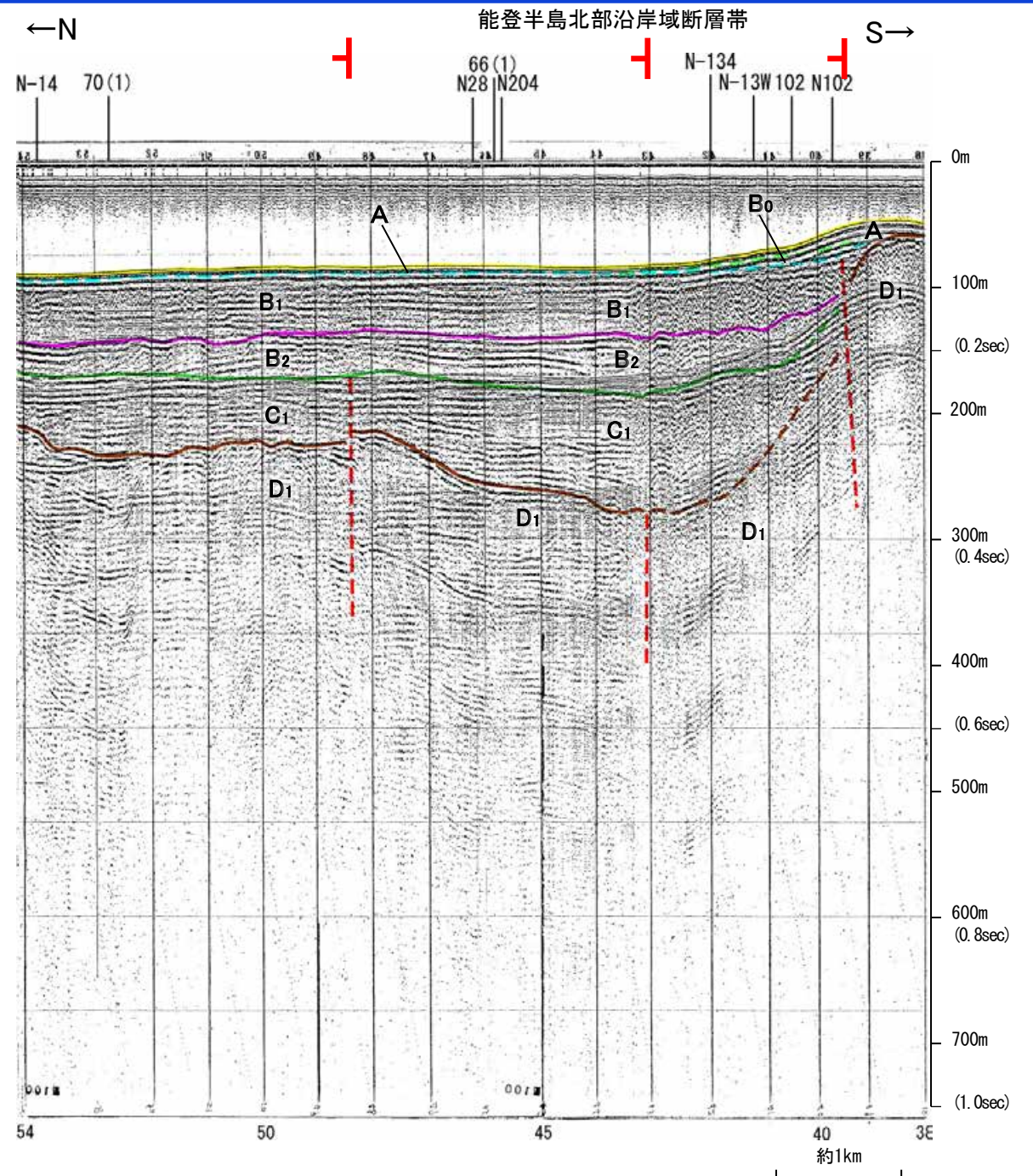
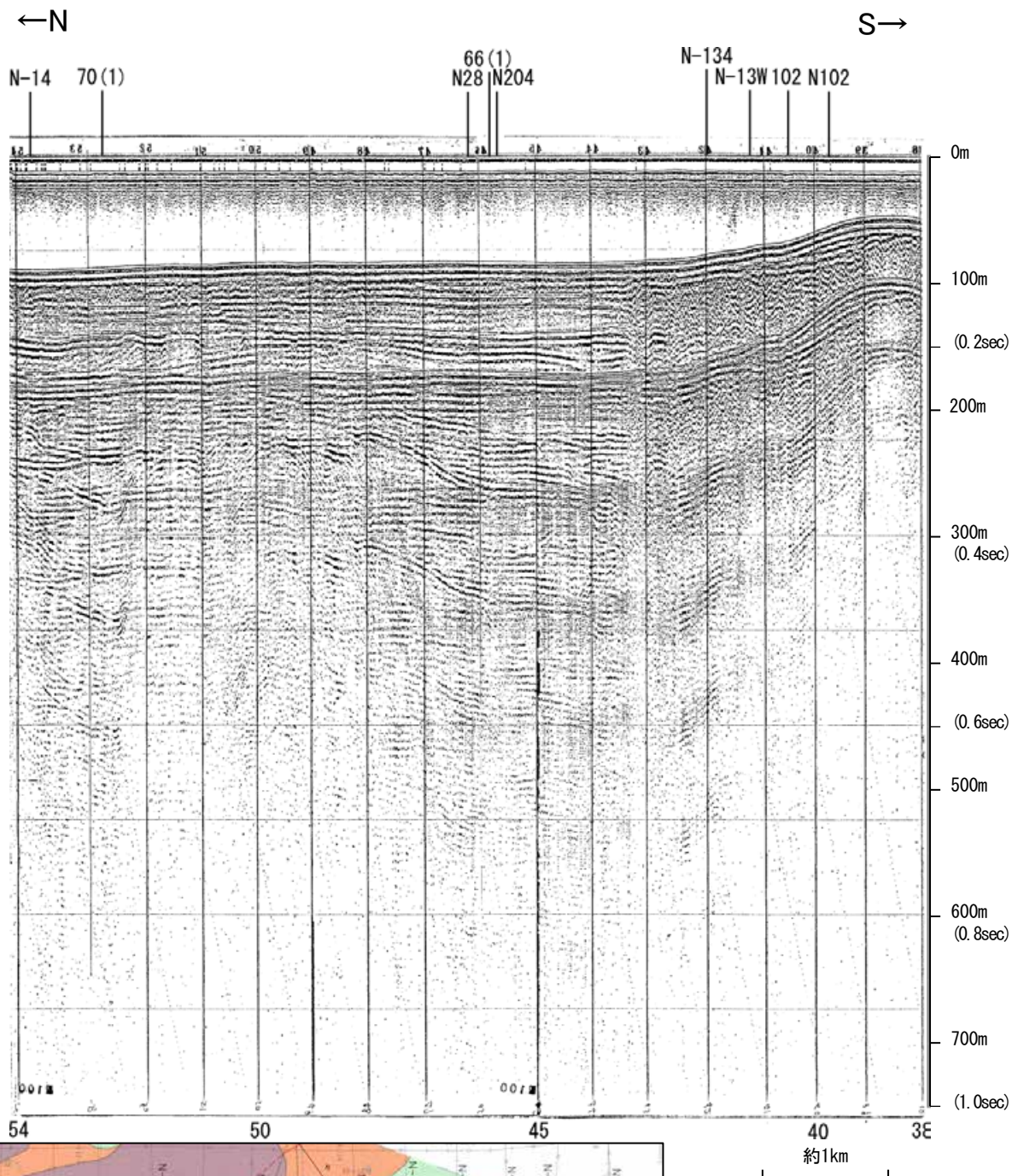


地質時代	地層名
完新世	A層
第四紀更新世	後期 B層
	中期 B層
	前期 B層
	B層
新第三紀	C層
	D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層

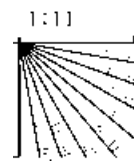


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

# 海上保安庁スパーカー 100



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B <sub>1</sub> 層 B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	C層
古第三紀		D層
	先第三紀	D層

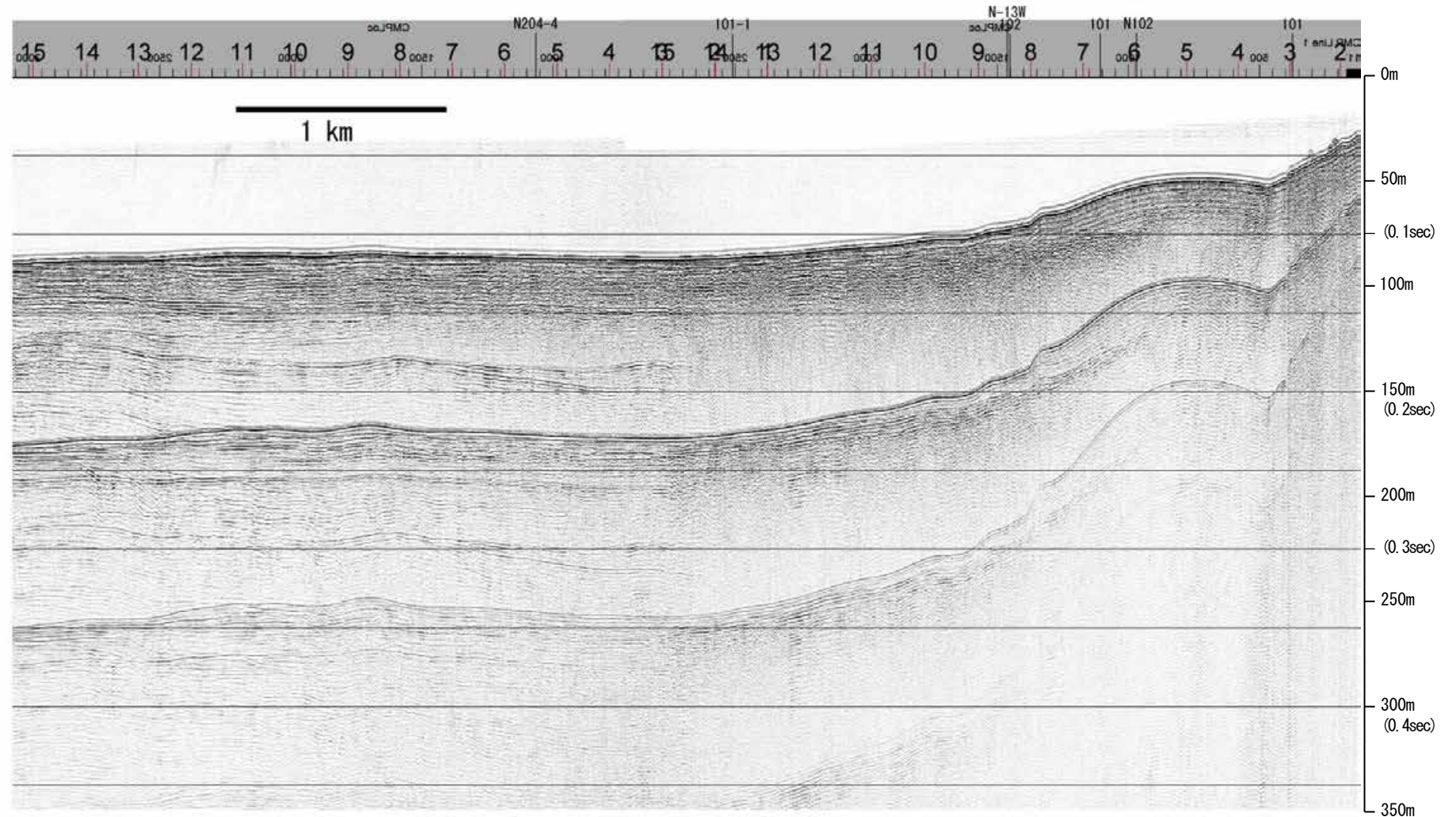


この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

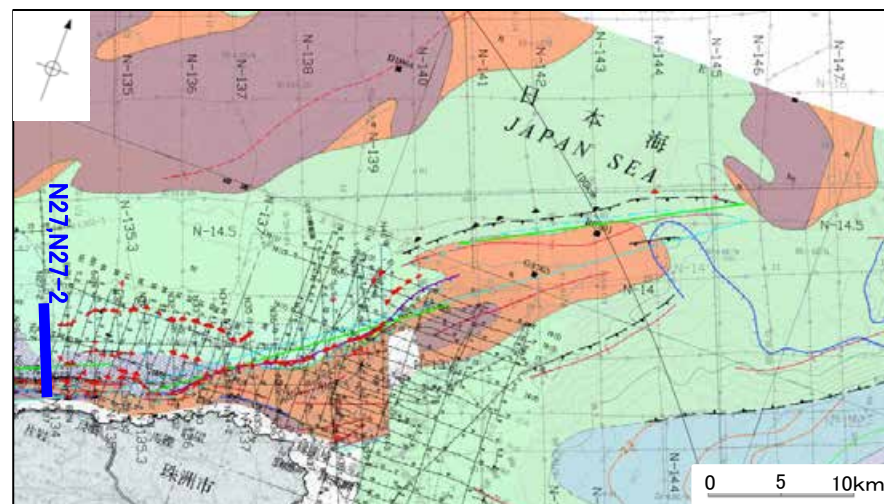
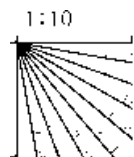
# 産総研ブーマー N27,N27-2

←NNW

SSE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B層	B層
	更新世	Q層	B層
前期	C層	C層	
	C層	C層	
鮮新世	D層	D層	
	D層	D層	
中新世	D層	D層	
	D層	D層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	

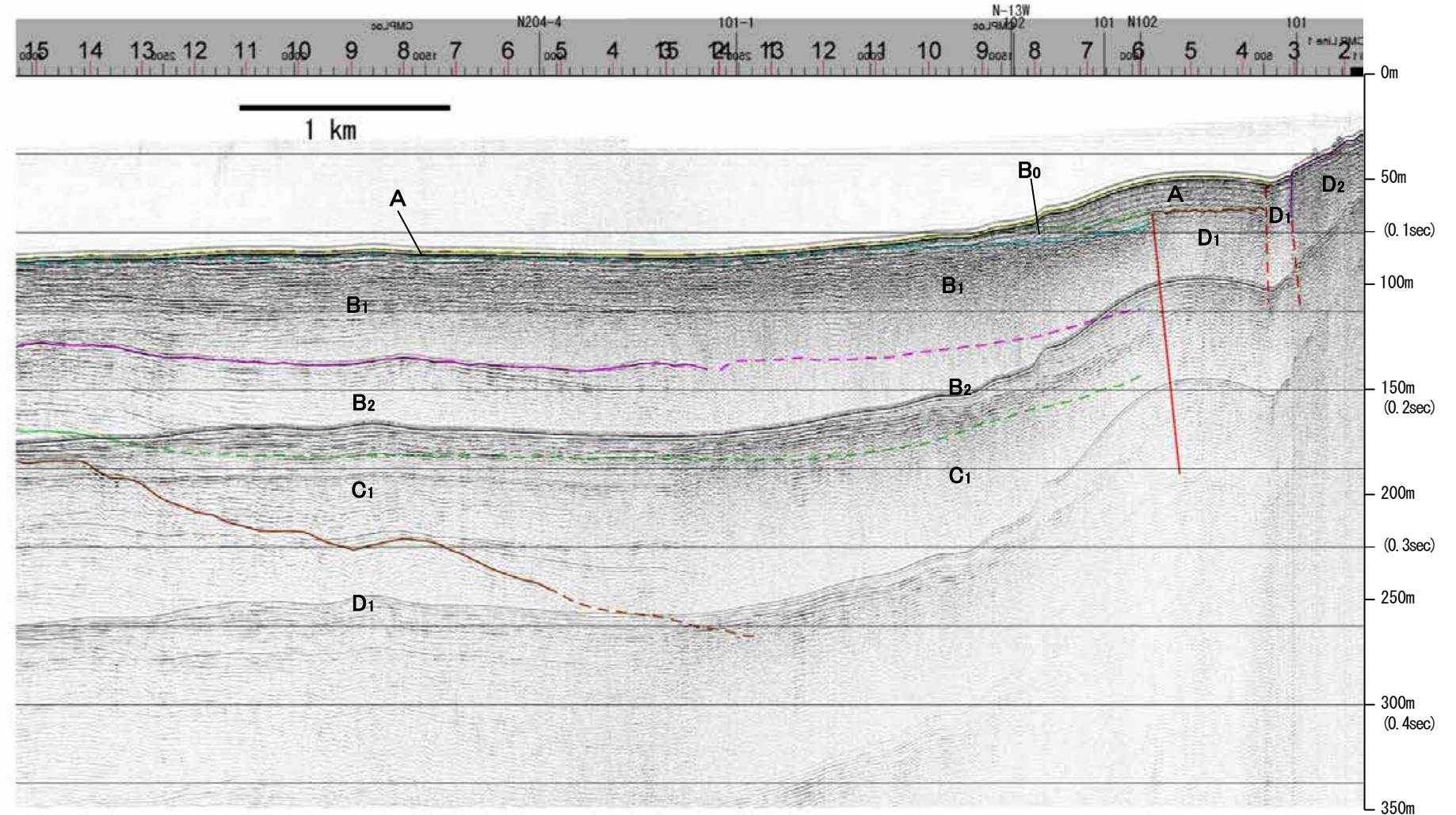


# 産総研ブーマー N27,N27-2

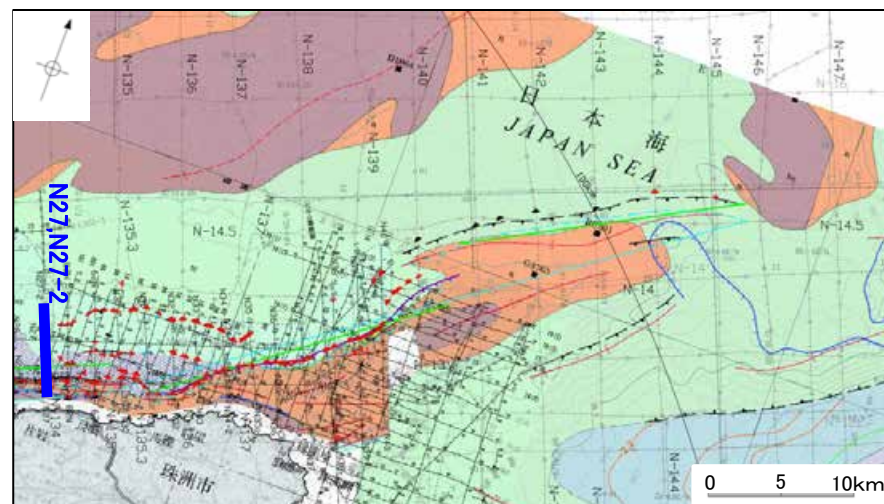
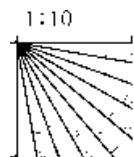
←NNW

SSE→

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	A層
	後期	B層	B層
		B <sub>1</sub> 層	B <sub>1</sub> 層
	中期	B <sub>2</sub> 層	B <sub>2</sub> 層
前期	B <sub>3</sub> 層	B <sub>3</sub> 層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀	D層	D層	
先第三紀	D層	D層	



※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである